

ANNUAL REPORT

2022

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum

年報



目 次

令和4年度の流れ	近代美術館	3
	万代島美術館	4
事業報告		
展覧会	近代美術館	6
	常設展	6
	第1期 人体・肉体の表現を見る。	7
	北川民次 メキシコー魂の場	7
	相澤コレクションによる 贅囀	7
	第2期 親と子のワクワク美術館	9
	いきいき！生き物ー近代美術館の動物たち	9
	第3期 雪国をえがくー相森義・小島丹彦・富岡惣一郎 三人展	11
	幻想世界 シュルレアリスムと美術	11
	第4期 命脈ー命と美のつながり	13
	堺時雄 ビクトリアリズムへの招待	13
	企画展	15
	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	15
	三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA	21
	ダリ版画展 奇才？天才？ その知られざる世界	27
	共催展	32
	第76回新潟県美術展覧会 長岡展	32
	第24回亀倉雄策賞受賞記念 大貫卓也展「ヒロシマ・アビールズ」/JAGDA新人賞展2022	32
	第53回新潟県ジュニア美術展覧会 長岡展	33
	第25回新潟県立美術館 友の会作品展	33
	万代島美術館	34
	企画展	34
	サンリオ展 ～ニッポンのカワイイ文化60年史～	34
	ポストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵ー武者たちの物語	36
	和田誠展	42
	庵野秀明展	59
	原田治展 「かわいいの発見」	73
教育普及	近代美術館	78
	イベント	78
	館外活動・地域との連携	80
	刊行物・鑑賞資料	82
	作品解説会	83
	団体の受入れ	84
	学校教育との連携	85
	観覧料免除	86
	博物館実習	87
	万代島美術館	88
	イベント	88
	館外活動・地域との連携	88
	刊行物	89
	団体の受入れ	90
	学校教育との連携	91
	観覧料免除	92
	サポートメンバー	93
	博物館実習	93
調査・研究	近代美術館	94
	万代島美術館	96
収集・保存		98
	令和4年度収集作品	98
	美術品の修復	100
	美術品の燻蒸	100
	美術品の貸出	100
管理・運営		
	開館及び入館状況	104
	近代美術館	104
	万代島美術館	105
	施設の貸出	106
	アンケート集計結果	107
	近代美術館	107
	万代島美術館	108
	組織及び業務	112
	職員	112
施設	近代美術館	113
	万代島美術館	115
審議会等	新潟県立近代美術館協議会	117
	新潟県美術品収集委員会	120
	新潟県立美術館友の会	123
沿革		123

令和4年度の流れ（新潟県立近代美術館）

4月	22日(金)	企画展「平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰」開場式および内覧会
	23日(土)	企画展「平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰」開会 平等院展関連イベント「講演会 平等院 美と信仰の軌跡」
	28日(木)	平等院展関連イベント「トーク&ミニコンサート いにしえから現代へ」
5月	1日(日)	平等院展関連イベント「学芸員による10分間ミニトーク」
	15日(日)	平等院展関連イベント「学芸員による10分間ミニトーク」
	21日(土)	美術鑑賞講座「人体・肉体の表現を見る。コレクション展より」
	28日(日)	平等院展関連イベント「講演会 和様成立 一平等院鳳凰堂の仏像一」
	29日(土)	平等院展関連イベント「学芸員による10分間ミニトーク」
6月	4日(土)	平等院展関連イベント「ワークショップ 切り絵 de 雲中供養菩薩」
	5日(日)	企画展「平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰」閉会
	11日(土)	美術鑑賞講座「讃嘔とその時代—初期を中心に—」
	15日(水)	共催展「第76回新潟県美術展覧会 長岡展」開会
	19日(日)	コレクション展第1期閉会 共催展「第76回新潟県美術展覧会 長岡展」閉会
	28日(火)	コレクション展第2期開会
	28日(火)	コレクション展第2期開会
7月	15日(金)	企画展「三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA」開場式および内覧会
	16日(土)	企画展「三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA」開会
	31日(日)	三沢厚彦展関連イベント「クロストーク 三沢厚彦×青木野枝」 三沢厚彦展関連イベント「ミニコンサート&ギャラリートーク ～「きいて!」「みて!」親子で楽しむどうぶつ大行進～」
8月	6日(土)	ワークショップ「親子で鑑賞! 動物の絵を楽しもう」
	11日(木・祝)	三沢厚彦展関連イベント「長岡造形大学作品展×三沢厚彦 今、気になるものを表現する」「みんなの あにまるず 絵画展」開会
	13日(土)	ワークショップ「親子で鑑賞! 動物の絵を楽しもう」
	20日(土)	ワークショップ「親子で鑑賞! 動物の絵を楽しもう」 三沢厚彦展関連イベント「長岡造形大学作品展×三沢厚彦 今、気になるものを表現する」作品講評会 三沢厚彦展関連イベント「ゆうがたギャラリートーク」
	21日(日)	三沢厚彦展関連イベント「ワークショップ クスノキの木っ端でどうぶつをつくろう」
	28日(日)	三沢厚彦展関連イベント「長岡造形大学作品展×三沢厚彦 今、気になるものを表現する」「みんなの あにまるず 絵画展」閉会
	28日(日)	三沢厚彦展関連イベント「長岡造形大学作品展×三沢厚彦 今、気になるものを表現する」「みんなの あにまるず 絵画展」閉会
9月	25日(日)	企画展「三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA」閉会 コレクション展第2期閉会
	25日(日)	企画展「三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA」閉会 コレクション展第2期閉会
10月	4日(火)	コレクション展第3期開会
	7日(金)	企画展「ダリ版画展」開場式および内覧会
	8日(土)	企画展「ダリ版画展」開会 共催展「第25回長岡市中学校美術部作品展」開会
	9日(日)	共催展「第25回長岡市中学校美術部作品展」閉会
	13日(木)	博物館実習 初日
	15日(土)	ダリ版画展関連イベント「映画鑑賞会 白い恐怖」
	16日(日)	ワークショップ「シュールな絵を描こう」
	21日(金)	博物館実習 最終日
	29日(土)	美術鑑賞講座「シュルレアリスムの世界 はじまりと終わり」
	29日(土)	美術鑑賞講座「シュルレアリスムの世界 はじまりと終わり」
11月	3日(木・祝)	ダリ版画展関連イベント「学芸員によるスライドトーク 奇才?天才?ダリの生涯と芸術」
	8日(火)	共催展「第25回新潟県立美術館友の会作品展」開会
	13日(日)	共催展「第25回新潟県立美術館友の会作品展」閉会
	19日(土)	美術鑑賞講座「雪国をえがいた画家たちⅠ 一 栢森義・小島丹彦の画業について」
	20日(日)	ダリ版画展関連イベント「版画ワークショップ ドライポイントでダリの蝶を刷ろう!」 ワークショップ「ペインティングナイフで描いてみよう」
	20日(日)	ダリ版画展関連イベント「版画ワークショップ ドライポイントでダリの蝶を刷ろう!」 ワークショップ「ペインティングナイフで描いてみよう」
12月	3日(土)	映画鑑賞会「にいがた偉人伝『富岡惣一郎』『小林古径』『渡辺義雄』」
	4日(日)	企画展「ダリ版画展」閉会
	10日(土)	美術鑑賞講座「雪国をえがいた画家たちⅡ 一生誕100年 富岡惣一郎」
	11日(日)	共催展「第24回亀倉雄策賞受賞記念 大貫卓也展/JAGDA新人賞展2022」開会 亀倉雄策賞受賞記念展およびJAGDA新人賞展2022関連イベント「開催記念講演会」
	17日(土)	共催展「第53回新潟県ジュニア美術展覧会 長岡展」開会
	18日(日)	共催展「第24回亀倉雄策賞受賞記念 大貫卓也展/JAGDA新人賞展2022」閉会
	25日(日)	(コレクション展第3期閉会) ※1/4～9臨時休館のため 共催展「第53回新潟県ジュニア美術展覧会 長岡展」閉会
	25日(日)	(コレクション展第3期閉会) ※1/4～9臨時休館のため 共催展「第53回新潟県ジュニア美術展覧会 長岡展」閉会
	26日(月)	年末年始の休館
	26日(月)	年末年始の休館
1月	3日(火)	
	4日(水)	
	9日(月・祝)	空調設備故障のため臨時休館
	9日(月・祝)	空調設備故障のため臨時休館
2月	17日(火)	コレクション展第4期開会
	9日(木)	共催展「2022年度長岡造形大学大学院造形研究科博士(後期)課程修了作品展」開会
	18日(土)	美術鑑賞講座「ナビ派学:世紀末の画家ポール=エリー=ランソン」
	19日(日)	共催展「2022年度長岡造形大学大学院造形研究科博士(後期)課程修了作品展」閉会
3月	4日(土)	映画鑑賞会「アンリ・カルティエ=ブレッソン—疑問符」C. ボルトンスキーについて彼らが思い出すこと」

令和4年度の流れ（新潟県立万代島美術館）

4月	10日(日)	企画展「サンリオ展」閉会
	11日(月)	展示替えの休館
	22日(金)	企画展「THE HEROES 刀剣×浮世絵」開場式
	23日(土)	企画展「THE HEROES 刀剣×浮世絵」開会 THE HEROES 関連イベント 講演会「刀剣の見かた—HEROES 展での楽しみかた—」
5月		
	19日(日)	企画展「THE HEROES 刀剣×浮世絵」閉会
	20日(月)	展示替えの休館
6月	1日(金)	企画展「和田誠展」開場式
	2日(土)	企画展「和田誠展」開会
7月	14日(日)	和田誠展関連 映画上映会「怪盗ルビイ」(シネ・ウインド主催)
	28日(日)	企画展「和田誠展」閉会
	29日(月)	展示替えの休館
8月	22日(木)	企画展「庵野秀明展」開場式
	23日(金・祝)	企画展「庵野秀明展」開幕
9月	15日(土)	庵野秀明展関連 『にいがた2km』 × 『庵野秀明展』 にいがた街めぐり 開始
	20日(木)	博物館実習 初日
	27日(木)	博物館実習 最終日
10月	3日(木・祝)	庵野秀明展関連 イベント ゴジラの日『庵野秀明展』 告知ポスタープレゼント
	20日(日)	庵野秀明展関連 『にいがた2km』 × 『庵野秀明展』 にいがた街めぐり 終了
	26日(土)	庵野秀明展関連 ステッカーキャンペーン 開始
11月	21日(水)	新潟県立万代島美術館 来館者200万人達成セレモニー
	28日(水)	庵野秀明展関連 ステッカーキャンペーン 終了
	29日(木)	年末年始の休館
12月	3日(火)	企画展「庵野秀明展」閉幕
	10日(火)	展示替えの休館
	27日(金)	企画展「原田治展」内覧会
1月	28日(土)	企画展「原田治展」開幕
2月	4日(土)	原田治展関連イベント ワークショップ「オリジナル缶バッジを作ろう！」
	5日(日)	原田治展関連イベント ワークショップ「オリジナル缶バッジを作ろう！」
	11日(土・祝)	原田治展関連イベント ワークショップ「オリジナル缶バッジを作ろう！」
3月	12日(日)	原田治展関連イベント ワークショップ「オリジナル缶バッジを作ろう！」
	14日(火)	原田治展関連イベント バレンタインデーオリジナル缶バッジプレゼント
	18日(土)	原田治展関連イベント ワークショップ「オリジナル缶バッジを作ろう！」
4月	19日(日)	原田治展関連イベント ワークショップ「オリジナル缶バッジを作ろう！」
	23日(木・祝)	原田治展関連イベント ワークショップ「オリジナル缶バッジを作ろう！」
	25日(土)	原田治展関連イベント ワークショップ「オリジナル缶バッジを作ろう！」
5月	26日(日)	原田治展関連イベント ワークショップ「オリジナル缶バッジを作ろう！」
	14日(火)	原田治展関連イベント ホワイトデーオリジナル缶バッジプレゼント

事業報告



常設展（コレクション展）

【趣 旨】

当館の所蔵品による展示。一年間を4期に分け、それぞれテーマを設けて作品を展示紹介した。

コレクション展第2期および第3期には当館の企画展と関連させたテーマで展示をおこなった。特に第2期の「いきいき！生き物」では企画展とのコラボレーションが功を奏し、コレクション展の観覧者を増やすことに貢献した。第3期の「幻想世界 シュルレアリスムと美術」では、調査により井上愛也作品の発見と収集につながった。

また第3期および第4期では県出身作家を取り上げ展示した。またそれぞれの展示に関連した美術鑑賞講座やワークショップ、映画鑑賞会を実施し、当館の所蔵品に対する理解を深められるよう努めた。

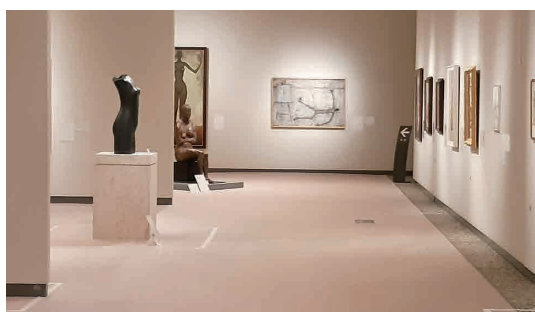
【観覧料】

一般……………430円（340円）

大学・高校生……………200円（160円）

中学生以下無料

※（ ）内は有料20名以上の団体料金



第1期 2022年3月29日(火)～6月19日(日)(75日間)

前期：3月29日(火)～5月15日(日)

後期：5月17日(火)～6月19日(日)

展示室1 人体・肉体の表現を見る。

展示室2 近代美術館の名品

展示室3 前期：北川民次 メキシコ―魂の場
後期：相澤コレクションによる 贅囀

人体・肉体の表現を見る。

【趣 旨】

所蔵品の中から人間の肉体を注視している日本人作家の作品を選び、その表現を3つの視点「肉体を写す」「肉体を考える」「肉体の昇華」から見直した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・人物表現の一つの視点として、肉体表現に目を向けて展示したことによって、各作家の制作視点が浮かび上がり、様々な様相を示すことができた。
- ・美術館のこれまでの収集活動の成果を披露することができた。

●検討課題

- ・多様な表現の様式を展示できたが、やはり、欠けている部分あり、収集活動のさらなる必要性が感じられた。

【関連行事】

- ・美術鑑賞講座
「人体・肉体の表現を見る。コレクション展より」
5月21日(土) 14:00～15:30 講堂
講師：松矢国憲（当館専門学芸員）
参加者数：16人

担当 松矢国憲

北川民次 メキシコ―魂の場

【趣 旨】

北川民次は渡米後、アメリカ南部を放浪し、やがてメキシコに辿り着く。以降、10年以上もメキシコで過ごすことになる。メキシコではチュルプスコ、トラルバムなどの野外美術学校で美術教師の助手を務めた。シケイロス、リベラ、ルフィーノ・タマヨらと親交を結び、メキシコ各地で展覧会を開催、1931年にはタスコ村の野外美術学校の校長を務めている。

1936年に帰国。肉体は日本に戻ったものの、その魂は常にメキシコにあり、その意味ではメキシコは北川民次にとって、まさに「魂の場」であったといっていよう。

本展ではメキシコ時代の友人であり画家であった、ディエゴ・リベラによる壁画《大地および天地を耕し、開放する人々への賛歌》との関係も指摘されている《大地》の他、「魂の場」であるメキシコを強く感じさせる作品を中心に、メキシコ時代に交友のあったルフィーノ・タマヨ、藤田嗣治、イサム・ノグチらの作品も併せて紹介した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・相澤コレクションの中でも、なかなか紹介する機会の少ない「バツタ」主題作品を一括に、有機的に紹介することができた。

●検討課題

- ・個人コレクションのため制作年や主題背景などわからないものも多く、今後の調査がさらに必要である。

担当 藤田裕彦

相澤コレクションによる 贅囀

【趣 旨】

虹色の作品や、1960年代の前衛芸術運動フルクサスでのパフォーマンスでも知られる現代美術家・贅囀（あいおう）。所蔵品の相澤コレクションより、その初期の素描や版画作品を、テーマごとに一堂に紹介した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・詳細が不明のままであった所蔵品を改めて調査研究し、関連作品や資料から制作年や技法を可能な限り解明することで、ほとんど展示されてこなかった稀少な作品をまとめて紹介することができた。
- ・調査によって得た贅囀の初期作品についての新たな知見を、キャプションや解説に反映することができた。

●検討課題

- ・個展形式での紹介であったが、作家の代表作や同時期の油彩画などを所蔵しておらず、その魅力や意図を十分に伝えることができなかった。今後、そうした作品の収集も検討する必要があると考える。

【関連行事】

- ・美術鑑賞講座
「贅囀とその時代―初期を中心に―」
6月11日(土) 14:00～15:30 講堂
講師：濱田真由美（万代島美術館主任学芸員）
参加者数：7人

担当 濱田真由美

【出品リスト】

展示室1 人体・肉体の表現を見る。

作家名	作品名	制作年
1. 肉体を写す。		
戸張 幸男	片隅の男	1955
桑原 実	断絶の子ら	1969
峰村 リツ子	いれずみのある男	1990
高村 真夫	裸婦	1921
満谷 国四郎	裸婦	1923
桑重 儀一	浴する女	不明
佐藤 哲三郎	裸婦	1930
小出 楢重	ソファの裸体	1930
岩野 勇三	にけ	1986
佐藤 哲三	裸婦	1953
【前期】		
村山 槐多	裸婦	1916
木下 晋	裸婦	1985
【後期】		
安井 曾太郎	人物	不明

展示室2 近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年
C. トロワイヨン	りんごの取り入れ	c1840
T. ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	c1845
A. ブーシェ	朝顔	c1896
G. クールベ	エトルタ海岸、夕日	1869
萬 鉄五郎	木の間風景	1918
長谷川 利行	風景	1931
須田 国太郎	三輪附近	1934
梅原 龍三郎	紫禁城	1942
鳥海 青児	北海道風景	1943
竹谷 富士雄	壺つくりの女	1940
富樫 寅平	農家	1943
棟方 志功	一乗寺裏山	1942
村山 径	浅春	1983
横尾 茂	春、肌さむき頃	1977

展示室3 〈前期〉北川民次 メキシコ一魂の場

作家名	作品名	制作年
北川 民次	大地	1939
北川 民次	メキシコインディアン部落の楽土たち	1970
北川 民次	牛を連れた裸婦	1970
北川 民次	牛	1972
北川 民次	南方の花	1967
北川 民次	蘭の花	1979
北川 民次	シクラメン	1970
北川 民次	龍舌蘭と二人	1970
北川 民次	バッタ	1958
北川 民次	バッタ	1969
北川 民次	太ったバッタ	1971
北川 民次	武装せるバッタ	1971
北川 民次	小さいバッタ (B)	1970
北川 民次	小さなバッタ	1970
北川 民次	手のひらの上のバッタ	1971
北川 民次	両手に囲まれるバッタ	1971
北川 民次	倒れたバッタと群衆	1971
北川 民次	三匹のバッタと三人	1971
北川 民次	バッタと三人の女	1971
北川 民次	かいう・女・バッタ	1970
北川 民次	三人の女とバッタ	1979
北川 民次	二匹のバッタと親子	1971
北川 民次	横たわる裸婦とバッタ	1971
北川 民次	奇怪なバッタ	1971
北川 民次	バッタに抱きつく女	1975
北川 民次	バッタに乗る女	1983
北川 民次	女と鬼	1970
北川 民次	幻想的な肖像	1970
北川 民次	抱き合う人	1977
北川 民次	抱擁	1979
北川 民次	裸かの母子 (その2)	1971
北川 民次	大写しの母子	1972
北川 民次	母子像	不明
北川 民次	母子像	不明
藤田 嗣治	私の夢	1947
R. タマヨ	「女」シリーズ	不明
R. タマヨ	作品	不明
R. タマヨ	「女」シリーズ	不明
I. ノグチ	女 (リシ・ケシュにて)	1956
荒川 修作	セバレットコンティニウムス	1965-66*

2. 肉体を考える。

戸張 公晴	TORSO	1990
矢部 友衛	習作	1920
坂田 一男	椅子による裸婦	1924
阿部 展也	子供	1950
阿部 展也	人	1951
阿部 展也	埋葬2	1952
倉石 隆	画室	1953
倉石 隆	イヴ	1982
竹谷 富士雄	三人	1958
水島 清	ふせる女	1976
脇田 和	双鳥	1953
小林 哲夫	夢宴	c1976
小林 哲夫	サンサーラ	1985
柳原 義達	坐る	1960
坂本 文男	ヘルマフロディトスー赤による	1967
前田 常作	人間風景NO.13	1960
三上 誠	灸点輪廻シリーズ	1965
三上 誠	作品	1965

岩田 正巳	花さす人	1950
麻田 鷹司	緒那智	1960
糸園 和三四	鳩	1958
根岸 芳郎	95-1-1	1995
野見山 曉治	戻らない刻	1993
戸張 幸男	テオドル・フォン・レルヒ像	1960
戸張 幸男	フォン・レルヒ銅像設計図	1960
小林 ドンゲ	泣いている私	c1955
小林 ドンゲ	エドガー・アラン・ポーよりモレラ	c1970
グループGUN	雪のイメージを変えるイベント (信濃川の雪のハブニング、1970年2月11日、15日)	1970/2009
久保田 成子	フロークン・タイアリー：私のお父さん	1973-75
久保田 成子	フロークン・タイアリー：ソーホー・ソフ/ 雨の橋	1985
堀川 紀夫	The Shinano River Plan 1969/2011	2011

展示室3 〈後期〉相澤コレクションによる 饜嘔

作家名	作品名	制作年
饜嘔	作品	不明
饜嘔	風に吹かれるひまわりA	1955
饜嘔	首吊りの夕	1955
饜嘔	かげの前の群集	1955
饜嘔	ニューヨーク	1957
饜嘔	[自画像]	c1955
饜嘔	[自画像]	c1955
饜嘔	[ポートレイト]	c1955
饜嘔	[少女]	c1956
饜嘔	[ポートレイト]	不明
饜嘔	[時計をした男]	不明
饜嘔	[タイトル不詳]	不明
饜嘔	[タイトル不詳]	c1953
饜嘔	[トルソ]	c1954
饜嘔	[トルソ]	c1954
饜嘔	[トルソ]	c1954
饜嘔	[タイトル不詳]	c1957
饜嘔	鉄骨 (習作)	c1957
饜嘔	[人]	1957
饜嘔	[人]	1957
饜嘔	[人]	1957
饜嘔	[人]	不明
饜嘔	[人]	1957
饜嘔	大地にて (習作)	c1955
饜嘔	[タイトル不詳]	不明
饜嘔	[裸婦]	不明
饜嘔	[女]	不明
饜嘔	[男と女]	不明
饜嘔	田園 (習作)	c1956
饜嘔	[闘鶏]	不明
饜嘔	[猫]	不明
饜嘔	[農具]	c1954
饜嘔	[農具]	不明
饜嘔	[機械]	不明
饜嘔	[農具]	不明
饜嘔	田園の車 (習作)	c1954
饜嘔	[農具]	不明
饜嘔	[農具]	c1954

三上 誠	凍結の生理シリーズ	c1965-68
三上 誠	作品	c1965-68
三上 誠	作品	c1967-68

【後期】

阿部 展也	インド旅行より #97	c1953
-------	-------------	-------

3. 肉体の昇華

阿部 展也	人間	1955
阿部 展也	作品	1956
比田井 南谷	作品64-25	1964
山口 長男	作品	1982
山口 長男	人体群像3人	1983
山口 長男	作品	不明
山口 長男	作品	不明

【前期】		
F. ミレー	落ち穂拾い	1855*
岡田 紅陽	湖畔の春 (本栖湖)	1935
岡田 紅陽	浅春 (七面山)	1936

良寛	寒山詩「人間寒山道」	1790年代後期 ~1800年代
良寛	阿部定珍宛書簡「古訓抄長々」	1800年代中頃

【後期】

J. H. フラゴナール	良き母親	1779以前*
渡辺 義雄	三溪園春草廬・中柱と罎口	1973
渡辺 義雄	慈光院書院と南側の庭	1973
良寛	寒山拾得画讃	1812
八田 哲	タスコ白日 素描	1990

饜嘔	[農具]	不明
饜嘔	[農具]	不明
饜嘔	[無題]	c1956
饜嘔	ひまわり (習作)	1955
饜嘔	無人間時代をこえる人間の象徴 (オートメーション) (習作)	1955
饜嘔	[タイトル不詳]	c1954
饜嘔	[女]	不明
饜嘔	[室内]	不明
饜嘔	鉄骨とクレーンと人と (習作)	c1954
饜嘔	三つの雲 (習作)	c1954
饜嘔	個展案内状 (習作)	c1957
饜嘔	個展案内状 (習作)	c1957
饜嘔	鉄骨と雲 (習作)	c1957
饜嘔	[雲]	不明
饜嘔	[タイトル不詳]	c1954
饜嘔	[タイトル不詳]	c1954
饜嘔	[タイトル不詳]	c1954
饜嘔	[雲と木]	不明
饜嘔	[タイトル不詳]	不明
饜嘔	[タイトル不詳]	不明
饜嘔	[タイトル不詳]	不明
饜嘔	[タイトル不詳]	不明
饜嘔	[タイトル不詳]	c1957
饜嘔	黒と緑	1959
饜嘔	[タイトル不詳]	c1960
饜嘔	作品	1985

ロビー

亀倉 浦舟	門	1975
K. コルヴィッツ	母と二人の子	1932-36
竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998

回廊

竹田 康宏	Under the leaves	1994
-------	------------------	------

*は寄託作品

第2期 2022年6月28日(火)～9月25日(日)(78日間)

前期：6月28日(火)～8月7日(日)

後期：8月9日(火)～9月25日(日)

展示室1・2 親と子のワクワク美術館 いきいき！生き物 ― 近代美術館の動物たち

展示室3 近代美術館の名品

親と子のワクワク美術館 いきいき！生き物 ― 近代美術館の動物たち

【趣 旨】

毎年学校が夏期休暇にかかるコレクション展の第2期に実施する子ども向けの企画。

同時期開催の企画展「三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA」に関連させ、所蔵品から動物を中心に、その他の生き物を描いたのも加えて展示した。カテゴリーを「日本画の中の生き物たち ― 花鳥画」「野山の動物たち」「水の中・空の生き物たち」「人と親しい生き物たち」「異国の動物たち」とし、これに加えて、当館で所蔵する「アニマルハウス」参加作家の作品も併せて展示した。

企画展会期が始まる7月16日からは、三沢厚彦の作品を紛れ込ませた関連展示とした。

また、会期中は親子で対話できる鑑賞会のほか、随時自由参加できるクイズシートによるワークショップを実施した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・誰にでもわかりやすいテーマであることに加え、三沢厚彦展との関連展示をしたこと、また気軽に参加できるワークショップが併設されたことで、企画展と併せて総合的な展開ができ、コレクション展の観覧者が増えた。

●検討課題

- ・ワークショップ「親子で鑑賞！」では想定外の年齢の参加者が多かった。特に低年齢の子供たちに対する問いかけをもっと工夫する必要がある。

【関連行事】

・ワークショップ

「親子で鑑賞！ 動物の絵を楽しもう」

8月6日・13日・20日(日)14:00～15:00

コレクション展示室

ナビゲーター：宮下東子（当館専門学芸員）

参加者数：2名／7名／7名

「親と子のワクワクオリエンタリング」

6月28日(火)～9月25日(日)（随時参加可）

コレクション展示室

担当 宮下東子

【出品リスト】

展示室1・2 親と子のワクワク美術館 いきいき！生き物 ― 近代美術館の動物たち

作家名	作品名	制作年
石橋 犀水	中原逐鹿	1987

日本画の中の生き物たち ― 花鳥画

【前期】		
五十嵐 浚明	春秋屏風	不明
三輪 晃勢	鶴	不明
木村 武山	巢立	c1933
竹内 蘆風	極彩色孔雀之図	1926
佐々木 林風	柳におしどり	不明
土田 麦僊	山茶花	大正中期
【後期】		
池上 秀畝	群鹿図	1907
行田 魁庵	鶯の図	江戸末期
瀧 和亭	着色牡丹孔雀之図	1857
竹内 蘆風	夜桜争鴉之図	1907
郷倉 千鶴	豊饒群雀	1928

野山の動物たち

中野 嘉之	生命の讃歌一鹿（黒月）	2000
中野 嘉之	生命の讃歌一鹿（白月）	2000
山本 自炉	飛躍	1940
竹内 浩一	降	2000
栢森 義	いたち	1976
山崎 隆夫	茄子	1990

水の中・空の生きものたち

柳原 義達	道標 鳩	1974*
柳原 義達	風の中の鴉	1982*
栢森 琢也	生動	1976
山崎 隆夫	新雪	1980
三輪 晃勢	游	1971
脇田 和	啄木鳥	1958
二代(真葛)宮川 香山	八幡古瓦	c1920
糸園 和三部	鳩	1958

人と親しい生きものたち

野間 仁根	花園の友人	1936
平澤 熊一	草むら	1960年代
三芳 悌吉	初夏	1977
三代 本間 琢斎	蠟型鑄銅釣灯籠	1900
二代 宮田 藍堂	蠟型鑄銅ひねり「蓮の余情香炉」	1972
三芳 悌吉	踏切	1951
岩田 正巳	愛犬 大下絵	1947
P. デイヴィス	Jiggs II	不明
猪熊 弦一郎	犬とネクタイ	1991
加山 又造	白い華	1995
藤田 嗣治	猫	1934

峰村 リツ子	猫と裸婦	1988
渡邊 利雄	鏡の前で毛繕いする猫	1985
竹谷 富士雄	家族	1952
岩田 正巳	花さす人	1950
二代 宮田 藍堂	蠟型鑄銅ひねり一瞬置物	1976
牧野 虎雄	画帳	不明
岩川 義雄	山羊	1951
広川 操一	習志野の朝	1939
村山 徑	陽	1975
村山 徑	調教	1966
加山 又造	馬	1957
M. マリーニ	馬	1953
M. マリーニ	騎手のための構想・習作	1955
林 功	綱引き	1998
穂苅 春雄	大河渡る	2002
村山 徑	月雫	1967
坂本 繁二郎	牛	1915
小野 末	闘牛（猛進）	1977
小野 末	闘牛（突き上げる）	1977
小野 末	闘牛	1977

異国の動物たち

M. ドニ	ベンガル虎・パカス祭	1920
三浦 小平二	青磁飾り壺「インド虎」	2003
吉田 志麻	夜空―マサイマラ	1997
三浦 小平二	青磁蓋物「ラジャスタン文」	1991
加山 又造	月と駱駝	1957
三浦 小平二	青磁絵皿シルクロード	1978
桑原 実	ラクダの馭者（チュニジア）	1978
明田川 孝	若き蒙古	1938

三沢厚彦展関連「アニマルハウス」

小林 正人	画く力	1994
-------	-----	------

展示室3 近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年
A. フォンタネージ	ブジェイ高原	c1858-60
小山 正太郎	仙台の桜	1881
小山 正太郎	婦人	c1891
小山 正太郎	男の肖像	不明
小山 正太郎	中等臨画 第一編	1900
小山 正太郎	中等臨画 第二編	1900
小泉 成一	小春ノ日和	1888
浅井 忠	農人	1890
田中 本吉	仙台の桜模写	1894*
G. クールベ	エトルタ海岸、夕日	1869
C. F. ドービニー	オワーズ河、イル・ド・ヴォーの夜明け	1869
J. デュプレ	羊飼ひ	c1883
C. トロワイヨン	りんごの取り入れ	c1840
T. ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	c1845
C. コロー	ビブリ	1874-75
M. ドニ	夕映えの中のマルト	1892
C. モネ	コロンブの平原、霜	1873

【前期】

浅井 忠	岩礁のある海	不明
C. ワーグマン	新潟の家	1870
E. マネ	ベルト・モリソの肖像	1872
F. ビュオ	ジャボニスム：10のエッチング	1875-83
	扉絵	
	書評：蝶と蜻蛉	
	木彫りのお面	
	象牙の葉入れ	
	ブロンズの精	
	磁器のお茶入れ	
	漆塗りの銅製の花瓶	
	ヒキガエル―ブロンズのインク壺	
	騎手	
	大黒船	

【後期】

浅井 忠	海辺夕景	不明
浅井 忠	洋館風景	不明
E. マネ	マクシミリアンの処刑	1868
M. ドニ	夕映えの中のマルト	1892
C. モネ	コロンブの平原、霜	1873
F. H. ブラックモン	ブラックモンによる6枚の眞食銅版画1887年	1887
	表紙	
	雷雨	
	かもめ	
	葦と小鴨	
	つばめ	
	驚いた鴨	
	朝霧	

ロビー

三輪 晃勢	朱いトキ	1977
竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998

回廊

竹田 康宏	Under the leaves	1994
-------	------------------	------

*は寄託作品

第3期 2022年10月4日(火)～2023年1月9日(月・祝)(78日間)

※実質72日間。1/4～1/9は空調設備故障のため臨時休館。

前期：10月4日(火)～11月20日(日)

後期：11月22日(火)～1月9日(月・祝)

展示室1 雪国をえがく ― 栢森義・小島丹漾・富岡惣一郎 三人展 ―

展示室2 幻想世界 シュルレアリスムと美術

展示室3 近代美術館の名品

雪国をえがく

― 栢森義・小島丹漾・富岡惣一郎 三人展 ―

【趣 旨】

雪景や雪国で生活する人々を主題とした本県出身の三人の画家を選び、新潟の風土によって育まれた三者三様の表現を紹介した。

2022年に生誕100年を迎えた洋画家・富岡惣一郎（1922～1994）については、1960～80年代の雪にまつわる作品を集めて展示し、その表現の軌跡をたどった。没後30年となる洋画家・栢森義（1901～1992）については、晩年に制作された「雪女」シリーズの作品を展示した。生誕120年となる日本画家・小島丹漾（1902～1975）については、2点の本画とともに多数の小下絵を展示し、画家の創作の秘密に迫った。

【総 括】

●評価すべき点

- 各作家の作品をまとめて展示し、画題・作風を掘り下げて展示紹介できた。小島丹漾については本画と小下絵をあわせて展示することで、画家の制作過程を可視化できた。
- 富岡惣一郎が使用していた画材を南魚沼市トミオカホワイต์美術館から借用・展示し、画家独自の技法・素材の紹介に努めた。
- 栢森義の個人蔵作品を調査し、その成果を会期中に開催した美術鑑賞講座に反映できた。

●検討課題

- コレクション展の制約として、未所蔵の時代・傾向については紹介し切れない部分が残る。今回は図版パネルや関連講座での紹介により補ったが、今後可能な場合は作品の借用も模索していく。

【関連行事】

・美術鑑賞講座

「雪国をえがいた画家たちⅠ ― 栢森義・小島丹漾の画業について ―」

11月19日(土) 14:00～15:30 講堂

講師：長嶋圭哉（当館主任学芸員）

参加者数：13名

「雪国をえがいた画家たちⅡ ― 生誕100年 富岡惣一郎 ―」

12月10日(土) 14:00～15:30 講堂

講師：宮下東子（当館専門学芸員）

参加者数：31名

・映画鑑賞会

『にいがた偉人伝「富岡惣一郎」「小林古径」「渡辺義雄」』

12月3日(土) 14:00～ 講堂

参加者数：10名

【関連記事】

●新聞

11月18日(金) 新潟日報おとなプラス

「コレクション展『雪国をえがく』 3作家 独自の表現を追求」／河上進（ライター、編集者）

担当 長嶋圭哉

幻想世界 シュルレアリスムと美術

【趣 旨】

シュルレアリスムは1920年代のパリで誕生し、やがて国際的な広がりへと発展していった前衛芸術運動である。日本においても、昭和戦前期には自由な表現の場をもとめて、数多くの前衛グループが結成され、多様な展開をみせた。当館所蔵品には数はそれほど多くないが、ミロの連作版画《太陽の賛歌》やエルンストの《鳥＝人頭》などシュルレアリスムを代表する作家の作品が含まれている。特集の前半では、ヨーロッパのシュルレアリスム運動を担った作家たちを紹介し、後半では、日本のシュルレアリスムを取り上げて、吉原治良や末松正樹の戦前の作品から、岡本太郎や桂ゆきといった作家の戦後の活動へと至る流れを追った。

【総 括】

●評価すべき点

- 今回展示した井上愛也の《現実の具体》（個人蔵）は1936年の表現第2回展出品作である。調査の結果、同展を来日中のジャン・コクトーが訪れていたことが分かった。そのことを記述した堀口大學「コクトー口伝」の直筆原稿を当館が所蔵していたため、併せて紹介した。戦前のシュルレアリスム運動の息吹を伝えることができたのは収穫だった。

●検討課題

- 当館はこれまでシュルレアリスム作品を体系的に収集してきたとはいえず、所蔵品だけで同運動を歴史的に紹介するのは不十分な面があった。戦後の展開まで広義に含めることによって辛うじて成立したが、後半部分は意義が薄かった点は否めない。

【関連行事】

・美術鑑賞講座

「シュルレアリスムの時代 はじまりとおわり」

10月29日(土) 14:00～15:30 講堂

講師：藤田裕彦（当館学芸課長）

参加者数：49人

担当 平石昌子

【出品リスト】

展示室1 雪国をえがく ―栢森義・小島丹漾・富岡惣一郎 三人展―

作家名	作品名	制作年
富岡 惣一郎	雪原	1971
富岡 惣一郎	作品	1961
富岡 惣一郎	作品	1962
富岡 惣一郎	作品	1962
富岡 惣一郎	作品	1963
富岡 惣一郎	作品	1964
富岡 惣一郎	作品	1964
富岡 惣一郎	雪国	1971
富岡 惣一郎	雪国	1971
富岡 惣一郎	雪国シリーズ 北海道雷電海岸	1974
富岡 惣一郎	北アルプス信濃川源流	1976
富岡 惣一郎	富士雪景	不明
富岡 惣一郎	北の海 流氷	1985
富岡 惣一郎	イェントナー氷河マッキンレー山脈	1987

資料：富岡惣一郎愛用のパレットナイフ・
ペインティングナイフ／富岡惣一郎特製
TOMIOKA WHITE ミノー絵具（南魚沼市
トミオカホワイト美術館蔵）

展示室2 幻想世界 シュルレアリスムと美術

作家名	作品名	制作年
M. エルンスト	鳥＝人頭	1934-35

【前期】

J. ミロ	「太陽の賛歌」	1975
	2	
	3	
	4	
	6	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	

M. エルンスト	喜びの鳥	1971
G. キリコ	不思議な部屋の吟遊詩人	1972

【後期】

J. ミロ	「太陽の賛歌」	1975
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
	31	
	32	
	33	

J. ミロ	ユビュの子供時代 第7葉	1975
J. ミロ	ユビュの子供時代 第11葉	1975

栢森 義	織女の家路	1966
栢森 義	雪女	1967
栢森 義	踊る雪女	1967
栢森 義	ある雪の夜断	1973
栢森 義	夜の徘徊者と雪女	1977
栢森 義	鳥と木の実と女	1972
栢森 義	春の序奏	1975
小島 丹漾	河口暮色	1956
小島 丹漾	河口暮色 小下絵（5点）	c1956
小島 丹漾	待つ	1965
小島 丹漾	待つ 小下絵（7点）	c1965
小島 丹漾	雪の駅路 小下絵（8点）	c1954
小島 丹漾	雪国 小下絵（5点）	c1964
小島 丹漾	凍（吹雪）小下絵（6点）	c1967
小島 丹漾	白炎浄土 小下絵（3点）	c1975
明田川 孝	越後の乳くぼり	1938

日本のシュルレアリスム		1937
吉原 治良	静物	1929
井上 愛也	現実の具体	1936**
堀口 大樹	直筆原稿「コクトオ口伝」	1936
富樫 寅平	街	1930年代
平澤 熊一	長岡	c1940
難波田 龍起	森の詩	1960
難波田 龍起	針金のコラージュ	1989
難波田 龍起	鉄片のコラージュ	1990
糸園 和二郎	鳩	1958
工藤 甲人	夜	1963
山口 薫	夜明けの顔	1954
桂 ゆき	異邦人	1961
高井 貞二	MIDORI TO UZU	1965
宮城 輝夫	好色の鳥	1964*
岡本 太郎	顔	1965
川口 軌外	静物	1945
廣山 宇一	花	不明
倉石 隆	画室	1953
杉全 直	きっこう	1960
中山 剛郎	海の獲物	1954
森川 ユキエ	這	1959
I. ノグチ	陶芸：無題	1950

【前期】

濱谷 浩	學藝諸家 瀧口修造 詩人	
阿部 展也	なめくじ夜曲	1947
阿部 展也	「夜曲なめくじ」より	1949
阿部 展也	花子 #70	1948
阿部 展也	花のデッサン #107	1948
瑛九	森の太陽	1956

【後期】

末松 正樹	自画像	
難波田 龍起	線の遊び A	1954
難波田 龍起	線の遊び D	1954
難波田 龍起	怪奇な夢	1985
難波田 龍起	古代的幻想	1985
寺田 政明	カレイとカニ	1976

展示室3 近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年
A. フォンターネージ	ブジェイ高原	c1858-60
小山 正太郎	仙台の桜	1881
小山 正太郎	婦人	c1891
小山 正太郎	男の肖像	不明
小山 正太郎	中等臨画 第一編	1900
小山 正太郎	中等臨画 第二編	1900
小泉 成一	小春ノ日和	1888
浅井 忠	農人	1890
田中 本吉	仙台の桜模写	1894*
G. クールベ	エトルタ海岸、夕日	1869
C. F. ドービニー	オワーズ河、イル・ド・ウォーの夜明け	1869
J. デュプレ	羊飼ひ	c1883
C. トロワイヨン	りんごの取り入れ	c1840
T. ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	c1845
C. コロー	ビブリ	1874-75
J. E. ミレイ	アリス/グレイの肖像	1859
M. ドニ	夕映えの中のマルト	1892
C. モネ	コロンブの平原、霜	1873

【前期】

田中 本吉	釜戸	1888**
J. ティソ	新聞	1883
J. ティソ	夏の夕べ	1882
J. ティソ	野心を抱く女	1885
J. M. ホイッスラー	ロンドンのオールド・バターシー橋	1879

【後期】

高村 真夫	春日野	1911
E. ドラートル	ユイスマンスの肖像	1894
G. オリオール	最も高い氷の上でナイチンゲールが歌った	1895
A. シャルバンティエ	艀權船に乗った若い女性	1895
F. ビュオ	断崖：サン・マロの入江	1886-1990

ロビー

A. ロダン	考える人	1880
竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998

回廊

竹田 康宏	Under the leaves	1994
-------	------------------	------

*は寄託作品
**は個人蔵

第4期 2023年1月17日(火)～4月2日(日)(66日間)

前期：1月17日(火)～2月26日(日)

後期：2月28日(火)～4月2日(日)

展示室1 近代美術館の名品

展示室2 命脈 ― 命と美のつながり ―

展示室3 堺時雄 ピクトリアリズムへの招待

命脈 ― 命と美のつながり ―

【趣 旨】

当館コレクションの中から、親子や兄弟など、作家の血縁に着目して選出した。作家が置かれた環境の中で学び、身近にある先人（親・兄弟）の作品から真摯に学び、自身の表現の可能性を追求した様子を展示紹介した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・様々な関係の中で作品の豊かさを響き合わせ、そこから新たな道をひらこうとする作家の足跡を紹介することができた。

●検討課題

- ・作家の関係性についての解説文もいくつか用意したが、より多くの資料を準備していれば、もっと深く作品を味わうことができたのではないかな。

担当 金澤健志

堺時雄 ピクトリアリズムへの招待

【趣 旨】

堺時雄は新潟市南浜通（現・新潟市中央区）に生まれた。1919年東京美術学校臨時写真科に入学すると、めきめきと才能を発揮、担当教授より同校助手に請われる程であったが、卒業後は岐阜県の飛行第二大隊偵察隊に入隊する。そこで、航空写真を手掛けたのを皮切りに、除隊後は主婦之友社に入社し広告写真を撮影、ピクトリアリズムをはじめ、写真の様々な分野でも活躍を続けることになる。やがて日本は太平洋戦争に突入する。堺時雄は無事復員し、実家の写真館も再開したが、何故か芸術写真を撮ることはなかった。

本展では堺時雄自身がプリントした作品と、自身がガラス乾板で遺した作品を映像にて初めて紹介した。ガラス乾板は故・高晟俊（1974–2015）万代島美術館主任学芸員を中心にデジタル化を続けてきたものを使用した。なお、ガラス乾板は傷みや変色が多数見られたが、オリジナルを尊重して、そのままの色調でデジタル化を行っていた。今回の展示にあたっては、撮影当時のモノクロームの状態になるよう、色調補正を行い、当時のイメージを再現することに心掛けた。

【総 括】

●評価すべき点

- ・映像形式ではあるが、堺時雄の多彩な写真作品を初めて系統立てて紹介することができた。

●検討課題

- ・今回はある程度特定できる作品を紹介したが、ガラス乾板には文字情報の記載が少なく、制作年や主題、撮影の背景などがわからない。今後の課題となるだろう。

担当 藤田裕彦

【出品リスト】

展示室1 近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年
中島 萬木	長岡悠久山の松林	1971
小林 ドンゲ	花（堀口大學詩集『夕の虹』所収）	1957
小林 ドンゲ	くも（堀口大學詩集『夕の虹』所収）	1957
堀口 大學	詩集『夕の虹』限定版 小林ドンゲ創画	1957
佐々木 象堂	鑄銅花文花瓶	大正後期
佐々木 象堂	鑄銀馬置物	1933
津田 信夫	鑄銅鳳凰置物	1940
津田 信夫	銅鑄壺・波光連如	1942
香取 秀真	斑紫銅鑄銅壺	不明
目黒 順三郎	彫漆小笹文箱	1988
目黒 順三郎	彫漆雪割草文箱	1989
目黒 順三郎	彫漆丘小屏風	1950
目黒 順三郎	彫漆「網」屏風	1955
吉田 醇一郎	飾り衣桁	1938
吉田 醇一郎	小硯箱	1944
広川 松五郎	模絵紅梅図（光琳梗模図）	c1946
番場 春雄	残雪の椿園	1972
安宅 安五郎	姉弟	1931
牧野 虎雄	サンルーム	1929
安井 曾太郎	読書	1942
新保 兵次郎	帰巢	1969
平澤 熊一	草むら	1960年代
木村 忠太	桜樹のある村	1984
C. モネ	コロンブの平原、霜	1873
V. ゴッホ	長い棒を持つ農婦	1885
P. E. ランソン	収穫する7人の女性	1895
S. ピング編	「芸術の日本」	1888-9

展示室2 命脈 ―命と美のつながり―

作家名	作品名	制作年
三輪大次郎・晁勢・晃久		
三輪 大次郎	高原の朝	不明
三輪 大次郎	睡蓮の沼	不明
三輪 大次郎	苺	不明
三輪 大次郎	秋の森	不明
三輪 大次郎	米を洗う女	不明
三輪 晁勢	アダチオ	1949
三輪 晁勢	樹	1965
三輪 晁勢	菖蒲	1980
三輪 晁勢	街	1951
三輪 晃久	街	1976
三輪 晃久	秋氣	2000
三輪 晃久	明けゆく	1985
三輪 晃久	地	1980
三輪 晃久	山川悠遠	1997
三輪 晃久	森	1977
三輪 晃久	苑	1974

北村四海・正信

北村 正信	髪	1966
北村 四海	すみれ	1920

戸張幸男・公晴

戸張 幸男	片隅の男	1955
戸張 公晴	TORSO	c1990

原直樹・正樹・益夫

原 直樹	鑄銅壺銘花苑	1965
原 正樹	曲面の斜角柱	1970
原 益夫	エンドレス	1997

大矢紀・十四彦

大矢 紀	北に花咲く	1973
大矢 紀	北岬	1976
大矢 十四彦	明けゆく	2001
大矢 紀	信仰の島	1979
大矢 紀	清韻	1994
大矢 紀	煌	2005

宮田藍堂（二代）・宏平・脩平・亮平

宮田 藍堂（二代）	蠟型鑄銅ひねり「蓮の余情香炉」	1972
宮田 脩平	トルソ（一対）	1975
宮田 亮平	ゲルからの移行Ⅲ	1979
宮田 宏平（三代藍堂）	蠟型鑄金・終わりのない物語「恋秤」	1983

難波田龍起・史男

難波田 龍起	森の詩	1960
--------	-----	------

【前期】

難波田 史男	無題	1962
難波田 史男	海底電線	1967
難波田 史男	桜の散る頃	1968
難波田 史男	無題	1971
難波田 龍起	三角と円A	1957
難波田 龍起	丘の家々	1954
難波田 龍起	生成の詩A	1991

【後期】

難波田 史男	無題	1962
難波田 史男	夏の川とボート	1967
難波田 史男	無題	1971
難波田 史男	無題	1971
難波田 龍起	三角と円B	1957
難波田 龍起	街の印象	1984
難波田 龍起	生成の詩B	1992

展示室3 堺時雄 ピクトリアリズムへの招待

作家名	作品名	制作年
1. 東京美術学校時代		
堺 時雄	邁進の意気	1922
堺 時雄	死の花	1920
堺 時雄	題不明（少女）	1922
堺 時雄	修道院の壁	1921
堺 時雄	大連郊外	1922
堺 時雄	レクイエム	1922

2. 富士山／雲

堺 時雄	題不明（富士山）	1922-24
堺 時雄	富士山	1922-24
堺 時雄	富士山暮色中庭	1928-35
堺 時雄	題不明（雲）	1922-24
堺 時雄	雲17	1922-24
堺 時雄	題不明（山脈と雲）	1922-26

3. 海

堺 時雄	題不明（海辺あるいは日本海の落日）	1922
堺 時雄	題不明（海辺）	1922-26
堺 時雄	題不明（海辺の舟）	1922-26
堺 時雄	題不明（波）	1922-26
堺 時雄	題不明（波）	1922-26
堺 時雄	題不明（猫柳）	1936-41

4. 風景

堺 時雄	題不明（さざなみ）	1922-26
堺 時雄	題不明（睡蓮）	不明
堺 時雄	築地	1927
堺 時雄	禅（あるいは蟬）古の閑	1928
堺 時雄	題不明（外人墓地）	1928-33
堺 時雄	題不明（軽井沢万平ホテル）	不明
堺 時雄	新潟砂丘（本館時代）	1928-33

5. 人

堺 時雄	シルエット	1926
堺 時雄	題不明（婦人像 横顔）	1926
堺 時雄	ソフィア（婦人像 正面）	1926
堺 時雄	ソフィア（婦人像 斜め右向き）	1926
堺 時雄	《窓辺》あるいは《窓辺の女の子》	1927
堺 時雄	ヘティ高	1928-32

※映像紹介エリア

堺 時雄	資料：ガラス乾板	
堺 時雄	ガラス乾板 映像（東京美術学校時代/主婦の友社の頃/航空写真/主婦の友社の頃Ⅱ・Ⅳ/広告写真から芸術へ/風景写真/ピクトリアリズムⅠ-Ⅲ） 20分	
堺 時雄	早春	1927
堺 時雄	下萌	1926
堺 時雄	異人池（新潟カトリック教会付近）	1922-26

6. 空

堺 時雄	戦闘中の美観	1925-26
堺 時雄	資料 紅谷吉之助編「アカシア写真サロン1935」	
堺 時雄	題不明（雲と飛行機）	1925-26
堺 時雄	題不明（雲）	c1922-24

7. 静物／コラージュ

堺 時雄	静物	1930
堺 時雄	題不明（ハンカチとクローバーⅡ）	1928-33
堺 時雄	題不明（花とシルエットとレコード）	1928
堺 時雄	題不明（ビクターレコード）	1928-33
堺 時雄	題不明（花と骸骨のコラージュ）	1936-41
堺 時雄	《芸術は不朽》あるいは《吾魂の墓》	1920

回廊

竹田 康宏	Under the leaves	1994
-------	------------------	------

ロビー

竹田 康宏	Under the leaves 98 AU "Let's stay right here"	1998
-------	--	------

企 画 展



平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰

【趣 旨】

ユネスコの世界文化遺産にも登録される古都京都の名刹、平等院（京都府宇治市）の代表的寺宝を紹介する企画展。2021年から、当館を含め3会場で巡回開催した。

11世紀初頭、疫病（天然痘）の流行や地震の頻発、相次ぐ合戦などによって世に不安と混乱が広がりつつあった時代、貴族の別荘地であった宇治川沿いにある邸を藤原道長が譲り受け、「末法初年」とされた1052年、息子の藤原頼通が寺院に改めたのが平等院の始まりである。現世に極楽浄土を再現するべく壮大な伽藍が整備され、その中心となる鳳凰堂には定朝作の本尊・阿彌陀如来坐像（国宝）を安置し、堂内には鮮やかな彩色による浄土図や来迎図が描かれた。

平等院では近年、創建当初の姿の復元を目指し、鳳凰堂の修理や調査研究が進められている。本展では、《雲中供養菩薩像》（国宝）に代表される鳳凰堂ゆかりの名品を中心に、調査研究の過程で発見された貴重な宝物や、創建期の鳳凰堂の姿を後世の彫刻家・工芸家らが復元した模写・模造、塔頭浄土院に伝わる養林庵書院襖絵等も紹介した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・他会場の視察結果を踏まえて展示計画を綿密に行うことで、国宝を含む多種多様な展示品を安全かつ効果的に展示できた。
- ・当館及び共催メディア双方の努力により実現した物販も含め、コロナ禍で旅行の計画が立てにくい中、美術展を通して県民の観光ニーズに応えることができた。

●検討課題

- ・来館者アンケートではキャプションの体裁や内容に関する不満が目立った。当館に専門の学芸員がおらず、展示ラインナップや図録、パネル・キャプション等について主体的に検討することが出来なかったため、改善に繋がらなかった。
- ・今後の企画展では、展示内容や掲示物等について、来館者視点に立ちながらより綿密に検討し、来館者満足度向上に努める。

【開催日・その他】

=2022年4月23日(土)～6月5日(日) (41日間)=

休館日：4月25日(月)、5月16日(月)、5月23日(月)

会期中一部展示替え（前期：～5月15日(日)／後期：5月17日(火)～）

主 催：新潟県立近代美術館、TeNYテレビ新潟、平等院鳳凰堂と浄土院新潟展実行委員会、読売新聞社、平等院浄土院

後 援：新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、（公財）長岡市芸術文化振興財団、新潟日報社、長岡新聞社、NCT、FM新潟77.5、FMながおか80.7、新潟県仏教会

協 力：新潟県立美術館友の会

観覧料：一般……………1,500円(1,300円)〈1,300円〉

大学・高校生……………1,300円(1,100円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金



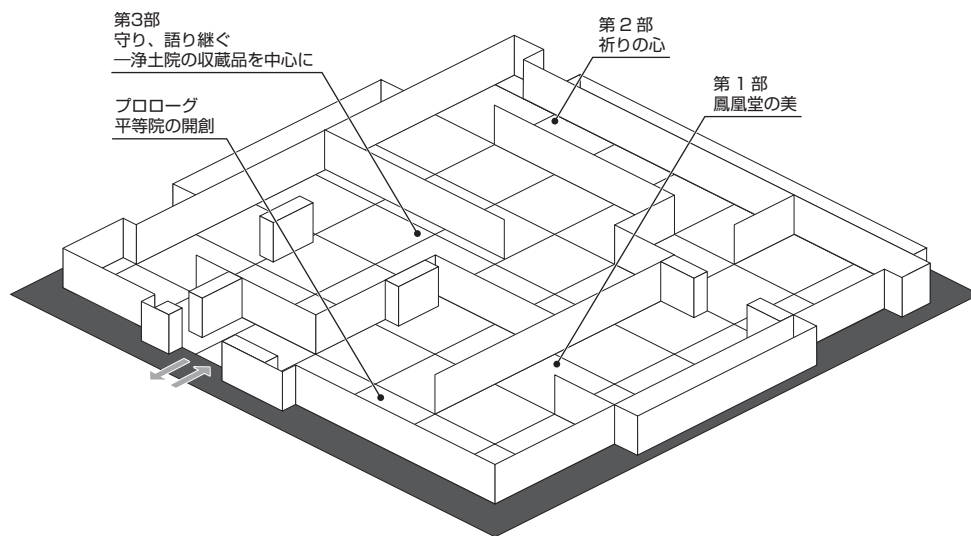
【関連行事】

- ・講演会「平等院 美と信仰の軌跡」
4月23日(土) 14:00～15:30 講堂
講師：神居文彰氏（平等院住職）
参加者数：66名（コロナ禍で定員制限あり）
- ・講演会「和様成立—平等院鳳凰堂の仏像—」
5月28日(土) 14:00～15:30 講堂
講師：山本勉氏（鎌倉国宝館長、半蔵門ミュージアム館長、
清泉女子大学名誉教授、東京国立博物館名誉館員）
参加者数：71名（コロナ禍で定員制限あり）
- ・トーク&ミニコンサート「いにしえから現代へ」
※(公財)長岡市芸術文化振興財団連携事業
4月28日(木) 14:00～15:30 講堂
出演：アンサンブル・オビリー（弦楽四重奏）
解説：長嶋圭哉（当館主任学芸員）
ナビゲーター：日高優希（TeNYアナウンサー）
参加者数：65名（コロナ禍で定員制限あり）
- ・ギャラリートーク「学芸員による10分間ミニトーク」
①5月1日(日)、②5月15日(日)、③5月29日(日)
各日10:30～／11:00～／13:30～／14:00～ 企画
展示室ロビー
講師：長嶋圭哉（当館主任学芸員）
参加者数：118名 ①38名（10名／10名／9名／9名）、
②39名（11名／8名／10名／10名）、③41
名（10名／10名／10名／11名）
- ・ワークショップ「切り絵 de 雲中供養菩薩」
※新潟県立美術館友の会主催
6月4日(土) 14:00～15:30 講座室
講師：山本正明氏（新潟県立美術館友の会副会長）
参加者数：7名

【図 録】

- 仕様：A4判 144頁
監修：石川登志雄（京都産業大学文化学部教授）
執筆：神居 文彰（平等院住職）
神居 俊孝（平等院執事）
田中 正流（平等院ミュージアム鳳翔館学芸員）
野村 渚（平等院ミュージアム鳳翔館学芸員）
荻山 愛華（平等院ミュージアム鳳翔館学芸員）
五味 俊晶（愛媛県美術館学芸員）
高橋 哲也（静岡県美術館学芸員）
坪内 淳仁（宇治市源氏物語ミュージアム学芸員）
編集：読売新聞社
印刷：ニューカラー写真印刷株式会社
発行：読売新聞社
内容：ごあいさつ
紡がれる軌跡（神居文彰）
[総論]
平等院と浄土院—その歴史と文化財（石川登志雄）
[図版]
プロローグ 平等院の開創
第一部 鳳凰堂の美
第二部 祈りの心
第三部 守り、語り継ぐ—浄土院の収蔵品を中心に
作品解説
平等院略年表
出品目録
主要参考文献





【関連記事】

●新聞

4月26日(火)、27日(水)、28日(木) 読売新聞
「平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰」(名品紹介)／長嶋圭哉
5月1日(日) 読売新聞
「交差点 光の寺から届いた名品」／富田智晃

その他 読売新聞(4/23、5/21)
村上新聞(3/19)
十日町新聞(4/7)
妻有新聞(4/9)

●雑誌

月刊ウインド6月号

●テレビ

4月22日(金) TeNYテレビ新潟「新潟一番」／神居文彰
5月8日(日) TeNYテレビ新潟「新潟一番サンデープラス」
／長嶋圭哉

●WEB

5月11日(水) WebSkip
「国宝が長岡に舞い降りる『平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰』 at 新潟県立近代美術館」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	12,150
	前売	2,368
無料観覧者数	招待	1,619
	無料	777
	免除	943
総観覧者数		17,857
有料率(%)		81.3

担当 長嶋圭哉

【出品リスト】

※No.28は欠番となる。

※「指定」欄の記号は、●国宝、○京都府指定文化財、△宇治市指定文化財を意味する。

No.	指定	作品名・作者等	制作時期（時代・世紀・年）	所蔵者	展示期間
プロローグ 平等院の開創					
1		藤原頼通像	江戸時代（17～18世紀）	浄土院	
2	○	平等院旧起（仮名本） 良純親王 筆	江戸時代 寛永17年（1640）	浄土院	巻替
3		平等院旧起（真名本）	江戸時代（17世紀）	浄土院	巻替
4		平等院庭園跡出土瓦			
		－1 蓮華文軒丸瓦・唐草文軒平瓦	平安～鎌倉時代（11～14世紀）	平等院	
		－2 鬼面文軒丸瓦	平安～鎌倉時代（11～14世紀）	平等院	
		－3 鬼面文鬼瓦	平安～鎌倉時代（11～14世紀）	平等院	
5		大日如来仏手	平安時代（11世紀）	浄土院	
6		源氏物語 伝 中院通古 筆	江戸時代（18世紀）	京都府立京都学・歴史館	
7		源氏絵鑑帖 伝 土佐光則 筆	江戸時代（16～17世紀）	宇治市源氏物語ミュージアム	場面替
第1部 鳳凰堂の美					
8		鳳凰像 模造	昭和31年（1956） 原品：平安時代（11世紀）	平等院	
9		鳳凰堂飾金具			
		－1 金銅宝相華唐草文透金具	平安～鎌倉時代（11～14世紀）	浄土院	
		－2 金銅宝相華唐草文透金具	平安～鎌倉時代（11～14世紀）	浄土院	
		－3 鉄地銅象嵌鍍金花先形金具	平安～鎌倉時代（11～14世紀）	浄土院	
参考1		鳳凰堂飾金具 復元 京都社寺鋳漆株式会社 作			
		－1 金銅宝相華唐草文透金具 復元	平成27年（2015）	個人蔵	
		－2 金銅宝相華唐草文透金具 復元	平成27年（2015）	個人蔵	
		－3 金銅花菱金具 復元	平成27年（2015）	個人蔵	
		－4 金銅六葉形釘隠 復元	平成27年（2015）	個人蔵	
10		鳳凰堂天蓋 復元模造（部分） 公益財団法人美術院 作	平成18～19年（2006～07）	文化庁	
11		心月輪及び蓮台 模造 新納忠之介 作	明治38～40年（1905～07） 原品：平安時代 天喜元年（1053）	奈良国立博物館 原品：平等院	
12		本尊阿弥陀如来坐像台座華盤納入品			
		－1 瓔珞片	平安時代（11～12世紀）	平等院	
		－2 ガラス玉	平安時代（11～12世紀）	平等院	
		－3 ガラス壺残闕	平安時代（11～12世紀）	平等院	
		－4 截金ガラス 壺蓋	平安時代（11～12世紀）	平等院	
		－5 古銭	唐～南宋時代（8～13世紀）	平等院	
		－6 螺鈿残闕	平安時代（11～12世紀）	平等院	
参考2		截金ガラス 壺蓋 復元 制作：藤原信幸、海藤博 化学分析：中井泉、白瀧絢子 監修：井上暁子 截金：小椋範彦、松崎森平	平成22年（2010）	平等院	
参考3		瓔珞 復元 ガラス玉：松田有利子 螺鈿細工：青木泰英 金銅金具：渡辺寛規 組立：あさのゆかり	平成22年（2010）	平等院	
参考4		ガラス壺 復元 制作：藤原信幸、海藤博 化学分析：中井泉、白瀧絢子 監修：井上暁子	平成22～23年（2010～11）	平等院	
13	●	雲中供養菩薩像			
		－1 北1号	平安時代 天喜元年（1053）	平等院	前期
		－2 北13号	平安時代 天喜元年（1053）	平等院	後期
		－3 南1号	平安時代 天喜元年（1053）	平等院	後期
		－4 南14号	平安時代 天喜元年（1053）	平等院	前期

14	雲中供養菩薩像 模刻			
	-1	南20号 模刻 中村美緒 作	令和2年(2020) 原品:平安時代 天喜元年(1053)	浄土院 原品:平等院
	-2	南21号 模刻 村上清 作	平成10年(1998) 原品:平安時代 天喜元年(1053)	平等院
15	鳳凰堂壁扉画(九品来迎図)模写			
	-1	上品上生図 模写 入江波光、河津光俊 筆	昭和29~31年(1954~56) 原品:江戸時代 寛文10年(1670)	奈良国立博物館 原品:平等院 前期
	-2	上品中生図 模写 林屋源之助、川面稜一 筆 落書:松元道夫 筆	昭和29~31年(1954~56) 原品:平安時代 天喜元年(1053)	奈良国立博物館 原品:平等院 後期
	-3	上品下生図 模写 吉田友一、川面稜一 筆	昭和29~31年(1954~56) 原品:平安時代 天喜元年(1053)	奈良国立博物館 原品:平等院 前期
	-4	中品上生図 模写 松元道夫 筆	昭和29~31年(1954~56) 原品:平安時代 天喜元年(1053)	奈良国立博物館 原品:平等院 後期
	-5	中品中生図 模写 吉田友一、川面稜一 筆	昭和29~31年(1954~56) 原品:鎌倉時代(13世紀)	奈良国立博物館 原品:平等院 前期
	-6	下品上生図 模写 入江波光 筆	昭和29~31年(1954~56) 原品:平安時代 天喜元年(1053)	奈良国立博物館 原品:平等院 後期
16	平等院鳳凰堂色紙形写		江戸時代 寛政11年(1799)	浄土院 巻替
17	鳳凰堂壁扉画 想定復元模写			
	-1	中品中生図 想定復元模写 荒木恵信 筆	平成26年(2014)	平等院
	-2	日想観図 想定復元模写 荒木恵信 筆	平成24年(2012)	平等院
18	仏後壁・天人部分 復元模写 荒井経 筆 截箔:並木秀俊 檜材調製:藤曲隆哉		平成25年(2013)	個人蔵
19	鳳凰堂内彩色 模写(柱) 山崎昭二郎 筆		昭和29~31年(1954~56)	平等院 前後期 各2幅
20	鳳凰堂内彩色 復元模写			
	-1	鳳凰堂内彩色 復元模写(北面柱内法長押上) 馬場良治 筆	平成30年(2018)	平等院 前期
	-2	鳳凰堂内彩色 復元模写(来迎柱) 馬場良治 筆	平成16~18年(2004~06)	文化庁
	-3	鳳凰堂内彩色 復元模写(肘木・間斗束・卷斗) 馬場良治 筆	平成18~21年(2006~09)	平等院 後期



第2部 祈りの心				
21		聖観音立像	平安時代（11世紀）	浄土院
参考5		聖観音立像 想定復元図 公益財団法人美術館 作	平成29年（2017）	浄土院
22	△	伝 帝釈天立像	平安時代（11世紀）	浄土院
23	△	不動明王及び二童子像	不動明王像：平安時代（12世紀） 二童子像：江戸時代 正保3年（1646年）	平等院
24		女神坐像	平安時代（11世紀）	最勝院
25		源頼政像	江戸時代	浄土院
26		源頼政像（最勝院本）	室町時代（15世紀）	最勝院 前期
27		源頼政像（浄土院本）	室町時代（15～16世紀）	浄土院 後期
29		阿弥陀三尊像（伝釈迦三尊像） 伝 張思恭 筆	高麗時代（14世紀）	浄土院 前期
30	○	平等院修造勸進状 三条西実隆 筆	室町時代 明応9年（1500）	浄土院 巻替
31	○	平等院修造勸進状写	江戸時代（17世紀）	浄土院
32		鳳凰堂古瓦 龍頭瓦	室町時代（15～16世紀）	平等院
33		地藏菩薩半跏像	南北朝時代（14世紀）	浄土院
34		平等院参詣図	江戸時代（17～18世紀）	浄土院
35		宇治平等院図屏風 勝川春亭 筆	江戸時代	平等院
36		平等院勸進状 松花堂昭乗 筆	江戸時代 寛永4年（1627）	平等院
37		紺紙金字仏説阿弥陀経 檀譽龍極 筆	江戸時代 慶安5年（1652）	浄土院 巻替
38		宇治平等院奉加帳 専誉俊童 筆	江戸時代 寛文10年（1670）	浄土院
39		鳳凰堂古瓦		
		－1 丸瓦	江戸時代 寛文10年（1670）	平等院
		－2 平瓦	江戸時代 寛文10年（1670）	平等院
		－3 巴文軒丸瓦・唐草文軒平瓦	江戸時代 寛文10年（1670）	平等院
40		阿弥陀来迎図 左近貞綱 筆	江戸時代（17世紀）	浄土院 後期
41		般若心経 近衛家熙 筆	江戸時代 宝永7年（1710）	浄土院
42		平等院明治修理帖 新納忠之介 筆	明治39年（1906）	平等院 頁替
第3部 守り、語り継ぐ—浄土院の収蔵品を中心に				
43		平等院境内古図（浄土院本 甲図）	江戸時代（17世紀）	浄土院
44	△	養林庵書院襖絵		
		－1 籬に梅図 伝 狩野山雪 筆	江戸時代（17世紀）	浄土院
		－2 籬図 伝 狩野山雪 筆	江戸時代（17世紀）	浄土院
45		阿弥陀如来坐像	江戸時代初期（17世紀）	浄土院
46		靈元天皇綸旨	江戸時代 寛文9年（1669）	浄土院
47	△	和漢朗詠集巻下断簡（平等院切） 伝 源頼政 筆	平安時代（12世紀）	浄土院
48		木彫像残闕	平安～鎌倉時代（11～14世紀）	浄土院
49		飛天像	平安～鎌倉時代（11～14世紀）	浄土院
50		平等院型名号釜	桃山時代 天正16年（1588）	浄土院
51		宇治茶摘図 狩野洞春美信 筆	江戸時代（18世紀）	平等院
52		通圓茶亭図 富岡鉄斎 筆	明治～大正時代（19～20世紀）	浄土院
53		当古来迎図 山口晃 筆	平成24年（2012）	浄土院



三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA

【趣 旨】

彫刻家・三沢厚彦（1961ー）が2000年から手がけている代表的シリーズ「ANIMALS」。樟を素材に様々な動物の姿を等身大に彫り出し油絵具で彩色を施した木彫は、圧倒的な存在感を放ち、幅広い鑑賞者の心を捉えてきた。そのモチーフは、イヌやネコといった身近な動物から、近年では麒麟やキメラといった空想上の生き物まで挑戦の域を広げ、写実とは異なる独特のリアリティを追求し続けている。本展では、代表作アニマルズを中心に、最新作を含む彫刻と絵画およそ100点を紹介。同時期のコレクション展では、三沢展開催期間中だけのコラボレーション展示を実施。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020年本展は開催中止となったが、2年越しでの開催となった。

【総 括】

●評価すべき点

- ・作家の意見を反映させながら、当館独自の会場展示プランを展開することができた。また三沢の作品を点在させたコレクション展開連展示は好評だった。
- ・共催メディアの協力により、作家インタビューやミニ番組の制作、また県立自然科学館で同時期開催展示との広報連携などを精力的に行い、会期中充実した広報を展開することができた。

●検討課題

- ・会期序盤から新型コロナウイルス第7波の流行が重なり、客足が思うように伸びなかった。
- ・会期中に充実したイベントや広報を実施できた一方、開幕前広報の不足を感じた。開幕前に展覧会を周知する方法の充実を探りたい。
- ・今後に活かせるような多様なイベントを展開できた一方、担当が会期中準備に追われた。人員が削減されているが、複数人体制での運営体制を早い時期から構築すべきだった。

【開催日・その他】

＝2022年7月16日(土)～9月25日(日)（62日間）＝

休館日：7月19日(火)、7月25日(月)、8月1日(月)、8月15日(月)、8月22日(月)、8月29日(月)、9月5日(月)、9月12日(月)

主 催：新潟県立近代美術館、TeNYテレビ新潟、三沢厚彦展
新潟実行委員会

後 援：新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、新潟市教育委員会、(公財)長岡市芸術文化振興財団、長岡新聞社、NCT、FMラジオ新潟77.5、FMながおか80.7、エフエムしばた

協 力：西村画廊、アニマルハウス、山口製材、長岡造形大学、新潟県立美術館友の会

観覧料：一般……………1,400円(1,200円)〈1,200円〉
大学・高校生…………1,200円(1,000円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金



【関連行事】

- ・クロストーク 三沢厚彦×青木野枝
7月31日(日) 14:00～15:30 講堂
講師：三沢厚彦氏、青木野枝氏（彫刻家）
司会：藤田裕彦（当館学芸課長）
参加者数：72名（コロナ禍で定員制限あり）
- ・ミニコンサート&ギャラリートーク
～「きいて！」「みて！」親子で楽しむどうぶつ大行進～
※(公財)長岡市芸術文化振興財団連携事業
7月31日(日) 17:30～18:30 展示室受付前、企画展示室
出演：歌／長岡少年少女合唱団、トーク／三沢厚彦氏、
司会／豊岡えりな氏（TeNYリポーター）
参加者数：25名（コロナ禍で定員制限あり）
- ・ゆうがたギャラリートーク
8月20日(土) 17:30～18:30 企画展示室
講師：三沢厚彦氏
参加者数：20名（コロナ禍で定員制限あり）
- ・ワークショップ「クスノキの木っ端でどうぶつをつくらう」
8月21日(日) A／10:30～12:00、B／14:00～15:30
ショップ前ロビー
参加費：500円
講師：三沢厚彦氏
参加者数：34名（付き添いの保護者含む）
- ・長岡造形大学作品展×三沢厚彦「今、気になるものを表現する」／みんなのあにまるず絵画展
会期：8月11日(休・祝)～8月28日(日) 9:00～17:00
2Fギャラリー（入場無料）
入場者数：1,664名
※8月20日(土)には三沢厚彦氏による長岡造形大学作品展講評会を実施。

・期間限定特別演出

概要：薄暗い会場にスポットライトの明かりだけで作品を照らし、いつもと違った雰囲気の中で作品を楽しむ特別演出。

日時：9月6日(火)～9月16日(金)（※休館日除く）13:00～13:15／14:00～14:15／15:00～15:15の3回、各15分 企画展示室

・夏休み！スペシャルスタンプラリー

主催：TeNYテレビ新潟
8月2日(火)～8月28日(日)

・はっぴーママ新潟版 表紙モデルオーディション

主催：昭栄印刷株式会社
7月17日(日)

【図録】

仕様：190×190mm 48頁

編集：伊澤朋美（当館主任学芸員）

デザイン：山下洋平

制作・印刷：昭栄印刷株式会社

内容：ごあいさつ

三沢厚彦「『ANIMALS IN NAGAOKA』に寄せて」

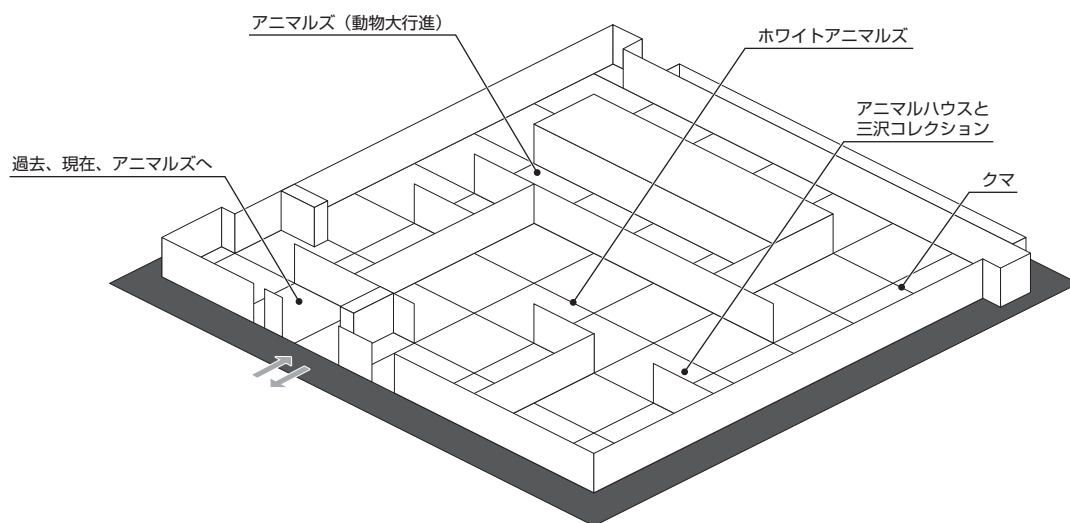
図版

掲載作品リスト

伊澤朋美「光の先へ、歩みだす『キメラ』」

作家略歴、展覧会歴





【関連記事】

●新聞

8月30日(火) 新潟日報 「展覧会へようこそ 三沢厚彦
ANIMALS IN NAGAOKA」 伊澤朋美
その他 小千谷新聞 (8/13)
新潟日報 (8/22)

●雑誌

Komachi 8、9、10月号
はっぴーママ新潟版 7・8月号、9・10月号
月刊にいがた 8月号

●テレビ

7月13日(水) TeNYテレビ新潟「夕方ワイド新潟一番」特集
TeNYテレビ新潟「夕方ワイド新潟一番」週末ガイド(6/24、
7/1、7/15、8/12、9/2、9/9、9/16、9/23)
TeNYテレビ新潟「夕方ワイド新潟一番」エンディング(8/8、
8/9、8/10、8/15、8/17、8/19、8/23、8/30、
9/1、9/2、9/23)
9月4日(日) TeNテレビ新潟「新潟一番サンデープラス」
9月13日(火) TeNYテレビ新潟「にいがた見つけたい」

●WEB

6月18日(土) 025ゼロニゴ
「[7/16から開幕] 大！迫！力！等身大彫刻の動物たちが大
集合！「三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA」」
7月16日(土) 025ゼロニゴ
「[本日開幕！プレゼントあり！]「三沢厚彦 ANIMALS IN
NAGAOKA」新潟県立近代美術館がまるで動物園!？」
7月16日(土) 美術展ナビ
「[開幕]「三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA」展 等身
大の動物の圧倒的存在感 新潟県立近代美術館で9月25日

まで」

7月23日(土) 日刊にいがた
「個性豊かなアニマルがいっぱい！彫刻家・三沢厚彦の作品
が長岡にやってくる」
8月14日(日) Web Skip
「個性豊かな動物大集合！「三沢厚彦 ANIMALS IN
NAGAOKA」at 新潟県立近代美術館」
8月29日(月) トキっ子クラブ
「長岡市で開催中！まるで彫刻の動物園」
9月3日(土) 読売新聞オンライン
「長岡の美術館 三沢厚彦展に1万人 動物彫刻100点」
9月5日(月) 日刊にいがた
「まるで彫刻の動物園！ ユーモラスで大迫力のアニマルズ
に会いに行こう！ | 長岡市」
9月13日(火) 025ゼロニゴ
「[9/25まで!!] 芸術の秋に大迫力の動物彫刻を見にいきま
した！「三沢厚彦アニマルズ展 #にいがた見つけたい」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	8,712
	前売	688
無料観覧者数	招待	1,936
	無料	3,681
	免除	680
総観覧者数		15,697
有料率 (%)		59.7

担当 伊澤朋美

【出品リスト】

No.	作品名（作家名、作品名）	動物メモ	制作年	材質技法	寸法(高さ×幅×奥行/縦×横)cm	所蔵
エントランス～企画展示室前ロビー						
1	Animal 2013-S-01	クマ	2013	御影石	65.5×27.5×30.0	
2	Animal 2015-06B1	リス	2015	ブロンズ、塗料、油彩	35.5×17.5×41.5	
3	Animal 2009-02B	クマ・茶	2009	ブロンズ、塗料、油彩	110.0×46.0×64.0	
4	Bird 2009-01B1	ミミズク	2009	ブロンズ、塗料、油彩	57.0×22.0×35.7	
5	Painting 2022-34	森のなかのクマ	2022	アクリル、パネル	99.5×90.0	
6	Animal 2013-B	ヒョウ	2018	ブロンズ、塗料、油彩	65.8×26.2×64.0	
7	Animal 2017-02	スピリットベア	2017	樟、油彩	215.0×106.0×130.0	
過去、現在、アニマルズへ						
8	彫刻家の棚（画家へのオマージュ）		1993	木、石膏、布、紙、鉄、油彩、アクリル	200.0×150.0×140.0	
9	彫刻家の棚（彫刻家へのオマージュ）		1993	木、石膏、布、紙、油彩、アクリル	197.0×150.0×140.0	
10	Dog	イヌ	1987	樟、油彩	97.0×30.0×110.0	
11	Cat 2000-01	ネコ	2000	樟、アクリル	34.5×19.0×91.1	
12	動物たち		2003	紙、アクリル、グアッシュ、墨、色鉛筆	94.0×78.0	
13	Cat 2013-01	ネコ	2013	樟、油彩	67.5×31.0×37.0	
14	Painting 2022-02	双頭ライオン	2022	キャンバス、油彩	117.0×91.0	
15	コロイドトンプ（ヒトウマ）		1998	ミクストメディア	237.0×240.0×240.0	
16	Strut 2020-05		2020	ミクストメディア	32.0×43.0×40.0	
17	Painting 2021	ドット（小）	2021	パネル、油彩	30.0×30.0	
18	Painting 2020-04	抽象	2020	キャンバス、油彩	53.5×45.5	
19	Painting 2020-05	抽象	2020	キャンバス、油彩	53.5×45.5	
20	Painting 2020-06	抽象	2020	キャンバス、油彩	53.0×45.5	
21	Strut 2020-06		2020	ミクストメディア	114.0×35.0×37.5	
22	Strut 2020-03		2020	ミクストメディア	154.0×41.0×36.0	
23	Strut 2020-02		2020	ミクストメディア	101.8×31.6×30.2	
24	Fish 2015-01	サメ	2015	樟、油彩	99.0×208.0×83.0	
25	Head 2000-22	イヌ	2000	樟、油彩	12.5×14.0×14.5	
26	Head 2000-17	トラ	2000	かつら、油彩	14.8×13.0×14.5	
27	Head 2009-01	クマ・黒	2000	樟、油彩	16.0×17.0×17.0	
28	Animal 2016-06	カエル	2016	樟、油彩	5.5×11.2×13.0	
29	Animal 2005-07	カエル・茶	2005	樟、油彩	5.5×9.0×11.0	
30	Animal-C 2017-07	イヌ	2017	セラミック、釉薬	27.0×17.0×35.0	
31	Animal-C 2017-10	クマ	2017	セラミック、釉薬	52.0×28.0×22.0	
32	Animal-C 2012	クマ	2012	セラミック、釉薬	26.0×16.0×24.0	
33	Insect 2017-01	セミ	2017	樟、油彩	3.5×9.0×4.5	
34	Bird 2011-02	ツメナガセキレイ	2011	樟、油彩、アクリル、色鉛筆	18.3×9.2×15.5	
35	Bird 2018-02	トリ・青	2018	樟、油彩	13.3×9.0×17.5	
アニマルズ（動物大行進）						
36	Animal 2015-06	リス・グレー	2015	樟、油彩	36.5×17.0×36.5	
37	Animal 2011-05	アイベックス	2011	樟、油彩	227.0×78.5×190.0	
38	Animal 2013-05	チーター	2013	樟、油彩	67.5×28.5×63.0	
39	Cat 2010-04	アメショー	2010	樟、油彩	41.0×18.5×105.5	
40	Animal 2010-01	シロサイ	2010/22	樟、油彩	184.0×106.0×390.0	
41	Cat 2022-01	ネコ・白	2022	樟、油彩	20.0×21.5×58.5	
42	Animal 2008-02	キリン	2008	樟、油彩	290.0×60.0×140.0	
43	Animal 2018-03	カモシカ	2018	樟、油彩	178.5×76.0×205.0	
44	Animal 2005-05	マルミミゾウ	2005	樟、油彩	217.0×160.0×337.0	個人
45	Animal 2022-03	ウサギ・白黒	2022	樟、油彩	77.0×24.0×40.5	
46	Dog 2010-03	ブルテリア	2010	樟、油彩	57.0×21.0×73.0	
47	Animal 2010-13	ヤモリ	2010	樟、油彩	3.6×9.7×22.0	
48	Bird 2007-01	カンムリワシ	2007	樟、油彩	62.0×166.0×72.0	
49	春の祭典		2016	パネル、アクリル、色鉛筆	240.0×540.0	
50	Painting 2022-31	山とトリ	2022	パネル、アクリル	36.5×25.5	
51	Painting 2022-21	ウサギ・白黒	2022	キャンバス、アクリル	65.5×53.0	
52	Painting 2022-19	ミミズク	2022	キャンバス、アクリル	65.5×53.0	
53	Painting 2022-10	サイ	2022	キャンバス、アクリル	91×117	
54	Painting 2022-14	コウモリ	2022	キャンバス、アクリル	80.5×100	

55	Painting	2022-04	キリン	2022	パネル、アクリル	180.0×89.5
56	Painting	2022-15	ワニと鳥	2022	キャンバス、アクリル	80.5×100
57	Painting	2018-14	双頭ライオン	2018	キャンバス、油彩	91.0×116.5
58	Painting	2022-03	トラ	2022	パネル、アクリル	91.0×182.0
59	Painting	2020-07	イヌ	2020	キャンバス、油彩	53.0×45.5
60	Painting	2013-25	ボストンテリア	2013	パネル、紙、アクリル、墨	50.0×65.3
61	Painting	2014-10	タヌキ	2014	キャンバス、アクリル	50.3×72.2
62	Painting	2020-03	ネコ・黒	2020	キャンバス、油彩	40.0×38.5
63	Painting	2022-22	ネコ・白	2022	キャンバス、アクリル	61.0×50.0
64	Painting	2022-24	ネコと鳥	2022	キャンバス、アクリル	50.0×61.0
65	Painting	2022-28	2匹のネコ	2022	パネル、アクリル	60.5×72.0
66	Painting	2018-02	麒麟	2018	パネル、油彩	116.7×91.0
67	Painting	2022-01	ゾウ	2022	パネル、アクリル	182.0×183.0
68	Painting	2018-13	チーター	2018	キャンバス、油彩	100.0×80.0
69	Painting	2016	タカ	2016	キャンバス、アクリル	45.6×52.9
70	Painting	2016	ツバメ	2016	キャンバス、アクリル	45.4×38.2
71	Painting	2016	ハト	2016	キャンバス、アクリル	60.5×50.4
72	Painting	2016	サギ	2016	キャンバス、アクリル	41.0×32.0
73	Painting	2016	アジサシ	2016	キャンバス、アクリル	53.0×45.7
74	Painting	2016	グンカンドリ	2016	キャンバス、アクリル	45.6×52.9
75	Painting	2016	ワシ	2016	キャンバス、アクリル	53.0×45.6

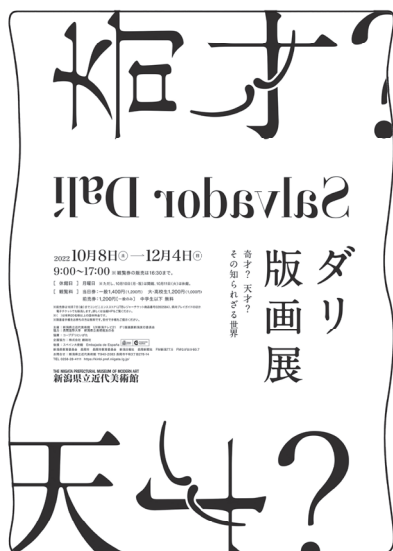
クマ

76	クマーラグビー	クマ	2019	キャンバス、アクリル	41.0×27.5
77	クマ1	クマ	2016	パネル、アクリル、色鉛筆	240.0×120.0
78	クマ2	クマ	2016	パネル、アクリル、色鉛筆	240.0×120.0
79	クマ3	クマ	2016	パネル、アクリル、色鉛筆	240.0×120.0
80	Painting 2018-06	向かい合うクマ	2018	キャンバス、油彩	65.0×80.0
81	Painting 2018-04	クマ	2018	キャンバス、油彩	90.5×73.0
82	Painting 2022-11	クマ	2022	キャンバス、アクリル	80.5×100.0
83	Painting 2022-12	クマ	2022	キャンバス、アクリル	80.5×100.0
84	Painting 2018-18	クマ	2018	キャンバス、油彩	116.0×80.0
85	Painting 2022-35	山とクマ	2022	キャンバス、アクリル	60.3×73.0
86	Painting 2022-13	山とクマ	2022	キャンバス、アクリル	80.5×100.0
87	Painting 2022-36	山とクマ	2022	キャンバス、アクリル	60.3×73.0
88	Painting 2022-37	山とクマ	2022	キャンバス、アクリル	60.3×73.0
89	Animal 2011-03	ツキノワグマ	2011	樟、油彩	184.0×69.5×96.0
90	Animal 2017-03	スピリットベア	2017	樟、油彩	95.0×40.0×49.5
91	Animal 2007-03	クマ	2007	樟、油彩	211.0×81.0×108.0
92	Animal 2009-02	クマ	2009	樟、油彩	120.0×52.0×64.0
93	Animal 2011-01	グリスリー	2011	樟、油彩	280.0×113.0×143.0
94	Animal 2020	クマ	2020	樟、油彩	129.0×62.0×69.0
95	Animal 2020-02	クマ	2020	樟、油彩	75.8×40.0×74.0

ホワイトアニマルズ

96	Painting	2018-05	ライオン・白	2018	キャンバス、油彩	116.5×91.0
97	Painting	2018-03	ペガサス	2018	キャンバス、油彩	100.0×80.3
98	Painting	2020-09	ドット	2020	キャンバス、油彩	60.5×73.0
99	Painting	2018-38	麒麟	2018	パネル、油彩	100.0×80.0
100	Painting	2022-32	キメラ	2022	パネル、アクリル	182.0×183.0
101	Animal	2012-01	ホワイトタイガー	2012	樟、油彩	131.0×76.0×292.0
102	Animal	2016-01	ライオン・白	2016	樟、油彩	162.0×120.0×180.0
103	Bird	2014-03	フェニックス	2014	樟、油彩	208.0×157.0×117.0
104	Animal	2010-03	ペガサス	2010	樟、油彩	298.0×249.0×306.0
105	Animal	2018-01	麒麟	2018	樟、油彩	234.0×127.5×203.0
106	Animal	2020-03	キメラ	2020	樟、油彩	208.0×112.0×346.0
107	Bird	2022-03	トリ・白	2022	樟、油彩	19.0×9.0×15.8
108	Animal	2021-03	狛犬	2021/22	樟、油彩	79.5×48.5×97.5

アニマルハウスと三沢コレクション					
109	アニマルハウス（三沢厚彦、舟越桂、小林正人、杉戸洋、浅田政志）オカビ	2017	雑木、樟、布、紙、動物の毛、ペーパータオル、スポンジ、油彩、アクリル	215.0×220.0×84.0	
110	三沢厚彦 浅田さんの首像	2017	セラミック	33.0×21.0×25.0	
111	舟越桂 Kさんの首像	2017	セラミック	32.5×19.0×21.5	
112	舟越桂 小林さんの首像	2017	セラミック	33.0×15.2×22.0	
113	杉戸洋 Kさんの首像	2017	セラミック	30.0×22.0×18.5	
114	舟越桂 ドローイング	2009	紙、インク	15.0×10.0	
115	杉戸洋 モカ（仮）	2022	キャンバス、アクリル	27.4×22.5	
116	杉戸洋 フレンド（仮）	2022	キャンバス片、アクリル	11.0×47.0	
117	三沢厚彦 Cat 2010-05	ネコ	2010	樟、油彩	22.0×24.0×63.5
118	佐藤朝山 鹿	不詳	木、着彩	雄鹿 9.5×7.5×15.0 雌鹿 10.0×6.0×13.8	
119	藤原新也 ノア 動物千夜一夜物語	1988	紙、リトグラフ	58.2×68.0	
120	山川惣治 虎	不詳	紙、水彩、インク、墨	26.5×23.5	
121	三沢厚彦 Painting 2013-33	パンダ	2013	パネル、紙、アクリル、墨	91.0×116.8
122	アニマルハウス（三沢厚彦、舟越桂、小林正人、杉戸洋、浅田政志）カカオの森	2016/17	パネル、アクリル、油絵具、色鉛筆、コンテ、木炭	240.0×360.0	
123	三沢厚彦、杉戸洋 Painting 2018-11	オカビ	2018	キャンバス、油彩	91.0×116.5
124	小林孝亘 Cat		2017	キャンバス、油彩	32.5×33.3
125	小林孝亘 Dog-Blue		2018	キャンバス、油彩	40.5×32.0
126	三沢厚彦 Painting 2022-05	キメラ	2022	キャンバス、油彩	91.0×117.0
127	鴻池朋子 Dream Hunting Bround カービングタブロー《ツキノワ》		2018	シナベニヤ、水性ステイン、カービング	90.0×90.0
128	浅田政志 鷺の恩返し		2018	ラムダプリント	50.0×67.0
129	小林正人 Artist's Live 2002 #2		2002	キャンバス、木枠、油彩	43.0×57.0
130	森山大道 ハワイ		2007	ゼラチンシルバートプリント	42.0×32.5
131	森山大道 新宿		2001/02	ゼラチンシルバートプリント	42.0×33.0
132	杉戸洋 Untitled		2017	油彩、キャンバス	22.5×31.5
133	畦地梅太郎 鳥と道具		1969	紙、木版画	35.5×22.8
134	デビッド・ホックニー Dog etching No.5		1998	紙、エッチング	25.0×29.5
135	ハンス・フィッシャー こねこのびっち	不詳	紙、インク	13.8×24.4	
136	大竹伸朗 マジョレル庭園、マラケシュ		1994	紙、エッチング	14.2×10.6
コレクション展とのコラボレーション展示					
1	Animal 2015-05B2	ウサギ・白	2015	ブロンズ、塗料、油彩	79.0×23.5×38.0
2	Animal-C 2020-01	クマ	2020	セラミック、釉薬	78.0×31.0×38.0
3	Animal-C 2018	招き猫	2018	セラミック、釉薬	25.5×12.5×17.0
4	Animal-C 2015-03	リス	2015	セラミック、釉薬	17.0×10.0×16.0
5	Animal 2009-04B	ヤモリ	2009	ブロンズ、塗料、油彩	3.3×9.0×20.7
6	Cat 2020-02	ネコ	2020	樟、油彩	74.0×14.5×65.0
7	Animal 2017-06	ハツカネズミ	2017	樟、油彩	7.8×5.4×26.0
8	Animal-C 2015	ヒョウ	2015	セラミック、釉薬	15.0×10.0×29.0
9	Animal-C 2017-03	クマ	2013	セラミック、釉薬	19.0×10.0×15.0



ダリ版画展 奇才？天才？ その知られざる世界

【趣 旨】

シュルレアリスムを代表する画家として知られるサルバドール・ダリ（1904－1989）は、油絵のみならず、版画、彫刻、オブジェ、舞台芸術、宝石デザイン、広告、映画、文筆など、幅広い分野で活躍した。また、自らを天才と称し、様々なパフォーマンスを芸術の名において実践するなど、しばしば破天荒な言動でも話題を呼んだ。本展では、ダリの多彩な芸術活動の中から、1960年代に精力的に制作した版画を中心に、晩年までの作品約200点と彫刻作品6点を展示し、20世紀最大の奇才といわれるダリの真髓に触れる機会とした。

【総 括】

●評価すべき点

- ・観覧者数が見込みを超え、20～30代の若年層も多く来館した。知名度の高い海外作家の展覧会を求める人々の需要に応えることができた。
- ・外部講師を招いた版画ワークショップの開催など、作品の理解を深める満足度の高いイベントを実施することができた。
- ・チラシ・ポスターの制作にあたり、県内デザイナーを起用し、目をひくデザインの印刷物を作成できた。

●検討課題

- ・作品内容が難解であったため、解説パネルの追加や学芸員による解説会の実施など、工夫する余地があった。

【開催日・その他】

＝2022年10月8日(土)～12月4日(日) (50日間)＝

休館日：10月11日(火)、10月17日(月)、10月24日(月)、10月31日(月)、11月7日(月)、11月14日(月)、11月21日(月)、11月28日(月)

主 催：新潟県立近代美術館、UX新潟テレビ21、ダリ版画展新潟実行委員会

協 力：長岡造形大学、新潟県立美術館友の会

協 賛：生活協同組合コープデリにいがた

企画協力：株式会社 創絵社

後 援：スペイン大使館、新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、新潟日報社、長岡新聞社、FM新潟77.5、FMながおか80.7

観覧料 一般……………1,400円(1,200円)〈1,200円〉
大学・高校生…………1,200円(1,000円)
※中学生以下無料
※()内は有料20名以上の団体料金
※〈 〉内は前売券料金

【関連行事】

・映画鑑賞会「白い恐怖」

10月15日(土) 14:00～ 講堂

参加者数：46名

・美術鑑賞講座

「シュルレアリスムの世界 はじまりとおわり」

10月29日(土) 14:00～15:30 講堂

担当：藤田裕彦（当館学芸課長）

参加者数：49名

・学芸員によるスライドトーク

「奇才？天才？ ダリの生涯と芸術」

11月3日(木・祝) 14:00～15:00 講堂

担当：飯島沙耶子（当館主任学芸員）

参加者数：76名

・版画ワークショップ

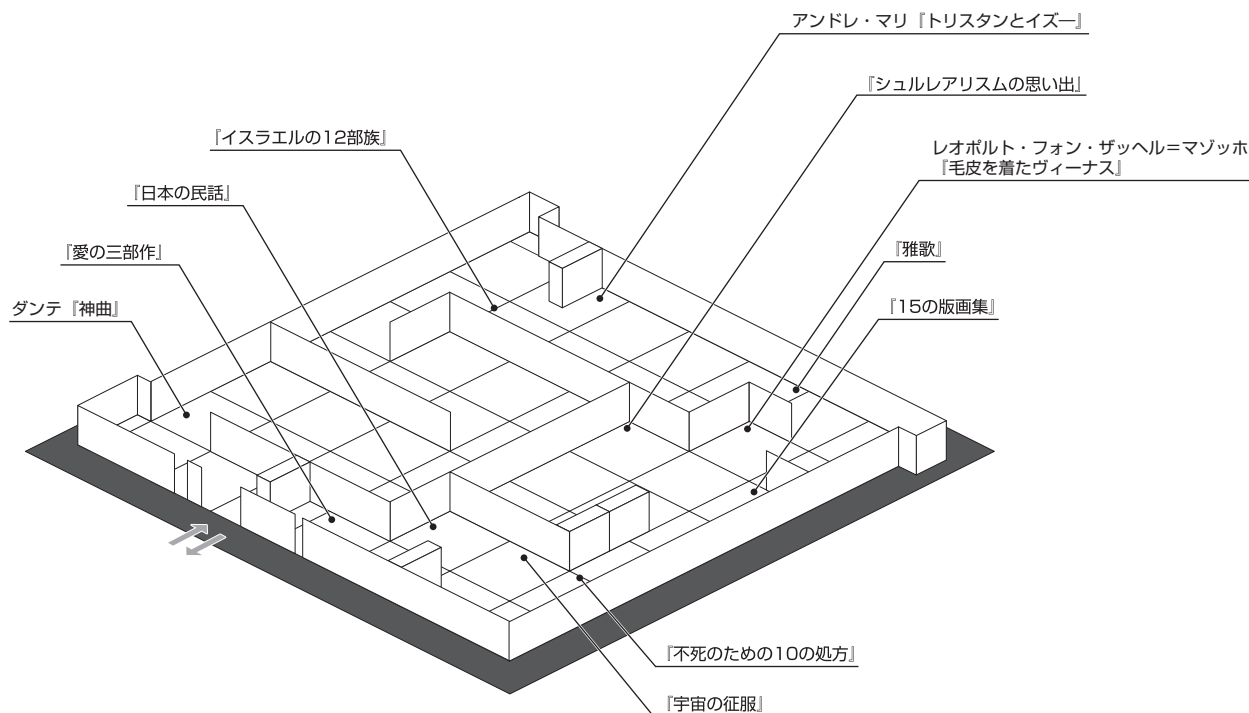
「ドライポイントでダリの蝶を刷ろう！」

協力：長岡造形大学／共催：新潟県立美術館友の会

11月20日(日) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00
2階ギャラリー

講師：岡谷敦魚氏（長岡造形大学 美術・工芸学科 准教授）

参加者数：24名



【図 録】

仕 様：A4判変型 140頁

編集・発行：谷口事務所

印 刷：光村印刷

内 容：ごあいさつ

21世紀から見るサルバドール・ダリの版画（大森達次）
カタログ

- 1 『神曲』（ダンテ・アリギエーリ著）
- 2 『15の版画集』
- 3 馬乗り
- 4 『ファウスト』（ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ著）より：子牛の頭
- 5 『毛皮を着たヴィーナス』（レオポルト・フォン・ザッヘル=マゾッホ著）
- 6 『トリスタンとイゾー』（アンドレ・マリ編）
- 7 『雅歌』
- 8 『シュルレアリスムの思い出』
- 9 『シカゴの眺め』より：シカゴ・アート・インスティテュート
- 10 『パンタグリユエルの滑稽な夢』
- 11 『不死のための10の処方』
- 12 『イスラエルの12部族』
- 13 『宇宙の征服』
- 14 『日本の民話』
- 15 『哲学者たちの錬金術』より：王と王妃
- 16 薔薇（夢）
- 17 『回顧Ⅱ』より：トルソ（ヴィーナスの誕生）

サルバドール・ダリ年譜

出品リスト



【関連記事】

●新聞

その他 十日町新聞（9/28）
妻有新聞（10/1）
越南タイムズ（10/1）
新潟日報（朝刊）（10/30）

●テレビ

10月8日(土)
UX新潟テレビ21「まるどりっ！UP」／飯島沙耶子
10月30日(日) ※再放送11月6日(日)
NHK-Eテレ 「日曜美術館 アートシーン」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	8,992
	前売	2,062
無料観覧者数	招待	1,401
	無料	1,197
	免除	860
総観覧者数		14,512
有料率（％）		76.2

【出品リスト】

作品番号	作品題名	刊行年	技法	サイズ(縦×横mm)
1	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)	1963	木口木版	330×262
-1	地獄篇 1: 魅惑的な山(旅のはじまり)(第1歌)			
-2	地獄篇 2: ベアトリーチェの励まし(ベアトリーチェを思い浮かべるダンテ)(第2歌)			
-3	地獄篇 3: 地獄の河の渡し守カロン(第3歌)			
-4	地獄篇 4: 暗い辺獄(リンボ)で(第4歌)			
-5	地獄篇 5: 審判者ミノス(第5歌)			
-6	地獄篇 6: 地獄の番犬ケルベロス(第6歌)			
-7	地獄篇 7: 貧欲の罪と浪費の罪(第7歌)			
-8	地獄篇 8: 忿怒の罪(第8歌)			
-9	地獄篇 9: 復讐の女神エリニースたち(第9歌)			
-10	地獄篇 10: ファリナータ(第10歌)			
-11	地獄篇 11: 地獄の深淵について語る(第11歌)			
-12	地獄篇 12: ミノタウロス(第12歌)			
-13	地獄篇 13: 自殺者の森(第13歌)			
-14	地獄篇 14: 神を冒す者(邪悪な舌)(第14歌)			
-15	地獄篇 15: 男色者たち(第15歌)			
-16	地獄篇 16: フレグトン川の瀑布(第16歌)			
-17	地獄篇 17: 虚偽瞞着の権化(第17歌)			
-18	地獄篇 18: ゲリュオンの背に乗って(第18歌)			
-19	地獄篇 19: 誘惑者たち(第19歌)			
-20	地獄篇 20: 阿諛追従の徒(第20歌)			
-21	地獄篇 21: 聖職売買の徒(第21歌)			
-22	地獄篇 22: マント(第22歌) / [メドゥーサ(第9歌)?]			
-23	地獄篇 23: 不正行為者(第23歌)			
-24	地獄篇 24: ヴァンニ・フッチの予言(第24歌)			
-25	地獄篇 25: ヴァンニ・フッチの懲罰(第25歌)			
-26	地獄篇 26: ケンタウロスのカクス(第26歌)			
-27	地獄篇 27: 黒天使(第27歌)			
-28	地獄篇 28: マホメット(第28歌)			
-29	地獄篇 29: ベルトラン・ド・ボルン(第29歌)			
-30	地獄篇 30: カポッキオにかじりつくジャンニ・スキッキ(第30歌)			
-31	地獄篇 31: アンタイオスの手によって降下するダンテとウェルギリウス(第31歌)			
-32	地獄篇 32: モンタベルティの裏切者(ボッカ・デリ・アバーティの髪をつかむダンテ)(第32歌)			
-33	地獄篇 33: ウゴリーノ伯とルッジェーリ大司教(第33歌) / [氷結した涙(第33歌)?]			
-34	地獄篇 34: 悪魔大王ルチフェロ(第34歌)			
-35	煉獄篇 1: 悔悟者たちの域(第1歌)			
-36	煉獄篇 2: 舟の船頭をつとめる天使(魂を乗せた舟)(第2歌)			
-37	煉獄篇 3: 魂の能力(第3歌)			
-38	煉獄篇 4: 怠け者(第4歌)			
-39	煉獄篇 5: ウェルギリウスの叱責(第5歌) / [抱擁するウェルギリウスとソルデッロ(第6歌)?]			
-40	煉獄篇 6: 暴力的な死に遭遇した怠け者(第6歌) / [ブオンコンテ・ダ・モンテフェルトロをめぐる争い(第5歌)?]			
-41	煉獄篇 7: 登りの掟(地に線を引くソルデッロ)(第7歌)			
-42	煉獄篇 8: 王侯たちの谷間の見張りをする二人の天使(第8歌)			
-43	煉獄篇 9: 恵みの鷲(ダンテの鷲の夢)(第9歌)			
-44	煉獄篇 10: 受胎告知の聖母(第10歌) / [レア(第27歌)?]			
-45	煉獄篇 11: 傲慢な人(第11歌)			
-46	煉獄篇 12: 蜘蛛と化した狂女アラクネ(第12歌)			
-47	煉獄篇 13: 第二の環道(第13歌)			
-48	煉獄篇 14: 嫉妬羨望の罪を浄める人々(第14歌)			
-49	煉獄篇 15: 慈悲の天使(第15歌)			
-50	煉獄篇 16: 厚い帷(第16歌)			
-51	煉獄篇 17: 恍惚とした光景(第17歌)			
-52	煉獄篇 18: 怠惰の罪(第18歌)			
-53	煉獄篇 19: ダンテの夢にあらわれたセイレーン(第19歌)			
-54	煉獄篇 20: 貪欲の罪(第20歌)			
-55	煉獄篇 21: 浪費の罪(第21歌)			
-56	煉獄篇 22: 黄金時代(第22歌)			
-57	煉獄篇 23: 大食の罪(第23歌)			
-58	煉獄篇 24: 懲罰の樹(第24歌)			
-59	煉獄篇 25: 好色の罪(第25歌)			
-60	煉獄篇 26: 好色多淫の二群(第26歌)			
-61	煉獄篇 27: ウェルギリウスの最後の言葉(第27歌)			
-62	煉獄篇 28: 神の森(地上楽園)(第28歌)			
-63	煉獄篇 29: ダンテとベアトリーチェ(第29歌)			
-64	煉獄篇 30: 懺悔するダンテ(第30歌)			
-65	煉獄篇 31: 掟の樹の方へ(第31歌)			
-66	煉獄篇 32: ダンテの覚醒(第32歌)			
-67	煉獄篇 33: 浄められたダンテ(第33歌)			
-68	天国篇 1: ダンテ(第1歌)			
-69	天国篇 2: 第一天の天使(第2歌)			
-70	天国篇 3: ビッカルダ・ドナーティ(第3歌) / [ユスティニアヌス(第6歌)?]			
-71	天国篇 4: ダンテの疑問を解消するベアトリーチェ(第4歌)			
-72	天国篇 5: 水星天で(第5歌)			
-73	天国篇 6: 教会と帝国(第6歌)			
-74	天国篇 7: 疑念を抱いたダンテ(第7歌) / [目が眩んでしまったダンテ(第25歌)?]			
-75	天国篇 8: ヴィーナス(金星天)への上昇(第8歌) / [光の中のビッカルダ(第3歌)?]			

-76	天国篇 9: 司教となった吟遊詩人 (第9歌) / [愚かな説教師 (第29歌)?]		
-77	天国篇 10: 造詣の深い魂の群れの歌声 (第10歌)		
-78	天国篇 11: 魂の二つの輪 (第11歌) / [至高天の光の大河 (第30歌)?]		
-79	天国篇 12: 原初の完全な創造 (第12歌)		
-80	天国篇 13: 火星天の十字架 (第13歌)		
-81	天国篇 14: 粉塵のような無数の魂 (第14歌)		
-82	天国篇 15: 高祖父カッチャグイダの出現 (第15歌)		
-83	天国篇 16: カッチャグイダの年代記 (第16歌) / [天の白い薔薇 (第31歌)?]		
-84	天国篇 17: 神の中にダンテの追放を見るカッチャグイダ (第17歌) / [驚の姿を形づくる魂 (第18歌)?]		
-85	天国篇 18: 詩人を慰めるベアトリーチェ (第18歌)		
-86	天国篇 19: 木星天で (第19歌) / [憤る聖ペテロ (第27歌)?]		
-87	天国篇 20: 至福の魂の星座 (第20歌) / [恒星からの眺め (第22歌)?]		
-88	天国篇 21: 天の梯子 (第21歌)		
-89	天国篇 22: 神の計りがたさ (第22歌) / [高慢な天使 (第29歌)?]		
-90	天国篇 23: キリストの光の下にある庭 (第23歌) / [キリストと聖母の勝利 (第23歌)?]		
-91	天国篇 24: マリアを賛美する (第24歌)		
-92	天国篇 25: 至福の魂の喜び (第25歌)		
-93	天国篇 26: 聖ヤコブの出現 (第26歌)		
-94	天国篇 27: 聖ペテロとダンテ (第27歌) / [カッチャグイダの魂と会話するダンテ (第17歌)?]		
-95	天国篇 28: 忠実な天使 (第28歌)		
-96	天国篇 29: ベアトリーチェの超越的美しさ (第29歌) / [祈りにより恵みを得ること を教える聖ベルナル (第32歌)?]		
-97	天国篇 30: 至高天に至る (第30歌)		
-98	天国篇 31: 至高天の天使たち (第31歌) / [聖ペテロとヤコブ (第25歌)?]		
-99	天国篇 32: 大天使ガブリエルと聖母マリア (第32歌)		
-100	天国篇 33: マリアを讃える聖ベルナルの祈り (第33歌)		
2	馬乗り	1968	リトグラフ 770×560
3	『ファウスト』(ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ著) より: 子牛の頭	1969	エングレーヴィング 318×239
4	『イスラエルの12部族』 (1) 口絵 (2) ベニヤミン族 (3) ルベン族 (4) シメオン族 (5) ヨセフ族 (6) ゼブルン族 (7) ユダ族 (8) イサカル族 (9) アシエル族 (10) ダン族 (11) レビ族 (12) ガド族 (13) ナフタリ族	1973	エッチング、ステンシル 760×560
5	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) -1 トリスタンとイゾー -2 マルク王 -3 モルオルトとの戦い -4 アイルランド王妃イゾーとその娘イゾー -5 トリスタンと竜 -6 傷ついたトリスタン -7 イゾーの到着 -8 邪悪な小びとフロサン -9 カサマツの下で -10 断罪された恋人たち -11 隠修士オグラン -12 マルク王の野営 -13 アルテュール王の騎士たち -14 王妃は絹のプリオーを身に着けていた -15 不実な三人の貴族 -16 巨人のベリアゴグ -17 白い手のイゾー -18 イゾーと侍女ブランゲヌ -19 狂えるトリスタン -20 トリスタンの最後の戦い -21 トリスタンの遺言	1970	ドライポイント 400×265
6	『雅歌』 -1 ソロモン王 -2 どうかあの方が、その口のくちづけをもって、わたしにくちづけしてくださるように (1:2) -3 どうぞ、そんなに见ないでください、日焼けして黒くなったわたしを (1:6) -4 恋人よ、あなたをたとえよう、ファラオの車をひく馬に (1:9) -5 恋人よあなたは美しい。あなたは美しく、その目は鳩のよう (1:15) -6 恋しい人の声が聞こえます。山を越え、丘を跳んでやってきます。(2:8) -7 恋人はかもしかのよう、若い牡鹿のようです。ごらん下さい、もう家の外に立って窓からうかがい、格子の外からのぞいています (2:9) -8 見よ、ソロモンの輿を。輿をになう60人の勇士、イスラエルの精鋭 (3:7) -9 恋人よ、あなたはなにもかもが美しく傷はひとつもない (4:7) -10 恋しいあの人わたしのもの、わたしは恋しいあの人のも、ゆりの中で群れを飼っているあの人のも (6:3) -11 わたしはくみの園に下りて行きました。流れのほとりの緑の茂みに、ぶどうの花は咲いたか、ざくろのつぼみは開いたか、見ようとして (6:11) -12 もう一度出ておいで、シユラムのおとめ。もう一度出ておいで、姿を見せておくれ(7:1)	1971	400×250
7	『毛皮を着たヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッヘル=マゾッホ著) -1 鞭を持つ女 -2 ヴェールを持つ女 -3 紫のブーツ -4 靴の女 -5 ひざまずく女 -6 トルソ -7 黒人女たち -8 馬乗りの女	1968	エングレーヴィング 318×239

-9	木の葉になった女			
-10	羽根飾り			
-11	枝苅並木道			
-12	刺激的なお尻			
-13	頭部			
-14	松葉杖の女			
-15	翼のある悪魔			
-16	靴に接吻する男			
8	『シュルレアリスムの思い出』	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
-1	ダダ・シュルレアリスムの天使			
-2	シュルレアリスムの花娘			
-3	ウルトラ・シュルレアリスムの微粒子のガルツカ			
-4	天空の象			
-5	シュルレアリスムの王様			
-6	シュルレアリスムの時間の目			
-7	蝶に囲まれたダリのシュルレアリスムの肖像			
-8	シュルレアリスム風に裸体で装う			
-9	狂いに狂った狂気のミネルヴァ			
-10	シュルレアリスムの時計への思いやり			
-11	シュルレアリスムの松葉杖			
-12	シュルレアリスムの美術術			
9	『哲学者たちの錬金術』より：王と王妃	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
10	『パンタグリュエルの滑稽な夢』	1973	リトグラフ	760×560
-1	No.2			
-2	No.3			
11	『15の版画集』	1968	エングレーヴィング	
-1	犀			125×175
-2	象			175×125
-3	ナルキッソス			175×125
-4	トゥールーズ-ロートレック			175×125
-5	メルクリウス			175×125
-6	レオナルド・ダ・ヴィンチ			175×125
-7	ファン・ゴッホ			175×125
-8	ミケランジェロ			175×125
-9	やわらかい電話			175×125
-10	ペガソス			175×125
-11	レンブラント			175×125
-12	シャガール			175×125
-13	ピカソ			175×125
-14	ダリ			175×125
-15	やわらかい時計			175×125
12	『不死のための10の処方』	1973	エングレーヴィング	
-1	リスのホログラフィーによって復活した人間			395×570
-2	ダリアヌス・ガラエの不死			420×320
-3	不死の墓碑銘			392×576
-4	遺伝帝国主義の不死			390×570
-5	大便食（糞して食べる）システム			390×570
-6	カストルとポリュデウケスの不死			390×570
-7	立方体の四面体的不死			390×573
-8	聖三位一体、聖なる記憶の固執			415×315
-9	アナモルフォーズの中のアナモルフォーズそしてすべてはホログラムフォーズ			570×390
-10	ゾーエトロープとブレタ			575×390
-11	君主制の立体鏡的・立体化学的不死			390×570
13	『宇宙の征服』	1974	エングレーヴィング、クロモリトグラフ	740×550
-1	反物質の蝶たち			
-2	二重完全電子顕微鏡を備えた火星人大リ			
-3	宇宙の内臓円			
-4	5歳のダリが自分は昆虫だと思っていたが故に熱愛した地を這う生物たち			
14	『日本の民話』	1976	エッチング、ステンシル	660×505
-1	花咲じい			
-2	湖山が長者			
-3	六地藏			
15	『薔薇』（夢）	1975	ドライポイント、ステンシル	570×760
16	『シカゴの眺め』より：シカゴ・アート・インスティテュート	1972	エッチング、ステンシル	485×312
17	『回顧Ⅱ』より：トルソ（ヴィーナスの誕生）	1979	リトグラフ	748×545
彫刻1	麒麟のヴィーナス	1973	ブロンズ	565×275×92
彫刻2	『不死のための10の処方』	1973	メタクリル樹脂とブロンズ	645×550×110
彫刻3	ニュートンに捧ぐ	1981	ブロンズ	390×210×85
彫刻4	記憶の持続	1981	ブロンズ	365×175×60
彫刻5	引き出しを持つミロのヴィーナス	1988	ブロンズ	365×100×85
彫刻6	天空の犀	1988	ブロンズ	330×165×40
特別出品				
I	『愛の三部作』 (1) 愛の約束 (2) 愛の王子様 (3) 永遠なる愛	1976	リトグラフ	755×543
II	サルバドール・ダリ、フィリップ・ハルスマン 写真集『ダリの髭』より 私の口髭は、真の私の中への入り口に直立する二人の番兵のようなものだ。	1954	写真	250×196

共 催 展

第76回新潟県美術展覧会
長岡展

【趣旨及び総括】

本県の美術の普及と向上を目的に1945年から始まった県内最大の公募展であり、本年度で76回を迎えた。日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真の7部門に、3,178点の応募があり、入選作品1,096点が選ばれた。

長岡展では、7部門の県展賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞の入賞作品、長岡市及び周辺地域の入選作品、並びに審査員、委員の作品、無鑑査作品を展示し、5日間で3,108名と多数の来館者があり、盛況であった。

【開催日・その他】

=2022年6月15日(水)～6月19日(日) (5日間)=

会 場：新潟県立近代美術館 企画展示室

主 催：新潟日報社、新潟日報美術振興財団、新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、長岡市、上越市教育委員会、佐渡市教育委員会、十日町市教育委員会

後 援：新潟市教育委員会、長岡市教育委員会、上越市、佐渡市、十日町市、新潟県文化振興財団

特別協賛：東北電力グループにいがた

観覧料：500円、大学生以下無料

審査員：日本画・井手康人 長沢 明

洋 画・桑原富一 嶋 珠世

版 画・小林敬生 園山晴巳

彫 刻・大槻孝之 笠原鉄明

工 芸・宮田亮平 村田好謙

書 道・河内君平 吉川美恵子

写 真・坂口綱男 三好和義

【関連行事】

※作品解説会は本年度実施せず。

担当 金澤健志

第24回亀倉雄策賞受賞記念
大貫卓也展「ヒロシマ・アピールズ」／
JAGDA新人賞展2022
佐々木 拓・竹田美織・前原翔一

【趣旨および総括】

JAGDA（公益社団法人日本グラフィックデザイン協会）初代会長の故亀倉雄策のコレクションを所蔵する館として、氏を讃えて創設された「亀倉雄策賞」の受賞作家作品展を継続開催することで、更なるグラフィックデザインの発展に寄与する。

本年度も公立大学法人長岡造形大学、新潟県立近代美術館、JAGDAによる三者主催で実施。

内容としては、第24回亀倉雄策賞受賞作となった大貫卓也氏の「HIROSHIMA APPEALS 2021」平和希求ポスターおよび関連制作物に基づき、AR等の新技術も駆使しながら、音楽と映像によって構成する画期的な展示となった。また「JAGDA新人賞」を受賞した佐々木 拓・竹田美織・前原翔一の3名の各受賞作品および近作を集めた展覧会も同時開催した。

新型コロナウイルス禍が収束せず、2月下旬に勃発したロシアによるウクライナ侵攻という深刻な世界状況が続く中で、平和の大切さを訴える大貫氏の「ヒロシマ・アピールズ」展を長岡で開催できた意義は少なくない。会期がわずか一週間であったことが惜しまれる。

【開催日・その他】

=2022年12月11日(日)～12月18日(日) (7日間)=

会 場：新潟県立近代美術館 ギャラリー

主 催：長岡造形大学、新潟県立近代美術館、

JAGDA（公益社団法人日本グラフィックデザイン協会）

協 力：クリエイションギャラリー G8、亀倉雄策賞事務局、JAGDA新潟地区

観覧料：無料

来場者数：372名

【関連行事】

開催記念講演会

日 時：2022年12月11日(日)

13:30～14:30

第1部 JAGDA新人賞受賞者講演会

講師：佐々木 拓氏、竹田美織氏、前原翔一氏（新人賞2021受賞者 オンライン登壇）

14:45～15:45

第2部 亀倉雄策賞受賞者講演会

講師：大貫卓也氏（第24回亀倉雄策賞受賞者）

会 場：長岡造形大学 大講義室

参加者数：会場96名／オンライン44名

担当 平石昌子

第53回新潟県ジュニア 美術展覧会 長岡展

【趣旨及び総括】

感性豊かな子どもの育成と美術振興をねらいとして継続している全県規模のコンクールである。県内の幼稚園・保育園、小・中学校などから22,816点の応募があり、選ばれた2,060点を新潟市、長岡市、柏崎市、上越市の4会場に巡回展示した。

長岡展会場である当館には、8日間の会期中に1,632名の入場があり、家族で美術鑑賞を楽しむ場となった。

【開催日・その他】

会 場：

新潟展 2022年11月26日(土)～12月11日(日)

新潟日報メディアシップ

長岡展 12月17日(土)～12月25日(日)

新潟県立近代美術館

柏崎展 2023年1月18日(水)～1月23日(月)

柏崎市立図書館（ソフィアセンター）

上越展 1月27日(金)～1月31日(火)

上越市市民プラザ

主 催：新潟日报社、新潟県教育委員会、新潟県立近代美術館、
新潟県美術教育連盟、新潟市教育委員会、長岡市教育
委員会、上越市教育委員会、柏崎市教育委員会

後 援：新潟日報美術振興財団

観覧料：無料

審査員（敬称略）：

幼稚園・保育園 椎橋元貴（白百合女子大学准教授）

小学校1年 新野貴則（山梨大学准教授）

小学校2年 水島尚喜（聖心女子大学教授）

小学校3年 加藤 修（千葉大学教授）

小学校4年 郡司明子（群馬大学教授）

小学校5年 大泉義一（早稲田大学教授）

小学校6年 西村徳行（東京学芸大学准教授）

中学校1～3年 三澤一実（武蔵野美術大学教授）

特別支援学校 大嶋 彰（滋賀大学名誉教授）

担当 金澤健志

第25回新潟県立美術館 友の会作品展

【趣旨及び総括】

友の会会員の制作した作品を募集し、会員の結束を図りながら、美術館の運営や活動に協力することを目的として、平成9年度に初めて企画して以来、開催を続けている。

第25回展では、会員の作品を中心に、美術館が過去に実施した展覧会ポスターなどを近代美術館ギャラリーに展示した。

また、来場者にもワークショップとして切り絵、編み物作品を作成してもらい、楽しんでいただいた。

展示作業および来場者の対応は会員が中心となっており、開催期間中に242名の来場者があった。

【開催日・その他】

＝2022年11月8日(火)～13日(日)（6日間）＝

会 場：新潟県立近代美術館 県民ギャラリー

主 催：新潟県立美術館友の会

共 催：新潟県立近代美術館

観覧料：無料

担当 佐藤夏代（友の会事務局）

企画展



サンリオ展 ～ニッポンのカワイイ文化60年史～

【趣 旨】

1960年創業のサンリオはハローキティやマイメロディなど、これまでに450以上ものキャラクターを生み出し、日本のカワイイ文化を牽引してきた。本展では約800件の貴重な資料やグッズにより、その長い歩みを最初期からたどった。また、会場内では増田セバスチャンによる展覧会シンボリックアートの他、現代作家がサンリオキャラクターをモチーフに制作した作品も合わせて紹介した。

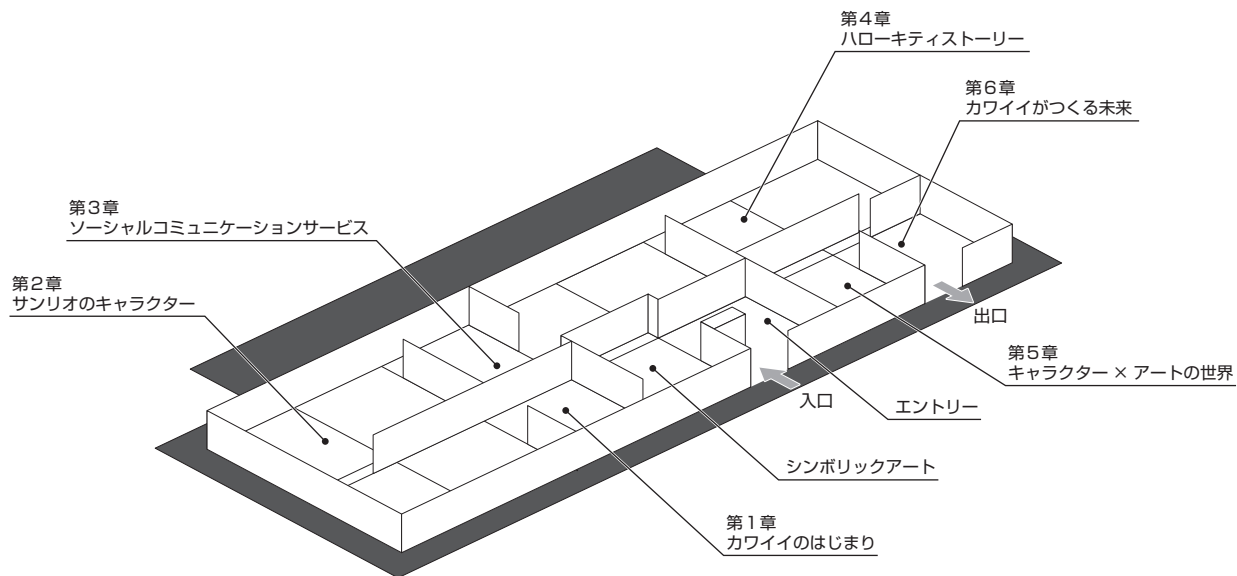
【総 括】

●評価すべき展

- ・日本のかawaii文化の先駆的存在であるサンリオの初期から今日までの60年の活動を総括する内容で、子供から中高年まで幅広い世代にアピールできた。
- ・会場内での撮影が可能であったことも、SNSによる発信や口コミを広げるのに効果的であった。

●検討課題

- ・美術館に馴染みの薄い来館者が多く、マナーの伝達やお声かけをする際に気分を害される方が多かった。展示室入口の表示や伝達方法の改善を検討する。
- ・会場内で撮影をする際に私物を結界の上等に置いて一緒に撮影するなど、作品保全の上で危険な行為が散見された。今後は会場内での撮影ルールを来場者にあらかじめ伝えるなどして、展示作品に被害が及ばないよう対策を強化する必要がある。



【開催日・その他】

=2022年4月1日(金)～4月10日(日) (10日間)=

※全体会期は1月20日(木)～4月10日(日) (74日間)

主 催：新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、サンリオ
展新潟実行委員会

協 賛：セコム上信越

後 援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、読売新聞新
潟支局、NCV(株)ニューメディア、エフエム新潟77.5

企画制作：サンリオ展製作委員会

制作協力：TMエンタテインメント

観覧料：一般……………1,600円(1,400円)〈1,400円〉

大学・高校生……1,300円(1,100円)

※中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金

※ 〈 〉 内は前売券料金

【観覧者数】

※4/1～4/10

有料観覧者数	当日	6,024
	前売	967
無料観覧者数	招待	564
	無料	3,053
	免除	384
総観覧者数		10,992
有料率 (%)		63.6

※本展の出品リストは令和3年度年報を参照のこと。

担当 濱田真由美





ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵―武者たちの物語

【趣 旨】

江戸時代に庶民の人気を博した「武者絵」の世界を、世界屈指の日本美術コレクションを誇るボストン美術館の浮世絵・刀剣・鐔でひもとく初めての試み。武者絵118点はすべて日本初出展で、共通のイメージを持つ刀剣の鐔27点を並べて展示し武者絵の世界をわかりやすく紹介した。さらに、600口の刀剣コレクションから日本刀の歴史を概観できる20口を厳選し、上杉謙信の愛刀をはじめとする国内の名刀5口を特別出品した。

【総 括】

- 評価すべき点
 - ・当館初の刀剣の展示を照明を含めた高いレベルで実現させ、県内では稀な刀剣のまとまった展示機会を提供し好評を得た。
 - ・現代では馴染みのうすい武者絵の世界を4コマ漫画を交えながらわかりやすく紹介し、その魅力を伝えることができた。
- 検討課題
 - ・展示環境基準を満たす照明のLED化をはじめとする設備の改修が求められる。
 - ・展示室での写真撮影については、来館者サービスの側面もあることから、撮影と鑑賞の両立に向けた検討が求められる。

【開催日・その他】

＝2022年4月23日(土)～6月19日(日) (54日間)＝

休館日：4月25日(月)、5月9日(月)、5月23日(月)、6月6日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館、ボストン美術館、新潟日报社、BSN新潟放送、THE HEROES 新潟展実行委員会、日本経済新聞社

協 賛：大林組、DNP大日本印刷、新潟プレシジョン

特別協賛：福宝

協 力：日本航空、新潟県立美術館友の会

後 援：アメリカ大使館、新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、長岡市、上越市、NCV(株)ニューメディア、FM新潟77.5、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送、日本美術刀剣保存協会新潟支部・長岡支部

観覧料：一般……………1,600円(1,400円)〈1,400円〉

大学・高校生……………1,300円(1,100円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金

【関連行事】

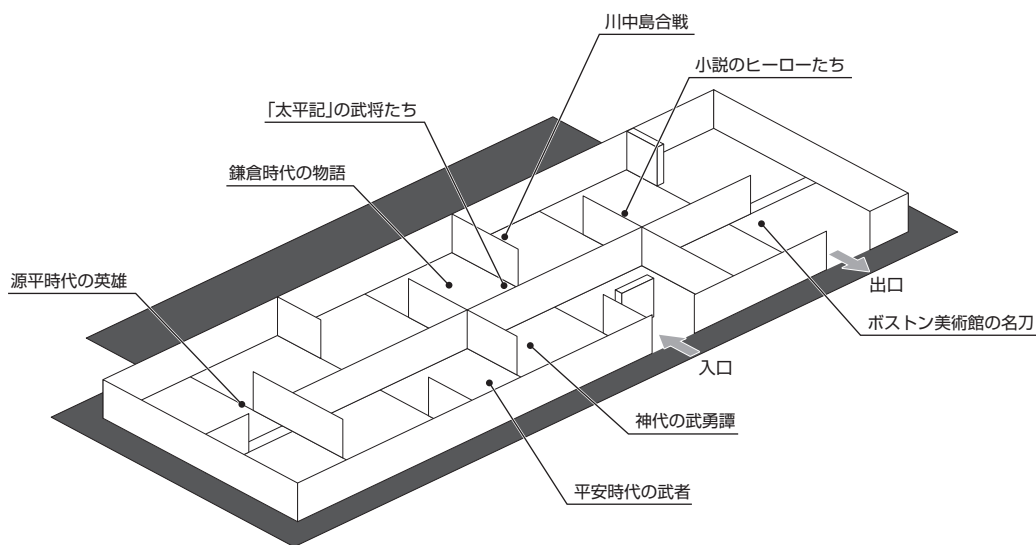
・講演会「刀剣の見かた―HEROES展での楽しみかた―」

4月23日(土) 14:00～15:50 NICOプラザ会議室

講師：原田一敏氏(本展刀剣部門監修者／東京藝術大学名誉教授)

参加者数：51名(申込制・定員あり)

協力：新潟県立美術館友の会



【図 録】

仕 様：302×230mm 272頁

監 修：岩切友里子（浮世絵研究家）、原田一敏（東京藝術大学名誉教授）、アン・ニシムラ・モース（ボストン美術館 日本美術課長 ウィリアム・ヘレン・パウンズ記念席）、セーラ・E・トンプソン（ボストン美術館 日本美術課キュレーター）

編 集：岩切友里子、原田一敏、アン・ニシムラ・モース、セーラ・E・トンプソン、福永愛（ボストン美術館 日本美術課研究員）、ジェニファー・スノッドグラス（ボストン美術館 出版部編集長）、日本経済新聞社 文化事業局

アートディレクション：上田英司（シルシ）

デザイン：上田英司・叶野夢（シルシ）

制 作：印象社

翻 訳：板倉知美、河野哲郎、セーラ・E・トンプソン、長倉知子、ルース・S・マクレリー（ザ・ワード・ワークス）

印 刷：DNP大日本印刷

発 行：日本経済新聞社

内 容：ごあいさつ

ボストン美術館の日本刀／原田一敏

武者絵のイコノグラフィー／
岩切友里子

日本の武士文化に見る英雄の
イメージ ボストン美術館の
日本刀剣と浮世絵について／
アン・ニシムラ・モース

【図版】

ボストン美術館の名刀

【コラム】銘から読み解く中世
の刀剣 一行年銘を中心に／
高橋哲也

神代の武勇譚



神話と名剣

【コラム】スサノオノミコトと牛頭天王／安永幸史

平安時代の武者

武士の登場と名刀

源平時代の英雄

【コラム】『平家物語』の浮世絵にみる義経の装束イメージ／大石沙織

源平と平氏の重宝

鎌倉時代の物語

鎌倉時代初期の武将と愛刀

『太平記』の武将たち

南北朝動乱期の太刀

川中島合戦

武田信玄と上杉謙信の愛刀

小説のヒーローたち

【資料】

出品リスト

武者絵4コマ漫画

The Romance of the Sword in Ukiyo-e Prints /
Sarah E. Thompson

Japanese Swords in the Collection of the
Museum of Fine Arts, Boston / Harada
Kazutoshi

The Iconography of Warrior prints / Iwakiri
Yuriko

Heroic Visions of Japan's Warrior Past:
Japanese Swords and Ukiyo-e at the Museum
of Fine Arts, Boston / Anne Nishimura Morse
Entries



【関連記事】

●新聞

4月23日(土) 新潟日報

「特集 ポストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵―武者たちの物語 きょう開幕」

4月26日(火) 新潟日報

「お江戸じょんのび便り 刀剣×浮世絵展」／河治和香(作家)

5月14日(土) 新潟日報

「展覧会へようこそ ポストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵―武者たちの物語」／澤田佳三

6月1日(水) 新潟日報おとなプラス

「THE HEROES 刀剣×浮世絵」／和田明子(ライター・デザイナー)

その他 村上新聞 (4/2)

十日町新聞 (4/14)

妻有新聞 (4/16)

十日町タイムス (4/19)

新潟日報 (4/23、6/2)

(作品紹介5/20、5/21、5/24、5/25)

新潟日報おとなプラス「読者のひろば」

(5/31、6/15)

読売新聞 (5/24)

●雑誌

月刊にいがた 6月号

●テレビ

4月22日(金) NHK新潟放送局(県内ニュース)

4月23日(土) BSN新潟放送「なじラテ」／澤田佳三

6月5日(日) BSN新潟放送「週刊県政ナビ」

6月11日(土)、12日(日)、13日(月)、14日(火)、15日(水)

BSN新潟放送「THE TIME」内「にいがたクイズ」／澤田佳三

●ラジオ

4月22日(金)、5月5日(水)、12日(水) BSNラジオ「四畳半スタジオ」／澤田佳三

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	11,634
	前売	2,956
無料観覧者数	招待	1,674
	無料	1,060
	免除	1,432
総観覧者数		18,756
有料率(%)		77.8

担当 澤田佳三

【出品リスト】

- ・浮世絵版画はU、刀剣はS、鐔はTで始まる作品番号で、ポストン美術館の所蔵品以外はU-J、S-Jで始まる番号となる。
- ・浮世絵版画の作品名は、画中の題を用いた場合は「」を付した。
- ・所蔵の表記のない作品は、すべてポストン美術館の所蔵品となる。

○：重要美術品

No.	指定	絵師名	作品名	年代	所蔵
S-7			太刀 銘 長則造	鎌倉時代（14世紀）	
神代の武勇譚					
U-1		歌川国芳	「武勇見立十二支 辰 素盞雄尊」	天保13年（1842）頃	
U-2		歌川国輝	「本朝英雄伝 牛頭天皇 稲田姫」	弘化4-嘉永元年（1847-48）頃	
U-3		月岡芳年	「大日本名将鑑 素盞烏尊 稲田姫」	明治12年（1879）2月20日	
U-4		歌川国芳	「武勇見立十二支 亥 雄略天皇」	天保13年（1842）頃	
U-5		歌川国芳	「小子部栖輕豊浦里捕雷」	天保5-6年（1834-35）頃	
U-6		歌川国芳	「出雲伊磨」	天保5-6年（1834-35）頃	
U-7		歌川国芳	「神我志姫」	文政9-11年（1826-28）頃	
S-J1			直刀 無銘	古墳時代（6世紀）	國學院大學博物館
平安時代の武者					
U-8		勝川春亭	藤原秀郷の百足退治	文政元-3年（1818-20）頃	
U-9		歌川国芳	「龍宮城 田原藤太秀郷に三種の土産を贈」	安政5年（1858）4月	
U-10		勝川春亭	「前太平記文巻川合戦」	文化8-9年（1811-12）頃	
T-1			藤原秀郷図鐔 銘 生涼軒萩谷勝平（花押）	江戸-明治時代（19世紀）	
U-11		北尾重政	猿と熊の相撲の行司をする金太郎	安永元-3年（1772-74）頃	
U-12		歌川芳艶	「頼光足柄山二怪童丸抱図」	安政6年（1859）2月	
U-13		歌川国芳	「和漢準源氏 源頼光 薄雲」	安政2年（1855）9月	
U-14		歌川国貞	「渡辺ノ綱 坂田金時 平井保昌 源頼光」	文化12年（1815）頃	
U-15		勝川春亭	坂田金時	寛政10年（1798）頃	
U-16		北尾政美	土蜘蛛退治	天明7-寛政2年（1787-90）頃	
U-17		歌川国芳	「源頼光の四天王土蜘蛛退治之図」	天保10-11年（1839-40）頃	
U-18		勝川春英	「坂田金時土蜘蛛退治之図」	文化3年（1806）	
T-2			土蜘蛛退治図鐔 銘 嘉永元戊申葉月応需 美も利（印）	嘉永元年（1848）	
T-3			土蜘蛛退治図鐔 銘 松清軒吾竹貞勝（花押）	明治時代（19世紀）	
U-19		菱川師宣	酒吞童子 首斬り	延宝8年（1680年）頃	
U-20		菱川師宣	酒吞童子 首飛来	延宝8年（1680年）頃	
U-21		菱川師宣	酒吞童子 凱旋、酒吞童子之首	延宝8年（1680年）頃	
U-22		歌川国芳	「源頼光」	文政3年（1820）頃	
T-4			大江山図鐔（大） 銘 起龍軒美盛（花押）	明治時代（19世紀）	
T-5			大江山図鐔（小） 銘 起龍軒美盛（花押）	明治時代（19世紀）	
S-1			太刀 銘 安綱	平安時代（11世紀）	
U-23		奥村政信	大和色竹 「大江山酒天とうし」	宝永2-3年（1705-6）頃	
U-24		一筆斎文調	渡辺綱	明和6-安永元年（1769-72）頃	
U-25		歌川国貞	「茨鬼 戻橋綱逢変化」	文化12年（1815）頃	
U-26		月岡芳年	「美談武者八景 戸隠の晴嵐 平惟茂朝臣」	慶応4年（1868）1月	
U-27		月岡芳年	「大日本名将鑑 平惟茂」	明治12年（1879）	
T-6			紅葉狩図鐔 銘 生涼軒勝寿（花押）	江戸-明治時代（19世紀）	
U-28		歌川国芳	「武勇見立十二支 丑 鬼童丸」	天保13年（1842）頃	
U-29		歌川国芳	「耀武八景 市原野晴嵐」	天保7年（1836）頃	
U-30		歌川国芳	「木曾街道六十九次之内 野尻 平井保昌 袴垂保輔」	嘉永5年（1852）5月	
U-31		月岡芳年	「明治十五壬午季秋絵画共進会出品画藤原保昌月下弄笛図応需」	明治16年（1883）2月12日	
U-32		勝川春亭	「八幡太郎義家公 安倍貞任」	文化8-9年（1811-12）頃	
S-J2			小烏丸（模作）太刀 銘 小沢正寿作 昭和四十五年二月日 毎日新聞社賞受賞之作	昭和45年（1970）2月 [原品：平安時代（9世紀）]	個人
源平時代の英雄					
U-33		歌川国貞	「本朝高名鑑 平忠盛」	天保10-11年（1839-40）頃	
T-7			祇園社頭図鐔 銘 嘉永三庚戌歳初夏 守親（印）	嘉永3年（1850）	
T-8			祇園社頭図鐔 銘 於東都忍岡邊海野盛寿作之	江戸-明治時代（19世紀）	
U-34		葛飾北為	「福原殿怪異之図」	弘化2-3年（1845-46）頃	
U-35		歌川国芳	「布引ノ滝悪源太討難波」	天保5-6年（1834-35）頃	
U-36		歌川国芳	「清盛入道布引滝遊覧悪源太義平霊討難波次郎」	天保元年（1830）頃	
U-37		北尾政美	鶴退治	寛政3-6年（1791-94）頃	
U-38		鳥居清満	「一來法師 筒井淨妙」	宝暦5-13年（1755-63）頃	
U-39		北尾重政	『絵本武者鞋』 宇治橋上の筒井淨妙と一來法師	天明7年（1787）	
U-40		歌川国貞	「牛若鞍馬兵術劔」	文化11年（1814）頃	
U-41		歌川国芳	「西塔鬼若丸」	弘化2-3年（1845-46）頃	
U-42		鳥居清長	牛若丸と弁慶	天明4年（1784）頃	
U-43		歌川国貞	「武蔵坊弁慶 御曹子牛若丸」	文化10-11年（1813-14）頃	
U-44		歌川国芳	天狗の加勢を得て戦う牛若丸と弁慶	嘉永3年（1850）	
T-9			橋弁慶図鐔 無銘（宗典派）	江戸時代（19世紀）	
T-10			橋弁慶図鐔 銘 連行（花押）	江戸時代（19世紀）	
U-45		歌川国芳	「真田與市宗定 俣野五郎景久」	文政11-12年（1828-29）頃	

U-46	歌川国芳	「俣野五郎景久 真田与一義貞」	天保14-弘化元年（1843-44）頃	
T-11		伏木隠れ図鐙 銘 瀬尾美寿造	明治時代（19世紀）	
T-12		伏木隠れ図鐙 無銘（宗典派）	江戸時代（18-19世紀）	
U-47	無款	宇治川の先陣争い	天明期（1781-88）頃	
U-48	歌川国芳	「宇治川合戦之図」	嘉永2年（1849）	
T-13		宇治川先陣争い図鐙 銘 江州彦根住喜多川藻柄子入道宗典行年七十一歳製	江戸時代（18世紀）	
T-14		宇治川先陣争い図鐙 銘 常山宮 玉川信義（花押）	江戸時代（19世紀）	
T-15		宇治川先陣争い図鐙 銘 林美勝（花押）	江戸-明治時代（19世紀）	
T-16		宇治川先陣争い図鐙 銘 生涼軒勝平（花押）	江戸-明治時代（19世紀）	
U-49	田村貞信	「武者三幅対 智 源義経」	享保10-元文5年（1725-40）頃	
U-50	魚屋北溪	「武者松竹梅番続」 弁慶	文政11-12年（1828-29）頃	
U-J1	歌川国芳	「生田森追手源平大合戦」	弘化2-3年（1845-46）頃	個人
T-17		簞の梅図鐙 銘 江州住美光作	江戸時代（19世紀）	
T-18		簞の梅図鐙 無銘（宗典派）	江戸時代（19世紀）	
U-J2	歌川国芳	義経之軍兵一ノ谷逆落シ之図	天保11-12年（1840-41）頃	個人
U-51	北尾政美	一の谷合戦	天明7-寛政2年（1787-90）頃	
U-52	勝川春亭	「一ノ谷合戦」	文化8-10年（1811-13）頃	
U-53	無款（奥村政信）	平敦盛と熊谷直実	正徳元-5（1711-15）頃	
U-54	無款（杉村治兵衛）	弓を引く那須与一	貞享元-元禄13年（1684-1700）頃	
U-55	鳥橋斎米里	扇の的を射る那須与一	寛政7-8年（1795-96）頃	
U-56	勝川春章	源義経	明和5-6年（1768-69）頃	
U-57	北尾政美	屋島合戦	天明7-寛政2年（1787-90）頃	
U-58	歌川豊国	しころ引き「七兵衛影清 三保の谷四郎国俊」	文化10-12年（1813-15）頃	
T-19		源平合戦図鐙 銘 江州住美光作	江戸時代（19世紀）	
T-20		鍛引き図鐙 銘 高瀬栄寿	江戸時代（19世紀）	
U-59	月岡芳年	「義経八島之名誉」	慶応2年（1866）4月	
T-21		義経弓流し図鐙 無銘（水戸派）	江戸時代（19世紀）	
U-60	歌川国芳	「程義経恋源一代鏡 三略伝」 能登守教経から逃れる源義経	嘉永6年（1853）1月	
T-22		義経八艘飛び図鐙 銘 在川真正	江戸時代（19世紀）	
U-61	歌川国芳	「長門国赤間の浦に於て源平大合戦平家一門悉く亡びる図」	弘化2-3年（1845-46）頃	
U-62	歌川国芳	「壇浦戦之図」	弘化元年（1844）頃	
U-63	勝川春亭	「堀川夜合戦」	文化11-文政2年（1814-19）頃	
U-64	葛飾北為	「摂州大物浦平家怨霊顕る図」	弘化4-嘉永3年（1847-50）頃	
U-65	歌川国芳	「程義経恋源一代鏡 三略伝」 大物浦	嘉永6年（1853年）1月	
U-66	豊原国周	「文治四年摂州大物浦難風の図」	万延元年（1860）4月	
U-67	歌川国芳	佐藤忠信奮戦	弘化2年（1845）頃	
U-68	歌川国芳	「佐藤忠信勇戦義経時が勢を破る図」	安政2年（1855）9月	
U-69	歌川芳虎	「加賀国安宅の関にて斎藤武蔵坊弁慶勳進帳を読む図」	弘化4-嘉永3年（1847-50）頃	
U-70	歌川国芳	「加賀国安宅関弁慶主従危難救図」	安政3年（1856）2月	
U-71	歌川国芳	「袈裟御前 遠藤武者盛遠 渡辺渡」	弘化2年（1845）頃	
U-72	歌川国貞	「本朝高名鑑 文覚上人」	天保10-11年（1839-40）頃	
T-23		文覚上人荒行図鐙 銘 筑山軒元貞（花押）	江戸時代（19世紀）	
U-73	歌川国芳	「越後国の住人城四郎長茂平家のさいそくにしたがひ出陣なす折から空中に怪異を見る図」	嘉永2-4年（1849-51）頃	
U-74	三代歌川豊国 （歌川国貞）	源頼朝の前で舞う静御前	嘉永2-5年（1849-52）頃	
U-75	北尾政美	巴御前	天明7-寛政2年（1787-90）頃	
U-76	勝川春亭	「義仲北国日野川合戦」	文政元-2年（1818-19）頃	
U-77	歌川国芳	「巴御前」	弘化4年（1847）頃	
U-78	歌川国芳	俱利伽羅谷合戦	弘化2年（1845）頃	
U-79	魚屋北溪	「武者松竹梅番続」 巴御前	文政11-12年（1828-29）頃	
U-80	勝川春亭	「粟津合戦 三枚続」	文化4年（1807）10月	
U-81	歌川広重	「源平盛衰記 粟津原合戦」	天保14-弘化3年（1843-46）頃	
S-J3	○	太刀 銘 友成作	平安時代（11-12世紀）	刀剣博物館〔公財〕日本美術刀剣保存協会
鎌倉時代の物語				
U-82	歌川国貞	「河津三郎祐安 海老名源八弘綱 俣野五郎景久」	天保9-11年（1838-40）頃	
U-83	歌川豊春	（新板浮絵 和田酒盛草摺引之図）	安永4-10年（1775-81）頃	
U-84	勝川春亭	「春詠」 草摺引の額	文政2-3年（1819-20）頃	
U-85	北尾重政	猪をしとめる仁田四郎	宝暦10-14年（1760-64）頃	
U-86	歌川国貞	「源頼朝公富士之裾野牧狩之図 三枚続」	文化10年（1813）頃	
T-24		富士裾野巻狩図鐙 銘 寿親（花押）	江戸時代（19世紀）	
U-87	歌川国芳	「建久四年五月廿八日富士之裾野曾我兄弟夜討本望之図」	天保7年（1836）頃	
U-88	歌川国貞	「曾我五郎時宗 御所五郎丸重宗 十番切」	文政8年（1825）頃	
U-89	魚屋北溪	江の島の北条時政	天保4年（1833）頃	
U-90	葵岡溪栖	江の島の弁財天と北条時政	天保4年（1833）頃	
U-J3	歌川国芳	「和田合戦 義秀惣門押破」	嘉永5年（1852）6月	個人
「太平記」の武将たち				

U-91	歌川芳虎	楠正成赤坂城籠城	嘉永2年(1849)	
U-92	歌川国芳	「楠多門丸正行 竹童丸」	天保14・弘化3年(1843-46)頃	
U-93	勝川春章	楠公父子桜井の別れの図	安永8-9年(1779-80)頃	
U-94	歌川国貞	「大森彦七」	文政11-13年(1828-30)頃	
T-25		大森彦七図 鐺 銘 浜野矩隋(印)	江戸時代(18世紀)	
T-26		大森彦七図 鐺 無銘(宗典派)	江戸時代(19世紀)	
U-95	歌川国芳	「勇魁三十六合戦 四」 新田義貞	嘉永4-5年(1851-52)頃	
U-96	歌川重宣	新田義貞稲村ヶ崎奉剣	嘉永2-5年(1849-52)頃	
T-27		新田義貞投剣図 鐺 無銘(水戸派)	江戸時代(19世紀)	
U-97	歌川国芳	「淵部伊賀守討大塔宮」	天保5-6年(1834-35)頃	
U-98	歌川国芳	「木曾街道六十九次之内 宮の越 大塔宮」	嘉永5年(1852)5月	
U-99	歌川国芳	「太平記天龍川之浮橋図」	天保13年(1842)頃	
S-J7		太刀 銘 備州長船倫光	南北朝時代(14世紀)	個人
川中島合戦				
U-100	歌川国芳	「川中島信玄謙信旗本大合戦之図」	弘化2年(1845)頃	
U-101	歌川国芳	「信州川中島大合戦之図」	弘化2年(1845)頃	
U-102	歌川国芳	「信州川中島武田の正兵西条山を引きかへし雨宮のわたりをこへ越 後方甘粕近江守と戦ふ図」	安政2年(1855年)9月	
U-103	二代歌川国綱	「甲越両将川中島大戦全」	安政6年(1859)5月	
S-J9	○	太刀 銘 来国俊 元亨元年十二月日	鎌倉時代 元亨元年(1321)	刀剣博物館 [(公財)日本美術刀剣保存協会]
小説のヒーローたち				
U-104	歌川国芳	「為朝誉十傑 二」 為朝と狼の子	弘化4・嘉永元年(1847-48)頃	
U-105	卍楼北鷺	「椿説弓張月 巻中略図 山雄(狼ノ名也) 主のために蟒蛇を嚙んで山中に骸を止む」	天保11年(1840)頃	
U-106	二代歌川国貞	「弓張月振分双六」	安政2年(1855)年8月	
U-107	歌川国芳	「鬼童丸」	天保11年(1840)頃	
U-108	歌川芳艶	「破奇術頼光袴垂為翫」	安政5年(1858)4月	
U-109	歌川国芳	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 宮本無三四」	天保4-6年(1833-35)頃	
U-110	歌川広重	「英勇五人傑 宮本無三四」	弘化4・嘉永元年(1847-48)頃	
U-111	歌川国芳	「將軍太郎良門味方ノ勢を聚る図」	嘉永2-3年(1849-50)頃	
U-112	豊原国周	「相馬良門古寺之図」	安政5年(1858)8月	
U-113	歌川国芳	「伊賀寿太郎 將軍太郎平良門 滝夜刃姫」	弘化元年(1844)頃	
U-114	歌川芳虎	「越中立山之地獄谷に肉芝道人蛙合戦の奇をあらはし良門伊賀寿の両雄に妖術を授く」	元治元年(1864)6月	
U-115	歌川国芳	「里見八犬伝一覽」	嘉永5年(1852)	
U-116	三代歌川豊国 (歌川国貞)	里見八犬伝 「犬田小文吾」	弘化2-3年(1845-46)頃	
U-117	三代歌川豊国 (歌川国貞)	里見八犬伝 「犬坂毛乃胤智」	弘化2-3年(1845-46)頃	
U-118	歌川芳虎	犬飼現八庚申山中で化け猫を射る	嘉永2-3年(1849-50)頃	
ボストン美術館の名刀				
S-2		刀 無銘 伝来国光	鎌倉時代(14世紀)	
S-3		短刀 無銘 伝千手院	鎌倉時代(13世紀)	
S-4		短刀 銘 大和尻懸則長四十八作之 文保三年己未三月十日	鎌倉時代 文保3年(1319)	
S-5		太刀 銘 重久	鎌倉時代(13世紀)	
S-6		刀 無銘 伝福岡一文字	鎌倉時代(13世紀)	
S-8		短刀 銘 備前国福岡左兵衛尉長則 正安二年八月日	鎌倉時代 正安2年(1300)	
S-9		刀 金象嵌銘 光忠	鎌倉時代(13世紀)	
S-10		刀 金象嵌銘 長光 本阿(花押)	鎌倉時代(13世紀)	
S-11-1		太刀 銘 備州長船住兼光	鎌倉時代(14世紀)	
S-11-2		金梨子地家紋散糸巻太刀拵	江戸時代(17世紀)	
S-12		脇指 銘 来国宗	南北朝時代(14世紀)	
S-13		太刀 銘 一備州長船住助重作 康永貳年十一月十二日	南北朝時代 康永2年(1343)	
S-14		刀 無銘 伝長義	南北朝時代(14世紀)	
S-15-1		太刀 銘 三条吉則作	室町時代(15世紀)	
S-15-2		蠟色塗鞘打刀拵／牡丹図鐺／牡丹図揃金具 加納夏雄作	江戸時代・明治時代(19世紀)	
S-16		太刀 銘 備州長船盛重	南北朝時代・室町時代(14-15世紀)	
S-17		刀 銘 洛陽住信濃守国広 慶長十五年八月日	江戸時代 慶長15年(1610)	
S-18		脇指 銘 井上貞改(菊紋) 延宝三年八月日	江戸時代 延宝3年(1675)	
S-19		刀 銘 長曾祢興正	江戸時代(17世紀)	
S-20		刀 銘 水心子正秀(花押) 寛政三年八月日	江戸時代 寛政3年(1791)	



和田誠展

【趣 旨】

グラフィックデザイナー、イラストレーターとして広く知られる和田誠（1936－2019）の全貌を紹介する没後初の回顧展。30のトピックスを軸に、多方面で活躍した和田の初期から晩年までの仕事を一望する。

【総 括】

●評価すべき点

- ・イラストレーション、グラフィックデザインの分野に留まらない幅広いジャンルの作品を紹介する内容で、間口が広く、幅広い層が来館、満足度の高い結果となった。
- ・ショップ運営を含む地域機関との協働は好調で、今後の関係づくりにもつながった。

●検討課題

- ・照明設備の制約が図面作成にも影響し、追加費用も発生した。また会期中、照度を落とした照明でチラつきが頻繁に発生し鑑賞の妨げになった。照明設備の改修、LED化の計画を検討すべきである。

【開催日・その他】

＝2022年7月2日(土)～8月28日(日) (54日間)＝

休館日：7月11日(月)、7月25日(月)、8月8日(月)、8月22日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館、新潟日报社、NST新潟総合テレビ、和田誠展新潟実行委員会

特別協力：和田誠事務所、多摩美術大学、多摩美術大学アートアーカイヴセンター

企画協力：ブルーシープ、888ブックス

後 援：新潟市、新潟市教育委員会、NHK新潟放送局、NCV(株)ニューメディア、FM新潟77.5

協 力：新潟県立美術館友の会

観覧料：一般……………1,400円(1,200円)〈1,100円〉

大学・高校生……………1,100円(900円)

※ 中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金

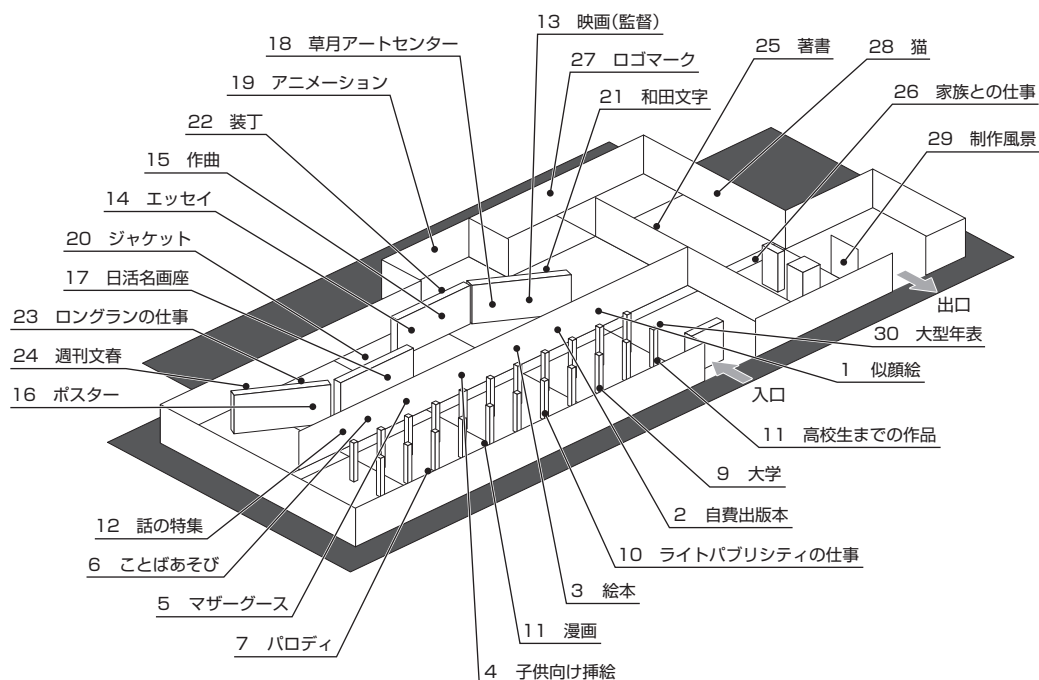
※ 〈 〉 は前売券料金

【関連行事】

・映画上映会

和田誠展関連上映会「快盗ルビイ」(主催：シネ・ウインド)
8月14日(日)10:00～12:00 クロスパル新潟4階 映像ホール

参加者数：33名



【図 録】

仕 様：A5判 520頁

編 集：吉田宏子(888ブックス)、福島直(東京オペラシティ
アートギャラリー)、佐藤万記(ブルーシープ)

年表作成・執筆協力：濱田高志

編集協力：伊藤奈津子

ブックデザイン：大西隆介(direction Q)、沼本明希子(direction Q)、
清水真実(direction Q)

特別協力：和田誠事務所、多摩美術大学、多摩美術大学アート
アーカイヴセンター

撮影協力：坂上俊彦(東京フォトアークス)、土田祐介

印刷・製本：株式会社ライブアートブックス

発行人：草刈大介

発行所：ブルーシープ株式会社

内 容：年表(1936-1958/1959-1967/1968-1977/
1978-1987/1988-2000/2001-2013/2014
-2019)

作品(和田誠になるまで一幼少～高校生まで/和田
誠になるまで一大学生/ライトパブリシティの時代/
新宿日活名画座/草月アートセンター/私家版絵本/
絵本/児童書のイラストレーション/言葉あそび「こ
とばのことば」/マザー・グース/ひとコマ漫画/話
の特集/パロディ/装丁/ポスター/ジャケット/作
曲/似顔絵/エッセイ/映画監督/ロゴ・マーク/ロ
ングラン/週刊文春/家族との仕事/仕事場訪問/た
だいま製作中)

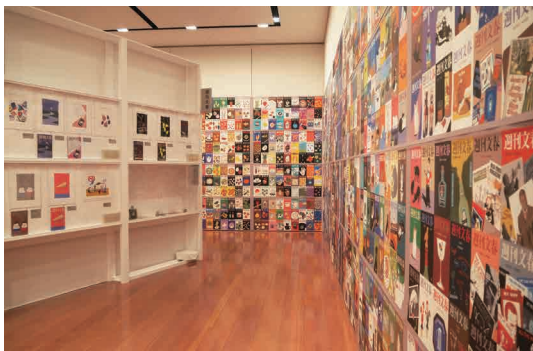
言葉(番組表の裏にたくさん絵を描いた/日活名画座
の頃/ぼくの私家版絵本時代/谷川作品に絵をつける
/和田誠訳 マザー・グース/『倫敦巴里』あとがき
/本の手ざわり/文字について/ポスターについて/
ジャケットについて/似顔絵インタビュー/映画監督
について/画材について)

和田誠、創作の源泉 ― 展覧会について/福島直

和田誠と多摩美術大学/建畠哲

和田誠さんとAAC/久保田晃弘





【関連記事】

●新聞

6月26日(日) 新潟日報

「特集 和田誠展 7月から県立万代島美術館」

7月22日(金) 新潟日報

「展覧会へようこそ 和田誠展 多才ぶり伝える作品数」／松本奈穂子

8月1日(月) 新潟日報おとなプラス

「和田誠展 多才な表現者の足跡訪ね」／和田明子(ライター、デザイナー)

その他 新潟日報 (7/2、7/11、7/16、8/10)

村上新聞 (6/4)、十日町新聞 (6/16)、

毎日新聞 (6/21)、妻有新聞 (7/2)、

朝日新聞 (7/18)、読売新聞 (7/22)、

陸奥新報 (8/17)

〈連載〉

新潟日報「和田誠展」

〈1〉「各年代をユーモアに」(8/9)

〈2〉「短編には「白い背景」」(8/10)

〈3〉「単行本1巻目のネコ」(8/11)

〈4〉「アーティストの肖像」(8/12)

〈5〉「ライフワークの契機」(8/13)

●雑誌

月刊ウインド 8月号(展覧会レビュー)

●テレビ

7月1日(金) NST新潟総合テレビ「ニュースタッチ」

7月2日(土) NHK新潟放送局

7月30日(土) NST新潟総合テレビ「Smile Stadium NST」

●WEB

YouTube「だいききにいがた」(展覧会紹介)

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	11,168
	前売	4,186
無料観覧者数	招待	1,788
	無料	1,482
	免除	1,121
総観覧者数		19,745
有料率 (%)		77.8

担当 松本奈穂子

【出品リスト】

作品名	出版社	制作年 (発行年)	素材技法	所蔵
1 似顔絵				
『和田誠肖像画集 PEOPLE』	美術出版社	1973	書籍	和田誠事務所
『和田誠肖像画集 PEOPLE 2』	美術出版社	1977	書籍	和田誠事務所
ルイ・アームストロング『グラフィックデザイン 35』1969年9月号	講談社	1969	雑誌現物	個人蔵
中山千夏『週刊サンケイ』1965年7月14日	産経新聞社	1965	雑誌現物	森晴路氏
佐藤栄作『週刊サンケイ』1969年12月1日	産経新聞社	1969	雑誌現物	森晴路氏
加山雄三 ポスター		1980	オフセット、紙	和田誠事務所
黒柳徹子 日本長期信用銀行 ポスター		不詳	オフセット、紙	和田誠事務所
「筒井康隆断筆祭」ポスター		1994	オフセット、紙	和田誠事務所
「チャップリンのアート・オブ・コメディ」ポスター		1973	オフセット、紙	和田誠事務所
「色川武大・阿佐田哲也の世界」ポスター		1998	オフセット、紙	和田誠事務所
下町の玉三郎 梅沢富美男		1985	オフセット、紙	和田誠事務所
マリリン・モンロー ポスター		不詳	オフセット、紙	和田誠事務所
ヒモのはなし2 (作・演出・つかこうへい)		1978	オフセット、紙	和田誠事務所
ライザ・ミネリ「CABARET」ポスター		不詳	オフセット、紙	和田誠事務所
フランク・シナトラ「Sands」ポスター		1967	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
セシル・B・デミル 個展「映画監督」		2002	油彩、キャンバス	和田誠事務所
『ラストエンペラー』個展「OSCAR」		2011	アクリル、キャンバス	和田誠事務所
『地上最大のショウ』個展「OSCAR2」		2013	アクリル、キャンバス	和田誠事務所
レンブラント 個展「画家群像」		2014	油彩、キャンバス	和田誠事務所
フェデリコ・フェリーニ 個展「映画監督」		2002	油彩、キャンバス	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『マルクスの二丁拳銃』個展「LASTSCEAN」		2008	油彩、キャンバス	多摩美術大学アートアーカイブセンター
ライザ・ミネリ 柳生すみまる『ミュージカル映画』表紙原画		1975	カラーインク、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
カレンダー「チャップリンの独裁者」原画		1980	カラーインク・ペン、イラストボード	多摩美術大学アートアーカイブセンター
カレンダー「八十日間世界一周」原画		1981	カラーインク・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
カレンダー「生きる」原画		1984	カラーインク・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
カレンダー「アニー・ホール」原画		1994	カラーインク、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
カレンダー「イージー・ライダー」原画		1997	カラーインク、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
カレンダー「イージー・ライダー」下絵		1997	鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
カレンダー「シェルブールの雨傘」原画		2002	カラーインク、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
カレンダー「シェルブールの雨傘」下絵		2002	鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
川端康成『週刊サンケイ』1969年1月6日号 表紙原画	産経新聞社	1969	ポスターカラー・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
ピンキーとキラーズ『週刊サンケイ』1969年1月27日号 表紙原画	産経新聞社	1969	ポスターカラー・カラーインク・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
コント55号『週刊サンケイ』1969年9月15日号 表紙原画	産経新聞社	1969	カラーインク・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
勝新太郎、三船敏郎『週刊サンケイ』1970年1月5日号 表紙原画	産経新聞社	1970	カラーインク・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
黒澤明『週刊サンケイ』1970年11月23日号 表紙原画	産経新聞社	1970	カラーインク・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
パネル 46点			出力	
2 私家版絵本				
『からすのお城』(文=高橋睦郎)		1963	書籍	トムズボックス
『ちょうちょむすび』(文=今江祥智)		1963	書籍	和田誠事務所
『山太郎』(文=川路重之)		1963	書籍	トムズボックス
『花とひみつ』(文=星新一)		1964	書籍	トムズボックス
『しりとりに』(文=谷川俊太郎)		1965	書籍	和田誠事務所
『すずめチーター』(文=広島の幼稚園児)		1965	書籍	和田誠事務所
『17のこもりうた』(文=高橋睦郎、曲=和田誠)		1966	書籍	和田誠事務所
私家版絵本パネル 8点			出力	
3 絵本				
『あな』(文=谷川俊太郎)	福音館書店	1976	書籍	和田誠事務所
『あな』原画・色指定		1976	色鉛筆・鉛筆・コラージュ・色指定紙、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『がいこつ』(文=谷川俊太郎)	教育画劇	2005	書籍	和田誠事務所
『がいこつ』色版(黄)		2005	ポスターカラー、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『がいこつ』色版(青)		2005	ポスターカラー・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『がいこつ』色版(黒)		2005	ポスターカラー・鉛筆・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『がいこつ』色版(赤)		2005	ポスターカラー・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『とぶ』(文=谷川俊太郎)	福音館書店	1978	書籍	和田誠事務所
『とぶ』原画		1978	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『とぶ』原画		1978	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『これはのみのびこ』(文=谷川俊太郎)	サンリード	1979	書籍	和田誠事務所
『これはのみのびこ』原画		1979	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『これはのみのびこ』原画		1979	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『ぬすまれた月』	岩崎書店	2017	書籍	和田誠事務所
『ぬすまれた月』原画		1963	カラーインク・鉛筆・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『ぬすまれた月』(新版)	岩崎書店	2006	書籍	和田誠事務所
『ぬすまれた月』(新版)原画		2006	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『あめだまをたべたライオン』(文=今江祥智)	フレーベル館	1977	書籍	和田誠事務所
『あめだまをたべたライオン』原画		1977	カラーインク・ペン・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『あめだまをたべたライオン』原画		1977	カラーインク・ペン・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『密林一きれいなひょうの話』文=工藤直子	銀河社	1975	書籍	和田誠事務所
『密林一きれいなひょうの話』原画		1975	油彩、キャンバスボード	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『密林一きれいなひょうの話』原画		1975	油彩・鉛筆、キャンバスボード	多摩美術大学アートアーカイブセンター

『ねこのシジミ』	ほるぷ出版	1996	書籍	和田誠事務所
『ねこのシジミ』原画		1996	エッチング・色鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『ねこのシジミ』原画		1996	エッチング・色鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『モザイクの馬』(文=小園江圭子)	千趣会	1975	書籍	和田誠事務所
『モザイクの馬』新装版(文=小園江圭子)	講談社	2005	書籍	和田誠事務所
『モザイクの馬』原画		1975	油彩、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『モザイクの馬』原画		1975	油彩、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『このえほん』(文=谷川俊太郎)	福音館書店	1974	書籍	個人蔵
『せかいひろし』(文=谷川俊太郎)	あかね書房	1978	書籍	和田誠事務所
『いちねんせい』(文=谷川俊太郎)	小学館	1988	書籍	和田誠事務所
『ともだち』(文=谷川俊太郎)	玉川大学出版	2002	書籍	和田誠事務所
『みつばち ぴい』(文=北杜夫)	フレーベル館	1961	書籍	和田誠事務所
『Momotaro』(文=松本亨)	ナコム社	1968	書籍	個人蔵
『Issun Boshi』(文=松本亨)	ナコム社	1968	書籍	個人蔵
『花とみつ新版』(文=星新一)		1979	書籍	和田誠事務所
『かいぞくうた』	あかね書房	1996	書籍	和田誠事務所
『どんなかんじかなあ』(文=中山千夏)	自由国民社	2005	書籍	和田誠事務所
4 児童書のイラストレーション				
『気まぐれロボット』(文=星新一)	理論社	1966	書籍	トムズボックス
『気まぐれロボット』表紙原画		1966	グアッシュ、ポスターカラー	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『気まぐれロボット』挿絵原画		1966	ペン・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『気まぐれロボット』挿絵原画		1966	ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『きまぐれロボット』(文=星新一)	角川書店	1972	書籍	個人蔵
『きまぐれロボット』(文=星新一)	理論社	1999	書籍	和田誠事務所
『だれかさんの悪夢』(文=星新一)	新潮社	1970	書籍	個人蔵
『だれかさんの悪夢』挿絵(複製)		1970		—
『あーん・あーん』『ディズニーの国』(文=星新一)	日本ラーズダイジェスト社	1963	書籍	個人蔵
『きまぐれ星のメモ』(文=星新一)	読売新聞社	1968	書籍	個人蔵
『盗賊会社』(文=星新一)	日本経済新聞社	1968	書籍	個人蔵
『ほら男爵 現代の冒険』(文=星新一)	新潮社	1970	書籍	個人蔵
『ごたごた気流』(文=星新一)	講談社	1974	書籍	個人蔵
『きまぐれ唇』(文=星新一)	河出書房新社	1975	書籍	個人蔵
『ぼくは王さま』(文=寺村輝夫)	理論社	1967	書籍	和田誠事務所
『ぼくは王さま』表紙原画		1967	カラーインク・鉛筆・コラージュ、イラストボード	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『ノコ星ノコくん』(文=寺村輝夫)	理論社	1965	書籍	和田誠事務所
『おおきなポケット』	福音館書店	2004	雑誌現物	和田誠事務所
『おおきなポケット』	福音館書店	2005	雑誌現物	個人蔵
『めざましどけいのうた』『ひかりのくに』1968年6月号	ひかりのくに監和出版	1968		トムズボックス
『めざましどけいのうた』『ひかりのくに』1968年6月号 原画		1968	カラーインク、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『かいぬしがいつぱい』『ワンダーブック』1969年10月号	世界文化社	1969	カラーインク・ペン・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『アポロン』1968年2月号 表紙原画		1968	カラーインク・ペン・鉛筆、イラストボード	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『たのしいうたとリズム』1978年4月号 表紙原画	東京創芸社	1978	カラーインク・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
ラング世界童話全集 別巻『アラビアン・ナイト』		1959	書籍	個人蔵
『アラビアンナイト』原画		1959	ガッシュ・ペン・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『ぞうさん』(文=まど・みちお)	フレーベル館	1995	書籍	和田誠事務所
『アルセーヌ・ルパンの冒険』(文=ルブラン、訳=那須辰造)	あかね書房	1964	書籍	和田誠事務所
『天からふってきたお金』(著=アリス・ケルジー)	岩波書店	1964	書籍	和田誠事務所
『ちょうちむすび』(文=今江祥智 絵=長新太・宇野亜喜良、田島征三)	美業之日本社	1970	書籍	和田誠事務所
『わらいねこ』(文=今江祥智)	理論社	1964	書籍	和田誠事務所
『おちていたうちゃうせん』(文=小松左京)	フレーベル館	1972	書籍	和田誠事務所
『ぼくのおじさん』(文=北杜夫)	旺文社	1972	書籍	個人蔵
『あるような ないような話』(文=ライナー・クンツェ)	岩波書店	1975	書籍	和田誠事務所
『半分かけたお月さま』(著=小野ルミ)	かど創房	1977	書籍	個人蔵
『つづり方特選作品集 小学校1年〜3年』	東京書籍	1979	書籍	和田誠事務所
『つづり方特選作品集 小学校4年〜6年』	東京書籍	1979	書籍	和田誠事務所
『つづり方特選作品集 中学校』	東京書籍	1979	書籍	和田誠事務所
『パパはころしや』(文=今江祥智)	理論社	1978	書籍	和田誠事務所
『空中メリーゴーラウンド』(文=齊藤洋)	理論社	1991	書籍	個人蔵
『だだずんじゃん』(文=川崎洋)	いそづぶ社	2001	書籍	和田誠事務所
5 マザー・グース				
『マザー・グース 1』(訳=谷川俊太郎)	講談社	1984	書籍	和田誠事務所
『マザー・グース 2』(訳=谷川俊太郎)	講談社	1984	書籍	和田誠事務所
『マザー・グース 3』(訳=谷川俊太郎)	講談社	1985	書籍	和田誠事務所
『マザー・グース 4』(訳=谷川俊太郎)	講談社	1985	書籍	和田誠事務所
『マザー・グース 1』原画・色指定		1984	ペン・鉛筆・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『マザー・グース 1』原画		1981	ペン・鉛筆・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『マザー・グース 3』原画・色指定		1985	ペン・鉛筆・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『マザー・グース 3』原画		1981	ペン・鉛筆・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『マザー・グース 4』原画		1981	ペン・鉛筆・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイヴセンター
『マザー・グース』		1981	書籍	和田誠事務所
『マザー・グース 1』(訳=谷川俊太郎)	講談社	1981	書籍	和田誠事務所
『マザー・グース 2』(訳=谷川俊太郎)	講談社	1981	書籍	和田誠事務所
『マザー・グース 3』(訳=谷川俊太郎)	講談社	1981	書籍	和田誠事務所
『マザー・グース 4』(訳=谷川俊太郎)	講談社	1981	書籍	和田誠事務所

『オフ・オフ・マザー・グース』	1989	書籍	和田誠事務所
『オフ・オフ・マザー・グース』（作曲=櫻井順）	1995	CD	和田誠事務所
『オフ・オフ・マザー・グース』 チラシ	1995		和田誠事務所
『またまた・マザー・グース』	1995	書籍	和田誠事務所
『またまた・マザー・グース』（作曲=櫻井順）	1995	CD	個人蔵
カレンダー	2012	オフセット、紙	和田誠事務所
「マザー・グース」軸装『マザー・グース軸装展』	2000	墨、紙	和田誠事務所
『読売家庭版』表紙イラストレーションパネル 6点		出力	
6 ことばあそび「ことばのこぼこ」			
『ことばのこぼこ』	すばる書房 (1995~瑞雲舎)	書籍	和田誠事務所
パネル 1点		出力	
7 パロディ			
「倫敦巴里」	話の特集	1977	書籍 和田誠事務所
「特集ギャラリー クレー ハタ坊」原画『話の特集』	話の特集	1966	ペン・カラーインク・コラージュ、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「オラオラオラ世界的に鼻血ブーだもんね ピカソふう」原画『オール讀物』	文藝春秋	1971	グアッシュ・ペン・コラージュ、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「新・雪国 川端康成」原画『話の特集』 原画	話の特集	1973	ペン・色鉛筆・コラージュ、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「「ねじ式」式」原画『話の特集』	話の特集	1973	ペン・コラージュ、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「新・雪国 筒井康隆」原画『話の特集』	話の特集	1973	ペン・色鉛筆・コラージュ、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「CM三角大福 三角1ばん」原画『話の特集』	話の特集	1972	インク・カラーインク・色鉛筆、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「今昔文士劇大会 ニャロメ・夏目漱石」原画『オール讀物』	文藝春秋	1970	インク・カラーインク、イラストボード 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「本の雑誌」1997年1月号	本の雑誌社	1997	雑誌現物 和田誠事務所
「本の雑誌」1998年1月号	本の雑誌社	1998	雑誌現物 和田誠事務所
「亀倉雄策の直言飛行」(著=亀倉雄策)	六耀社	1990	書籍 個人蔵
8 和田誠になるまで 幼少~高校生			
「サムライトヘビトバケ」(複製)		1940	—
「インキンチャントデキンチャンバケクラブ」(複製)		1940	—
日記		1942	鉛筆、色鉛筆、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
絵日記		1943	鉛筆、色鉛筆、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「ミッキーとボパイ」		1945	鉛筆、色鉛筆、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「三つの漫画」		1945	鉛筆、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「バカサレタベンケイ」『赤とんぼ』1947年4月号	実業之日本社	1947	雑誌 個人蔵
「風」『赤とんぼ』1948年2月号	実業之日本社	1948	雑誌 個人蔵
「詩集文集」(複製)		1948	—
「動物詩集」		1948	ペン、リノリウム版画、わら半紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「やんちゃクラス 新式掃除当番」		1949	ペン、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「やんちゃクラス」『少年少女』1949年6月号	中央公論社	1949	雑誌 和田誠事務所
「カット集」		1949	ガリ版、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
スタインバーグ模写1		1951	ペン、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「西遊記」		1952	ペン、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
先生の似顔絵		1953	墨、和紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
OMNIBUS No.3		1952	ペン、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
OMNIBUS No.4		1952	ペン、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
OMNIBUS No.6		1954	ペン、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
修学旅行スケッチ		1954	鉛筆、ペン、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
映画ノート「Youain't heard nothin' yet_1」		不詳	ペン、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「先生たちの似顔による時間表」(複製)		1953	—
「不合格のための世界史 コペルニクス」		1954	ペン、紙 藤縄直氏
「不合格のための世界史 ジュリアス シーザー」		1954	ペン、紙 藤縄直氏
9 和田誠になるまで 大学生			
興和新葉のための蛙のイラストレーション習作		1955	ペン、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
新聞記事「興和新葉のための蛙のイラストレーション1等受賞」(複製)		1955	—
「蛇祭り行進」(2枚組)(詩=草野心平)		1956	ペン、水彩、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
歌詞ノート		不詳	ペン、紙 和田誠事務所
観た映画を記録したノート(複製)		1953頃	—
Jimmy(映画ート)		不詳	ペン、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
だいありい 2		1954	ペン、紙 和田誠事務所
だいありい 6		1955-56	ペン、紙 和田誠事務所
銅版画		1957	エッチング、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「オクラホマ!」パンフレット		1950代	ポスターカラー、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「戦争と平和」パンフレット		1950代	ポスターカラー、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「旅」(詩=ロバート・ルイス・スティーヴンソン、訳=野上彰)		1957	ポスターカラー・ペン、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「蛙のシェイクスピア劇場」		1957	ポスターカラー、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「蛙のシェイクスピア劇場」		1957	ポスターカラー、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「貝殻追放」パネル9点		1958	—
レコードジャケット		1958	ポスターカラー、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「夜のマルグリット」ポスター(複製)		1957	—
「ねじの回転」ポスター		1958	オフセット、紙 和田誠事務所
「トリスウエスキー」ポスター		1956	ポスターカラー、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「独裁者」ポスター(複製)		1957	—
ポスター		1956	ポスターカラー、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター
「核実験を即時停止せよ」ポスター		1958	ポスターカラー、紙 多摩美術大学アートアーカイブセンター

10 ライトパブリシティの時代				
たばこ「ハイライト」試し刷り		1960	印刷、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
たばこ「ハイライト」試し刷り		1960	印刷、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
たばこ「ハイライト」試し刷り		1960	印刷、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
たばこ「ハイライト」版下		1960	インク・ペン・コラージュ・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
たばこ「ハイライト」試し刷り		1960	印刷、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
たばこ「ハイライト」試し刷り		1960	印刷、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
たばこ「ハイライト」版下		1960	鉛筆・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「火刑台上のジャンヌ・ダルク」		1959	印刷、紙	和田誠事務所
「日本社会党冊子」		1960代	印刷、紙	和田誠事務所
「演劇実験室 天井桟敷」		1967	印刷、紙	和田誠事務所
「どん底」		1960	印刷、紙	和田誠事務所
「ウインザーの陽気な女房たち」		1961	印刷、紙	和田誠事務所
「ブルースの誕生」		1961	印刷、紙／ソノシート	濱田高志氏
「印刷デザイン実験室 18」		年代不明	印刷、紙	和田誠事務所
「共同電話」		1960代	印刷、紙	和田誠事務所
日本電信電話公社「電話付属装置」		1960代	印刷、紙	和田誠事務所
日本電信電話公社「修学旅行電報のご案内」		1960代	印刷、紙	和田誠事務所
日本電信電話公社「電話のじょうずな使い方」		1960代	印刷、紙	和田誠事務所
日本電信電話公社「電話のじょうずな使い方」		1960代	印刷、紙	和田誠事務所
「マツダフィルタ」		1960代	印刷、紙	和田誠事務所
「ヤマハ」会社案内		1966頃	印刷、紙	和田誠事務所
「ヤマハピアノ」		年代不明	印刷、紙	和田誠事務所
「ヤマハオルガン」		年代不明	印刷、紙	和田誠事務所
「ヤマハハーモニカ」		年代不明	印刷、紙	和田誠事務所
講談社『世界の名作』		1964	印刷、紙	和田誠事務所
『東洋インキニュース』第35号		1966	印刷、紙	和田誠事務所
「ad・news」		1959	印刷、紙	和田誠事務所
『工芸ニュース vol.29』		1961	印刷、紙	和田誠事務所
「ペルソナ展」カタログ		1965	印刷、紙	南伸坊氏
可愛い花（キングレコード）		1960	レコード	和田誠事務所
キヤノン広告「明日、銀座から都電が姿を消す」（写真＝富山治夫）		1967	出力	—
「キヤノン」雑誌広告		1963	出力	—
「キヤノン」雑誌広告		1964	出力	—
「キヤノン」雑誌広告		1964	出力	—
「キヤノン」雑誌広告		1967	出力	—
11 ヒトコマ漫画				
「21頭の象」	ライトパブリシティ	1960	書籍	和田誠事務所
「21頭の象」原画		1960	ペン・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「21頭の象」原画		1960	ペン・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「24頭の象」	トムズボックス	2011	書籍	和田誠事務所
「41頭の象」	トムズボックス	2014	書籍	和田誠事務所
「41頭の象」原画		2014	鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「地にはピース」	ライトパブリシティ	1965	書籍	和田誠事務所
日本専売公社「ピース」雑誌広告（コピー＝土屋耕一）		1961～64	インク、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
日本専売公社「ピース」雑誌広告（コピー＝土屋耕一）		1961～64	インク、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
日本専売公社「ピース」雑誌広告（コピー＝土屋耕一、梶原正弘）		1961～64	インク、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「サニーサイドアップ」	CBSソニー出版	1980	書籍	和田誠事務所
「サニーサイドアップ」原画		1980	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「サニーサイドアップ」原画		1980	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「サニーサイドアップ」原画		1980	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「カメラ対ギャルズ」	話の特集	1986	書籍	和田誠事務所
「写楽」原画		1980～85	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「写楽」原画		1980～85	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「写楽」原画		1980～85	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「ショートショートランド」表紙原画 1982年1月号		1982	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「ショートショートランド」表紙原画 1984年11・12月号		1984	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「キヤノンサークル」表紙 1965年3月号		1965	オフセット、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「キヤノンサークル」表紙 1965年5月号		1965	オフセット、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
日本酒造組合中央会 新聞広告		1966	新聞	和田誠事務所
キヤノン「Canon FT」新聞広告		1966	新聞	和田誠事務所
「漫画読本」1962年7月号	文藝春秋	1962-70	雑誌現物	鈴木啓之氏
「漫画読本」1966年11月号	文藝春秋	1966	雑誌現物	森晴路氏
「漫画読本」1968年6月号	文藝春秋	1962-70	雑誌現物	鈴木啓之氏
「漫画読本」1970年9月号	文藝春秋	1962-70	雑誌現物	鈴木啓之氏
「COM」表紙原画 1969年8月号		1969	カラーインク・ペン、イラストボード	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「COM」表紙原画 1969年9月号		1969	カラーインク・ペン、イラストボード	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「COM」表紙原画 1970年9月号		1970	カラーインク・ペン、イラストボード	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「COM」1970年3月号	虫プロ商事	1970	雑誌現物	森晴路氏
「COM」1970年8月号	虫プロ商事	1970	雑誌現物	森晴路氏
「COM」1970年11月号	虫プロ商事	1970	雑誌現物	森晴路氏
富士通 新聞広告「映像の中にわたしがいる」		1991	出力	—
富士通 新聞広告「手のひらの中の大物」		1991	出力	—
カゴメ「トマトジュース」新聞雑誌広告		1973	出力	—

カゴメ「トマトジュース」新聞雑誌広告		1973	出力	—
キャノン「キャノネットQL」新聞広告（コピー・秋山晶）		1965	出力	—
キャノン「キャノネットQL」新聞広告（コピー・秋山晶）		1965	出力	—
キャノン「ダイアル35-2」雑誌新聞広告		1968	出力	—
キャノン「ダイアル35-2」雑誌新聞広告		1968	出力	—
松下電器産業「パナカラーリモコン」新聞雑誌広告		1973	出力	—
松下電器産業「パナカラーリモコン」新聞雑誌広告		1973	出力	—
「あれーしめしめ」『漫画読本』1970年3月号		1970	出力	—
ひとコマ漫画「今週の本棚」パネル 12点	毎日新聞	1993~2007	出力	—
12 話の特集				
『エルエル』（テスト版）		1964	雑誌現物	和田誠事務所
『話の特集』1966年2月号（創刊号）	話の特集	1966	雑誌現物	南伸坊氏
『話の特集』1969年2月号	話の特集	1969	雑誌現物	森晴路氏
『話の特集』1967年4月号	話の特集	1967	雑誌現物	森晴路氏
『話の特集』1967年6月号	話の特集	1967	雑誌現物	森晴路氏
『話の特集』1969年1月号	話の特集	1969	雑誌現物	森晴路氏
『話の特集』1966年8月号	話の特集	1966	雑誌現物	森晴路氏
『話の特集』1966年7月号	話の特集	1966	雑誌現物	森晴路氏
『話の特集』1969年6月号	話の特集	1969	雑誌現物	森晴路氏
『話の特集』1972年10月号	話の特集	1972	雑誌現物	個人蔵
『話の特集』1972年12月号	話の特集	1972	雑誌現物	個人蔵
「図解★かっこいいキミたちのために」『話の特集』1966年6月号 パネル		1966	出力	—
「少年宇宙探報員 電波怪物の巻」『話の特集』1966年11月号 パネル		1966	出力	—
『話の特集』パネル 8点			出力	—
13 映画監督				
『麻雀放浪記』脚本		1984	印刷・ペン・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『麻雀放浪記』台本原稿		1984	ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『麻雀放浪記』台本原稿		1984	ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『新人監督日記』	角川書店	1985	書籍	和田誠事務所
『シナリオ麻雀放浪記』	角川書店	1984	書籍	和田誠事務所
『麻雀放浪記』ポスター		1984	印刷、紙	和田誠事務所
『麻雀放浪記』絵コンテ		1984	ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『麻雀放浪記』絵コンテ		1984	ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
報知映画賞最優秀新人賞トロフィー		1984	ブロンズ	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『麻雀放浪記』スタッフ似顔絵『新人監督日記』見返し原画		1984	インク、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『快盗ルビイ』（一部抜粋）		1988	映像	—
『快盗ルビイ』脚本		1988	印刷・ペン・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「たとえばフォーエバー」楽譜『快盗ルビイ』挿入歌		1988	印刷、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『快盗ルビイ』	集英社	1988	書籍	和田誠事務所
『メイキング・オブ・快盗ルビイ』	筑摩書房	1989	書籍	和田誠事務所
『快盗ルビイ』ポスター		1988	印刷、紙	和田誠事務所
『快盗ルビイ』タイトルバック原画		1988	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『怖がる人々』ポスター		1994	印刷、紙	和田誠事務所
『真夜中まで』ポスター		1999	印刷、紙	和田誠事務所
『しずかなあやしい午後』パンフレット		1997	印刷、紙	和田誠事務所
『ガクの絵本』	ほるぷ出版	1999	書籍	和田誠事務所
『幕末愚連隊』脚本		不詳	ペン、紙	和田誠事務所
14 エッセイ				
『お楽しみはこれからだ』	文藝春秋	1975	書籍	和田誠事務所
『お楽しみはこれからだ』PART2	文藝春秋	1976	書籍	和田誠事務所
『お楽しみはこれからだ』PART3	文藝春秋	1980	書籍	和田誠事務所
『お楽しみはこれからだ』PART4	文藝春秋	1986	書籍	和田誠事務所
『お楽しみはこれからだ』PART5	文藝春秋	1995	書籍	和田誠事務所
『お楽しみはこれからだ』PART6	文藝春秋	1996	書籍	和田誠事務所
『お楽しみはこれからだ』PART7	文藝春秋	1997	書籍	和田誠事務所
『地下室のメロディ』原画『お楽しみはこれからだ』		1973~1996	ペン・鉛筆・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『地下室のメロディ』原稿『お楽しみはこれからだ』		1973~1996	ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『ワイルドバンチ』原画『お楽しみはこれからだ』		1973~1996	ペン・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『ジョルスン物語』原画『お楽しみはこれからだ』		1973~1996	ペン・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『カサブランカ』原画『お楽しみはこれからだ』		1973~1996	ペン・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
映画のセリフ書き起こしノート		不詳	インク、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『ビギン・ザ・ビギン』	文藝春秋	1982	書籍	和田誠事務所
『ウエスタン・カーニバル』原稿『ビギン・ザ・ビギン』		1982	ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
ショー『ビギン・ザ・ビギン』ポスター		1982	オフセット、紙	和田誠事務所
舞台『ビギン・ザ・ビギン』ポスター版下原画・色指定紙		1982	出力	—
『銀座界隈ドキドキの日々』	文藝春秋	1991	書籍	和田誠事務所
『銀座界隈ドキドキの日々』	文藝春秋	1997	書籍	和田誠事務所
『銀座界隈ドキドキの日々』原稿		1991	ペン・色鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『銀座界隈ドキドキの日々』表紙原画		1962~63	鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『銀座界隈ドキドキの日々』表紙原画		1962~63	鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『銀座界隈ドキドキの日々』文庫本表紙原画		1997	ペン・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『いつか聴いた歌』	文藝春秋	1977	書籍	和田誠事務所
『いつか聴いた歌』	愛育社	1996	書籍	和田誠事務所
『いつか聴いた歌』	愛育社	2013	書籍	和田誠事務所

「いつか聴いた歌」表紙原画		1977	ペン・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「いつか聴いた歌」ポスター		1982	オフセット、紙	和田誠事務所
「いつか聴いた歌」CD版訳詞原稿		2013	ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「いつか聴いた歌」スタンダード・ラヴ・ソングス		2013	CD	個人蔵
「いつか聴いた歌 ソング・アンド・ダンス」		2014	CD	個人蔵
「いつか聴いた歌」(島田歌穂、島健)		2014	CD	個人蔵
「いつか聴いた歌 ブロードウェイ・アンド・ハリウッド」		2017	CD	個人蔵
15 作曲				
「私の部屋」		1970年代	インク、紙	和田誠事務所
「4人目の王さま」	理論社	1965	書籍	和田誠事務所
「4人目の王さま」原画 (作詞=高橋睦郎、編曲=佐藤允彦)		1965	ペン・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「こよみのこよみ」	すばる書房	1977	書籍	和田誠事務所
「俺も飛べるさ」原画 (編曲=佐山雅弘)		1997	ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
「眠りの国へ」(歌=岸洋子)		1989	CD	和田誠事務所
「和田誠ソング・ブック」		2015	CD	個人蔵
「和田誠ソング・ブック」(歌=デューク・エイセス)		2007	CD	個人蔵
「ちいさな地球」(歌=平野レミ、中山千夏)		1977	レコード	和田誠事務所
「老人探偵団とガリガリ博士の犯罪」(作詞=寺山修司、編曲=蘭田憲一)		1972	レコード	和田誠事務所
「パイがいっぱい スパイもいっぱい」ポスター (企画=岸田今日子)		2004	オフセット、紙	和田誠事務所
万博住友電話館テーマ曲 ソノシート (製作=小谷正一)		1970	EPレコード	トムズボックス
マトリョーシカ		2005	グアッシュ、木	和田誠事務所
16 ポスター				
ベトナムの子どもを支援する会		1968	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
銀座界隈青春ガヤガヤショー		2009	オフセット、紙	和田誠事務所
カサブランカ		1985	オフセット、紙	和田誠事務所
イエロー・サブマリン		1986	オフセット、紙	和田誠事務所
ガラスの動物園		1983	オフセット、紙	和田誠事務所
朝・江戸の酔醒		1985	オフセット、紙	和田誠事務所
映画・JAZZ & POPS		1995	オフセット、紙	和田誠事務所
シャンソン カルナバル		1993	オフセット、紙	和田誠事務所
東京ナイト・フィーバー		1999	オフセット、紙	和田誠事務所
ゆかいな楽器の仲間たち		1995	オフセット、紙	和田誠事務所
蝶々夫人		1995	オフセット、紙	和田誠事務所
夏の夜の夢		1995	オフセット、紙	和田誠事務所
シャンソン・ド・パリ'97		1997	オフセット、紙	和田誠事務所
雅楽		1998	オフセット、紙	和田誠事務所
寝盗られ宗介		1982	オフセット、紙	和田誠事務所
三浦洋一ひとり会 ヒモのはなし		1977	オフセット、紙	和田誠事務所
熱海殺人事件		1976	オフセット、紙	和田誠事務所
蒲田行進曲		1982	オフセット、紙	和田誠事務所
オセロゲーム		1994	オフセット、紙	和田誠事務所
きらめく星座		1985	オフセット、紙	和田誠事務所
父と暮らせば		2010	オフセット、紙	和田誠事務所
紙屋町さくらホテル		2003	オフセット、紙	和田誠事務所
かあちゃん		2001	オフセット、紙	和田誠事務所
キッドナップ・ブルース		1982	オフセット、紙	和田誠事務所
マリアの胃袋		1990	オフセット、紙	和田誠事務所
第10回東京国際映画祭		1997	オフセット、紙	和田誠事務所
和田誠寄席		1974	オフセット、紙	和田誠事務所
プロントに首ったけ		2002	オフセット、紙	和田誠事務所
AMNESTY		1999	オフセット、紙	和田誠事務所
反原発ポスター展出品作品		2011	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
JAZZ★DANCE★SKD		1983	オフセット、紙	和田誠事務所
EXPO'85		1985	オフセット、紙	和田誠事務所
第2回国際アニメーションフェスティバル広島大会		1987	オフセット、紙	和田誠事務所
ヒロシマという名の少年		1987	オフセット、紙	和田誠事務所
岸洋子リサイタル		1969	オフセット、紙	和田誠事務所
デューク・エイセス 27年目のコンサート		1982	オフセット、紙	和田誠事務所
ヴィジュアルディ生誕150年記念 歌劇 椿姫		不詳	オフセット、紙	和田誠事務所
竹内マンドリン・アンサンブル 第5回定期演奏会		不詳	オフセット、紙	和田誠事務所
アメデーまたは死体処理法 劇団表現座第3回公演		1962	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
八木正生リサイタル		1966	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
光なき子のためのジャズ・コンサート		1962	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
竹腰美代子と体操1963		1963	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
17 新宿日活名画座				
アパートの鍵貸します		1961	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
ヴェラクルス ほか		1960	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
ベベ		1961	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
地下水道 ほか		1961	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
ナパロンの要塞 ほか		1963	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
戦争と平和		1961	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
シェルブールの雨傘 ほか		1965	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
脱走兵 ほか		1961	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所

エデンの東 ほか		1962	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
禁じられた遊び / 白い少女		1963	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
GIブルース ほか		1961	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
風と共に去りぬ ほか		1963	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
誰がために鐘は鳴る ほか		1968	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
ボーイハント / アメリカの裏窓		1962	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
マダムと泥棒 / オーケストラの少女		1962	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
ファニー / ブラックタイツ		1962	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
ポスターパネル 36点			出力	
18 草月アートセンター				
「草月ミュージックイン16 モダン・ジャズ・インシスツ」ポスター		1961	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
「日本映画の足跡 続・東宝篇」ポスター		1965	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
「草月ミュージックイン12 ディキシーランド・リバイバル」ポスター		1961	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
「草月ミュージックイン18 ワークス・オブ・モダン ジャズ」ポスター		1962	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
「アニメーション フェスティバル 65」ポスター (題字=横尾忠則)		1965	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
「奇と幻想」ポスター		1967	シルクスクリーン、紙	和田誠事務所
アニメーション「MURDER！」原画		1964	カラーインク・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
アニメーション「MURDER！」原画		1964	カラーインク・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
アニメーション「MURDER！」絵コンテ (複製)		1964	出力	—
アニメーション「MURDER！」(一部抜粋)		1964	映像	—
19 アニメーション				
「誰も知らない」テレビ番組『みんなのうた』		1961	映像	—
「ねこふんじゃった」テレビ番組『みんなのうた』		1966	映像	—
「4人目の王さま」テレビ番組『みんなのうた』		1967	映像	—
CM (資生堂石鹸)「雪の降る夜は」		1973	映像	—
CM (資生堂石鹸)「リサオンステージ」		1973	映像	—
「ゴールデン洋画劇場」タイトルアニメーション		1981	映像	—
20 ジャケット				
恋をするのはなぜ c/w じれったい人 (絹かすみ)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
願ひ c/w 氷の暖かさ (グロー & 長戸大幸)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
恋がほしい c/w するすべもなく (すがいよしお)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
すねたい年頃 c/w 愛のワルツ (貴月かおる)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
生きのびるために c/w いのちある世界 (カーニバルス)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
こんにちわ土曜くん。 c/w こんなことを考えるのは (すがいよしお)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
小鳥よとびなさい c/w お砂糖めきのレモンティー (貴月かおる)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
たたかいのうた c/w あこがれ (竹尾智晴)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
JOHN c/w 死んでしまった街 (グロー)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
越後のはなし c/w ボクはD-51 (有限会社荒木組)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
わがママ c/w 小さな空 (ヨーコ&クミコ)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
Mr. D.J. c/w ささやき (赤と黒)	BLACK	1972	EP	和田誠事務所
SONY INTEGRATE GOLDEN DISK (アンディ・ウィリアムス他)	CBS ソニー (宣伝用特許品)	1966	EP	トムズボックス
映画館という名の演奏会場 (V.A.)	ビクター	1966	EP	和田誠事務所
YOU CAN DREAM (道下和彦)	KAZ MUSIC	1995	CD	和田誠事務所
THE BEST (マイルス・デイビス)	ビクター	2001	CD	和田誠事務所
WEST SIDE STORY (ディヴィッド・ジンマン指揮ボルチモア交響楽団)	ロンドン	1997	CD	和田誠事務所
あなたとトゥラッタッタ / THE WAY I DREAM (DREAMS COME TRUE)	ユニバーサル	2018	CD	和田誠事務所
円翁戯楽 (佐藤允彦トリオ)	BAJ Records	2009	CD	和田誠事務所
江戸戯楽 (佐藤允彦トリオ)	BAJ Records	2011	CD	和田誠事務所
童心戯楽 (佐藤允彦トリオ)	BAJ Records	2014	CD	和田誠事務所
あいのうた フランチェスカ! (大竹しのぶ)	avex	2009	CD	和田誠事務所
Brass Around The World (19'21 Universal band)	MCAビクター	1991	CD	和田誠事務所
こまつ座の音楽 (宇野誠一郎×井上ひさし)	キング	2009	CD	和田誠事務所
コーラス図鑑1 (デューク・エイセス)	東芝EMI	1997	CD	和田誠事務所
夢であいましょう 今月のうた 大全 (V.A.)	EMI ミュージック・ジャパン	2013	CD	和田誠事務所
佐山雅弘 plays ゴールドベルク (佐山雅弘)	ビクター	2004	CD	和田誠事務所
M's 2nd (M's 2)	ビクター	2003	CD	和田誠事務所
Masahiro Sayama and his Red Zone (佐山雅弘)	Tlive Records	2009	CD	和田誠事務所
もしもピアノが弾けたなら (西田敏行)	CBSソニー	1981	LP	和田誠事務所
このままでいいのだろうか (いすみたく)	garlic	1971	LP	和田誠事務所
和田誠寄席 (五街道雲助、入船亭扇橋、春風亭小朝、柳家小三治)	ビクター	1979	LP	和田誠事務所
不滅のディキシーランドジャズ (蘭田憲一とディキシー・キングス)	テイチク	1981	LP	トムズボックス
人間バンザイ! (西村晃、デシャ)	garlic	1970	LP	和田誠事務所
三文役者の歌 まあそんなもんさ (西村晃)	garlic	1970	LP	和田誠事務所
雨のピエロ (浜口庫之助)	ビクター	1976	LP	和田誠事務所
オリジナル・サウンドトラックによる武満徹自選映画音楽 1 (武満徹)	ビクター	1980	LP	和田誠事務所
十二人の女 (佐良直美)	ビクター	1969	LP	トムズボックス
12 SONGS FOR GUITAR (荘村清志)	東芝EMI	1977	LP	和田誠事務所
TRIPTYQUE (芥川也寸志)	東芝	1961	LP	トムズボックス
千夏ファースト・リサイタル (中山千夏)	TEICHIKU	1983	LP	和田誠事務所
見るまえに跳べー岡林信康アルバム第二集 (岡林信康)	URC	1970	LP	トムズボックス
初恋地獄編 (小椋佳、カルメン・マキ、荒井学 写真*篠山紀信)	天井棧敷レコード	1966	LP	和田誠事務所
三木鶏郎ソングブック (三木鶏郎)	東芝音楽工業株式会社	1970	LP	鈴木啓之氏
The Music People 5th Anniversary Memorial Album (V.A.)	CBSソニー	不詳	LP	鈴木啓之氏
昔一人の歌い手がいた〜いすみ・たくと12人の作詞家による (淡谷のり子)	日本フォノグラム	1971	LP	和田誠事務所

EVE, LIVE (EVE)	JAPAN RECORD	1983	LP	和田誠事務所
ザ・ベスト・オブ・デューク・エイセス (デューク・エイセス)	不詳	不詳	LP	和田誠事務所
渡世人〜舟木一夫三度笠を歌う (舟木一夫)	コロムビア	1972	LP	和田誠事務所
抒情曲を歌う (小林旭)	クラウン	不詳	LP	和田誠事務所
美しい地球 (大阪労音第一合唱団)	garlic	1971	LP	和田誠事務所
アカデミー主題歌賞の歩み	不詳	不詳	LP	トムズボックス
The Monroe! Monroe! (マリリン・モンロー 他)	双葉社	1974	LP	和田誠事務所
ザ・サード・コンサート〜前田憲男作品集 (ザ・サード)	ビクター	1975	LP	和田誠事務所
オーケストラ・スペース 1966 [I] (V.A.)	ビクター	1966	LP	和田誠事務所
ENCORE!! JAZZ&BOSSA: Sadao Messts Sharps & Flats (渡辺貞夫、原信夫とシャープス&フラッツ)	takt	1968	LP	トムズボックス
inga (八木正生)	キング	1979	LP	和田誠事務所
J.S.BACH Inventions and Sinfonias BWV 722a/801 (高橋悠治)	コロムビア	1977	LP	和田誠事務所
PIANIC PIANISM ~ SUPER SOLO PIANO (前田憲男・鈴木宏昌・佐藤允彦)	コロムビア	1977	LP	和田誠事務所
THE BEST (日野皓正)	ビクター	1981	LP	和田誠事務所
愛あるかぎり〜岸洋子リサイタル (岸洋子)	キング	1969	LP	和田誠事務所
岸洋子リサイタル '79 歌〜20年 (岸洋子)	キング	1979	LP	和田誠事務所
THE BEST (渡辺貞夫)	ビクター	1981	LP	和田誠事務所
デューク・エイセス・リサイタル〜結成15周年記念 (デューク・エイセス)	東芝音楽工業	1970	LP	和田誠事務所
SWING JOURNAL ALL STARS '68 (スイング・ジャーナル・オール・スターズ '68)	takt	1968	LP	和田誠事務所
THE BEST MILES DAVIS PART I (マイルス・デイビス)	不詳	不詳	LP	和田誠事務所
THE BEST MILES DAVIS PART II (マイルス・デイビス)	不詳	不詳	LP	和田誠事務所
STANDARDS 雪村いづみライヴ (雪村いづみ)	CBSソニー	1985	LP	和田誠事務所
We Got A New Bag: Sadao&Charlie Again (渡辺貞夫&チャーリー・アゲイン)	takt	1968	LP	和田誠事務所
WHITE CHRISTMAS ~ HAPPY CHRITSMAS PARTY (蘭田憲一とディキシー・キングス)	東芝EMI	1981	LP	和田誠事務所
こどものせかい (湯山昭)	キング	不詳	LP	トムズボックス
ファープル昆虫記 (いずみたく)	garlic	1978	LP	和田誠事務所
ピアノ曲集「こどもの国」(湯山昭、安川加寿子)	ビクター	1994	LP	トムズボックス
世界のこどものうた 10人のインディアン (長谷川冨子指揮東京少年少女合唱隊)	ポリドール	1977	LP	和田誠事務所
世界のこどものうた アビニョンの橋の上で (長谷川冨子指揮東京少年少女合唱隊)	ポリドール	1977	LP	和田誠事務所
世界のこどものうた 山の音楽家 (長谷川冨子指揮東京少年少女合唱隊)	ポリドール	1977	LP	和田誠事務所
原っぱ (長谷川冨子指揮東京少年少女合唱隊)	Polydor	1978	LP	和田誠事務所
ワンダーブルーランド (東芝レコーディング・オーケストラ)	東芝EMI	1978	LP	和田誠事務所
21 装丁に見る和田文字				
和田誠書き文字		不詳	インク・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
和田誠書き文字		不詳	インク・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
和田誠書き文字		不詳	インク、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
和田誠書き文字		不詳	コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
和田文字パネル 43点				—
22 装丁				
『恋する音楽小説』(著=阿川佐和子)	講談社	2001	書籍	—
『恋する音楽小説』カバー原画		2001	インク・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『恋する音楽小説』カバー色原画		2001	グワッシュ・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『マチルデの肖像』(著=阿川佐和子)	講談社	2003	書籍	—
『いい歳立ち』(著=阿川佐和子)	講談社	2002	書籍	鈴木啓之氏
『サワコの和』(著=阿川佐和子)	幻冬舎	2004	書籍	鈴木啓之氏
『いつもひとり』(著=阿川佐和子)	大和書房	2000	書籍	鈴木啓之氏
『屋上のあるアパート』(著=阿川佐和子)	講談社	2003	書籍	—
『村上春樹全作品 1990〜2000 ①短篇集』(著=村上春樹)	講談社	2002	書籍	個人蔵
『村上春樹全作品 1990〜2000 ④ねじまき鳥クロニクル1』(著=村上春樹)	講談社	2003	書籍	個人蔵
『村上春樹全作品 1990〜2000 ①短篇集』表紙原画		2002	グワッシュ・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『村上春樹全作品 1990〜2000 ④ねじまき鳥クロニクル1』表紙原画		2003	グワッシュ・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『グレート・ギャツビー』(著=スコットフィッツジェラルド、訳=村上春樹)	中央公論新社	2006	書籍	—
『グレート・ギャツビー』カバー原画		2006	グワッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『アフターダーク』(著=村上春樹)	講談社	2004	書籍	個人蔵
『さよならバードランド』(著=ビル・クロウ、訳=村上春樹)	新潮社	1996	書籍	和田誠事務所
『ロンドンで本を読む』(著=丸谷オー)	マガジンハウス	2001	書籍	—
『ロンドンで本を読む』カバー原画		2001	水彩・鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『ゴシップの日本語論』(著=丸谷オー)	文藝春秋	2004	書籍	—
『二十世紀を読む』(著=丸谷オー)	中央公論社	1996	書籍	—
『二十世紀を読む』カバー原画		1996	エッチング、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『見たたせば柳さくら』(著=丸谷オー、山崎正和)	中央公論社	1988	書籍	—
『見たたせば柳さくら』カバー原画		1988	はんこ、和紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『月とメロン』(著=丸谷オー)	文藝春秋	2008	書籍	和田誠事務所
『闊歩する漱石』(著=丸谷オー)	講談社	2000	書籍	和田誠事務所
『インタビュー ジョン・フォード』(著=ピーター・ボグダノビッチ、訳=高橋千尋)	九藝出版	1978	書籍	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『インタビュー ジョン・フォード』カバー原画		1978	カラーインク、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『寺山修司・遊戯の人』(著=杉山正樹)	新潮社	2000	書籍	—
『寺山修司・遊戯の人』カバー原画		2000	ペン、色鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『あの季 この季』(著=岸田今日子)	朝日新聞社	1998	書籍	—
『あの季 この季』カバー原画		1998	エッチング・色鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『あの季 この季』裏カバー原画		1998	エッチング・色鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『「エルサレム」亭の静かな対決』(著=マーサ・グライズ、訳=山本俊子)	文藝春秋	1988	書籍	—
『「エルサレム」亭の静かな対決』カバー原画		1988	ポスターカラー、板	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『「古き沈黙」亭のさても面妖』(著=マーサ・グライズ、訳=山本俊子)	文藝春秋	1985	書籍	—

『大いなる西部劇』(著=逢坂剛、川本三郎)	新書館	2001	書籍	—
『大いなる西部劇』カバー原画		2001	グワッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『京都祇園遁走曲』(著=玉木正之)	文藝春秋	1994	書籍	—
『京都祇園遁走曲』カバー原画		1994	グワッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『この一句』(著=下重暁子)	大和書房	2013	書籍	—
『この一句』カバー原画		2013	グワッシュ・ペン、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『私の大事な場所』(著=ドナルド・キーン)	中央公論新社	2005	書籍	個人蔵
『私の大事な場所』カバー原画		2005	ペン・色鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『ローマは光のなかに』(著=アーウィン・ショー、訳=工藤政司)	マガジンハウス	1990	書籍	—
『ローマは光のなかに』カバー原画		1990	色鉛筆、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『ローマは光のなかに』文字版下		1990	インク・コラージュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
『愉快な本と立派な本』(編=丸谷オー、池澤夏樹)	毎日新聞社	2012	書籍	和田誠事務所
『わたしのベスト3』	毎日新聞出版	2020	書籍	和田誠事務所
『本読みの達人が選んだ「この3冊」』(著=丸谷オー)	毎日新聞社	1998	書籍	個人蔵
『サウンド解剖学』(編=宮川泰)	中央公論社	1981	書籍	鈴木啓之氏
『ぼくらの気持』(著=栗本薫)	講談社	1979	書籍	個人蔵
『エタローの食いしん坊人生』(著=石橋エタロー)	文藝春秋	1973	書籍	鈴木啓之氏
『高説低聴』(著=常盤新平)	講談社	1984	書籍	鈴木啓之氏
『「とんち教室」の時代』(著=青木一雄)	展望社	1999	書籍	個人蔵
『筒美京平の世界』(監修=高浪高彰、森光厚夫)	シンコーミュージック	1998	書籍	和田誠事務所
『タレントその世界』(著=永六輔)	文藝春秋	1969	書籍	トムズボックス
『芸人その世界』(著=永六輔)	文藝春秋	1969	書籍	トムズボックス
『長い猫と不思議な家族』(著=依布サラサ)	祥伝社	2013	書籍	和田誠事務所
『歌わない日はなかった』(著=淡谷のり子)	ハースト婦人画報社	1987	書籍	鈴木啓之氏
『円生と志ん生』(著=井上ひさし)	集英社	2005	書籍	個人蔵
『ハマクラの音楽いろいろ』(著=浜口庫之助)	立東舎	1991	書籍	個人蔵
『岡本喜八 お流れシナリオ集』(著=岡本喜八)	龜鳴屋	2012	書籍	和田誠事務所
『きょうも涙の日が落ちる』(著=渥美清)	展望社	2003	書籍	鈴木啓之氏
『ブラウン監獄の四季』(著=井上ひさし)	講談社	1977	書籍	個人蔵
『映画の部屋のお客さま』(著=淀川長治)	TBSブリタニカ	1977	書籍	個人蔵
『「徹子の部屋」の30年』(「徹子の部屋」制作委員会)	講談社	2007	書籍	—
『黄色いマンション 黒い猫』(著=小泉今日子)	スイッチパブリッシング	2016	書籍	個人蔵
『三谷幸喜のありふれた生活5 有頂天時代』(著=三谷幸喜)	朝日新聞社	2006	書籍	個人蔵
『旅の素』(著=阿川佐和子)	旅行読売出版社	1999	書籍	個人蔵
『もしかして愛だった』(著=阿川佐和子)	大和書房	2002	書籍	鈴木啓之氏
『映画だけしか頭になかった』(著=植草甚一)	晶文社	1973	書籍	個人蔵
『バーボン・ストリート・ブルース』(著=高田渡)	山と溪谷社	2001	書籍	—
『バカまるだし』(著=永六輔、矢崎泰久)	講談社	2007	書籍	トムズボックス
『あたくし外伝』(著=小沢昭一)	新潮社	2002	書籍	個人蔵
『今夜は最高!』(著=タモリ)	日本テレビ	1982	書籍	鈴木啓之氏
『太陽のエトランゼ』(著=愛川欽也)	立風書房	1974	書籍	鈴木啓之氏
『テレビがやって来た!』(著=早坂暁)	日本放送出版協会	2000	書籍	鈴木啓之氏
『マエタケのテレビ半世紀』(著=前田武彦)	いそづぶ社	2003	書籍	鈴木啓之氏
『ぐうたら人間学』(著=遠藤周作)	講談社	1972	書籍	鈴木啓之氏
『どくとるマンボウ昆虫記』(著=北杜夫)	中央公論社	1963	書籍	鈴木啓之氏
『恐怖対談』(著=吉行淳之介)	新潮社	1977	書籍	個人蔵
『映画について私が知っている二、三の事柄』(著=山田宏一)	三一書房	1971	書籍	和田誠事務所
『アルキメデスは手を汚さない』(著=小峰元)	講談社	1973	書籍	個人蔵
『ピタゴラス豆畑に死す』(著=小峰元)	講談社	1974	書籍	個人蔵
『軍艦ポルカ』(著=阿川弘之)	東方社	1967	書籍	鈴木啓之氏
『うちの女房、うちの息子』(著=遠藤周作)	講談社	1974	書籍	鈴木啓之氏
『怠談』(著=遠藤周作)	番町書房	1975	書籍	鈴木啓之氏
『大日本帝国スーパーマン』(著=北杜夫)	新潮社	1987	書籍	鈴木啓之氏
『悪友記』(著=吉行淳之介ほか)	ベップ出版	1974	書籍	鈴木啓之氏
『七十七人の侍アメリカへ行く』(著=服部逸郎)	講談社	1965	書籍	鈴木啓之氏
『老イテマスス毫碌』(著=吉行淳之介、山口瞳)	新潮社	1993	書籍	鈴木啓之氏
『ゴリラのさびしい日』(著=小園江圭子)	すばる書房	1974	書籍	個人蔵
『ドレミファ交友録』(著=いすみたく)	朝日新聞社	1970	書籍	鈴木啓之氏
『ともに彷徨いてあり』(著=野田知佑)	文藝春秋	2002	書籍	—
『ホワイティ・ボーン』(著=バーバラ・ガウディ)	早川書房	2000	書籍	—
『野を駆ける光』(著=虫明亜呂無)	筑摩書房	1991	書籍	—
『詩集 田園スケッチ』(著=朝倉勇)	メディアファクトリー	1998	書籍	和田誠事務所
『日本史を読む』(著=丸谷オー)	中央公論社	1998	書籍	和田誠事務所
『ショウ・ビジネスに恋して』(著=安倍寧)	角川書店	1996	書籍	鈴木啓之氏
『十二支の動物たち』(著=日高敏隆)	共同通信社	1983	書籍	和田誠事務所
『下落合シネマ酔館』(著=赤塚 不二夫、やまさき十三)	小学館	1996	書籍	和田誠事務所
『あ、またシネマ彗星だ!』(著=赤瀬川隼)	キネマ旬報社	1995	書籍	和田誠事務所
『ゴダール、わがアンナカリーナ』(著=山田宏一)	ワイズ出版	2010	書籍	個人蔵
『映画 果てしなきベスト・テン』(著=山田宏一)	草思社	2013	書籍	和田誠事務所
『音のない映画館』(著=佐藤勝)	立風書房	1986	書籍	和田誠事務所
『机上の映写機』(著=山口正介)	話の特集	1989	書籍	鈴木啓之氏
『ちゃんばらグラフィティ』(監修=マキノ雅裕、編著=浦谷年良)	講談社	1981	書籍	鈴木啓之氏
『赤塚不二夫1000ページ』	話の特集	1975	書籍	和田誠事務所
『長寿の研究』(著=E・メチニコフ、訳=平野威馬雄)	幸書房	2006	書籍	和田誠事務所

『私人』(著=ローレンバコール、訳=山田宏一訳)	1984	書籍	個人蔵
『友よ映画よ』(著=山田宏一)	1978	書籍	個人蔵
『ビリー・ワイルダー自作自伝』(著=ヘルムート カラゼク、訳=瀬川裕司)	文藝春秋 1996	書籍	鈴木啓之氏
『乱れた大気』(著=アーウィン・ショー、訳=工藤政司)	マガジンハウス 1994	書籍	—
『サンショウウオ戦争』(著=カレル・チャベック、訳=栗栖茜)	海山社 2017	書籍	個人蔵
『村上春樹全作品 1990~2000 ⑥ アンダーグラウンド』(著=村上春樹)	講談社 2003	書籍	個人蔵
『花』(著=柳内達雄)	あかね書房 1979	書籍	個人蔵
『フランス象徴詩の研究』(著=平野威馬雄)	思潮社 1979	書籍	和田誠事務所
『蔭者の告白』(著=平野威馬雄)	話の特集 1976	書籍	和田誠事務所
『ユリシーズ I』(著=ジェイムズ・ジョイス、訳=丸谷オー、永川玲二、高松雄一)	集英社 1996	書籍	和田誠事務所
『輝く日の宮』(著=丸谷オー)	講談社 2003	書籍	和田誠事務所
『記憶のちぎれ雲』(著=草森紳一)	本の雑誌社 2011	書籍	個人蔵
『手塚治虫ランド』(著=手塚治虫)	大和書房 1977	書籍	個人蔵
『フィルムは生きている』(著=手塚治虫)	国書刊行会 2014	書籍	個人蔵
『窓際のトットちゃん』(著=黒柳徹子)	講談社 1981	書籍	個人蔵
『円盤についてのマジメな話』(著=平野威馬雄)	平安書店 1973	書籍	個人蔵
『メイド・イン・オキュパイド・ジャパン』(著=小坂一也)	河出書房新社 1990	書籍	鈴木啓之氏
『タアキ』(著=中山千夏)	新潮社 1993	書籍	個人蔵
『アニメーションのギャグ世界』(著=森卓也)	奇想天外社 1978	書籍	和田誠事務所
『ツイス』(著=広瀬正)	河出書房新社 1971	書籍	個人蔵
『暗黒時代のオデッセイ』(著=筒井康隆)	晶文社 1974	書籍	個人蔵
『花の掟』(著=谷川俊太郎)	理論社 1967	書籍	個人蔵
『アルファベット26講』(著=谷川俊太郎)	出帆新社 1981	書籍	個人蔵
『ナンセンス・カタログ』(著=谷川俊太郎、和田誠)	大和書房 1982	書籍	個人蔵
『谷川俊太郎エトセトラ』(著=谷川俊太郎)	大和書房 1979	書籍	個人蔵
『映画は存在する』(著=渡辺武信)	サンリオ出版 1975	書籍	和田誠事務所
『うらめしや』(文=星新一)	理論社 2010	書籍	和田誠事務所
『不吉な地点』(文=星新一)	理論社 2009	書籍	和田誠事務所
『きつね小僧』(文=星新一)	理論社 2009	書籍	和田誠事務所
『夜の山道で』(文=星新一)	理論社 2002	書籍	和田誠事務所
『宇宙の男たち』(文=星新一)	理論社 2004	書籍	和田誠事務所
『七人の犯罪者』(文=星新一)	理論社 2007	書籍	和田誠事務所
『そして、だれも…』(文=星新一)	理論社 2006	書籍	和田誠事務所
『長生き競争』(文=星新一)	理論社 2006	書籍	和田誠事務所
『マンハッタンを歩く』(著=ビート・ハミル、訳=雨沢泰)	集英社 2007	書籍	和田誠事務所
『ハリウッドで成功する方法』(著=マックス桐島、横井康和)	朝日新聞社 2000	書籍	和田誠事務所
『アラウンド・ザ・ムービー』(著=森卓也)	平凡社 1989	書籍	鈴木啓之氏
『くじらぐもからチックタックまで』(編=石川文子)	フロネーシス桜蔭社 2008	書籍	和田誠事務所
『コラムの冒険』(著=小林信彦)	新潮社 1996	書籍	個人蔵
『笑いの女神たち』(著=浜美雪)	白夜書房 2008	書籍	和田誠事務所
『フットノート・パレード』(著=馬場啓一)	話の特集 1985	書籍	鈴木啓之氏
『ぼくはもっぱらレコード』(著=古田直)	ダックスープ 2014	書籍	個人蔵
『七十句』(著=丸谷オー)	立風書房 1995	書籍	和田誠事務所
『どこ吹く風』(著=丸谷オー)	講談社 1997	書籍	和田誠事務所
『軽いつづら』(著=丸谷オー)	新潮社 1993	書籍	個人蔵
『人形のBWH』(著=丸谷オー)	文藝春秋 2009	書籍	和田誠事務所
『猫のつもりが虎』(著=丸谷オー)	マガジンハウス 2004	書籍	個人蔵
『男の風俗・男の酒』(著=丸谷オー)	TBSブリタニカ 1983	書籍	鈴木啓之氏
『袖のボタン』(著=丸谷オー)	朝日新聞社 2007	書籍	和田誠事務所
『恋と女の日本文学』(著=丸谷オー)	講談社 1996	書籍	和田誠事務所
『汚れた顔の天使』(著=ジェームズ・ギャグニー、訳=山田宏一)	出帆新社 1981	書籍	和田誠事務所
『吾輩はカモである』(著=ドナルド・E.ウエストレーク、訳=池央耿)	角川書店 1977	書籍	鈴木啓之氏
『スラップスティック』(著=カート・ヴォネガット、訳=浅倉久志)	早川書房 1979	書籍	鈴木啓之氏
『"THE SCRAP" 懐かしの八十年代』(著=村上春樹)	文藝春秋 1987	書籍	個人蔵
『愛について語るときに我々の語ること』(著=レイモンド・カーヴァー、訳=村上春樹)	中央公論新社 1990	書籍	和田誠事務所
『ファイアズ(炎)』(著=レイモンド・カーヴァー、訳=村上春樹)	中央公論新社 1992	書籍	和田誠事務所
『冬の夢』(著=スコット・フィッツジェラルド、訳=村上春樹)	中央公論新社 2009	書籍	—
『ジャズ・アネクドッツ』(著=ビル・クロウ、訳=村上春樹)	新潮社 2000	書籍	和田誠事務所
『10ドルだって大金だ』(著=ジャック・リッチー)	河出書房新社 2006	書籍	和田誠事務所
『赤い酋長の身代金』(著=オー・ヘンリー)	理論社 2008	書籍	和田誠事務所
『20年後』(著=オー・ヘンリー)	理論社 2007	書籍	和田誠事務所
『鏡の国のアリス』(文=ルイス・キャロル、訳=岡田忠軒)	角川書店 1987	書籍	個人蔵
『不思議の国のアリス』(文=ルイス・キャロル)	角川書店 1975	書籍	個人蔵
『サンタクロースの冒険』(文=ライマン・フランク・ボーム、訳=田村隆一)	扶桑社 1989	書籍	和田誠事務所
『カレル・チャベック戯曲集 I』(著=カレル・チャベック)	海山社 2012	書籍	個人蔵
『レンブラントの帽子』(著=バーナード・マラッド、訳=小島信夫、浜本武雄、井上謙治)	夏葉社 2010	書籍	個人蔵
『イソップ株式会社』(著=井上ひさし)	中央公論新社 2005	書籍	和田誠事務所
『唄には歌詞がある』(編=柴田南雄)	福武書店 1987	書籍	和田誠事務所
『五音と七音の詩学』(編=大岡信)	福武書店 1988	書籍	和田誠事務所
『ババラギ』(著=ツイアビ、訳=岡崎照男)	立風書房 1981	書籍	和田誠事務所
『四人四色』(著=灘本唯人、宇野亜喜良、和田誠、横尾忠則)	白水社 2009	書籍	和田誠事務所
『超時間対談』(著=田中小実昌 他)	集英社 1981	書籍	和田誠事務所
『近くてそして遠い仲』(編=吉行淳之介)	新潮社 1985	書籍	和田誠事務所
『風と樹木と鳥の声』(編=辻邦生)	新潮社 1986	書籍	和田誠事務所

	『外国語ABZ』(編=辻邦生)	新潮社	1985	書籍	和田誠事務所
23	ロングランの仕事				
	「三谷幸喜のありふれた生活」パネル 12点				—
	日本新薬 シリーズ広告 パネル 34点				—
	「今週の本棚」パネル 12点				—
24	週刊文春				
	「鳥たち」『週刊文春』表紙原画		2003	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
	「会津めでた」『週刊文春』表紙原画		2014	グアッシュ・指定紙、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
	「丘のむこうに」『週刊文春』表紙原画		2009	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
	「フライング」『週刊文春』表紙原画		1995	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
	「影を慕いて」『週刊文春』表紙原画		1990	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
	「エメール・スペシャル」『週刊文春』表紙原画		1977	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
	「子ぎつね」『週刊文春』表紙原画		1986	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
	「赤い風車の歌」『週刊文春』表紙原画		1986	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
	「ムーン・リヴァー」『週刊文春』表紙原画		1994	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
	「秋の気配」『週刊文春』表紙原画		1992	グアッシュ、紙	多摩美術大学アートアーカイブセンター
	「子ぎつね」『週刊文春』		1986	雑誌現物	個人蔵
	「赤い風車の歌」『週刊文春』		1986	雑誌現物	個人蔵
	「影を慕いて」『週刊文春』		1990	雑誌現物	個人蔵
	「ムーン・リヴァー」『週刊文春』		1994	雑誌現物	個人蔵
	「丘のむこうに」『週刊文春』		2009	雑誌現物	個人蔵
	「会津めでた」『週刊文春』		2014	雑誌現物	個人蔵
	「おお牧場はみどり」『週刊文春』表紙モチーフ		不詳	木に彩色	和田誠事務所
	「夜のブルース」『週刊文春』表紙モチーフ		不詳	陶器	和田誠事務所
	「あきのいろくさ」『週刊文春』表紙モチーフ		1982	陶器	和田誠事務所
	「おお牧場はみどり」『週刊文春』		1997	雑誌現物	個人蔵
	「夜のブルース」『週刊文春』		1989	雑誌現物	個人蔵
	「あきのいろくさ」『週刊文春』		2011	雑誌現物	個人蔵
	「週刊文春」パネル 1772点			出力	
25	著書200冊				
	『21頭の象』	ライト・プリシティ	1960	書籍	和田誠事務所
	『みつばち びい』(文=北杜夫)	フレーベル館	1961	書籍	和田誠事務所
	『からすのお城』(文=高橋睦郎)		1963	書籍	和田誠事務所
	『ちょうちょむすび』(文=今江祥智)		1963	書籍	和田誠事務所
	『山太郎』(文=川路重之)		1963	書籍	和田誠事務所
	『ぬすまれた月』	岩崎書店	1963	書籍	和田誠事務所
	『花とひみつ』(文=星新一)		1964	書籍	和田誠事務所
	『地にはピース』	ライト・プリシティ	1965	書籍	和田誠事務所
	『すずめチーター』(文=広島市の保育園児たち)		1965	書籍	和田誠事務所
	『しりと』(文=谷川俊太郎)		1965	書籍	和田誠事務所
	『4人目の王さま』(作曲=和田誠、作詞=高橋睦郎 他)	理論社	1965	書籍	和田誠事務所
	『けんはへっちゃん』(文=谷川俊太郎)	あかね書房	1965	書籍	和田誠事務所
	『17のこもりうた』(詩=高橋睦郎、曲=和田誠)		1966	書籍	和田誠事務所
	『冷たいツメタイむだ話』(文=小松左京)	A・A・P	1966	書籍	和田誠事務所
	『しのはきよろきよ』(文=谷川俊太郎)	あかね書房	1969	書籍	和田誠事務所
	『ワッハ ワッハハイのぼうけん』(文=谷川俊太郎)	講談社	1971	書籍	和田誠事務所
	『ありがとう』(文=山元護久)	世界文化社	1971	書籍	—
	『和田誠肖像画集 PEOPLE』	美術出版社	1973	書籍	和田誠事務所
	『デザイン街路図』	昭文社出版部	1973	書籍	個人蔵
	『にっぽんほら話』	講談社	1974	書籍	和田誠事務所
	『モザイクの馬』(文=小蘭江圭子)	千趣会	1975	書籍	個人蔵
	『密林—きれいなひょうの話』(文=工藤直子)	銀河社(2018年より瑞雲舎)	1975	書籍	和田誠事務所
	『お楽しみはこれからだ』	文藝春秋	1975	書籍	個人蔵
	『とおるがとおる』(文=谷川俊太郎)	あかね書房	1976	書籍	—
	『お楽しみはこれからだ PART2』	文藝春秋	1976	書籍	個人蔵
	『あめだまをたべたライオン』(文=今江祥智)	フレーベル館	1976	書籍	和田誠事務所
	『ポスターランド』	講談社	1976	書籍	和田誠事務所
	『あな』(文=谷川俊太郎)	福音館書店	1976	書籍	和田誠事務所
	『日曜日は歌謡日』	講談社	1976	書籍	和田誠事務所
	『いつか聴いた歌』	文藝春秋	1977	書籍	和田誠事務所
	『和田誠肖像画集 PEOPLE 2』	美術出版社	1977	書籍	和田誠事務所
	『ねこのアイウエオ』(文=ハンス・マグヌス・エンツェンスベルガー)	晶文社	1977	書籍	和田誠事務所
	『倫敦巴里』	話の特集	1977	書籍	和田誠事務所
	『こよみのこよみ』(作詞・作曲=和田誠、絵=湯村輝彦、和田誠)	すばる書房	1977	書籍	和田誠事務所
	『よわむしなおぼけ』(文=北杜夫)	旺文社	1978	書籍	和田誠事務所
	『あいいうえどうぶつえん』(詩=小林純一)	童心社	1978	書籍	和田誠事務所
	『カーニバル』	文藝春秋	1978	書籍	和田誠事務所
	『たかが映画じゃないか』(著=山田宏一、和田誠)	文藝春秋	1978	書籍	和田誠事務所
	『和田誠百貨店 A館』	美術出版社	1978	書籍	和田誠事務所
	『とぶ』(文=谷川俊太郎)	福音館書店	1978	書籍	和田誠事務所
	『せかいのはひろし』(文=谷川俊太郎)	あかね書房	1978	書籍	和田誠事務所
	『これはのみのびこ』(文=谷川俊太郎)	サンリード	1979	書籍	和田誠事務所
	『はなとひみつ』(文=星新一)	フレーベル館	1979	書籍	個人蔵

『ロビン・フッドに鉛の玉を』（著=ステュアート・M. カミンスキー）	文藝春秋	1979	書籍	和田誠事務所
『サニーサイドアップ』	CBSソニー出版	1980	書籍	和田誠事務所
『シネマッド・ティーパーティ』	講談社	1980	書籍	和田誠事務所
『お楽しみはこれからだ PART3』	文藝春秋	1980	書籍	個人蔵
『POST CARDS』	AO Gallery	1980	書籍	和田誠事務所
『落語横車』	講談社	1980	書籍	和田誠事務所
『ことばのこぼこ』	ずばる書房(1995年より瑞雲舎)	1981	書籍	和田誠事務所
『きなきな族からの脱出』	角川書店	1981	書籍	和田誠事務所
『虹の彼方の殺人』（著=ステュアート・M. カミンスキー）	文藝春秋	1982	書籍	和田誠事務所
『ナンセンス・カタログ』（文=谷川俊太郎、和田誠）	大和書房	1982	書籍	和田誠事務所
『特別飛行便』	文藝春秋	1982	書籍	和田誠事務所
『ビギン・ザ・ビギン』	文藝春秋	1982	書籍	和田誠事務所
『わたくし大画報』	講談社	1982	書籍	和田誠事務所
『映画に乾杯』	キネマ旬報社	1982	書籍	和田誠事務所
『あやねこのるすばん』（文=征矢清）	福音館書店	1982	書籍	個人蔵
『CMくらぶ』	岩崎美術社	1982	書籍	和田誠事務所
『SF大会』	岩崎美術社	1982	書籍	和田誠事務所
『装幀パレード』	岩崎美術社	1982	書籍	和田誠事務所
『あゝ人生日記』	新潮社	1983	書籍	和田誠事務所
『ブライヴェート・ニューヨーク』（著=和田誠・篠山紀信）	文藝春秋	1983	書籍	和田誠事務所
『親馬鹿子馬鹿』（共著=和田唱）	講談社	1983	書籍	和田誠事務所
『どきん』（文=谷川俊太郎）	理論社	1983	書籍	和田誠事務所
『ポストカードニューヨーク 1』（著=和田誠・篠山紀信）	文藝春秋	1983	書籍	和田誠事務所
『ポストカードニューヨーク 2』（著=和田誠・篠山紀信）	文藝春秋	1983	書籍	和田誠事務所
『いろんなもの・いろんなうた』	新潮社	1984	書籍	和田誠事務所
『シナリオ麻雀放浪記』（原作=阿佐田哲也、脚本=和田誠、沢井信一郎）	角川書店	1984	書籍	和田誠事務所
『A面B面』（著=阿久悠、和田誠）	文藝春秋	1985	書籍	和田誠事務所
『新人監督日記』	角川書店	1985	書籍	和田誠事務所
『モンローもいる暗い部屋』	新潮社	1985	書籍	個人蔵
『映画に乾杯2』	キネマ旬報社	1985	書籍	和田誠事務所
『インタビューまたは対談』	話の特集	1985	書籍	和田誠事務所
『エリセラさんご』（文=水木桂子）	朔北社	1986	書籍	個人蔵
『また、近いうちに』	大和書房	1986	書籍	和田誠事務所
『カメラ対ギャルス』	話の特集	1986	書籍	個人蔵
『お楽しみはこれからだ PART4』	文藝春秋	1986	書籍	和田誠事務所
『ひとコマランド傑作選』	講談社	1986	書籍	和田誠事務所
『インタビューまたは対談 その二』	話の特集	1987	書籍	和田誠事務所
『びりのきもち』（文=阪田寛夫）	白泉社(1998年～童話館出版)	1988	書籍	和田誠事務所
『快盗ルビイ 密着ロケ日記、完全シナリオ』	集英社	1988	書籍	—
『いちねんせい』（文=谷川俊太郎）	小学館	1987	書籍	和田誠事務所
『和田誠百貨店 B館』	美術出版社	1988	書籍	和田誠事務所
『インタビューまたは対談 その三』	話の特集	1989	書籍	和田誠事務所
『IMAGICA SCREEN GRAFFITI』	IMAGICA	1989	書籍	和田誠事務所
『オフ・オフ・マザー・グース』（訳=和田誠）	筑摩書房	1989	書籍	和田誠事務所
『戦後史グラフィティ』（著=色川武大、長部日出雄、村松友視）	話の特集	1989	書籍	和田誠事務所
『メイキング・オブ・快盗ルビイ』（著=和田誠、長谷川隆）	筑摩書房	1989	書籍	—
『クリスマスのうたの絵本』	アルク	1990	書籍	個人蔵
『旅の絵日記』（共著=平野レミ、写真=関原彰）	講談社	1990	書籍	和田誠事務所
『THE DICTIONARY』	トムズボックス	1990	書籍	和田誠事務所
『3D』	リプロポート	1991	書籍	和田誠事務所
『CATS IN WADALAND』	マガジンハウス	1991	書籍	和田誠事務所
『ブラウン管の映画館』	筑摩書房	1991	書籍	和田誠事務所
『アレキサンドリアー戒』（著=川路重之）	羽黒洞	1991	書籍	和田誠事務所
『シネマッド・カクテルパーティ』	講談社	1991	書籍	和田誠事務所
『旅』（文=ロバート・ルイス・スティヴンソン）	ほるぷ出版	1991	書籍	個人蔵
『映画とジャズ』	ビクター音楽産業	1992	書籍	和田誠事務所
『インタビューまたは対談 その四』	話の特集	1992	書籍	和田誠事務所
『銀座界隈ドキドキの日々』	文藝春秋	1991	書籍	和田誠事務所
『そらをとんだたまごやき』（文=落合恵子）	クレヨンハウス	1993	書籍	—
『和田誠装幀の本』	リプロポート	1993	書籍	和田誠事務所
『怖がる人々を作った人々』（著=和田誠、足立公良、佐藤太）	文藝春秋	1994	書籍	和田誠事務所
『おさる日記』	偕成社	1994	書籍	和田誠事務所
『またまた・マザー・グース』（訳=和田誠）	筑摩書房	1995	書籍	和田誠事務所
『冒険がいっぱい』（著=和田誠、長新太）	文溪堂	1995	書籍	和田誠事務所
『ことばの波止場』	白水社	1995	書籍	和田誠事務所
『お楽しみはこれからだ PART5』	文藝春秋	1995	書籍	和田誠事務所
『お楽しみはこれからだ PART6』	文藝春秋	1996	書籍	和田誠事務所
『ねこのシジミ』	ほるぷ出版	1996	書籍	和田誠事務所
『かいぞくのうた』	あかね書房	1996	書籍	個人蔵
『ババのはらっぱママのしま』（文=落合恵子）	クレヨンハウス	1996	書籍	個人蔵
『芸談』	作品社	1996	書籍	個人蔵
『MAKOTO WADA』	マガ・グラフィック・ギャラリー	1996	書籍	和田誠事務所

『いろはうた』(文=谷川俊太郎、和田誠)	いそづぶ社	1997	書籍	和田誠事務所
『ポートレイト・イン・ジャズ』(著=和田誠、村上春樹)	新潮社	1997	書籍	和田誠事務所
『キュウリに求婚』(著=クリス モズデル、訳=和田誠)	マガジンハウス	1997	書籍	個人蔵
『それはまた別の話』(著=和田誠、三谷幸喜)	文藝春秋	1997	書籍	和田誠事務所
『お楽しみはこれからだ PART7』	文藝春秋	1997	書籍	個人蔵
『装丁物語』	白水社	1997	書籍	和田誠事務所
『女の小説』(著=丸谷才一、和田誠)	光文社	1988	書籍	和田誠事務所
『IMAGICA PRESENTS 100 MOVIES』	IMAGICA	1998	書籍	和田誠事務所
『似顔絵物語』	白水社	1998	書籍	和田誠事務所
『ガクの絵本』	ほるぷ出版	1999	書籍	和田誠事務所
『これもまた別の話』(著=和田誠、三谷幸喜)	キネマ旬報社	1999	書籍	和田誠事務所
『今日も映画日和』	文藝春秋	1999	書籍	和田誠事務所
『時間旅行』	メディアファクトリー	2000	書籍	和田誠事務所
『ポートレイト・イン・ジャズ 2』(著=和田誠、村上春樹)	新潮社	2001	書籍	和田誠事務所
『ジャズと映画と仲間たち』(著=和田誠、猪腰弘之)	講談社	2001	書籍	和田誠事務所
『指からウロコ』	白水社	2001	書籍	和田誠事務所
『光と嘘、真実と影』(著=和田誠、森遊机)	河出書房新社	2001	書籍	和田誠事務所
『知らない町角』	白水社	2001	書籍	和田誠事務所
『絵本パパラギ』(文=エーリッヒ・ショイルマン、原訳=岡崎照男)	学研プラス	2002	書籍	和田誠事務所
『仕事場対談』	河出書房新社	2001	書籍	和田誠事務所
『物語の旅』	フレーベル館	2002	書籍	和田誠事務所
『1・2・3』(文=中川ひろたか)	クレヨンハウス	2002	書籍	和田誠事務所
『NO IDEA』(著=安西水丸、和田誠)	金の星社	2002	書籍	和田誠事務所
『パイがいっぱい』	文化出版局	2002	書籍	個人蔵
『白い嘘』	梧葉書房	2002	書籍	和田誠事務所
『ともだち』(文=谷川俊太郎)	玉川大学出版部	2002	書籍	和田誠事務所
『鉛筆映画館』	HBギャラリー	2002	書籍	和田誠事務所
『青豆とうふ』(著=安西水丸、和田誠)	講談社	2003	書籍	和田誠事務所
『かいてかいて』(文=谷川俊太郎)	クレヨンハウス	2003	書籍	和田誠事務所
『シネマ今昔問答』	新書館	2004	書籍	和田誠事務所
『誠の話』(著=椎名誠、和田誠)	角川書店	2004	書籍	和田誠事務所
『旅のスケッチブック』	新書館	2004	書籍	和田誠事務所
『注文の多い料理店』(著=宮沢賢治)	岩崎書店	2004	書籍	和田誠事務所
『ON STAGE』	Gallery 5610	2004	書籍	和田誠事務所
『和田誠グローブ座』	HBギャラリー	2004	書籍	和田誠事務所
『テーブルの上の犬や猫』(著=安西水丸、和田誠)	文藝春秋	2005	書籍	和田誠事務所
『ぼけっとくらべ』(文=今江祥智)	文研出版	2005	書籍	和田誠事務所
『シネマ今昔問答・望郷編』	新書館	2005	書籍	和田誠事務所
『モザイクの馬』(文=小蘭江圭子)	講談社	2005	書籍	和田誠事務所
『どんなかんじかなあ』(文=中山千夏)	自由国民社	2005	書籍	和田誠事務所
『かいこつ』(文=谷川俊太郎)	教育画劇	2005	書籍	和田誠事務所
『サンタのびっくりプレゼント』	オハヨー乳業	2005	書籍	和田誠事務所
『ぬすまれた月』(新版)	岩崎書店	2006	書籍	和田誠事務所
『すき』(文=谷川俊太郎)	理論社	2006	書籍	和田誠事務所
『であってどっきり』(文=工藤直子)	文溪堂	2006	書籍	個人蔵
『ポケットからなにがでる?』	福音館書店	2007	書籍	和田誠事務所
『あくま』(文=谷川俊太郎)	教育画劇	2007	書籍	個人蔵
『和田誠切抜帖』	新書館	2007	書籍	和田誠事務所
『村上ソングス』(著=和田誠、村上春樹)	中央公論新社	2007	書籍	和田誠事務所
『アラビアンナイトの挿絵とその時代の仕事』	トムズボックス	2007	書籍	和田誠事務所
『豚のしっぽ』	HBギャラリー	2007	書籍	和田誠事務所
『犬のしっぽ』	HBギャラリー	2007	書籍	和田誠事務所
『猫のしっぽ』	HBギャラリー	2007	書籍	和田誠事務所
『日活名画座ボスターのイラストレーション』	トムズボックス	2008	書籍	和田誠事務所
『パートナーズ』(著=安西水丸、和田誠)	文藝春秋	2008	書籍	和田誠事務所
『表紙はうたう』	文藝春秋	2008	書籍	和田誠事務所
『東京見物』	講談社	2009	書籍	和田誠事務所
『ヒッチコックに進路を取れ』(著=山田宏一、和田誠)	草思社	2009	書籍	和田誠事務所
『おさる日記』	HBギャラリー	2009	書籍	和田誠事務所
『本漫画』	毎日新聞社	2009	書籍	和田誠事務所
『みんな元気だ わたしが見てきた野生生物』(文=椎名誠)	文化学園文化出版局	2010	書籍	和田誠事務所
『Black & White』	愛育社	2010	書籍	和田誠事務所
『連句遊戯』(著=笹公人、和田誠)	白水社	2010	書籍	—
『ここからどこかへ』(文=谷川俊太郎)	角川書店	2010	書籍	—
『もりのくまとディベア』(文=谷川俊太郎)	金の星社	2010	書籍	個人蔵
『ポケットに砂と雪』	フェリシモ出版	2010	書籍	和田誠事務所
『宮沢賢治童話の挿絵』	トムズボックス	2010	書籍	和田誠事務所
『山手線一周1995』	HBギャラリー	2011	書籍	和田誠事務所
『Coloring in Wadaland』	愛育社	2011	書籍	和田誠事務所
『五・七・五交遊録』	白水社	2011	書籍	和田誠事務所
『41頭の象』	トムズボックス	2014	書籍	和田誠事務所
『地にはピース』	たばこと塩の博物館	2012	書籍	和田誠事務所
『Posters in Wadaland』	愛育社	2012	書籍	和田誠事務所
『連続模様』	HBギャラリー	2012	書籍	和田誠事務所

『画廊の隅から』	講談社	2013	書籍	和田誠事務所
『みんな猫である』	玄光社	2013	書籍	和田誠事務所
『聞いたり聞かれたり』	七つ森書館	2013	書籍	和田誠事務所
『いつか聴いた歌』増補改訂版	愛育社	2013	書籍	和田誠事務所
『いろいろいろいろ』(文=沢木耕太郎)	講談社	2013	書籍	—
『Record Covers in Wadaland』	アルテスパブリッシング	2014	書籍	和田誠事務所
『ほんの数行』	七つ森書館	2014	書籍	森晴路氏
『生き物が見る私たち』(著=中村桂子、和田誠)	青土社	2014	書籍	個人蔵
『和田誠シネマ画集』	ワイズ出版	2014	書籍	和田誠事務所
『ニャンコトリロジー』	河出書房新社	2014	書籍	個人蔵
『Book Covers in Wadaland』	アルテスパブリッシング	2014	書籍	個人蔵
『24頭の象』	トムズボックス	2011	書籍	和田誠事務所
『連句日和』(著=和田誠、俵万智、笹公人、矢吹申彦)	自由国民社	2015	書籍	—
『ぼくが映画ファンだった頃』	七つ森書館	2015	書籍	和田誠事務所
『和田誠シネマ画集Ⅱ』	ワイズ出版	2017	書籍	和田誠事務所
『忘れられそうで忘れられない映画』	ワイズ出版	2018	書籍	和田誠事務所
26 家族との仕事				
『ひも ほうちょうも つかわない 平野レミのおにぎりブック』 (レシビ=平野レミ、絵=和田唱、和田率)	福音館書店	1995	書籍	和田誠事務所
『ひも ほうちょうも つかわない 平野レミのサラダブック』 (レシビ=平野レミ、絵=和田唱、和田率)	福音館書店	1991	書籍	和田誠事務所
『ひも ほうちょうも つかわない 平野レミのおりょうりブック』 (レシビ=平野レミ、絵=和田唱、和田率)	福音館書店	1989	書籍	和田誠事務所
『平野レミ・料理大会』(著=平野レミ)	講談社	1986	書籍	—
『平野レミの作って幸せ・食べて幸せ』(著=平野レミ)	主婦の友社	1999	書籍	—
『旅の絵日記』(共著=平野レミ、写真=関原彰)	講談社	1990	書籍	和田誠事務所
『旅の絵日記』(共著=平野レミ、写真=関原彰)	講談社	1990	書籍	個人蔵
『親馬鹿子馬鹿』(共著=和田唱)	講談社	1983	書籍	和田誠事務所
『親馬鹿子馬鹿』(共著=和田唱)	講談社	1983	書籍	個人蔵
『ガラスの月』(著=平野威馬雄、絵=和田誠、唱、率)	理論社	1984	書籍	和田誠事務所
『ド・レミの子守歌』(著・装画・挿絵=平野レミ)	中央公論新社	2013	書籍	個人蔵
『平野レミのあかちゃんといっしょごはん かんたん取り分け離乳食』(著=平野レミ)	金の星社	2011	書籍	個人蔵
オリジナル眼鏡		不詳	眼鏡	和田誠事務所
オリジナル眼鏡		不詳	眼鏡	和田誠事務所
オリジナル眼鏡		不詳	眼鏡	和田誠事務所
『きかせてよ〜ジャンソン・ド・レミ』(歌=平野レミ、写真=篠山紀信)	アポロン	1988	LP	トムズボックス
『私の旅』CD(歌=平野レミ)	レミックス	2006	CD	和田誠事務所
セーター(協力=荒木淳子)		1983~86	セーター	和田誠事務所
セーター(協力=荒木淳子)		1983~86	セーター	和田誠事務所
セーター(協力=荒木淳子)		1983~86	セーター	和田誠事務所
セーター(協力=荒木淳子)		1983~86	セーター	和田誠事務所
セーター(協力=荒木淳子)		1983~86	セーター	和田誠事務所
セーター(協力=荒木淳子)		1983~86	セーター	和田誠事務所
セーター裏面 パネル(6点)		1983~86	—	—
エプロン		2000~	エプロン	和田誠事務所
エプロン		2000~	エプロン	和田誠事務所
エプロン		2000~	エプロン	和田誠事務所
27 ロゴマーク				
ロゴマークパネル 60点				
28 猫				
猫のイラストレーションパネル 6点			出力	—
29 ただいま制作中				
ただいま制作中(撮影=吉田宏子)		2010	映像	個人蔵
ヒカリ工喫煙室壁画		2012		—
ヒカリ工喫煙室壁画色指定		2012		—
『マルタの鷹』原画		2010		—
『戦いはおわり ビース来たる』		2010		—
特別展示 亀倉雄策との交流				
追悼・亀倉雄策		1998年印刷 (1988~90年 頃の原画にもと づき出力)	オフセット印刷	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
亀倉雄策宛書簡		1992年 1月29日		新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
亀倉雄策の肖像		1972年頃	インク、紙	新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
『新装版 デザイン随想 離陸 着陸』著・亀倉雄策	美術出版社	1972年 初版 2012年 新装版初版		新潟県立近代美術館・ 万代島美術館
亀倉雄策資料より				新潟県立近代美術館・ 万代島美術館



庵野秀明展

【趣 旨】

『ふしぎの海のナディア』や『エヴァンゲリオン』シリーズ、『シン・ゴジラ』などで知られる映像作家・庵野秀明（1960—）の個展。「庵野秀明をつくったもの 庵野秀明がつくったもの そして、これからつくるもの」をテーマに、アニメーター時代に参加した過去作品から、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事までを網羅、加えて作家の原点となった「アニメ」「特撮」作品の貴重な資料など、約1500点を展示し、その創作の秘密に迫った。

【総 括】

●評価すべき点

- ・豊富な作品・資料の展示により、作家の業績やアニメ、特撮の制作技術、ひいては映像制作に携わる人々の熱意について県民の理解を深めることができた。多くの学校団体に校外活動の場を提供できた。新潟市や県内企業と協働し、街めぐりイベントやホテルでのコラボカフェ、新潟限定のグッズ販売などを展開、展覧会や地域の盛り上げに貢献できた。

●検討課題

- ・映像作品は権利処理が複雑で広報にも制約が多い。近年は展示する作品・資料の形状が多様で当館既存の設備（特に照明）だけでは対応が難しい。

【開催日・その他】

=2022年9月23日(金)～2023年1月9日(月) (92日間)=

休館日：9月26日(月)、10月3日(月)、10月17日(月)、10月24日(月)、10月31日(月)、11月7日(月)、11月21日(月)、11月28日(月)、12月5日(月)、12月12日(月)、12月19日(月)、12月29日(木)、12月30日(金)、12月31日(土)、1月1日(日・祝)、1月2日(月・祝)、1月3日(火)

主 催：新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、庵野秀明展新潟実行委員会

協 賛：DNP大日本印刷、セコム上信越

企 画：庵野秀明展実行委員会

企画協力：カラー、グラウンドワークス：、アニメ特撮アーカイブ機構

後 援：新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、読売新聞新潟支局、FM新潟77.5

観覧料：一般……………1,700円(1,500円)〈1,500円〉

大学・高校生……………1,300円(1,100円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券



【関連行事】

- ・「にいがた2km」×「庵野秀明展」にいがた街めぐり
庵野秀明がこれまで関わった映像作品に登場するセリフをあしらった展覧会告知ポスター（街めぐり「名セリフ」ポスター／20種類）を「にいがた2キロ」圏内、周辺の施設・店舗に掲示。「名セリフポスター」の写真を複数撮影し、SNS投稿をした方にオリジナルステッカー3種セットをプレゼント。朱鷺メッセ内にも名セリフ看板・サインを設置（4か所）
実施協力：新潟市、新潟観光コンベンション、マンガ・アニメ情報館

期 間：10月15日(土)～11月20日(日)

*ステッカー引き換えは11月30日(水)まで

掲示箇所：新潟駅観光案内センター含む20か所
プレゼント引換数：136セット

- ・ゴジラの日「庵野秀明展」告知ポスタープレゼント
11月3日(木・祝) 来館者先着100名

- ・ステッカーキャンペーン
「庵野秀明展」の感想や会場の写真を「庵野秀明展」をつけて Twitter、Instagramに投稿いただいた方に、展覧会オリジナルステッカー（全3種）をランダムで1枚贈呈（114名）。
実施期間：11月26日(土)～12月28日(水)
* 同期間に、美術館でアンケートに答えた方にステッカー1枚贈呈（522名）

【連携事業】

- ・庵野秀明展 コラボレーションカフェ at Befcoばかうけ展望室
実施主体：ホテル日航新潟
場所：Befco ばかうけ展望室（万代島ビル31F）
期間：10月1日(土)～2023年1月9日(月・祝)
- ・庵野秀明展 新潟 会場限定 コラボ商品 販売
ミュージアムショップにて、新潟展限定コラボ商品（7種15点）販売

【関連記事】

●新聞

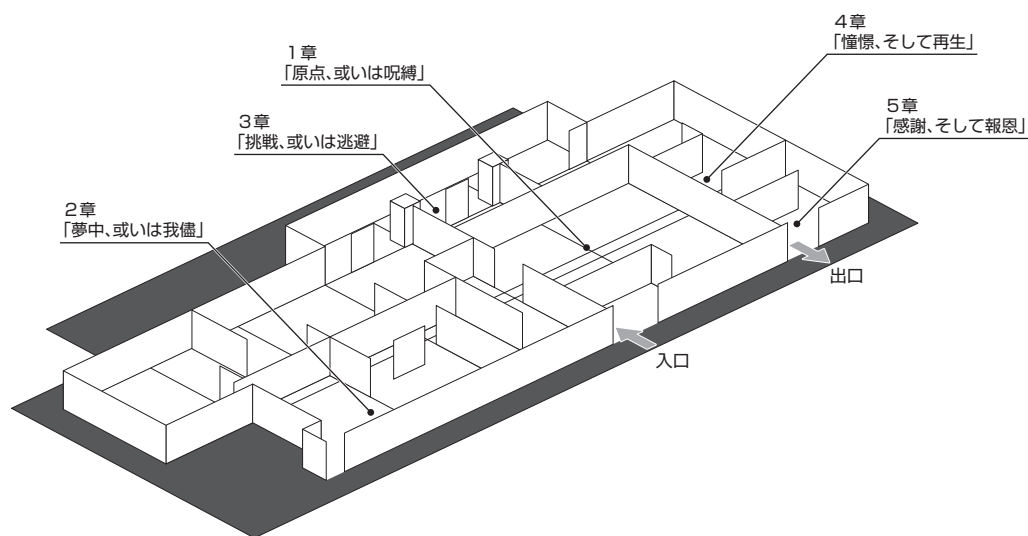
- 9月23日(金・祝) 読売新聞
「庵野監督の軌跡たどる きょうから」
- 10月26日(水) 新潟日報
「庵野ワールドわくわく エヴァ、シン・ゴジラ 中央区で展覧会」
- 10月31日(月) 朝日新聞
「庵野秀明さんの世界 資料1500点」
- 11月25日(金) 新潟日報
「展覧会へようこそ 庵野秀明展 「面白い」 追求 原点に迫る」(今井有)

●ラジオ

- 10月28日 ラジオ栃木「Flying Fryday」

●テレビ

- 9月22日 テレビ新潟「夕方ワイド新潟一番」(明日開幕)
- 9月23日 テレビ新潟「夕方ワイド新潟一番」(本日開幕)
- 11月6日 テレビ新潟「新潟一番サンデープラス」(コラボカフェ)
- 11月10日 テレビ新潟「夕方ワイド新潟一番」(NTVアナウンサー出演、拡大プレゼント)



【図 録】

仕 様：23.0×29.7cm 495頁

編 集：齊藤睦志（クラフトワークス）、国立新美術館、朝日新聞社

編集協力：宮本亮平（アニメ特撮アーカイブ機構）、筒井亮子、真木圭太（ジェネット）

執 筆：氷川竜介、安野モヨコ、神村靖宏（グラウンドワークス:）、三好寛（アニメ特撮アーカイブ機構）、辻壮一（アニメ特撮アーカイブ機構）、永島収、原口正宏

翻 訳：クリストファー・スティヴンズ

デザイン：彦根大介

撮 影：竹中博信（スタジオ・エッグ）、富森浩幸

印刷・製本：大日本印刷

発 行：朝日新聞社

内 容：ごあいさつ

略歴

過去と未来を無限につなぐエンジン（氷川竜介）

専門用語・技術用語解説

第1章 原点、或いは呪縛

自分自身を育ててくれたものに対する、感謝の念（安野モヨコ）

第2章 夢中、或いは我儘

第3章 挑戦、或いは逃避

第4章 憧憬、そして再生

第5章 感謝、そして報恩

個人履歴／仕事履歴／原点となった作品

展示物リスト

謝辞

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	21,372
	前売	3,325
無料観覧者数	招待	1,928
	無料	4,017
	免除	2,219
総観覧者数		32,861
有料率（%）		75.2%

担当 今井 有



【出品リスト】

第1章「原点、或いは呪縛」					
作品名1	作品名2	公開年・発表年	作者	額・ケース内点数	管理番号
	庵野秀明 像	2021年		1	1-1-1
	庵野秀明 像	2010年	安野モヨコ	1	1-1-2
	自画像	1982年	庵野秀明	1	1-1-3
	自画像	2006年	庵野秀明	1	1-1-4
	庵野秀明の実家にあったミシン			1	1-1-5
	東京タワー 映画「モスラ（1961）」オリジナル図面から再制作	2003年	戸井田工業	1	1-2-1
日本沈没（テレビ）	東京タワー	1974年	戸井田工業	1	1-2-2
ガメラ 大怪獣空中決戦	電柱、鉄塔	1995年		2	1-2-3
海底軍艦	海底軍艦 轟天号	1963年		1	1-2-4
惑星大戦争	宇宙防衛艦 轟天	1977年		1	1-2-5
惑星大戦争	スペース・ファイター	1977年		1	1-2-6
妖星ゴラス	JX-1 隼号	1962年		1	1-2-8
妖星ゴラス	カプセル1号	1962年		1	1-2-9
宇宙大戦争	ロケット戦闘機	1959年		1	1-2-10
怪獣総進撃	ムーンライトSY-3	1968年		1	1-2-11
モスラ	8シートポスター	1961年		1	1-2-12
海底軍艦	8シートポスター	1963年		1	1-2-13
妖星ゴラス	8シートポスター	1962年		1	1-2-14
宇宙大戦争	8シートポスター	1959年		1	1-2-15
怪獣総進撃	キングサイズポスター	1968年		1	1-2-16
マイティジャック	バギー	1968年		1	1-3-1
マイティジャック	ビブリダー（通常翼）	1968年		1	1-3-2
マイティジャック	ビブリダー（ガルウイング）	1968年		1	1-3-3
マイティジャック	MJとレイブン 複製	1983年頃	成田亨	1	1-3-4
マイティジャック	マイティジャック号最初期の画(現存する写真を基に作成したプリント)	1968年	成田亨	1	1-3-5
マイティジャック	夕陽のMJ 複製	1983年頃	成田亨	1	1-3-6
マイティジャック	爆煙とMJ 複製	1983年頃	成田亨	1	1-3-7
マイティジャック	攻撃するMJ 複製	1983年頃	成田亨	1	1-3-8
マイティジャック	MJオートマチック・ハイパワー8	1968年		1	1-3-9
帰ってきたウルトラマン	マットシュート	1971年		1	1-3-10
ウルトラマン	スーパーガン	1966年		1	1-3-11
ウルトラマンタロウ	ZATガン	1973年		1	1-3-12
ウルトラセブン	ウルトラガン	1967年		1	1-3-13
ウルトラセブン	ウルトラホーク1号	1980年代	成田亨	1	1-3-14
ウルトラホーク1号 図解	「ファンタスティックコレクション」12 ウルトラマン メカ 怪獣 大図解（朝日ソノラマ）掲載	1978年	開田裕治	1	1-3-15
ウルトラマン	ウルトラマン スーツ	1966年		1	1-3-16
帰ってきたウルトラマン	ウルトラマン スーツ	1971年		1	1-3-17
ウルトラマン	科学特捜隊基地 図解	1978年頃	開田裕治	1	1-3-18
帰ってきたウルトラマン	ウルトラマン（飛行シーン用）	1971年		1	1-3-19
ウルトラマン	ウルトラマン（飛行シーン用 ノーマルタイプ後期型）	1966年		1	1-3-20
ウルトラマン	ウルトラマン（飛行シーン用 スペシウム光線発射タイプ）	1966年		1	1-3-21
ウルトラセブン	ウルトラセブン（飛行シーン用）	1967年		1	1-3-22
ゴジラ対メガロ	ジェットジャガー（飛行シーン用）	1973年		1	1-2-18
スペクトルマン	スペクトルマン（高速回転シーン用）	1971年		1	1-3-23
ジャンボーグA	ジャンボーグA マスク	1973年		1	1-3-24
ジャンボーグA	ジャンボーグ9 マスク	1973年		1	1-3-25
宇宙猿人ゴリ対スペクトルマン	スペクトルマン マスク	1971年		1	1-3-26
ミラーマン	ミラーマン マスク	1971年		1	1-3-27
ウルトラセブン	ウルトラセブン マスク	1967年		1	1-3-28
ジャンボーグA	ジャンカーZ	1973年		1	1-3-29
マイティジャック	万能戦艦マイティジャック号	1968年		1	1-3-31
マイティジャック	コンクルーダー	1968年		1	1-3-32
マイティジャック	エキゾスカウト	1968年		1	1-3-33
マイティジャック	ビブリダー	1968年		1	1-3-34
帰ってきたウルトラマン	マットアロー 1号	1971年		1	1-3-35
帰ってきたウルトラマン	マットアロー 2号	1971年		1	1-3-36
帰ってきたウルトラマン	マットジャイロ	1971年		1	1-3-37
ウルトラマンタロウ	コンドル1号	1973年		1	1-3-38
ウルトラマン	ジェットビートル	1966年		1	1-3-39
ウルトラセブン	ウルトラホーク1号	1967年		1	1-3-40
ウルトラセブン	宇宙ステーションV3	1967年		1	1-3-41
ウルトラマンタロウ	スカイホエール	1973年		1	1-3-42
ウルトラマンタロウ	ラビットパンダ	1973年		1	1-3-43
ウルトラマン80	スカイハイヤー	1980年		1	1-3-44
スターウルフ	バックスⅢ世	1978年		1	1-3-45
マグマ大使	ロケット	1966年		1	1-3-46
仮面ライダー	仮面ライダー旧1号 マスク	1971年		1	1-5-1
仮面ライダー	RAINBOW PRODUCTS MASTERWORKS 仮面ライダー旧1号&旧サイクロン号 1/5スケール(レインボー造形企画製の市販品 参考展示)			1	1-5-2

バトルフィーバーJ	バトルフィーバーロボ	1979年		1	1-5-3
電子戦隊デンジマン	デンジタイガー	1980年		1	1-5-4
仮面ライダー	『週刊ぼくらマガジン』扉絵（複製）	1971年	石ノ森章太郎	1	1-16-1
マシンガーZ	『週刊少年ジャンプ』扉絵 1972年12月18日・25日合併号 No.53 複製	1972年	永井豪	1	1-16-3
ゲッターロボ	『週刊少年サンデー』扉絵 複製	1974年	原作：永井豪 作画：石川賢	1	1-16-5
ザ・ムーン	『週刊少年サンデー』連載原稿 複製	1972～ 1973頃	ジョージ秋山	1	1-17-1
バビル2世	少年チャンピオンコミックス第5巻表紙 複製	1972年	横山光輝	1	1-17-3
超少女明日香 明日香ふたたび	マーガレットコミックス単行本表紙 複製	1978年	和田慎二	1	1-17-5
宇宙戦艦ヤマト 永遠のジュラ編	『プレイコミック』（発行元：秋田書店）1976年8月26日号掲載画 複製	1976年	松本零士	1	1-17-7
	漫画本棚 一式			188	1-23
	『大図解！宇宙戦艦ヤマト』『週刊少年サンデー』昭和49年10月27日号	1974年		1	1-18
	『宇宙戦艦ヤマト全記録集 設定 資料版』	1979年		1	参考展示
	『宇宙戦艦ヤマト全記録集 TVシナリオ版』	1979年		1	参考展示
	『宇宙戦艦ヤマト どうぞの60ページ！』				
	『月刊OUT』昭和52年6月1日発行第1巻第2号	1977年		1	参考展示
	『テレビランド増刊 ロマンアルバム 宇宙戦艦ヤマト』	1977年		1	参考展示
	『緊急取材報告第1弾!! さらば宇宙戦艦ヤマト』				
	『別冊テレビランド アニメージュ』1978年7月号	1978年		1	参考展示
宇宙戦艦ヤマト	原画	1974年		13	1-19
宇宙戦艦ヤマト	原画・セル画等	1974年		8	1-20
宇宙戦艦ヤマト	原画、背景画	1974年		5	1-21
宇宙戦艦ヤマト	『宇宙戦艦ヤマト大図解』宇宙戦艦ヤマト大図解 ビンナップ	1974年		1	1-6-1
宇宙戦艦ヤマト	『宇宙戦艦ヤマト大図鑑』見返し	1974年		1	1-6-2
宇宙戦艦ヤマト	『宇宙戦艦ヤマト大図鑑』中扉	1974年	宮武一貴	1	1-6-3
機動戦士ガンダム	レイアウト、原画、修正原稿（一部複製）	1979年	安彦良和	15	1-22
機動戦士ガンダム	『安彦良和アニメーション原画集「機動戦士ガンダム」』	2013年	安彦良和	1	参考展示
機動戦士ガンダム	ポスター	1979年		1	1-7-1
機動戦士ガンダムⅡ 哀・戦士	ポスター	1979年		1	1-7-2
機動戦士ガンダム	ポスター	1979年		1	1-7-3
機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙	ポスター	1979年		1	1-7-4
機動戦士ガンダムⅡ 哀・戦士	ポスター	1979年		1	1-7-5
機動戦士ガンダムⅡ 哀・戦士	ポスター	1979年		1	1-7-6
機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙	ポスター	1979年		1	1-7-7
機動戦士ガンダム	ポスター	1979年		1	1-7-8
機動戦士ガンダム	劇場版第3作「機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙編」原画資料/パネル	1979年		1	1-7-9
機動戦士ガンダム	レイアウト（複製）	1979年	安彦良和	1	1-7-10
	中学生時代の油彩画	1974年6月7日	庵野秀明	1	1-8-1
	中学生時代の油彩画	1974年6月17日	庵野秀明	1	1-8-2
	中学生時代の油彩画	1974年8月13日	庵野秀明	1	1-8-3
	中学生時代の油彩画	1975年3月4日	庵野秀明	1	1-8-4
	中学生時代の油彩画	1975年2月7日	庵野秀明	1	1-8-5
	高校生時代の油彩画	1976年6月5日	庵野秀明	1	1-8-6
	庵野秀明監督の実家に残っていた私物 中学生時代の賞状と盾（2点） 高校生時代のスケッチブック（2点） 中学～高校生時代に作っていた会報、同人誌（8点） 庵野の宇部市での行きつけの喫茶店「かふえれすとらいぶ」関連品（2022年1月に閉店）（7点） レコード（3点） グッズ（4点）			26	2-1
第2章 「夢中、あるいは我儘」					
作品名1	作品名2	公開年・発表年	作者	額・ケース内点数	管理番号
ナカムライダー	スチールアニメ用素材 8ミリフィルムカメラ Canon514-XL-S	1978年	庵野秀明	17	2-2
自主制作作品『ウルトラマン』	企画・アイデア・ラフコンテ等制作メモ類・スチールアニメ用当たりメモ等	1980年	庵野秀明	8	2-3
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	MAT隊員ユニフォーム（2点中1点は庵野用） マットアロー1号 1/48スケールミニチュア（紙製） マットアロー1号 Mk.VIIIユニット 1/24スケールミニチュア（紙製） いらかの波 ミニチュア貯金箱（撮影に使用）	1983年	撮影に使用された実物（制作：三枝徹）	7	2-4
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	ヘルメット（MAT隊員汎用）＊写真パネル			1	参考展示
	8mm フィルムカメラ FUJICA ZC1000			1	2-7
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	画コンテ（抜粋）	1983年	庵野秀明	7	2-5
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	画コンテ（抜粋）	1983年	庵野秀明	7	2-6
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	カラータイマー（実寸に拡大したメイキングスチールに取付）	1983年		1	2-8
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	マットサブ 設定（現存するデータより出力）	1983年	庵野秀明	1	2-1-1
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	MAT基地 設定	1983年	庵野秀明	1	2-1-2
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	マットアロー1号 設定	1983年	庵野秀明	1	2-1-3
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	マットアロー1号 設定	1983年	庵野秀明	1	2-1-4
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	マットアロー2号 設定	1983年	庵野秀明	1	2-1-5
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	マットジャイロ 設定	1983年	庵野秀明	1	2-1-6

DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	マットアロー 1号 1/24 スケールミニチュア (紙製)	1983年	当時の制作者・三枝徹による再制作 (2021年)	2	2-9
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	マットジャイロ 1/24スケールミニチュア (紙製)	1983年	当時の制作者・三枝徹による再制作 (2021年)	1	2-10
映像計画学科 一回生時の提出課題 『じょうぶなタイヤ! SHADOタイヤ』	①提出用デザイン画 ②キャラ 設定 ③パトカー・貸切バス 設定 ④スズキフロンテ360SS 設定	1980年	庵野秀明	4	2-2-1
映像計画学科 一回生時の提出課題 『じょうぶなタイヤ! SHADOタイヤ』	原画兼動画	1980年	庵野秀明	20	2-2-2
映像計画学科 一回生時の提出課題 『じょうぶなタイヤ! SHADOタイヤ』	制作用画コンテ、提出用レポート、提出用画コンテ (完成後に描かれたもの)	1980年	庵野秀明	8	2-13
映像計画学科 一回生時の提出課題 『じょうぶなタイヤ! SHADOタイヤ』	提出用画コンテ (完成後に描かれたもの)	1980年	庵野秀明	5	2-14
短編アニメ『恵子ちゃんin よーちえん』	企画案・キャラクターデザイン	1982~1983年ごろ	庵野秀明	2	2-2-3
短編アニメ『恵子ちゃんin よーちえん』	企画案・キャラクターデザイン	1982~1983年ごろ	庵野秀明	2	2-2-4
短編アニメ『恵子ちゃんin よーちえん』	企画案・キャラクターデザイン	1982~1983年ごろ	庵野秀明	3	2-2-5
短編アニメ『水たまり』	画コンテ	1980年	庵野秀明	2	2-2-6
大学時代の制作資料『バス停にて…』	フィルムカウント時エフェクト 原画兼動画	1980年ごろ	庵野秀明	21	2-2-7
短編アニメ『TEA TIME』	企画案	1981年	庵野秀明	9	2-2-8
大学時代の制作資料	『TEA TIME』『水たまり』『わたがし』『レーザー庫を開けたら戦車がとび出した!!』等	1980年ごろ	庵野秀明	『TEA TIME』*4点 『水たまり』*3点、『わたがし』*5点、『レーザー庫を開けたら戦車がとび出した!!』*8点等*その他3点	
DAICON III オープニングアニメーション	1981年のSF大会「DAICON III」の会場にて、漫画家でアニメーション作家の手塚治虫と話す制作メンバー	1981年		1	2-3-1
DAICON III オープニングアニメーション	レイアウト、原画兼動画	1981年	庵野秀明	16	2-3-2
DAICON III オープニングアニメーション	レイアウト、原画兼動画	1981年	庵野秀明	15	2-3-3
DAICON III オープニングアニメーション	レイアウト、原画兼動画	1981年	庵野秀明	16	2-3-4
DAICON III オープニングアニメーション	画コンテ・原画兼動画、セル画、『DAICON III』関連資料等	1981年	庵野秀明	17	2-11
DAICON III オープニングアニメーション	原画兼動画、セル画、色見本、レイアウト	1981年	庵野秀明、赤井孝美	10	2-3-5
DAICON IV オープニングアニメーション	パワードスーツ 設定	1983年	庵野秀明	2	2-3-6
DAICON IV オープニングアニメーション	企画書、画コンテ、セル画	1983年	庵野秀明、平野俊弘、貞本義行	12	2-12
日本SF大会 DAICON IV	イベントロゴ案	1983年	庵野秀明	2	2-3-7
日本SF大会 DAICON IV	イベントロゴ案	1983年	庵野秀明	2	2-3-8
DAICON IV オープニングアニメーション	DAICON号 設定	1983年	庵野秀明	2	2-3-9
DAICON IV オープニングアニメーション	『科学戦隊ダイナマン』ダイナロボ 作画設定	1983年	庵野秀明	1	2-3-10
DAICON IV オープニングアニメーション	(上) ウルトラホーク1号 設定 (中) ウルトラホーク1号下面ディテール 設定 (下) ウルトラホーク1号 色指定	1983年	庵野秀明	3	2-3-11
DAICON IV オープニングアニメーション	原画	1983年	庵野秀明	3	2-3-12
DAICON IV オープニングアニメーション	原画	1983年	庵野秀明	3	2-3-13
DAICON IV オープニングアニメーション	原画	1983年	庵野秀明	3	2-3-14
DAICON IV オープニングアニメーション	原画兼動画	1983年	庵野秀明	4	2-3-15
DAICON IV オープニングアニメーション	原画兼動画	1983年	庵野秀明	4	2-3-16
DAICON IV オープニングアニメーション	原画兼動画	1983年	庵野秀明	4	2-3-17
DAICON IV オープニングアニメーション	原画兼動画	1983年	庵野秀明	4	2-3-18
DAICON IV オープニングアニメーション	原画兼動画	1983年	庵野秀明	4	2-3-19
DAICON IV オープニングアニメーション	原画兼動画	1983年	庵野秀明	4	2-3-20
DAICON IV オープニングアニメーション	セル画	1983年		4	2-3-21
DAICON IV オープニングアニメーション	セル画	1983年		4	2-3-22
DAICON IV オープニングアニメーション	原画、動画	1983年	原画：庵野秀明 動画：喜田淳	4	2-3-23
DAICON IV オープニングアニメーション	原画、動画	1983年	原画：庵野秀明 動画：喜田淳	4	2-3-24
DAICON IV オープニングアニメーション	原画、動画	1983年	原画：庵野秀明 動画：喜田淳	4	2-3-25
DAICON IV オープニングアニメーション	原画、動画	1983年	原画：庵野秀明 動画：清横紀文、前田真宏	9	2-3-26
DAICON FILM企画案『サンダーバード』	メカニックデザイン案	1982年ごろ	庵野秀明	1	2-4-1
DAICON FILM企画案『サンダーバード』	メカニックデザイン案	1982年ごろ	庵野秀明	2	2-4-2
DAICON FILM企画案『サンダーバード』	メカニックデザイン案	1982年ごろ	庵野秀明	3	2-4-3
DAICON FILM企画案『サンダーバード』	メカニックデザイン案	1982年ごろ	庵野秀明	2	2-4-4
DAICON FILM企画案『仮面ライダー』	デザイン案	1983年	庵野秀明	3	2-5-1
DAICON FILM企画案『仮面ライダー』	デザイン案	1983年	庵野秀明	2	2-5-2
DAICON FILM企画案『仮面ライダー』	デザイン案	1983年	庵野秀明	3	2-5-3
DAICON FILM企画案『マイティジャック』	メカニックデザイン案	1983年ごろ	庵野秀明	3	2-6-1
DAICON FILM企画案『マイティジャック』	メカニックデザイン案	1983年ごろ	庵野秀明	2	2-6-2
	習作イラスト (踏切戦士シャダーン)	1981年ごろ	庵野秀明	1	2-7-1
	習作イラスト (機動戦士ガンダム)	1980年代	庵野秀明	1	2-7-2

『宇宙戦艦ヤマト』	宇宙戦艦ヤマト イラスト 『月刊アニメージュ』1991年9月号掲載	1991年	庵野秀明	1	2-7-3
『宇宙戦艦ヤマト』	『宇宙戦艦ヤマト』TV シリーズ PART1 パーフェクトコレクション LD-BOX ブックレット掲載用イラスト 原画・影指定	1990年	庵野秀明	3	2-7-4
『超電磁ロボ コン・バトラー V』	『超電磁ロボ コン・バトラー V BGM サウンドトラック』 CD アルバムジャケット 原画・影指定	1992年	庵野秀明	1	2-7-5
『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』	特集記事セルイラスト 原画・影指定 (『月刊Newtype』1988年3月号掲載)	1988年	庵野秀明	2	2-7-6
	ゼネラルプロダクツ商品用イラスト (東宝メカシリーズ)	1985年ごろ	庵野秀明	1	2-7-7
	『サンダーバード』メモリアルボックス LD-BOX ライナーノート用イラストコラム 下描き	1990年	庵野秀明	2	2-7-8
	『サンダーバード』LD-BOX ライナーノート用イラストコラム 下描き	1990年	庵野秀明	1	2-7-9
	ゼネラルプロダクツ商品用イラスト (メーサー殺獣光線車)	1985年ごろ	庵野秀明	1	2-7-10
マイティジャック	マイティジャック号 イラスト ゼネラルプロダクツ商品用	1980年代	庵野秀明	1	2-7-11
	『帰ってきたウルトラマン』ゼネラルプロダクツ商品用イラスト	1985年	庵野秀明	1	2-7-12
	ゼネラルプロダクツ商品用イラスト (ウルトラメカシリーズ)	1985年	庵野秀明	1	2-7-13
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	『マットアロー1号 バキュームフォームキット』パッケージ	1983	表紙イラスト: 庵野秀明	1	2-7-14
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	マットアロー1号 バキュームフォームキット パッケージイラスト	1983年	庵野秀明	1	2-7-15
帰ってきたウルトラマン	ゼネラルプロダクツ商品用イラスト	1985年	庵野秀明	1	2-7-16
	『ULTRA Original BGM Collection 4 ウルトラセブン Part II』LPレコードインナーイラスト	1984年	庵野秀明	2	2-7-17
『DAICON III オープニングアニメーション』	DAICON IIIの女の子 (『月刊アニメージュ』1985年1月号掲載)	1985年	庵野秀明	1	2-7-18
DAICON FILM版『帰ってきたウルトラマン』	商品用イラスト	1983年	庵野秀明	1	2-7-19
	『ゼネプロはんげう記』タイトルカット (『月刊アニメック』1983年12月号掲載)	1983年	庵野秀明	1	2-7-20
	漫画『あついで』	1983年ごろ	庵野秀明	1	2-7-21
	リングワールドと女の子 KNOWN SPACE CLUB用イラスト	1983年	庵野秀明	2	2-7-22
	ゼネラルプロダクツ商品用イラスト	1985年	庵野秀明	1	2-7-23
	大阪大学SF研1983年度カレンダー 7、8月用イラスト	1983年	庵野秀明	1	2-7-24
	オリジナルイラスト	1982年	庵野秀明	1	2-7-25
	ゼネラルプロダクツ商品用イラスト	1985年	庵野秀明	1	2-7-26
	大阪大学SF研究会カレンダー表紙	1982年	庵野秀明	1	2-7-27
	ゼネラルプロダクツPR用イラスト	1980年ごろ	庵野秀明	1	2-7-28
	ゼネラルプロダクツ周辺資料			22	2-15
	ゼネラルプロダクツ周辺資料			18	2-18
	ゼネラルプロダクツ周辺資料			14	2-16
	ゼネラルプロダクツ周辺資料			14	1-17
監督不行届	第壹話 画稿 ほかにフィギュア等	2002年	安野モヨコ	11	2-19
	『アニメージュ』1984年12月号特集「実録 日本の若いアニメーターたち」*パネル			1	2-8-1
	『アニメージュ』1984年12月号特集「実録 日本の若いアニメーターたち」*パネル			2	2-8-2
超時空要塞マクロス	第27話「愛は流れる」セル	1982年	原画: 庵野秀明	1	2-9-1
超時空要塞マクロス	第27話「愛は流れる」原画兼動画	1982年	庵野秀明	1	2-9-2
超時空要塞マクロス	第24話「グッバイ・ガール」原画	1982年	庵野秀明	1	2-9-3
超時空要塞マクロス	第27話「愛は流れる」原画	1982年	庵野秀明	3	2-9-4
超時空要塞マクロス	第27話「愛は流れる」原画	1982年	庵野秀明	3	2-9-5
超時空要塞マクロス	第27話「愛は流れる」原画	1982年	庵野秀明	3	2-9-6
超時空要塞マクロス	第27話「愛は流れる」原画	1982年	庵野秀明	3	2-9-7
超時空要塞マクロス	第27話「愛は流れる」原画	1982年	庵野秀明	3	2-9-8
天使のたまご	レイアウト (未使用)	1985年	庵野秀明	2	2-10-1
天使のたまご	レイアウト (未使用)	1985年	庵野秀明	2	2-10-2
(上)『超時空要塞マクロス』『超時空要塞 マクロス 愛・おぼえていますか』	画コンテほか制作資料			7	2-22
(下)『メガゾーン23』ほか					
(上)『王立宇宙軍』パイロットフィルム	(上) 敵戦車 設定	1985年、	庵野秀明	2	2-11-1
(下)『王立宇宙軍 オネアミスの翼』	(下) 王立陸軍戦車 設定	1987年			
王立宇宙軍 オネアミスの翼	ロケット発射のエフェクト検討	1987年	庵野秀明	2	2-11-2
『王立宇宙軍』パイロットフィルム	リテイクプラン用メモ	1985年	庵野秀明		2-11-3
『王立宇宙軍』パイロットフィルム	リテイクプラン用メモ	1985年	庵野秀明	4	2-11-4
王立宇宙軍 オネアミスの翼	(上) 駅構内 美術設定 (下) 貨車 設定	1987年	庵野秀明	2	2-11-5
王立宇宙軍 オネアミスの翼	駅 美術設定	1987年	庵野秀明	2	2-11-6
王立宇宙軍 オネアミスの翼	各種自動車 設定	1987年	庵野秀明	2	2-11-7
王立宇宙軍 オネアミスの翼	清掃車 設定	1987年	庵野秀明	2	2-11-8
王立宇宙軍 オネアミスの翼	B-CLUB スペシャル『王立宇宙軍 オネアミスの翼』 コンプリーテッドファイル中扉 原画・影指定	1987年	庵野秀明	1	2-11-9
王立宇宙軍 オネアミスの翼	『王立宇宙軍 オネアミスの翼』特集記事セルイラスト 『月刊アニメージュ』1987年3月号掲載 原画・影指定		庵野秀明	1	2-11-10
王立宇宙軍 オネアミスの翼	(1) 王立水軍空母 (2、3) 水軍艦載機 (4) 共和国軍ジェット機 デザイン案	1987年	庵野秀明	4	2-11-12
『王立宇宙軍』パイロットフィルム	ジェット機デザインラフ	1985年	庵野秀明	2	2-11-13
『王立宇宙軍』パイロットフィルム	ジェット機デザインラフ	1985年	庵野秀明	2	2-11-14
『王立宇宙軍』パイロットフィルム	ジェット機デザインラフ	1985年	庵野秀明	2	2-11-15

王立宇宙軍 オネアミスの翼	修正原画	1987年	庵野秀明	2	2-11-16
王立宇宙軍 オネアミスの翼	原画	1987年	庵野秀明	4	2-11-17
王立宇宙軍 オネアミスの翼	原画	1987年	庵野秀明	4	2-11-18
王立宇宙軍 オネアミスの翼	原画	1987年	庵野秀明	4	2-11-19
王立宇宙軍 オネアミスの翼	修正原画	1987年	庵野秀明	4	2-11-20
王立宇宙軍 オネアミスの翼	ポスター			1	2-11-21
王立宇宙軍 オネアミスの翼	ポスター			1	2-11-22
王立宇宙軍 オネアミスの翼	ポスター			1	2-11-23
王立宇宙軍 オネアミスの翼	ポスター			1	2-11-24
王立宇宙軍 オネアミスの翼	ポスター			1	2-11-25
王立宇宙軍 オネアミスの翼	THIS IS ANIMATION ザ・セレクトピンナップ セルイラスト(複製)	1987年	原画: 庵野秀明 仕上げ: 高屋法子	1	2-11-11
王立宇宙軍 オネアミスの翼	イメージボード、ラフコンテ、煙と蒸気描写の検討用スケッチ、サムネイルスケッチ	1987年	庵野秀明	11	2-23
王立宇宙軍 オネアミスの翼	原画(各セルの原画を色分けして透明素材に転写し、重ねたもの)等	1987年		6	2-24
風の谷のナウシカ	映画制作時のらくがき、メモ等	1984年	庵野秀明	8	2-12-1
風の谷のナウシカ	レイアウト下描き	1984年	庵野秀明	2	2-12-2
風の谷のナウシカ	レイアウト下描き	1984年	庵野秀明	2	2-12-3
風の谷のナウシカ	レイアウト下描き	1984年	庵野秀明	2	2-12-4
風の谷のナウシカ	原画用下描き	1984年	庵野秀明	3	2-12-5
風の谷のナウシカ	原画用下描き	1984年	庵野秀明	3	2-12-6
風の谷のナウシカ	原画用下描き	1984年	庵野秀明	3	2-12-7
風の谷のナウシカ	原画用下描き	1984年	庵野秀明	3	2-12-8
風の谷のナウシカ	原画用下描き	1984年	庵野秀明	3	2-12-9
風の谷のナウシカ	映画制作時の宮崎駿によるらくがき、メモ等	1984年		7	2-26
火垂るの墓	タイムシート	1988年	庵野秀明	2	2-13-1
火垂るの墓	原画、動画	1988年	原画: 庵野秀明	12	2-25
トップをねらえ!	第2巻VIDEO宣伝ポスター用セル画	1988年	原画: 庵野秀明 美樹本晴彦 仕上げ: 永井留美子 特効: 増尾昭一	1	2-14-1
トップをねらえ!	(上) キャラクターデザイン発注メモ (中・下) キャラクター発注用イメージ案	1988年	庵野秀明	3	2-14-2
トップをねらえ!	(上) エクセリラン三面図 (下) エクセリラン艦内通路 設定	1988年	庵野秀明	2	2-14-3
トップをねらえ!	(上) 宇宙怪獣格納庫 設定 (下) 格納庫センサー 設定兼レイアウト	1988年	庵野秀明	2	2-14-4
トップをねらえ!	(上) ルクシラン艦内通路 (下) ルクシラン艦内通路(破損状態) 設定兼レイアウト	1988年	庵野秀明	2	2-14-5
トップをねらえ!	(上) ルクシラン艦内時計 (下) エクセリラン緊急遮蔽扉 設定兼レイアウト	1988年	庵野秀明	2	2-14-6
トップをねらえ!	(上) 練習船 設定 (下) 練習船コンソール 設定兼レイアウト	1988年	庵野秀明	2	2-14-7
トップをねらえ!	マシン兵器 メインモニター表示 原画	1988年	庵野秀明	4	2-14-8
トップをねらえ!	レイアウト修正	1988年	庵野秀明		2-14-9
トップをねらえ!	(上) マシン兵器 (下) バスターマシン 初期デザイン案	1988年	庵野秀明	2	2-14-10
トップをねらえ!	(上) マシン兵器バーニアパターン 作画指示 (下) 亜光速ブースター 設定	1988年	庵野秀明	2	2-14-11
トップをねらえ!	(上) バスターマシン (下) バスターマシン 頭部 デザイン案	1988年	庵野秀明	2	2-14-12
トップをねらえ!	第5話 修正原画	1988年	庵野秀明	4	2-14-13
トップをねらえ!	第5話 修正原画	1988年	庵野秀明	4	2-14-14
トップをねらえ!	第5話 修正原画	1988年	庵野秀明	4	2-14-15
トップをねらえ!	第5話 修正原画	1988年	庵野秀明	4	2-14-16
トップをねらえ!	(上) 第6話バスターマシンラフ原画 (下) 第6話バスターマシン原画兼動画	1988年	庵野秀明 前田真宏	2	2-14-17
トップをねらえ!	レーザーディスク ジャケットデザイン案	1988年	庵野秀明	2	2-14-18
トップをねらえ!	ポスター			1	2-14-19
トップをねらえ!	ポスター			1	2-14-20
トップをねらえ!	ポスター			1	2-14-21
トップをねらえ!	ポスター			1	2-14-22
トップをねらえ!	ポスター			1	2-14-23
トップをねらえ!	バスターマシン セル画	1988年	庵野秀明、 前田真宏	1	2-14-24
トップをねらえ!	5、6話リリースにあたり庵野監督からメディアに向けて送られたメッセージ、第6話庵野秀明使用 画コンテ、庵野秀明による第6話字コンテ、音楽メニュー、他	1988年	庵野秀明	15	2-28
トップをねらえ!	マシン兵器 頭部デザインラフ、第6話用キャラクター発注書、マシン兵器 作画参考、作画への注意指示	1988年	庵野秀明	11	2-29
ふしぎの海のナディア	シナリオメモと字コンテ	1990年	庵野秀明	9	2-15-1
ふしぎの海のナディア	エピソード構成案	1990年	庵野秀明	8	2-15-2

ふしぎの海のナディア	ノーチラス号 設定	1990年	庵野秀明、 田中精美	5	2-15-3
ふしぎの海のナディア	N- ノーチラス号 設定	1990年	庵野秀明、山下いくと、増尾昭一	5	2-15-4
ふしぎの海のナディア	ナディアのブルーウォーター 設定	1990年	庵野秀明、 前田真宏	2	2-15-5
ふしぎの海のナディア	別紙参照	1990年		3	2-15-6
ふしぎの海のナディア	ビデオパッケージ用セルイラスト	1990年	原画：増尾昭一	1	2-15-7
ふしぎの海のナディア	特集記事用セルイラスト（『月刊アニメージュ』1990年4月号掲載）	1990年	原画：庵野秀明	1	2-15-8
ふしぎの海のナディア	宣伝告知イラスト（『月刊コンプティーク』1992年1月号付録『少年コンパVol.1』掲載）	1992年	庵野秀明	1	2-15-9
ふしぎの海のナディア	ポスター			1	2-15-10
ふしぎの海のナディア	ポスター			1	2-15-11
ふしぎの海のナディア	ポスター			1	2-15-12
ふしぎの海のナディア	ポスター			1	2-15-13
ふしぎの海のナディア	ポスター			1	2-15-14
ふしぎの海のナディア	庵野秀明使用のアフレコ台本	1990年	庵野秀明	34	2-27
ふしぎの海のナディア	ノーチラス号、N-ノーチラス号 設定、作監修正	1990年	庵野秀明、前田真宏、 増尾昭一、摩砂雪	9	2-30
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン デザイン案（最初期稿）	1995年	庵野秀明	4	2-16-1
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン 頭部デザイン案	1995年	庵野秀明	4	2-16-2
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン デザイン検討稿	1995年	庵野秀明	1	2-16-3
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン デザイン検討稿	1995年	庵野秀明	1	2-16-4
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン デザイン検討稿	1995年	庵野秀明	1	2-16-5
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン 頭部デザイン案	1995年	庵野秀明	1	2-16-6
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン コクピットシステム案	1995年	庵野秀明	1	2-16-7
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン デザイン案		庵野秀明	2	2-16-8
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン 初期デザイン案	1995年	庵野秀明	1	2-16-9
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン デザイン案			1	2-16-10
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン デザイン案			2	2-16-11
新世紀エヴァンゲリオン	企画書用イメージ画 レイアウト		鶴巻和哉	1	2-16-12
新世紀エヴァンゲリオン	企画書用イメージ画	1995年	鶴巻和哉	1	2-16-13
新世紀エヴァンゲリオン	企画書用イメージイラスト		貞本義行	1	2-16-14
新世紀エヴァンゲリオン	(上) イメージボード用レイアウト (下) イメージボード		レイアウト：庵野秀明、 画：佐々木洋	2	2-16-15
新世紀エヴァンゲリオン	企画書用イメージボード		レイアウト：山下いくと、 画：佐々木洋	1	2-16-16
新世紀エヴァンゲリオン	キャラクター相関図（初期案）	1995年	庵野秀明	1	2-16-18
新世紀エヴァンゲリオン	使徒 イメージ画（初期）	1995年	庵野秀明	2	2-16-19
新世紀エヴァンゲリオン	タイトルロゴデザイン案	1995年	山下いくと	2	2-16-20
新世紀エヴァンゲリオン	オープニング構成検討案	1995年	庵野秀明	3	2-16-21
新世紀エヴァンゲリオン	オープニング 画コンテ	1995年	庵野秀明	2	2-16-22
新世紀エヴァンゲリオン	オープニング 画コンテ	1995年	庵野秀明	2	2-16-23
新世紀エヴァンゲリオン	エンディング 画コンテ	1995年	庵野秀明	1	2-16-24
新世紀エヴァンゲリオン	第1話「使徒、襲来」画コンテ	1995年	庵野秀明	1	2-16-25
新世紀エヴァンゲリオン	第三使徒 設定	1995年	原案：あざりよしとお 設定仕上げ：庵野秀明	2	2-16-26
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン初号機 ポーズ設定	1995年	原案：山下いくと 設定仕上げ：今掛勇	1	2-16-27
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン専用長距離輸送機 最終ロックボルト ディテール設定	1995年	庵野秀明	2	2-16-28
新世紀エヴァンゲリオン	(上) 初号機上半身 ディテール (中) 初号機エントリープラグ (下) エントリープラグ内モニター 設定	1995年	庵野秀明	3	2-16-29
新世紀エヴァンゲリオン	(上) エヴァンゲリオン専用プログレッシブナイフ (中) 式号機装備 プログレッシブナイフ、ソニックグレイブ (下) エヴァンゲリオン プログレッシブナイフ取り出し口 設定	1995年	庵野秀明	3	2-16-30
新世紀エヴァンゲリオン	(上) エヴァンゲリオン専用非常用電池、パレット・ガンハードケース (中) パレット・ライフル (下) バルーンダミー用銃 設定	1995年	庵野秀明	3	2-16-31
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン式号機 設定	1995年	今掛勇、庵野秀明	2	2-16-32
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン専用長距離輸送機 設定	1995年	庵野秀明	2	2-16-33
新世紀エヴァンゲリオン	UN 大型機 設定	1995年	庵野秀明	1	2-16-35
新世紀エヴァンゲリオン	(上) UN大型ミサイルトレーラー (下) UNロケットランチャー	1995年	庵野秀明	2	2-16-37
新世紀エヴァンゲリオン	ネルフ ロゴデザイン	1995年	オリジナルロゴデザ イン：山下いくと	2	2-16-38
新世紀エヴァンゲリオン	(上) プラグスーツ ディテール指示 (下) エントリープラグ内通信用ウィンドウ デザイン	1995年	庵野秀明	2	2-16-41
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン色指定 初期案	1995年		1	2-16-46
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン色指定 初期案	1995年		1	2-16-47
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン色指定 初期案	1995年		1	2-16-48

新世紀エヴァンゲリオン	初号機 決定稿	1995年	山下いくと	1	2-16-49
新世紀エヴァンゲリオン	初号機 決定稿	1995年		1	2-16-50
新世紀エヴァンゲリオン	ネルフ本部 中央作戦司令室 設定	1995年	庵野秀明	3	2-16-52
新世紀エヴァンゲリオン	ネルフ本部 中央作戦司令室 司令塔 第一発令所 設定	1995年	庵野秀明	2	2-16-53
新世紀エヴァンゲリオン	ネルフ本部発令所 レイアウト検討模型			1	参考展示
新世紀エヴァンゲリオン	(上) 第3新東京市旧市街イメージ画 庵野秀明 (下) 第3新東京市全景 設定 きお誠児	1995年		2	2-16-63
新世紀エヴァンゲリオン	(上) ジオ・フロント内天井ビル 設定 (下) 第3新東京市ブロック イメージ画	1995年	庵野秀明	2	2-16-64
新世紀エヴァンゲリオン	(上) ジオフロント 設定 美峰 (下) ジオフロント 鳥瞰図 庵野秀明	1995年		2	2-16-65
新世紀エヴァンゲリオン	(左) ジオフロント集光ブロック きお誠児、庵野秀明 (右) 第3新東京市 概念図 庵野秀明	1995年		2	2-16-66
新世紀エヴァンゲリオン	ネルフ本部 設定	1995年	庵野秀明	1	2-16-67
新世紀エヴァンゲリオン	(上) ジオフロント イメージ画 (下) ネルフ本部 設定	1995年	庵野秀明	2	2-16-68
新世紀エヴァンゲリオン	第四使徒 設定	1995年	原案：あさりよしとお、 設定仕上げ：庵野秀明	3	2-16-69
新世紀エヴァンゲリオン	(上・中) 第九使徒 (下) 第十使徒 設定	1995年	庵野秀明	3	2-16-70
新世紀エヴァンゲリオン	(上) 第六使徒 (中・下) 第八使徒	1995年	原案：前田真宏 設定：庵野秀明	3	2-16-71
新世紀エヴァンゲリオン	第五使徒 設定	1995年	庵野秀明	4	2-16-72
新世紀エヴァンゲリオン	(上) エヴァ R-20射出口 (下) 戦自研自走陽電子砲パーツコンテナ 設定	1995年	庵野秀明	3	2-16-73
新世紀エヴァンゲリオン	(上) ボジtronライフル (下) 零号機の盾 設定	1995年	庵野秀明	2	2-16-77
新世紀エヴァンゲリオン	(上) ボジtronライフル (下) ボジtronライフル格納壁 設定	1995年	庵野秀明	2	2-16-78
新世紀エヴァンゲリオン	ボジtronライフル照準器 表示設定	1995年	庵野秀明	2	2-16-79
新世紀エヴァンゲリオン	ボジtronライフル照準器 表示設定	1995年	庵野秀明	2	2-16-80
新世紀エヴァンゲリオン	ジェットアローン 決定稿	1995年	庵野秀明	1	2-16-81
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	レイアウト	1997年	庵野秀明	2	2-16-87
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	タイトルロゴ案	1997年	庵野秀明	2	2-16-88
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	原画	1997年	摩砂雪	4	2-16-89
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	動画	1997年		4	2-16-90
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	レイアウト		摩砂雪	1	2-16-91
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	原画		摩砂雪	3	2-16-92
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	動画			3	2-16-93
新世紀エヴァンゲリオン	ポスター			1	2-16-94
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	ポスター			1	2-16-95
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	ポスター			1	2-16-96
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	ポスター			1	2-16-97
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	ポスター			1	2-16-98
新世紀エヴァンゲリオン	初期構想メモ、企画書・企画構想メモ等	1995年	庵野秀明	14	2-31
新世紀エヴァンゲリオン	オープニング 画コンテ	1995年	庵野秀明	7	2-32
新世紀エヴァンゲリオン	エヴァンゲリオン初号機 作画参考用模型（頭部モデル）	1995年		1	参考展示
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	シナリオ、画コンテ	1997年	庵野秀明	4	2-33
新世紀エヴァンゲリオン劇場版 Air／まごころを、君に	タイトル、ポスタービジュアル案	1997年	庵野秀明	5	2-34

第3章「挑戦、或いは逃避」

作品名1	作品名2	公開年・発表年	作者	額・ケース内点数	管理番号
美少女戦士セーラームーンS	セーラーウラヌス変身シーン（バンク） 画コンテ	1994年	庵野秀明	3	3-1-1
美少女戦士セーラームーンS	セーラーウラヌス変身シーン（バンク） 画コンテ	1994年	庵野秀明	3	3-1-2
美少女戦士セーラームーンS	セーラーウラヌス変身シーン（バンク） 画コンテ	1994年	庵野秀明	2	3-1-3
美少女戦士セーラームーンS	セーラーネプチューン変身シーン（バンク） 画コンテ	1994年	庵野秀明	3	3-1-4
美少女戦士セーラームーンS	セーラーネプチューン変身シーン（バンク） 画コンテ	1994年	庵野秀明	3	3-1-5

キューティーハニー	最初期のコスチューム デザイン案	2004年	庵野秀明	2	3-2-1
キューティーハニー	ハニーのアクセサリ デザイン	2004年	庵野秀明	2	3-2-2
キューティーハニー	ハニー衣装イメージ	2004年	庵野秀明、安野 モヨコ：画	2	3-2-3
キューティーハニー	ハニーのチョーカー ラフイメージ	2004年	庵野秀明	2	3-2-4
キューティーハニー	(上・中) ハニーブーメラン デザイン案 (下) シルバーフルーレ ラフイメージ	2004年	庵野秀明	3	3-2-5
キューティーハニー	破れた強化服のディテール	2004年	庵野秀明	1	3-2-6
キューティーハニー	(上) キャラクター比較ラフ (下) スカーレットクロー デザイン発注ラフ	2004年	庵野秀明	2	3-2-7
キューティーハニー	ジルの玉座の間 イメージ画	2004年	庵野秀明	2	3-2-8
キューティーハニー	ジルトワー内部 イメージ画	2004年	庵野秀明	1	3-2-9
キューティーハニー	(上) ジルトワー (下) パンサークローの黄金戦艦 ラフデザイン	2004年	庵野秀明	2	3-2-10
キューティーハニー	B1ポスター			1	3-2-11
キューティーハニー	B2ポスター			1	3-2-12
キューティーハニー	プロット、シナリオ、撮影台本類、変身シーンコンテ、美術設定類	2004年	庵野秀明	13	3-1
シュガシュガールン	オープニング ラフイメージ	2005年	安野モヨコ	4	3-3-1
シュガシュガールン	オープニング ラフイメージ	2005年	安野モヨコ	4	3-3-2
シュガシュガールン	オープニング／新エンディング 構成検討案、画コンテ、色指定等	2005年	庵野秀明	16	3-3
ラブ&ポップ	特報ラフ画コンテ	1998年	庵野秀明	3	3-4-1
ラブ&ポップ	B1ポスター			1	3-4-2
ラブ&ポップ	B2ポスター			1	3-4-3
ラブ&ポップ	シナリオ準備稿、撮影台本、画コンテ、パンフレット、 ビデオソフト、衣装（ベスト）等	1998年		13	3-2
彼氏彼女の事情	LDジャケット	1998年		8	3-5-1
彼氏彼女の事情	B1ポスター			1	3-5-2
彼氏彼女の事情	庵野秀明使用 アフレコ台本 初稿イメージ画 平松禎史 オープニング画コンテ 庵野秀明 オープニング原画 平松禎史 レイアウト・原画 庵野秀明	1998年		14	3-5
式日	シナリオ準備稿、イメージシーン画コンテ、撮影台本、宣伝資料、パンフレット、他	2000年		16	3-11
式日	ポスター			1	3-6-1
式日	ポスター			1	3-6-2
式日	ポスター			1	3-6-3
式日	ポスター			1	3-6-4
式日	ポスター			1	3-6-5
空想の機械達の中の破壊の発明	宮崎監督によるプロット（発注書）、庵野監督の構成案、画コンテ	2000年		6	3-4
流星課長	シナリオ、駅美術設定、画コンテ、安野モヨコデザイン画	2002年		16	3-6
日本沈没	D3計画 N2爆薬用起爆点火器デザイン	2006年	庵野秀明	1	3-7-1
日本沈没	D3計画 N2爆薬用BOPデザイン	2006年	庵野秀明	2	3-7-2
日本沈没	BOP	2006年	アップアート	1	3-10
宇宙戦艦ヤマト2199	オープニング画コンテ	2012年	庵野秀明	9	3-8-1
庵野秀明プロデュースによる 「宇宙戦艦ヤマト」プラモデル（2008）	* 庵野が個人的に発注・製作した模型を原型として、 バンダイがプラモデル化したもの。DVD-BOXの付録 として製品化された。（原型製作：真鍋正一）	2008年		1	3-12
巨神兵東京に現わる	ラフ画コンテ	2012年	庵野秀明	3	3-9-1
巨神兵東京に現わる	巨神兵 口内ビーム射出装置デザイン案	2012年	庵野秀明	1	3-9-2
館長 庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見る昭和平成の技	B1ポスター			1	3-9-3
館長 庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見る昭和平成の技	B2ポスター			1	3-9-4
館長 庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見る昭和平成の技	倒壊する東京タワーを中心とした都市部ミニチュア装 飾の一例（模擬撮影用）* パネル			1	3-9-5
巨神兵東京に現わる	巨神兵 ロッドバベット頭部（レプリカ）	2012年	ミューロン	1	3-7
シン・ゴジラ	ゴジラ ラフイメージ（最初期）	2016年	庵野秀明	2	3-10-1
シン・ゴジラ	イメージデザイン	2016年	前田真宏	2	3-10-2
シン・ゴジラ	イメージデザイン	2016年	前田真宏	1	3-10-3
シン・ゴジラ	イメージデザイン	2016年	前田真宏	1	3-10-4
シン・ゴジラ	(上) ラフイメージ 庵野秀明 (下) イメージボード 前田真宏	2016年		2	3-10-5
シン・ゴジラ	(上) ラフイメージ 庵野秀明 (下) イメージボード 前田真宏	2016年		2	3-10-6
シン・ゴジラ	(上) ゴジラ第2形態ひな形 制作工程 (下) ゴジラ第3、第4形態離型 制作工程	2016年	庵野秀明	2	3-10-7
シン・ゴジラ	ヤシオリ作戦 メモ	2016年	庵野秀明	1	3-10-8
シン・ゴジラ	画コンテ	2016年	庵野秀明	2	3-10-9
シン・ゴジラ	画コンテ	2016年	庵野秀明	2	3-10-10
シン・ゴジラ	合成部宛て追加ディテール指示	2016年	庵野秀明	2	3-10-11
シン・ゴジラ	B1ポスター			1	3-10-12
シン・ゴジラ	B1ポスター			1	3-10-13

シン・ゴジラ	ブリヴィズ編集時のアングル等検討出力（サムネール）	2016年		9	3-10-14
シン・ゴジラ	脚本の加筆修正の束、脚本準備稿、決定稿、最終決定稿	2016年		6	3-8
シン・ゴジラ	牧元教授の解析図 折り紙案／ヒフティテール	2016年		5	3-13
シン・ゴジラ	雛型の3Dスキャンデータによる簡易出力模型	2016年		3	3-14-1
シン・ゴジラ	ゴジラ第2形態雛型	2016年	造形：竹谷隆之	4	3-14-2 3-14-3
	ゴジラ第3形態雛型				
	ゴジラ第4形態2号雛型（着彩検討用）				
	ゴジラ第5形態雛型（兼撮影用造形物）				
エヴァンゲリオン新劇場版	Newtype カラー特集号：表紙、特集最初の見開き				3-11-1
エヴァンゲリオン新劇場版	Newtype カラー特集号：表紙、特集最初の見開き				3-11-2
エヴァンゲリオン新劇場版：序	レイアウト	2007年	庵野秀明	3	3-11-3
エヴァンゲリオン新劇場版：破	レイアウト	2009年	庵野秀明	3	3-11-6
エヴァンゲリオン新劇場版：破	レイアウト	2009年	庵野秀明	3	3-11-7
エヴァンゲリオン新劇場版：破	レイアウト	2009年	庵野秀明	3	3-11-8
エヴァンゲリオン新劇場版：破	レイアウト	2009年	庵野秀明	3	3-11-9
エヴァンゲリオン新劇場版：序	レイアウト	2007年	庵野秀明	1	3-11-10
エヴァンゲリオン新劇場版：序	レイアウト	2007年	庵野秀明	1	3-11-11
エヴァンゲリオン新劇場版：序	レイアウト	2007年	庵野秀明	1	3-11-12
エヴァンゲリオン新劇場版：序	二子山第2要塞 概念図	2007年	鶴巻和哉、高倉武史	3	3-11-13
エヴァンゲリオン新劇場版：序	二子山第2要塞 全景イメージ 設定	2007年	(上) 鶴巻和哉 (下) 高倉武史	2	3-11-14
エヴァンゲリオン新劇場版：序	LM-133エヴァンゲリオン輸送専用 リニア軌道電動貨物車（通称エヴァ電車） 設定案	2007年	高倉武史、 庵野秀明	3	3-11-16
エヴァンゲリオン新劇場版：序	エヴァンゲリオン専用単独防御兵装 ENCHANTED SHIELD OF VIRTUE デザイン準備稿、決定稿	2007年	山下いくと、 庵野秀明	2	3-11-17
エヴァンゲリオン新劇場版：序	戦略自衛隊技術研究本部 大出力型第2次試作 自走460mm陽電子砲 準備稿	2007年	山下いくと	2	3-11-18
エヴァンゲリオン新劇場版：破	CG モデルによる初号機の走り作画監督・本田雄による修正指示	2009年		8	3-11-19
エヴァンゲリオン新劇場版：破	使徒落下変形シークエンス修正指示	2009年	庵野秀明	2	3-11-21
エヴァンゲリオン新劇場版：破	使徒デザイン案	2009年	あさりよしとお	3	3-11-22
エヴァンゲリオン新劇場版：破	使徒デザイン案	2009年	あさりよしとお	3	3-11-23
エヴァンゲリオン新劇場版：破	使徒デザイン案	2009年	あさりよしとお	3	3-11-24
エヴァンゲリオン新劇場版：序	レイアウト	2007年	庵野秀明	1	3-11-25
エヴァンゲリオン新劇場版：破	レイアウト	2009年	庵野秀明	1	3-11-26
エヴァンゲリオン新劇場版：破	レイアウト	2009年	庵野秀明	1	3-11-27
エヴァンゲリオン新劇場版：序	ネルフマーク	2007年	山下いくと、 庵野秀明	2	3-11-28
エヴァンゲリオン新劇場版：破	汎用ヒト型決戦兵器 人造人間エヴァンゲリオン試作零号機『新劇場版』フォルム 設定	2009年	本田雄	1	3-11-29
エヴァンゲリオン新劇場版：序	汎用ヒト型決戦兵器 人造人間エヴァンゲリオン試作初号機『新劇場版』フォルム	2007年	本田雄	2	3-11-30
エヴァンゲリオン新劇場版：破	エヴァンゲリオン2号機 獣化第2形態（第1種）設定、決定稿	2009年	本田雄	3	3-11-31
エヴァンゲリオン新劇場版：序	レイアウト	2007年	庵野秀明	1	3-11-32
エヴァンゲリオン新劇場版：破	エヴァ 3号機 第9の使徒侵蝕ディテール 設定	2009年	庵野秀明	1	3-11-33
エヴァンゲリオン新劇場版：破	封印監視特化型限定兵器人造人間エヴァンゲリオン 局地仕様仮設5号機 彩色設定案	2009年	庵野秀明	2	3-11-34
エヴァンゲリオン新劇場版：破	封印監視特化型限定兵器人造人間エヴァンゲリオン 局地仕様仮設6号機 彩色設定案	2010年	庵野秀明	2	3-11-35
エヴァンゲリオン新劇場版：破	海洋資源保存研究施設 (左) 初期構造物 (中・右) 分解化学処理プラント設備 ラフ設定	2009年	庵野秀明、 渡部隆	3	3-11-36
エヴァンゲリオン新劇場版：破	国際環境機関法人 日本海洋生態保存機構 海洋資源保存研究施設 (左) 概念図 指示 庵野秀明 (右) 設定 渡部隆	2009年	庵野秀明、 高倉武史	2	3-11-37
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	AAAヴンダー 初期イメージ案	2012年	庵野秀明	4	3-11-39
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	AAAヴンダー 準備稿	2012年	画：山下いくと、修正 メモ：庵野秀明	1	3-11-40
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	AAAヴンダー イメージボード	2012年	山下いくと	1	3-11-41
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	AAA ヴンダー艦橋 イメージ	2012年	庵野秀明、 山下いくと	2	3-11-43
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	AAA ヴンダー艦橋デザイン検討プラン	2012年	庵野秀明、 鶴巻和哉	2	3-11-44
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	アヤナミレイ（仮称）、渚カヲル司令 キャラクターデザイン案	2012年	貞本義行	1	3-11-46
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	アヤナミレイ（仮称） キャラクターデザイン、色指定案	2012年	貞本義行	2	3-11-47
エヴァンゲリオン新劇場版：破	真希波・マリ・イラストリアス 設定のためのラフスケッチ	2009年	貞本義行	3	3-11-48
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	真希波・マリ・イラストリアス 新プラグスーツ案	2012年	貞本義行、 庵野秀明	2	3-11-49
シン・エヴァンゲリオン劇場版	プラグスーツデザイン案	2021年	コヤマシゲト	1	3-11-50
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	エヴァンゲリオンシリーズ イメージ案	2012年	庵野秀明	1	3-11-56
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	(上) エヴァンゲリオン第13号機 イメージラフ (下) エヴァンゲリオン第13号機 外部ユニット案	2012年	(上) 庵野秀明、 (下) 山下いくと	2	3-11-57

エヴァンゲリオン新劇場版：Q	エヴァンゲリオン第13号機デザイン	2012年	前田真宏	1	3-11-58
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	汎用ヒト型決戦兵器人造人間エヴァンゲリオン 正規実甲型改2号機 Y イメージラフ	2012年	庵野秀明	1	3-11-59
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	汎用ヒト型決戦兵器人造人間エヴァンゲリオン 正規実甲型改2号機 Y ラフデザイン	2012年	本田雄	2	3-11-60
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	イメージボード	2012年	前田真宏	2	3-11-62
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	イメージボード	2012年	前田真宏	1	3-11-63
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	イメージボード	2012年	庵野秀明	3	3-11-64
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	ネルフ旧本部イメージ図	2012年	庵野秀明	3	3-11-65
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	新ネルフ本部 イメージボード	2012年	庵野秀明	2	3-11-66
シン・エヴァンゲリオン劇場版	イメージボード	2021年	串田達也	1	3-11-67
シン・エヴァンゲリオン劇場版	イメージボード	2021年	串田達也	1	3-11-69
シン・エヴァンゲリオン劇場版	イメージボード	2021年	串田達也	1	3-11-70
シン・エヴァンゲリオン劇場版	イメージボード	2021年	串田達也	1	3-11-71
シン・エヴァンゲリオン劇場版	第3村 イメージボード	2021年	前田真宏	1	3-11-72
シン・エヴァンゲリオン劇場版	第3村 イメージボード	2021年	前田真宏	1	3-11-73
シン・エヴァンゲリオン劇場版	第3村 設定検討稿修正指示	2021年	画：串田達也、 加筆：庵野秀明	2	3-11-74
シン・エヴァンゲリオン劇場版	式波・アスカ・ラングレーの第3村での服装デザイン案	2021年	安野モヨコ	4	3-11-75
シン・エヴァンゲリオン劇場版	鈴原ヒカリの髪型への指示	2021年	庵野秀明	1	3-11-76
エヴァンゲリオン新劇場版：破	アスカのパベット 設定	2009年	安野モヨコ	1	3-11-77
シン・エヴァンゲリオン劇場版	鈴原ツバメ キャラクターデザイン案	2021年	(上・中)安野モヨコ (下)錦織敦史	3	3-11-78
シン・エヴァンゲリオン劇場版	アヤナミレイ（仮称）の残したメモ	2021年	庵野秀明	1	3-11-79
シン・エヴァンゲリオン劇場版	原画（アナログ撮影による「原撮」用出力素材）	2021年	摩砂雪	8	3-11-80
シン・エヴァンゲリオン劇場版	画コンテ	2021年	庵野秀明	1	3-11-81
シン・エヴァンゲリオン劇場版	背景パネル（青空）	2021年	島倉二千六	1	3-11-82
エヴァンゲリオン新劇場版：Q シン・エヴァンゲリオン劇場版	AAA ヴンダー レイアウト 検討用3D出力模型 NHG エアーレズング、NHGエルプズンデ、NHGゲバート レ イアウト検討用出力模型 AAA ヴンダー艦橋 デザイン検討用模型 AAA ヴンダー 市販完成品フィギュア(ウェーブ W.H.A.M.！) AAA ヴンダー 市販食玩フィギュア (バンダイ EVANGELION MECHANICS) いずれもレイアウト検討に使用	2012年 2021年		4	4-2
シン・エヴァンゲリオン劇場版	画コンテ	2021年	庵野秀明	8	4-7
シン・エヴァンゲリオン劇場版	碇ゲンドウの回想シーン イメージボード	2021年	前田真宏	5	4-8
シン・エヴァンゲリオン劇場版	碇ゲンドウの回想シーン イメージボード	2021年	前田真宏	5	4-9
エヴァンゲリオン携帯電話 NTTドコモSH-06A	*「破」でシンジたちが使用する携帯電話と同デザインの の実機をNTTドコモが発売。			7	4-10
エヴァンゲリオン新劇場版：序	B1ポスター			1	3-11-83
エヴァンゲリオン新劇場版：序	B1ポスター			1	3-11-84
エヴァンゲリオン新劇場版：序	B1ポスター			1	3-11-85
エヴァンゲリオン新劇場版：破	B1ポスター			1	3-11-86
エヴァンゲリオン新劇場版：破	B1ポスター			1	3-11-87
エヴァンゲリオン新劇場版：破	B1ポスター			1	3-11-88
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	B1ポスター			1	3-11-89
エヴァンゲリオン新劇場版：Q	B1ポスター			1	3-11-90
シン・エヴァンゲリオン劇場版	パネル			1	3-11-91
シン・エヴァンゲリオン劇場版	B1ポスター			1	3-11-92
シン・エヴァンゲリオン劇場版	B1ポスター			1	3-11-93
シン・エヴァンゲリオン劇場版	B1ポスター			1	3-11-94
シン・エヴァンゲリオン劇場版	B1ポスター			1	3-11-95
シン・エヴァンゲリオン劇場版	B1ポスター			1	3-11-96
シン・エヴァンゲリオン劇場版	B1ポスター			1	3-11-97
シン・エヴァンゲリオン劇場版	ケンスケの家ミニチュアセット（場面設定・画面構成検証用） ミニチュア制作：DEN 田島勇 ミニチュア制作助手：福島彰夫、鶴田智也	2021年		1	4-4
シン・エヴァンゲリオン劇場版	北の湖の廃墟（ネルフ第2 支部N109 棟跡） ミニチュア（場面設定・画面構成検証用） ミニチュア制作：DEN 田島勇 ミニチュア制作助手：福島彰夫、鶴田智也	2021年		1	4-5-1 4-5-2
シン・エヴァンゲリオン劇場版	スタジオカラー編集室の机に積まれていたサムネールの束（一部）	2021年		1	4-6

4章「憧憬、そして再生」					
作品名1	作品名2	公開年・発表年	作者	額・ケース内点数	管理番号
	真実と正義と美の化身（複製）	1983年	成田亨	1	4-1-1
シン・ウルトラマン	ウルトラマン 体表ライン案	2022年	体表ライン部分 加筆：庵野秀明	1	4-1-2
シン・ウルトラマン	ウルトラマン 体表ライン案	2022年	体表ライン部分 加筆：庵野秀明	1	4-1-3
シン・ウルトラマン	ウルトラマン 体表ライン案	2022年	体表ライン部分 加筆：庵野秀明	1	4-1-4

シン・ウルトラマン	2019年12月11日解禁ビジュアル	2022年		1	4-1-5
シン・ウルトラマン	ガボラ デザイン案	2022年	前田真宏	1	4-1-6
シン・ウルトラマン	ガボラ デザイン案	2022年	前田真宏	1	4-1-7
シン・ウルトラマン	ネロンガ 形状および各種設定案	2022年	庵野秀明	1	追加展示
シン・ウルトラマン	ガボラ ヒレのギミック及び頭部形状案	2022年	庵野秀明	1	追加展示
シン・ウルトラマン	ネロンガ デザイン案	2022年	前田真宏	1	4-1-8
シン・ウルトラマン	ネロンガ デザイン案	2022年	前田真宏	1	4-1-9
シン・ウルトラマン	メフィラス 頭部及び上半身形状修正案	2022年	庵野秀明	1	追加展示
シン・ウルトラマン	ベーターボックス デザイン案	2022年	庵野秀明	1	追加展示
シン・ウルトラマン	スペシャル光線 合成用作画		飯塚定雄	6	4-1-10
シン・ウルトラマン	主題歌「M八七」ジャケット *パネル	2022年	米津玄師	1	4-1-11
シン・ウルトラマン	ウルトラマン 第一号雛型（素体立体物による形状検証用） ウルトラマン 第二号雛型（着彩済立体物による体表ライン 検証用／着債：原口智生） 撮影用プロップ（ピンパッチ・ドッグタグ、ベータカプセル、 メイラス名刺、SSSP腕章） 台本？ ウルトラマン飛行シーン用形状検証CGモデルデータからの 簡易出力模型			10	5-1
シン・ウルトラマン	KATO太くん デザイン案	2022年		1	追加展示
シン・ウルトラマン	KATO太くん ぬいぐるみ	2022年		1	5-4
シン・仮面ライダー	仮面ライダー マスク造形	2023年公開	藤原カクセイ	1	5-2
シン・仮面ライダー	回転バック（回転塔）を用いたスチール	2023年公開		1	4-2-1
シン・仮面ライダー	回転バック（回転塔）を用いたスチール	2023年公開		1	4-2-2
シン・仮面ライダー	回転バック（回転塔）を用いたスチール	2023年公開		1	4-2-3
シン・仮面ライダー	仮面ライダー マスク造形修正案	2023年公開		1	4-2-4
シン・仮面ライダー	仮面ライダー マスク造形修正案	2023年公開		1	4-2-5
シン・仮面ライダー	仮面ライダー マスク造形修正案	2023年公開		1	4-2-6
シン・仮面ライダー	仮面ライダー マスク造形修正案	2023年公開		1	4-2-7
シン・仮面ライダー	仮面ライダー マスク造形修正案	2023年公開		1	4-2-8
シン・仮面ライダー	仮面ライダー マスク造形修正案	2023年公開		1	4-2-9
シン・仮面ライダー	仮面ライダー マスク造形修正案	2023年公開		1	4-2-10
シン・仮面ライダー	仮面ライダー マスクデザイン案	2023年公開	画：前田真宏 修 正指示：庵野秀明	1	4-2-11
シン・仮面ライダー	仮面ライダー マスクデザイン案	2023年公開	画：前田真宏 修 正指示：庵野秀明	1	4-2-12
シン・仮面ライダー	仮面ライダー ベルトデザイン案	2023年公開	山下いくと	1	4-2-13
シン・仮面ライダー	仮面ライダー グローブデザイン案	2023年公開	画：前田真宏 修 正指示：庵野秀明	1	4-2-15
シン・仮面ライダー	仮面ライダー グローブデザイン修正案	2023年公開	庵野秀明	1	4-2-16
シン・仮面ライダー	サイクロン号（常用／変形） 3Dデータ簡易出力模型（1/12 スケール）サイクロン号（変形） デザイン修正案 など	2023年公開		6	4-2-17
シン・仮面ライダー	仮面ライダー デザイン案	2023年公開	庵野秀明	1	4-2-18
シン・仮面ライダー	仮面ライダー 背部コンバーターウイングデザイン案	2023年公開	庵野秀明	1	4-2-19
シン・仮面ライダー	仮面ライダー 胸部コンバーターラングデザイン修正案	2023年公開	庵野秀明	1	4-2-20
シン・仮面ライダー	仮面ライダー 胸部コンバーターラングデザイン修正案	2023年公開	庵野秀明	1	4-2-21
シン・仮面ライダー	仮面ライダー ベルト（ダイナモ）デザイン修正案	2023年公開	庵野秀明	3	4-2-22
シン・仮面ライダー	敵キャラクター デザイン案	2023年公開	出淵裕	1	4-2-23
シン・仮面ライダー	SHOCKER 及び構成員エンブレム デザイン案	2023年公開	出淵裕	1	4-2-24
シン・仮面ライダー	SHOCKER 及び構成員エンブレム デザイン案	2023年公開	出淵裕	1	4-2-25
シン・仮面ライダー	SHOCKER 及び構成員エンブレム デザイン案	2023年公開	山下いくと	1	4-2-26
シン・仮面ライダー	SHOCKER 及び構成員エンブレム デザイン案	2023年公開	出淵裕	1	4-2-27
シン・仮面ライダー	SHOCKER 及び構成員エンブレム デザイン案	2023年公開	出淵裕	1	4-2-28
シン・仮面ライダー	ハチオーグ デザイン案	2023年公開	出淵裕	1	4-2-29
シン・仮面ライダー	ハチオーグ デザイン案	2023年公開	出淵裕	1	4-2-30
シン・仮面ライダー	ハチオーグ デザイン案	2023年公開	出淵裕	1	4-2-31
シン・仮面ライダー	クモオーグ 3Dモデルへの修正指示	2023年公開	修正指示：庵野秀明	1	追加展示
シン・仮面ライダー	クモオーグ デザイン案	2023年公開	出淵裕	1	追加展示
				72	
5章「感謝、そして報恩」					
作品名1	作品名2	公開年・発表年	作者	額・ケース内点数	管理番号
ゴジラ				1	5-1-5
シンウルトラマン				1	5-1-6
シン仮面ライダー				1	5-1-7
	庵野秀明直筆色紙			1	5-1-8
	（仮面ライダー フィギュア）			1	5-5
須賀川特撮アーカイブセンター	紹介パネル			1	5-1-2
須賀川特撮アーカイブセンター	紹介パネル			1	5-1-3
須賀川特撮アーカイブセンター	紹介パネル			1	5-1-4



原田治展 「かわいいの発見」

【趣 旨】

1970年代後半から90年代にかけて、女子中高生を中心に爆発的な人気を博した「OSAMU GOODS (オサムグッズ)」の生みの親、原田治（1946～2016）の没後初となる全国巡回展。幼少期からの資料やイラストレーターとしてのデビュー当時の仕事、広告・出版・各種グッズなど多分野にわたる約450点の作品に加え、エッセイ集『ぼくのアート帖』関連作家の作品も交えて展示し、原田治の全貌を紹介した。

【総 括】

●評価すべき展

- ・令和5年度まで継続のため、同年度年報に掲載

●検討課題

- ・令和5年度まで継続のため、同年度年報に掲載

【開催日・その他】

＝2023年1月28日(土)～3月31日(金) (55日間)＝

※全体会期は1月28日(土)～5月7日(日) (88日間)

休館日：月曜日（ただし、3月20日、5月1日は開館）

主 催：新潟県立万代島美術館、UX新潟テレビ21、原田治展新潟実行委員会

後 援：新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NCV(株)ニューメディア、FM新潟77.5、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

協 力：コーギー本舗、トムズボックス、パレットクラブ、新潟県立美術館友の会

企画協力：世田谷文学館

企画制作：コスモマーチャンダイズィング

会場設計：五十嵐瑠衣

アートディレクション：服部一成

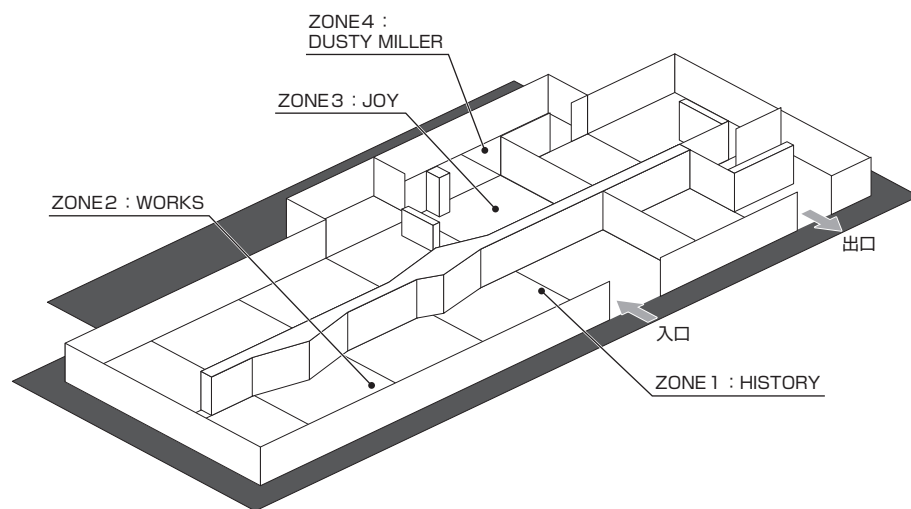
観覧料：一般……………1,200円(1,000円)〈1,000円〉

大学・高校生 ……900円(700円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売料金



【図 録】

仕 様：A5判 240頁

著 者：原田治

アートディレクション：服部一成

デザイン：佐藤豊

文：吉田宏子（888ブックス）

発行所：株式会社垂紀書房

印刷・製本：株式会社トライ

協 力：世田谷文学館、コージー本舗、コスモマーチャндаイ
ズィング、土井章史（トムズボックス）、西部亜由美、
三芳伸吾、三芳寛要、岡村和哉

内 容：AKASHICHO

BOY MEETS GIRL

COVER

DEBUT

EGG

FAN

GENTLEMAN

HUMOR

ICON

JAPAN

KIDS

LADY

MOTHER GOOSE

NOTES

ORIGIN

PALETTE

Q&A

ROOM

SCHOOL

TABLE

UNKNOWN

VIEW

WARDROBE

EXTRAORDINARY

YEARS

ZAZIE

エッセイ

中野翠「アメリカ風味と江戸趣味と」

土井章史「コレクターとしての私」

及川賢治（100% ORANGE）「ぼくの憧れた原田治」





【関連行事】

- ・ワークショップ「オリジナル缶バッジを作ろう！」
原田治のポップなイラストに色を塗って、オリジナルの缶バッジをつくるワークショップを開催。
日時：2月4日(土)、5日(日)、11日(土祝)、12日(日)、18日(土)、19日(日)、23日(木祝)、25日(土)、26日(日)
各日10:00～13:00（各日人数限定）
参加者数：9日間 合計476名
- ・オリジナル「星食べよ」プレゼント
実施期間：2月の平日（計13日間）
参加人数：381名
- ・「星食べよ」アンケートプレゼント
実施期間：2月15日(火)～23日(木祝)（計8日間）
参加人数：339名
- ・バレンタインデーオリジナル缶バッジプレゼント
2月14日(火)にペアで来られた入場者にオリジナル缶バッジをプレゼント。（先着112名）
- ・ホワイトデーオリジナル缶バッジプレゼント
3月14日(火)にペアで来られた入場者にオリジナル缶バッジをプレゼント。（先着115名）

【関連記事】

- 新聞
2月7日(火) 朝日新聞
「「かわいい」だけでない豊かな世界」
3月1日(火) 読売新聞
「胸きゅんポップ かわいい発見 原田治展」
3月15日(火) 新潟日報
「展覧会へようこそ 長く愛される普遍性追求」／濱田真由美
その他 妻有新聞（1/14）
十日町新聞（1/19）
- 雑誌
月刊にいがた2月号
月刊Komachi3月号
- テレビ
1月21日(土) 「ほっとホット新潟」(UX)／濱田真由美
2月6日(月) 新潟ニュース（NHK新潟）（展覧会紹介）
2月11日(土) 「まるどろっ!」(UX)（生中継）
- Web
2月7日(火) 月刊にいがた（展覧会レポート）
2月14日(火) アンドコマチ（展覧会レポート）
3月14日(火) Web Skip
「「かわいい」がいっぱい！原田治展 at 新潟県立万代島美術館」(展覧会レポート)／和田明子

【観覧者数】

※1/28～3/31

有料観覧者数	当日	10,436
	前売	2,176
無料観覧者数	招待	780
	無料	1,263
	免除	851
総観覧者数		15,506
有料率（%）		81.3

【出品リスト】

作品名、資料名等	制作年	備考
ZONE 1: HISTORY		
作品集『EXTRAORDINARY LITTLE DOG』（PARCO出版）	1981年	
ネオン管《ジル》	2017年	
絵日記	1954年	
幼少の頃の絵画（築地）	1956年頃	
幼少の頃の絵画（神輿）	1950年代	
幼少の頃の絵画（ひまわり）	制作年不詳	
大学時代のデッサン	1965年頃	
ニューヨーク滞在中のノートに描かれたイラスト（壁面にプリント装飾）		
Seymour Chwast and Martin Stephen Moskof 『STILL ANOTHER ALPHABET BOOK』	1969年	
ニューヨーク滞在中のノート	1969年	
雑誌「平凡パンチ女性版」第4号 切り抜き	1970年	
雑誌「an・an」1972年2月20日号 切り抜き（表紙イラストレーション：原田治）	1972年	
雑誌「an・an」1975年4月20日号 切り抜き	1975年	7点
雑誌「an・an」1972年2月5日号 イラスト原画	1972年	
雑誌「an・an」1972年3月20日号 「再発見香港」イラスト原画	1972年	
雑誌「an・an」1975年4月20日号 「東京・京阪神 ファッション・ビル」挿絵原画	1975年	25点
雑誌「an・an」コーナータイトルロゴ原画	1970年代	17点
雑誌「Hanako」連載コラム「KABUKI」タイトルロゴ原画	1990～93年頃	9点
SALT LAKE CITY（「ホームラン展」のためのイラストレーション）	1974年	
雑誌「an・an」1970年7月20日号 イラスト原画	1970年	
雑誌「an・an」1973年6月20日号 付録「6大都市ファッションマップ」	1973年	
BIGIのシャツ（ロイ・ロジャース）	1972年	
ワッペン	1971年	7点
雑誌「an・an」1971年10月20日号 切り抜き	1971年	
ZONE 2: WORKS		
雑誌「jam」連載コーナー「ミックス・ジャム」挿絵原画	1979～81年頃	
久保田万太郎（作品集『EXTRAORDINARY LITTLE DOG』掲載作品）	1981年	
雑誌「月刊PLAY BOY」挿絵原画	1970年代	
雑誌「25ans」1980年10月号 連載「アメリカ短編作家シリーズ」挿絵原画	1980年	
東山千栄子（作品集『EXTRAORDINARY LITTLE DOG』掲載作品）	1981年	
雑誌「話の特集」1982年3月号 寄稿「築地明石町界隈」挿絵原画	1982年	
雑誌「月刊PLAY BOY」挿絵原画（キース・リチャード）	1976年	
三遊亭円生（作品集『EXTRAORDINARY LITTLE DOG』掲載作品）	1981年	
コリン・ウィルソン（作品集『EXTRAORDINARY LITTLE DOG』掲載作品）	1981年	
グリーティングカード	1970年代	8点
ポスター	1975年頃	4点
地下鉄のザジ（作品集『EXTRAORDINARY LITTLE DOG』掲載作品）	1981年	
表紙を描いた雑誌		6点
雑誌「話の特集」1977年11月号 1コマ漫画原画	1977年	
雑誌「ユリイカ」1982年1月号 表紙原画	1982年	
これまでに装幀した書籍（一部）		68点
これまでに出版した絵本（一部）		40点
『ハイク犬』構想ノート	2008年	
『ももたろう』原画（文：蘭巴／小学館）	1999年	2点
『ハイク犬』原画（文：石津ちひろ／学習研究社）	2008年	2点
花王石鹸ホワイト「カオーフェザーシャンプー」のれん	1972～80年頃	
日立「ルームエアコン 白くまくん」キャラクターデザイン	1980年	
カゴメ「トマトミックス・シリーズ」パンフレット	1980～82年頃	
電電公社（NTT）「テレホンカード」	1984年頃	
カルビー「ポテトチップス」など キャラクターデザイン	1976年	
ラグノオ「シュガーレス・ケーキ」エプロン	1976～78年	
東急電鉄 注意喚起ドアステッカー	1980年代	
ロッテ 景品用ギター	制作年不詳	
資生堂「薬用育毛エッセンス」新聞広告（イラストレーション：原田治）	1987年	
TVCM（映像）		資生堂「薬用育毛エッセンス」1987年、 味の素「MARINA」1980年代、 明治「ピックアップ」制作年不詳
ECCジュニア キャラクターデザイン	1987年	
大和銀行 通帳	1998年頃	
大和銀行 貯金箱	制作年不詳	
崎陽軒「シウマイ」醤油入れ（ひょうちゃん）	1988～2002年	8点
江崎グリコ「ブリッツ」パッケージデザイン修正スケッチ	2005年	3点
江崎グリコ「ブリッツ」パッケージ	2005年	4点
ウエストカムバスケット キャラクターデザイン	2001年	
はしもと珈琲「Akio BLEND」パッケージ	2006年	

坪井幼稚園 Tシャツ	2014年	
ミスタードーナツ プレミアム (景品)	1984~2002年	イラスト原画、Tシャツ、ジグソーパズル、お手玉、グラス、お弁当箱、ドーナツ用パッケージ
fashion present	1975年	包装紙、バインダー
OSAMU GOODS	1976年	トートバッグ、缶、ボタン、コーム、ノート、マドラー
Tapioca (ライセンスブランド)	1990年頃	ポケットティッシュ、ノート、グラス、マグカップ、パジャマ
Plain Soda (ライセンスブランド)	1988年	陶製椀、ハンドタオル、枕、バッグ
上野動物園グッズ	1984年	Tシャツ、キーホルダー、巾着、トランプ、キャップ
MOONY (西武百貨店プライベートブランド)	1970年代後半	イラスト原画、貯金箱、筆箱、ノート、下敷き
「ビックリハウス」イラスト原画	1970年代後半	9点
雑誌「ビックリハウス」	1970年代後半	4点
ネオン管《ドッグ》	2017年	

ZONE 3: JOY		
手ぬぐい	1979年	
「パレットくらぶ展」案内状	1986年	6点
色紙	制作年不詳	
色紙 (「パレットくらぶまつり『色彩の美』展」出品作品)	1983年	
色紙 (「パレットくらぶまつり『色彩の美』展」出品作品)	1983年	
色紙	制作年不詳	
Tシャツ	1980年代	
「パレットくらぶまつり『色彩の美』展」案内状	1983年	
写真「Palette Club タイポグラフィ展」会場にて	1990年	
絵皿 (「NUDE画展 パレットくらぶ」出品作品)	1979年	
絵皿	制作年不詳	
(参考資料) 久保佐四郎の「木の葉猿」	制作年不詳	
(参考資料) PARISのヌイグルミ犬	制作年不詳	
(参考資料) グラナダ陶器	制作年不詳	
(参考資料) 地下鉄のザジ	制作年不詳	
(参考資料) ナンシー&スラッグ	制作年不詳	
(参考資料) 銀座・天一のうちわ	制作年不詳	
(参考資料) シャケ	制作年不詳	
油彩画 [無題] (「Palette Club タイポグラフィ展」出品作品)	1989年	
彫刻 (Le Cargo Noir)	2001~02年	7点
『ぼくのアート帖』(PARCO出版・初版)	1982年	
『ぼくのアート帖』(みすず書房・新装復刊)	2019年	
『ぼくのアートノート』(亜紀書房)	2017年	
川端実 (題不詳)	1992年	
「KAWABATA IN NEW YORK ニューヨークの川端実」(コージ本舗出版部)	1992年	
宮田重雄『青春怪談』(獅子文六の新聞連載小説) 挿絵原画	1954年	2点
小村雪岱《蛭》	制作年不詳	
泉鏡花『日本橋』(特選名著復刻全集近代文学館)	1971年	
鈴木信太郎《人形》	1955年	
丹羽文雄『自分の鶏』(装幀: 鈴木信太郎/双雅房)	1935年	
北園克衛《plastic poem》	制作年不詳	
北園克衛『若いコロニー』(國文社)	1953年	
アトリエの写真 (撮影: 新谷雅弘)	1994年	7点
C'est si bon. (映像作品 3分41秒)	1980年代後半	

ZONE 4: DUSTY MILLER		
雑誌「Olive」1988~90年 「ZAZIE」イラスト原画	1988~90年	9点
マザーグース イラスト原画		5点
DUSTY MILLERのOSAMU GOODS イラスト原画		7点
DUSTY MILLERのOSAMU GOODS ロゴ原画		3点

OSAMU GOODS

ネオン管《ジャック》	2017年	
生きものの記録 挿絵原画 (『朝日新聞』2014年3月7日夕刊に掲載)	2014年	

イラスト原画、ナップザック、缶、ハンカチ、クッション、ペーパーバッグ、ノート、缶、トートバッグ、ミラー、キーホルダー、マグカップ、ランチボックス、エプロン、碗、ハンドタオル、トランプ、ランニングシャツ、筆箱、マスキングテープ、ジッピーバック、セーター、ボタン、看板、灰皿、ストロー、巾着、壁掛けポケット、コーム、時計、ぬいぐるみ、ペナント、ティーポット、ティーカップ、リュックサック、ブックスタンド、ポスター、封筒、ショッパーバッグ、鉛筆、消しゴム、書籍、ランチピック、ペーパーナプキン、歯ブラシ、グラス、ボトル、貯金箱、バスタオル、ランドリーバッグ

イベント

講演会等

開催日	時 間	関連展覧会名	イベント名	講 師	会 場	内 容	参加者数
4月23日(土)	14:00～15:30	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	講演会 「平等院 美と信仰の軌跡」	神居文彰氏 (平等院住職)	当館講堂	約30年平等院のさまざまな修理に携わる平等院住職、神居文彰氏による講演会。	66
5月28日(土)	14:00～15:30	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	講演会 「和様成立—平等院鳳凰堂の仏像—」	山本勉氏(鎌倉国宝館長、 半蔵門ミュージアム館長、 清泉女子大学名誉教授、 東京国立博物館名誉館員)	当館講堂	日本仏像史上最大の存在である定朝とその一門の作品群、そして定朝によって成立した仏像の「和様」の意義について講演。	71
7月31日(日)	14:00～15:30	三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA	クロストーク 三沢厚彦×青木野枝	三沢厚彦氏(美術作家) 青木野枝氏(彫刻家)	当館講堂	ゲストの青木野枝氏(彫刻家)と三沢厚彦氏が、お互いの制作のことなどについて対談。	72
12月11日(日)	13:30～15:45	第24回亀倉雄策賞受賞記念 大貫卓也展「ヒロシマ・アビールズ」 JAGDA新人賞展2022	第24回亀倉雄策賞受賞展およびJAGDA新人賞展2022 開催記念講演会	第1部 JAGDA新人賞：佐々木拓氏、前原翔一氏(オンライン登壇) 第2部 亀倉雄策賞：大貫卓也氏	長岡造形大学 大講義室	第1部 JAGDA新人賞受賞者講演会 第2部 亀倉雄策賞受賞者講演会	96

計305名

美術鑑賞講座 会場：当館講堂

開催日	時 間	関連展覧会名	講 座 名	講 師	内 容	参加者数
5月21日(土)	14:00～15:30	コレクション展 第1期	人体・肉体の表現を見る。 コレクション展より	松矢国憲 (当館専門学芸員)	コレクション展示室1の作品について、その表現の背景にある物語や、関連する作品などから、深く作品を見つめる。	16
6月11日(土)	14:00～15:30	コレクション展 第1期	贅喱とその時代 —初期を中心に—	濱田真由美 (万代島美術館主任学芸員)	「虹のアーティスト」として知られる現代美術家・贅喱(1931-)の初期の作品や活動について紹介。	7
10月29日(土)	14:00～15:30	ダリ版画展	シュルレアリスムの世界 はじまりとおわり	藤田裕彦 (当館学芸課長)	第一次世界大戦後、シュルレアリスムの誕生から終焉までを、当時の社会的状況と照らし合わせながら紹介。	49
11月19日(土)	14:00～15:30	コレクション展 第3期	雪国をえがいた画家たち I — 柘森義・小島丹次郎の 画業について—	長嶋圭哉 (当館主任学芸員)	ともに雪国に生きる人々の生活を主題に作品を描いた二人の、制作秘話や作風の変遷について紹介。	13
12月10日(土)	14:00～15:30	コレクション展 第3期	雪国をえがいた画家たち II — 生誕100年 富岡惣一郎—	宮下東子 (当館専門学芸員)	雪深い高田に生まれ、自ら絵具や道具を開発して独特の雪の世界を描いた富岡惣一郎(1922-94)の作品の変遷をたどる。	31
2月18日(土)	14:00～15:30	コレクション展 第4期	ナビ派学：世紀末の画家 ポール＝エリー・ランソン	平石昌子 (当館専門学芸員)	パリで結成された前衛芸術グループ「ナビ派」の中心的存在、ポール＝エリー・ランソン(1861-1909)の魅力を紹介。	23

計139名

ワークショップ

開催日	時 間	関連展覧会名	ワークショップ名	担 当	会 場	内 容	参加者数
6月4日(土)	14:00～15:30	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	切り絵 de 雲中供養菩薩	山本正明氏 (新潟県立美術館友の会副会長)	当館講座室	新潟県立美術館友の会主催。平等院の国宝《雲中供養菩薩像》をかたどった切り絵を制作。	7
6月28日(火)～ 9月25日(日)	常時	コレクション展 第2期	親と子のワクワクオリエンタリング	伊澤朋美 (当館主任学芸員)	当館コレクション 展示室	作品にまつわるワークシートを解きながら、親子で楽しく展覧会をめぐる。	—
8月6日(土)・13日(土)・20日(土)	14:00～15:00	コレクション展 第2期	親子で鑑賞！ 動物の絵を楽しもう	宮下東子 (当館専門学芸員)	当館コレクション 展示室	「いきいき！生き物—近代美術館の動物たち」を中心に、親子で作品を楽しみます。	16
8月21日(日)	①10:30～12:00 ②14:00～15:30	三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA	クスノキの木っ端でどうぶつをつくらう	三沢厚彦氏 (美術作家)	当館ロビー	三沢氏が彫刻をつくる際の端材を使って、どうぶつをつくる。	34
10月16日(日)	14:00～15:30	コレクション展 第3期	シュールな絵を描こう	藤田裕彦(当館学芸課長) 金澤健志(当館副参事)	当館講座室	サイコロを振りながら、偶然にできた色や形をもとにして絵を描く。	4
11月20日(日)	14:00～16:00	コレクション展 第3期	ペインティングナイフで描いてみよう	宮下東子 (当館専門学芸員)	当館講座室	実際にペインティングナイフを使ってキャンバスに絵具を塗り、作品を作ってみる。	5
11月20日(日)	14:00～16:00	ダリ版画展	ドライポイントでダリの蝶を刷ろう！	岡谷敦魚氏 (長岡造形大学美術・工芸学科准教授)	当館ギャラリー	塩ビ板を版に、ドライポイントの手法で蝶をモチーフにした作品を制作する。	24

計90名

映画鑑賞会 会場：当館講堂

開催日	時 間	関連展覧会名	タイトル	内 容	参加者数
10月15日(土)	14:00～16:00	ダリ版画展	白い恐怖	1945年／111分	46
12月3日(土)	14:00～15:00	コレクション展 第3期	にいがた偉人伝 「富岡惣一郎」「小林古径」「渡辺義雄」	2016年／各15分	10
3月4日(土)	14:00～15:30	コレクション展 第4期	①アンリ・カルティエ＝ブレッソン＝疑問符 ②C.ポルトンスキーについて彼らが思い出すこと	①1994年／37分 ②2000年／33分 ※2本上映	16

計72名

その他

開催日	時 間	関連展覧会名	イベント名	担当／講師	会 場	内 容	参加者数
4月28日(木)	14:00～15:30	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	トーク&ミニコンサート 「いにしえから現代へ」	長嶋圭哉 (当館主任学芸員) アンサンブル・オビリー (弦楽四重奏)	当館講堂	(公財)長岡市芸術文化振興財 団連携事業。 前半：展示についてスライド で紹介 後半：ミニコンサート	65
5月1日(日)・15 日(日)・29日(日)	各日 10:30～ 11:00～ 13:30～ 14:00～	平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰	学芸員による10分間 ミニトーク	長嶋圭哉 (当館主任学芸員)	当館企画展示室 ロビー	展覧会の見どころや作品の魅 力をわかりやすく伝える。	118
7月31日(日)	17:30～ 18:30	三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA	ミニコンサート&ギャラ リートーク～「きいて！」 「みて！」親子で楽しむ どうぶつ大行進～	歌：長岡少年少女合唱団 トーク：三沢厚彦氏（美術作家）	当館展示室 受付前、企 画展示室	(公財)長岡市芸術文化振興財 団連携事業。長岡少年少女合 唱団による動物の歌にちなん だ「ミニコンサート」と、三 沢厚彦氏によるギャラリート ーク。	25
8月11日(木)～ 28日(日)	常時	三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA	長岡造形大学作品展× 三沢厚彦「今、気にな るものを表現する」、 みんなのあにまるず絵 画展	伊澤朋美 (当館主任学芸員)	当館ギャラリー	長岡造形大学の学生による立 体作品、約10点を展示。併せ て、子供から大人までを対象 に募集した動物の絵を展示。	1,664
8月20日(土)	15:30～ 16:30	三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA	長岡造形大学作品展× 三沢厚彦「今、気にな るものを表現する」作 品講評会	三沢厚彦氏（美術作家） オブザーバー：小林花子氏 (長岡造形大学准教授)	当館ギャラリー	上記展覧会に出品された長岡 造形大学の学生作品に対する 講評会。	11
8月20日(土)	17:00～ 18:00	三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA	ゆうがたギャラリート ーク	三沢厚彦氏	当館企画展示室	閉館後の展示室で行う、三沢 氏によるギャラリートーク。	20
11月3日(木・祝)	14:00～ 15:00	ダリ版画展	学芸員によるスライド トーク「奇才？天才？ ダリの生涯と芸術」	飯島沙耶子 (当館主任学芸員)	当館講堂	ダリの生涯と主要な作品につ いて、スライドを交えて紹介 する。	76

計1,979名

館外活動・地域との連携

出前講座

本年度に実施した出前講座の内訳は、小学生向け定番プログラム18件、キャリア教育関連4件、対話による鑑賞3件、所蔵作家関連2件、その他7件であった。定番プログラム、企画展関連、所蔵作家関連以外にも大学生向けの講義や独自テーマでの依頼もあり、展覧会業務等などとの兼ね合いが課題である。

No.	分類	月 日	時 間	対 象	内 容	コマ数	受講者数	担当者
1	学校	5月18日(水)	9:40~10:25 10:30~11:15	長岡市立上組小学校 6年生2クラス37名+36名(+教員3名)	「学芸員のお仕事」	2	76	伊澤
2	一般	5月26日(水)	13:30~	出雲崎教育委員会「出雲崎総合大学」	「平等院鳳凰堂と浄土院」について	1	27	長嶋
3	学校	6月28日(火)	10:40~11:25	長岡市立大積小学校 5・6年生(4名+3名)	「学芸員のお仕事」	1	7	宮下
4	学校	7月5日(火)	9:40~10:30 10:40~11:30	長岡市立南中学校 3年生5クラス(1クラス28名)	亀倉雄策について	2	140	万美 今井
5	学校	7月8日(金)	9:35~10:20 10:40~11:25	長岡市立栃尾東小学校 2年生2クラス(19+19名)	「“みる” って、楽しい！」	2	38	宮下
6	学校	7月11日(月)	9:30~10:15 10:30~11:15	長岡市立四郎丸小学校 5年生2クラス(38+37名)	「色や形を楽しもう」	2	75	金澤
7	学校	9月6日(火)	10:35~11:20 11:25~12:10	長岡市立和島小学校 1年生(24名3限)／(2年生20名4限)	「“みる” って、楽しい！」	2	44	金澤
8	学校	9月7日(水)	11:25~12:10	妙高市立妙高高原南小学校 5・6年生13名+9名	対話型鑑賞による授業	1	22	宮下
			13:50~14:35	妙高市立妙高高原南小学校 1・2年生7名+6名	「“みる” って、楽しい！」	1	13	
			14:45~15:30	妙高市立妙高高原南小学校 3・4年生10名+10名	「色や形を楽しもう」	1	20	
9	学校	9月8日(木)	10:40~11:25	小千谷市立千田小学校 1年生(27名)	「“みる” って、楽しい！」	1	27	金澤
			11:30~12:15	小千谷市立千田小学校 3年生(22名)	「“みる” って、楽しい！」	1	22	金澤
10	学校	9月13日(火)	10:30~11:15	長岡市立与板小学校 3年生(40名)	与板の画家たち	1	40	宮下
11	学校	9月27日(火)	10:40~11:25	長岡市立大積小学校 3・4年生5名	「色や形を楽しもう」	1	5	宮下
12	学校	9月28日(水)	10:45~12:00	長岡市立越路中学校2年生 5クラス(160名)	「展覧会をつくる」	1	160	宮下
			12:05~12:25		「新潟県立近代美術館の作品から—SDGsの観点で—」	1	160	
13	幼保	10月11日(火)	10:30~11:15	上越市立高田幼稚園 3歳児7名+4歳児6名+5歳児7名+職員7名	「“みる” って、楽しい！」 幼児向けバージョン	1	27	宮下
14	学校	10月12日(水)	9:30~10:15	三条市立西鱈田小学校 5年生32名	対話型鑑賞による授業	1	32	伊澤
			10:35~11:20	三条市立西鱈田小学校 4年生30名	「色や形を楽しもう」	1	30	金澤
			11:25~12:10	三条市立西鱈田小学校 6年生30名	対話型鑑賞による授業	1	30	伊澤
15	学校	10月13日(木)	9:30~10:15	南魚沼市立大崎小学校 5年生(32名)	「色や形を楽しもう」	1	32	宮下
			10:35~11:20	南魚沼市立大崎小学校 6年生(21名)	「色や形を楽しもう」	1	21	宮下
			11:25~12:10		「学芸員のお仕事」	1	21	宮下
16	学校	10月14日(金)	10:45~11:30	十日町市立吉田小学校 4・5・6年生(4+6+7名)	「色や形を楽しもう」	1	17	金澤
			11:35~12:20	十日町市立吉田小学校 1・2・3年生(7+2+6名)	「“みる” って、楽しい！」	1	15	金澤
17	大学	11月2日(水)	13:00~14:30	上越教育大学・大学院学校教育研究科美術教育研究室 会場：高田まちかど情報館 学生8名、大学院生12名(ヨリミチ園工室：2年生女子6名、3年生男子2名・女子4名、4年生男子3名・女子2名、5年生男子1名・女子1名)	学生向け講義 「美術館の役割と学校の利用」	1	20	宮下
			15:20~17:00		小学生向けワークショップ 「これ、なに？」	1	39	宮下
18	学校	11月8日(火)	10:40~11:25	小千谷市立千田小学校 2年生(27名)	「“みる” って、楽しい！」	1	27	金澤
19	大学	11月16日(水)	13:00~14:30	上越教育大学・大学院学校教育研究科美術教育研究室 会場：高田まちかど情報館 学生8名、大学院生12名、家庭科教授 佐藤ゆかり氏(ヨリミチ園工室：2年生女子5名、3年生男子3名・女子4名、4年生男子1名・女子2名、5年生女子1名、6年生男子1名)	学生向け講義 「みる力」	1	21	宮下
			15:20~17:00		小学生向けワークショップ 「これ、なに？」	1	37	宮下
20	学校	11月24日(水)	10:35~11:20 11:25~12:10	南魚沼市立北辰小学校 6年生27+27名	展示空間の作り方	2	54	金澤
21	学校	2月16日(木)	10:40~11:25	見附市立見附第二小学校 5・6年生(2+7名)	「色や形を楽しもう」	1	9	伊澤
22	学校	2月16日(木)	9:45~10:35	長岡市立太田中学校 2年生10名	「デザインって何？」	1	10	藤田
23	一般	3月18日(土)	13:30~15:00	見附市図書館	「初めて見るキリスト教美術」	1	40	万美・桐原
24	一般	3月26日(金)	9:20~12:00	村松公民館	特別講座 「羽下大化の作品とその時代」	1	40	伊澤

合計41コマ 1398名

NIIGATAアートリンク

NIIGATAアートリンク2022

■連絡会議

- 第1回：2022年 5月19日(木) 14:00 新潟県立近代美術館
第2回：2022年10月17日(月) 14:00 新潟県立万代島美術館
第3回：2023年 1月 5日(木) 14:30 新潟市美術館
第4回：2023年 3月 1日(水) 13:10 ※オンライン開催

■教育普及部会

- 第1回：2022年 4月12日(火) 10:00 新潟市美術館
第2回：2022年 5月31日(火) 10:00 新潟市美術館
第3回：2022年 7月22日(金) 14:00 新潟市美術館
第4回：2022年11月22日(火) 10:15 新潟市新津美術館
第5回：2023年 2月21日(火) 14:00 新潟県立近代美術館

■NIIGATAアートリンク主催美術教育研修会

「令和4年度 学校×NIIGATAアートリンク 鑑賞と美術館
一活用のための研修会」

2022年 8月 1日(月) 13:00～16:00 新潟市美術館

参加者：学校教員11名

学芸員 10名

担当 飯島沙耶子、宮下東子

図書館との連携

企画展関連書籍コーナーの設置

■平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰

- 新潟県立図書館 4月26日(火)～5月29日(日)
新潟市立中央図書館 5月5日(木・祝)～5月31日(火)
長岡市立中央図書館 5月2日(月)～5月29日(日)

■三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA

- 新潟県立図書館 8月30日(火)～9月25日(日)
長岡市立中央図書館 7月7日(木)～9月25日(日)

■ダリ版画展

- 新潟県立図書館 11月8日(火)～11月27日(日)
長岡市立中央図書館 10月8日(土)～12月14日(水)
(11/1～11/14休館)

ボランティア活動

■三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA

同展会期中の各種イベントについて、長岡造形大学で開講する「ボランティア実習」の対象事業に認定してもらい、イベントの準備や受付、参加者の制作補助等をお願いした。

参加者：長岡造形大学工芸科3年生2名（長岡造形大学「ボランティア実習」単位取得者）

期間：7月31日(日)～8月21日(日)

※同展会期中、上記の他、単発で長岡造形大生2名のボランティア参加があった。

刊行物・鑑賞資料

刊行物名	概 要	仕 様	発行部数	発行日	内 容
令和4年度 年間スケジュール	令和4年度の企画展とコレクション展の日程及び内容、年間のイベントなどをまとめたもの	225×376mm(展開 サイズ) 蛇腹4つ折り	35,000部	2022年 4月1日	
新潟県立近代美術館 だより 「雪椿通信」55号	美術館からの情報発信として一般 来場者向けに編集したもの	A5判 蛇腹4つ折り	5,000部	2022年 4月19日	特集1 久保田成子をめぐる2つのトークイベント ／特集2 コレクション展「田畑あき子 火だる まのなかの白い道」を開催して／特集3 令和3年 度の「出前講座」／館長所感／表紙の作品／三沢 厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA / 2022年度の 展覧会から／編集部からのひとこと
令和3年度年報	令和3年度の活動報告	98頁	電子データ	2023年 2月28日	
企画展 「三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA」図録	「三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA」 の公式図録	190×190mm 48頁	700部	2022年 7月20日	ごあいさつ／「ANIMALS IN NAGAOKA」に寄 せて／図版／掲載作品リスト／光の先へ、歩みだ す「キメラ」／作家略歴、展覧会歴
親と子のワクワクオ リエンテーリング ワークシート	設問に取り組みながら、所蔵作 品や作家に興味を持つ機会を作り 出すシート	A4判両面刷り		2022年6 月30日（実 施期間：6月 30日～9月 25日）	
コレクション展 第1期ワークシート	小中学校の団体観覧者向けに作 成した、よく見て考えるための シート	1テーマにつき A5判1枚			じっくりみて、考えよう／どんな絵か、よくみよ う／何の絵？ だけど…
コレクション展 第2期ワークシート	小中学校の団体観覧者向けに作 成した、よく見て考えるための シート	1テーマにつき A5判1枚			耳をすましてみよう／みつけよう／あれっ？ ちょっと ふつうと ちがう？／大好きなひと
コレクション展 第3期ワークシート	小中学校の団体観覧者向けに作 成した、よく見て考えるための シート	1テーマにつきA5 判1枚			すこし 離れて みてみよう・近づいて みてみよう ／すみずみまで みてみよう・気持ちを かんがえ よう／よくみて 考えよう・アイディアスケッチ (小下絵) とくらべよう／ちょっぴり不思議な絵 です／大好きなひと／じっくりみて、考えよう

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるように、学芸員による作品解説会を行った。参加者がなかった解説会については、記録から除いた。

企画展（日曜日 14:00 ～）

コレクション展（土曜日 11:00 ～）

【企画展】

展覧会名

期日 人数

平等院鳳凰堂と浄土院

5月 1日 38

5月15日 39

5月29日 41

小計 118

三沢厚彦展 ANIMALS IN NAGAOKA

※実施せず

ダリ版画展

11月 3日 76

小計 76

企画展合計 194

【コレクション展】

展覧会名

期日 人数

人体・肉体の表現を見る。

近代美術館の名品

〈前期〉北川民次 メキシコ一魂の場

〈後期〉相澤コレクションによる 贅囀

4月 2日 2

4月 9日 3

4月16日 6

4月23日 3

4月30日 7

5月 7日 3

5月14日 1

5月21日 8

5月28日 2

6月 4日 1

6月11日 2

第1期小計 38

親と子のワクワク美術館 いきいき！生き物

近代美術館の名品

7月 2日 4

7月 9日 2

7月16日 1

7月23日 2

7月30日 4

8月 6日 2

8月13日 2

8月27日 2

9月 3日 2

9月10日 1

9月17日 4

第2期小計 26

雪国をえがく 一 栢森義・小島丹彦・富岡惣一郎 三人展一

幻想世界 シュルレアリスムと美術館

近代美術館の名品

10月22日 1

10月29日 4

11月 5日 2

11月12日 5

11月19日 2

11月26日 2

12月 3日 7

12月10日 2

第3期小計 25

近代美術館の名品

命脈 一 命と美のつながり 一

堺時雄 ビクトリアリズムへの招待

1月21日 9

2月 4日 2

2月11日 11

2月18日 7

2月25日 2

3月 4日 4

3月11日 3

第4期小計 38

コレクション展合計 127

団体の受入れ

団体の来館者を受け入れ、希望があった団体には作品解説等を行った。

* 印は解説等を行った団体

●一般団体

平等院鳳凰堂と浄土院

4月23日(土)	新潟交通くれよん「2つの特別展」	37名
4月26日(火)	新潟交通くれよん「2つの特別展」	44名
4月28日(金)	上越タイムス社ツアー	20名
5月22日(日)	頸城バスグリーンツアー	33名
5月26日(木)	百観音院	27名
5月27日(金)	頸城観光 高田法人会女性部	31名
5月28日(土)	頸城バスグリーンツアー	33名
5月29日(日)	頸城バスグリーンツアー	31名
5月29日(日)	ハミングツアー	40名
6月 1日(水)	東小千谷地区高齢者学級「あけぼの大学」	45名
6月 2日(木)	出雲崎総合大学（出雲崎町教育委員会）	26名
6月 4日(土)	燕物産株式会社	35名
計12団体		小計 402名

コレクション展第2期

7月 8日(金)	地教委連合会	23名
計1団体		小計 23名

三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA

8月 3日(水)	エキップツアー	8名
8月 9日(火)	三条市学校教育研究会	23名
8月31日(水)	(株)いつ和	21名
計3団体		小計 52名

ダリ版画展

10月13日(木)	新潟教弘友の会	* 46名
10月14日(金)	新潟教弘友の会	* 33名
10月21日(金)	新潟デザイン専門学校	101名
10月21日(金)	新潟デザイン専門学校	67名
11月 2日(水)	社会福祉法人長岡メンタルヘルス協会創造工房コスモス	9名
11月 5日(土)	新潟県立大学地域経済学部	53名
11月 9日(水)	新発田地区公民館	* 24名
11月11日(金)	(株)南海国際旅行	* 13名
11月17日(木)	長岡市三島郡美術教育研究会	22名
11月30日(水)	胎内市教育委員会	* 16名
計10団体		小計 384名

●大学

ダリ版画展

11月30日(水)	長岡造形大学	* 14名
計1団体		小計 14名

●幼稚園・保育園・こども園

三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA

7月20日(水)	学校法人聖母学園 認定こども園 見附天使幼稚園	43名
7月22日(金)	学校法人ジュニアスクール 認定こども園 第一幼稚園	58名
7月26日(火)	社会福祉法人 浄英会 長生保育園	36名
8月24日(水)	社会福祉法人 浄英会 長生保育園	41名
8月31日(水)	学校法人ジュニアスクール 鵬幼稚園	65名
9月 7日(水)	双葉保育園	10名
計6団体		小計 253名

コレクション展第4期

3月 8日(水)	みどりこども園	14名
計1団体		小計 14名

総合計

1,142名

学校教育との連携

●教育課程および部活動での利用
学校のカリキュラムで来館した学校等団体に展覧会鑑賞の機会を提供した。
コロナ禍が続く中、引き続き対話型鑑賞の実施は控えており、解説やワークシートで対応した。解説はコレクション展を中心に行い、企画展については概要説明にとどまった。

【解説及びワークシートによる鑑賞】(児童・生徒748名+引率81名)

コレクション展第1期／平等院鳳凰堂と浄土院

4月27日(水) 小千谷市立南小学校 6年生 19名(1名)
5月17日(火) 柏崎市立鏡が沖中学校 3年生 80名(8名)

コレクション展第2期／三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA

7月13日(水) 新潟県立長岡明德高等学校 社会人クラス 7名(1名)
7月20日(水) 三条市立栄中央小学校 6年生 51名(4名)
8月 9日(火) 長岡工業高校 美術部 12名(1名)
8月12日(金) 新潟県立長岡商業高等学校 美術部 3名(1名)
9月 2日(金) 長岡市立高等総合支援学校 3年生 19名(9名)
9月 6日(火) 小千谷市立千田小学校 5年生 21名(2名)
9月 6日(火) 小千谷市立片貝小学校 5年生 28名(2名)
9月 9日(金) 小千谷市立吉谷小学校 5年生 10名(3名)
9月 9日(金) 小千谷市立和泉小学校 5年生 8名(2名)
9月 9日(金) 長岡市立高等総合支援学校 3年生 19名(7名)
9月21日(水) 長岡市立豊田小学校 5年生 71名(4名)
9月22日(水) 三条市立大島小学校 1～6年生 42名(11名)

コレクション展第3期／ダリ版画展

10月12日(水) 小千谷市立南小学校 5年生 17名(1名)
10月18日(火) 新潟県立八海高等学校 3年生 70名(4名)
11月 9日(水) 小千谷市立小千谷小学校 5年生 66名(4名)
11月10日(水) 小千谷市立小千谷小学校 5年生 62名(4名)
11月10日(水) 新潟県立江南高等特別支援学校川岸分校 3年生 4名(2名)
11月17日(水) 小千谷市立東小千谷小学校 5年生 33名(2名)

ダリ版画展

11月25日(金) 長岡英智高等学校 1～3年生 56名(4名)

コレクション展第4期

2月 7日(火) 南魚沼市立北辰小学校 6年生 23名(2名)

【自由鑑賞】(児童・生徒121名+引率7名)

三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA

8月30日(火) 長岡市立上組小学校 1年生 61名(3名)

ダリ版画展

10月 8日(土) 長岡市立江陽中学校 美術部 24名(1名)
10月 9日(日) 長岡市立東北中学校 アート部 23名(1名)
12月 4日(日) 長岡市立寺泊中学校 美術部 13名(2名)

●職場訪問

学校からの要望に応じて職場訪問を受け入れ、施設内の設備の見学および働くことについての質疑に応えた。

11月30日(水) 長岡市立刈谷田中学校 1年生 5名

●教員研修会の受入れ

要望があった場合、学校教員の研修会の会場として館の施設を提供。研修会の講師を務めた。(館外で実施した研修会については、「調査・研究」の「講演・講義等」項を参照のこと)

8月 9日(火) 三条市学校教育研究協議会
美術鑑賞研修(講師:宮下東子) 23名

11月17日(木) 長岡市三島郡美術教育研究会
美術鑑賞研修(講師:宮下東子) 22名

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障がい者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

月	期間	日数	開催企画展名称	企 画 展									コレクション展									月計
				学 校 等						障がい者	介助	合計	学 校 等						障がい者	介助	合計	
				小中			高校						小中			高校						
				校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率				校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率				
4	1~22	19	平等院展										0	0	0	0	0	0	10	3	13	219
	23~30	7		1	(19)	1	0	0	0	104	33	138	1	(19)	1	0	0	0	51	16	68	
5	1~31	29		1	(80)	8	0	0	0	454	182	644	1	(80)	8	0	0	0	308	147	463	1,107
6	1~5	5		0	0	0	0	0	0	123	38	161	0	0	0	0	0	0	89	31	120	298
	7~19	12										0	0	0	0	0	0	9	4	13		
	28~30	3										0	0	0	0	0	0	3	1	4		
7	1~15	13	三沢厚彦展										0	0	0	1	7	1	9	1	18	266
	16~31	14		1	(51)	6	0	0	0	93	41	140	1	(51)	6	0	0	0	73	29	108	
8	2~31	26		1	(61)	3	2	15	2	150	47	217	0	0	0	2	15	2	105	37	159	376
9	1~25	22		6	(181)	24	2	38	16	167	47	292	6	(181)	24	2	38	16	115	36	229	521
10	4~7	4	ダリ版画展										0	0	0	0	0	0	4	0	4	650
	8~30	20		3	(64)	3	1	70	4	225	62	364	3	(64)	3	1	70	4	156	49	282	
11	1~30	26		2	(160)	11	2	60	6	287	72	436	2	(160)	11	2	60	6	195	60	332	768
12	1~4	4		1	(13)	2	0	0	0	48	10	60	0	0	0	0	0	0	27	7	34	102
	6~25	18										0	0	0	0	0	0	7	1	8		
1	4~9	6	臨時休館																	0	6	
	17~31	13											0	0	0	0	0	0	4	2		6
2	1~28	24											1	(50)	4	0	0	0	26	3	33	33
3	1~31	27											0	0	0	0	0	0	22	4	26	26
合 計		292		16	(629)	58	7	183	28	1,651	532	2,452	15	(605)	57	8	190	29	1,213	431	1,920	4,372

* 小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒は観覧料無料のため、免除者数には含まない。(表中カッコ書きの数値)

* 1/4~1/9は空調設備故障のため臨時休館。

博物館実習

【趣 旨】

学芸員資格取得を目指す学生等のための博物館実習を実施し、4名の実習生を受け入れた。美術館学芸員の諸業務に関する講義のほか、各分野の作品の取り扱いについて実習を行った。後半には「展覧会計画」として、展覧会を計画・立案、図面や要項の作成、展示、撤収までのひとつおりの流れを体験する演習を行った。学芸業務を実際に体験させることに重点をおいた。

【実習期間】

10月13日(木)～10月21日(金) ※土・日を除く計7日間

【実習生の所属および受け入れ人数】

新潟産業大学 1名
長岡造形大学 3名
合計4名

【カリキュラム】

月 日	時限	内 容	担 当
10月13日(木)	1	開講式／オリエンテーション (バックヤード見学事前説明 含む)／コレクション展見学	館長・副館 長／長嶋
	2	講義：博物館運営に関わる法 律・現在の博物館を取り 巻く状況	藤田
	3	企画展見学／バックヤード見学	飯島／長嶋
	4	実習：展覧会計画 (1) テーマ検討	長嶋・伊澤・ 飯島
10月14日(金)	1	講義：学芸課の業務 展覧会 の企画から礼状まで	藤田
	2	実習：展覧会計画 (2) テーマ検討、作品選定	長嶋・伊澤・ 飯島
	3	実習：作品の取り扱い・点検 (平面作品)※保存修復含	松矢・伊澤
	4		
10月17日(月) (休館日)	1	講義：ミュージアムエデュ ケーション	宮下
	2	講義：作品の調査研究	松矢
	3		
	4	実習：展覧会計画 (3) 作品選定	長嶋・伊澤・ 飯島
10月18日(火)	1	実習：作品の取り扱い・展示 (軸・屏風)	長嶋
	2		
	3	実習：展覧会計画 (4) 要項作成	長嶋・伊澤・ 飯島
	4		
10月19日(水)	1	実習：作品の取り扱い・展示 (工芸)	藤田
	2	講義：総務課の業務 (含館内 で働く人々)	中村
	3	実習：展覧会計画 (5) リスト確定・図面作成	伊澤・飯島
	4		
10月20日(木)	1	講義：作品の収集・分類・保 管／データベース管理	平石／飯島
	2	実習：展覧会計画 (6) パネル・キャプション 等作成	長嶋・伊澤・ 飯島
	3		
	4		
10月21日(金)	1	実習：展覧会計画 (7) 作品搬入、展示作業	長嶋・伊澤・ 飯島
	2		
	3		
	4	実習：展覧会計画 (8) 展示講評、撤収作業／ 閉講式	学芸課／館 長・副館長

8時50分出勤 実習場所は会議室を基本とする
①9:10～10:30 (80分) ②10:50～12:10 (80分)
③13:10～14:30 (80分) ④14:50～16:10 (80分)

担当 長嶋圭哉

イベント

講演会等

開催日	時 間	関連展覧会名	講 座 名	講 師	会 場	内 容	対象等	参加者数
4月23日(土)	14:00～15:50	THE HEROES	刀剣の見かたーHEROES展での楽しみかたー	原田一敏氏（本展刀剣部門監修者／東京藝術大学名誉教授）	NICO プラザ会議室（万代島ビル11階）	展覧会の魅力とともに刀剣の鑑賞方法について解説した。	一般聴講無料要申込	51

計51名

ワークショップ

開催日	時 間	関連展覧会名	ワークショップ名	会 場	内 容	対象等	参加者数
2月4日(土)、5日(日)、11日(土・祝)、12日(日)、18日(土)、19日(日)、23日(木・祝)、25日(土)、26日(日)	10:00～13:00	原田治展	ワークショップ「オリジナル缶バッジを作ろう！」	展示室	原田治のポップなイラストに色を塗って、オリジナルの缶バッジを作った。	一般参加無料（要観覧券）	476 （各日人数限定）

計476名
総合計527名

館外活動・地域との連携

出前講座

学校や各種団体の依頼に応じて、展覧会や県出身作家等をテーマとして実施した。

No.	月 日	時 間	対 象	内 容	コマ数	受講者数	担当者
1	7月5日(火)	9:40～11:30	長岡市立南中学校 3年生	「亀倉雄策のポスターデザイン」	1	143	今井
2	9月8日(木)	14:00～15:30	まちなかキャンパス長岡	まちなかカフェ「現代美術館があったんだ！ー長岡現代美術館と大光コレクションー」	1	30	濱田
3	10月18日(火)	11:00～11:55	新潟県立新潟商業高等学校 2年生	「庵野秀明展」	1	81	今井
4	10月19日(水)	11:00～11:55 13:45～14:50	新潟県立新潟商業高等学校 2年生	「庵野秀明展」	2	159	今井
5	10月20日(木)	13:45～14:50	新潟県立新潟商業高等学校 2年生	「庵野秀明展」	1	78	今井
6	3月18日(土)	13:30～15:10	見附市図書館	「初めて見るキリスト教美術」	1	40	桐原

合計7コマ 531名

図書館との連携

企画展関連書籍コーナーの設置

■和田誠展
新潟県立図書館 7月5日(火)～31日(日)
長岡市立中央図書館 7月1日(金)～8月31日(水)
見附市図書館 7月9日(土)～9月8日(木)
柏崎市立図書館 (期間不明)
十日町情報館 (期間不明)
燕市立図書館 (期間不明)

■庵野秀明展
新潟県立図書館 11月29日(火)～12月25日(日)

■原田治展
新潟県立図書館 2023年3月28日(火)～31日(金)
※全体期間は4月23日(日)まで

企画展関連ブックリストの作成

■和田誠展
新潟県立図書館

刊行物・鑑賞資料

刊行物名	概 要	仕 様	発行部数	発行日	内 容
令和4年度年間スケジュール	令和4年度の企画展の日程及び内容などをまとめたもの	A4判 巻き三つ折り	50,000部	2022年 4月1日	企画展予定／開館カレンダー／観覧料免除／小さなお子様連れ・障害者向け施設案内／友の会案内／新潟県立近代美術館の企画展／交通案内／駐車場案内
新潟県立近代美術館 研究紀要 第21号	学芸員による研究報告	A4判 48頁	380部	2023年 3月7日	・松本奈穂子「研究ノート：ヤーコブ・デ・バルバリ《ヴェネツィア鳥瞰図》第3版をめぐって」 ・英文要旨 ・澤田佳三「萬鐵五郎の「一つの球体」一禅を視点とする解釈」 ・松矢国憲「日下部鳴鶴は「書は技芸に非ず」と言って、本当に帝室技芸員を断ったか。一幾つかの鳴鶴への疑問、覚え書き」
和田誠展 新潟県立図書館 所蔵関連ブック リスト	展覧会に出品された図書・雑誌のうち県立図書館が所蔵する資料のリスト	A4判 二つ折り	—	2022年 6月	児童書／一般書／雑誌

団体の受入れ

団体来館のうち、希望に応じて作品解説や施設紹介等を行った。一覧は把握した団体のみを記載。

* 印は解説等を行った団体

●一般団体

サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史

4月 2日(土)	NPO法人こころ楽楽	6名
4月 5日(火)	原信労働組合	12名
4月 7日(木)	新発田市地域活動支援センター フリースペースみのり	19名
計3団体	小 計	37名

THE HEROES展 刀剣×浮世絵―武者たちの物語

5月 14日(土)	名鉄観光サービス	11名
5月 25日(水)	放課後デイサービスひなた	4名
5月 28日(土)	新潟日報メディアネット	20名
6月 4日(土)	株式会社たちばなイオン新潟西店	4名
6月 4日(土)	放課後等デイサービスアートキャンブえるも	6名
6月 8日(水)	一般社団法人みんなの家	10名
6月 9日(木)	新潟日報カルチャースクール	*13名
6月 10日(金)	放課後デイサービスひなた	5名
6月 17日(金)	福祉事業型専攻科KINGOカレッジ	9名
計9団体	小 計	82名

和田誠展

7月 16日(土)	ワークセンターひがし	32名
7月 16日(土)	地域活動支援センターかめさん	13名
7月 16日(土)	NPO法人こころ楽楽	15名
7月 19日(火)	地域活動支援センターあん	11名
7月 22日(金)	フジライフサポート牡丹山	15名
7月 22日(金)	物見山はじめ保育園	12名
7月 23日(土)	NPO法人虹の家デワークス中之島	10名
7月 24日(日)	NPO法人こころ楽楽	6名
7月 27日(水)	NPO法人しろやまの会	8名
7月 29日(金)	アリスクラブ	45名
7月 29日(金)	放課後等デイサービスアートキャンブえるも	8名
8月 9日(火)	放課後等デイサービスアートキャンブみいむ	10名
8月 11日(木)	日中一時支援オハナ	14名
8月 15日(月)	P.S.T.C.LONDRINA	51名
8月 25日(木)	放課後等デイサービスアートキャンブえるも	4名
8月 26日(金)	福祉事業型専攻科KINGOカレッジ	9名
計16団体	小 計	263名

庵野秀明展

9月 27日(火)	NPO法人しろやま	7名
10月 8日(土)	新潟県立美術館友の会	*30名
10月 14日(金)	新潟県建設業協会長岡支部	26名
10月 23日(日)	NPO法人こころ楽楽	8名
10月 25日(火)	障がい者支援施設大峰寮	15名
10月 26日(水)	就労移行支援事業所SAKURA新潟 NEXTセンター	8名
10月 28日(金)	ワークセンターとちの木の家	26名
11月 8日(火)	福祉施設ハーモニー	7名
11月 9日(水)	福祉施設ハーモニー	7名
11月 12日(土)	NPO法人こころ楽楽	6名
11月 25日(金)	社会福祉法人青空福祉会青空地域 生活支援センター	13名
12月 7日(水)	新潟市小学校教育研究協議会図画工作部	*25名
12月 11日(日)	NPO法人こころ楽楽	7名
12月 25日(日)	NPO法人こころ楽楽	5名
12月 26日(月)	放課後等デイサービスオハナ東	16名
12月 27日(火)	放課後等デイサービスアートキャンブみいむ	7名
1月 7日(土)	日中一時支援オハナ	13名
1月 8日(日)	地域支援センターがばじこ	4名
計18団体	小 計	230名

原田治展 「かわいい」の発見

1月 28日(土)	NPO法人こころ楽楽	6名
2月 4日(土)	NPO法人こころ楽楽	5名
2月 8日(水)	めいせいデイサポートセンター	5名
2月 12日(日)	NPO法人こころ楽楽	6名
2月 15日(水)	めいせいデイサポートセンター	6名
3月 14日(火)	福祉事業所ハーモニー	7名
3月 18日(土)	NPO法人スペースBe	8名
3月 18日(土)	NPO法人こころ楽楽	6名
3月 18日(土)	デワークス中之島	10名
3月 19日(日)	NPO法人こころ楽楽	7名
3月 20日(月)	放課後等デイサービスアートキャンブえるも	9名
3月 23日(木)	福祉事業所ハーモニー	7名
3月 24日(金)	新潟県農業団体健康保険組合	10名
計13団体	小 計	92名

合計 59団体 704名

学校教育との連携

●**図工・美術の授業及び部活動での利用－展覧会の鑑賞**
 学校のカリキュラム等で来館した学校団体に展覧会の鑑賞の機会を提供した。
 特に希望のあった学校団体に関しては、学芸員による作品解説を行った。

[学芸員による作品解説を行った学校] **620名**
 (児童・生徒601名+引率者19名)

和田誠展

7月 8日(金)	長岡造形大学	29名(0名)
7月21日(木)	上越市立潮陵中学校	(3年) 7名(3名)
8月 5日(金)	新潟市立坂井輪中学校	(3年) 11名(2名)
8月17日(水)	阿賀野市立笹神中学校	(1～3年) 10名(1名)

庵野秀明展

10月13日(木)	新潟県立新潟工業高等学校	(1～3年) 8名(2名)
10月14日(金)	新潟県立栃尾高等学校	(1年) 4名(1名)
10月18日(火)	日本アニメ・マンガ専門学校	(2～3年) 36名(0名)
10月21日(金)	日本アニメ・マンガ専門学校	(1年) 27名(0名)
10月21日(金)	新潟デザイン専門学校	169名(0名)
10月25日(火)	新潟県立新潟商業高等学校	(2年) 77名(3名)
10月26日(水)	新潟県立新潟商業高等学校	(2年) 157名(3名)
10月27日(木)	新潟県立新潟商業高等学校	(2年) 63名(3名)
10月27日(木)	新潟県立新潟翠江高等学校	(3年) 3名(1名)

[展覧会鑑賞のみの学校] **130名**
 (児童・生徒114名+引率者16名)

THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語

5月11日(水)	魚沼市立小出中学校	12名(0名)
5月12日(木)	長岡市立高等総合支援学校	(3年) 16名(6名)
6月 8日(水)	日本アニメ・マンガ専門学校	10名(0名)

和田誠展

7月15日(金)	長岡造形大学	26名(0名)
7月16日(土)	新潟青陵高等学校	(1～3年) 6名(1名)
7月27日(水)	村上市立村上第一中学校	10名(2名)
7月28日(木)	新潟市立南浜中学校	(1～3年) 8名(1名)

庵野秀明展

10月14日(金)	新潟県立小千谷西高等学校	10名(1名)
10月14日(金)	新潟県立有恒高等学校	(1～3年) 5名(1名)
10月14日(金)	新潟県立上越高等学校	4名(2名)
12月26日(月)	上越市立直江津東中学校	(1～2年) 7名(2名)

●**校外学習・総合学習**
 学校教育、特に中学校の校外学習及び総合学習での利用に供した。希望のあった場合は目的に応じて施設や職業に関する質問への対応や案内を行った。

[学芸員による解説を行った学校] **414名**
 (児童・生徒370名+引率者44名)

THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語

5月20日(金)	新潟市立上山中学校	(2年) 4名(0名)
----------	-----------	-------------

和田誠展

7月 7日(木)	新潟市立鳥屋野中学校	(2年) 3名(0名)
7月 8日(金)	新潟市立小針中学校	(2年) 6名(0名)
7月26日(火)	新潟市立山の下中学校	(2年) 6名(0名)

庵野秀明展

9月27日(火)	精華学園高等学校新潟中央校	(1～3年) 23名(2名)
9月30日(金)	新潟県立東新潟特別支援学校高等部	(1年) 8名(12名)
9月30日(金)	新潟市立山の下小学校	(2年) 28名(3名)
9月30日(金)	新潟市立東新潟中学校	(1年) 162名(10名)
10月 4日(火)	新潟市立関屋中学校	(2年) 5名(1名)
10月 5日(水)	新潟市立潟東中学校	(1年) 4名(0名)
10月14日(金)	新潟市立巻東中学校	(2年) 7名(1名)
10月14日(金)	村上市立村上東中学校	(2年) 52名(5名)
10月20日(木)	十日町市立水沢小学校	(6年) 33名(6名)
11月15日(火)	燕市立燕北小学校	(4年) 19名(2名)

原田治展「かわいい」の発見

3月 2日(木)	精華学園高等学校新潟中央校	(1～3年) 10名(2名)
----------	---------------	----------------

[展覧会鑑賞のみの学校] **357名**
 (児童・生徒317名+引率者40名)

THE HEROES 刀剣×浮世絵－武者たちの物語

4月26日(火)	新潟市立関屋中学校	(2年) 44名(0名)
4月27日(水)	新潟市立大江山中学校	(2年) 8名(0名)
5月12日(木)	新潟市立大形中学校	(2年) 17名(0名)
5月24日(火)	鹿島学園高等学校通信制	(1～3年) 3名(2名)

庵野秀明展

9月28日(水)	国際トータルファッション専門学校	24名(0名)
9月29日(木)	国際トータルファッション専門学校	38名(0名)
10月 7日(金)	新潟県立東新潟特別支援学校中等部	6名(7名)
10月19日(水)	国際トータルファッション専門学校	21名(0名)
10月20日(木)	新潟市立五十嵐中学校	(1年) 28名(1名)
10月28日(金)	新潟市立下山中学校	(2年) 8名(0名)
11月 1日(火)	新潟大学附属特別支援学校高等部	(2年) 10名(3名)
11月 2日(水)	新潟県立東新潟特別支援学校高等部	(2年) 8名(9名)
11月17日(木)	新潟県立江南高等特別支援学校(1年)川岸分校	12名(5名)
12月15日(木)	新潟市立内野小中学校希望が丘分校	(5年) 13名(13名)
12月16日(金)	日本アニメマンガ専門学校	32名(0名)

原田治展「かわいい」の発見

3月 7日(火)	新潟市立白南中学校	4名(0名)
3月10日(金)	燕市立分水中学校	(2年) 41名(0名)

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第12条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障がい者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

展覧会名	会期	日数	学 校 等						障害者	介助	合 計
			小中・特			高校					
			校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率			
サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史	4月1日～4月10日	10	0	(0)	0	0	0	0	314	70	384
THE HEROES 刀剣×浮世絵―武者たちの物語	4月23日～6月19日	54	5	(85)	0	2	19	8	1,099	306	1,432
和田誠展	7月2日～8月28日	54	8	(61)	9	1	6	1	886	219	1,121
庵野秀明展	9月23日～1月9日	92	13	(372)	51	12	392	48	1,417	317	2,225
原田治展 「かわいい」の発見	1月28日～3月31日	55	2	(45)	0	1	10	2	653	186	851
合 計		265	28	(563)	60	16	427	59	4,369	1,098	6,013

* 小学校、中学校及び特別支援学校（初等部・中等部）の児童生徒は観覧料無料のため、合計には含まない。（表中カッコ書きの数値）

サポートメンバー (新潟県立万代島美術館ボランティア組織)

新潟県立万代島美術館では、美術館と県民とをより親しく結びつけることを目的として、新潟県立万代島美術館サポートメンバーを組織している。本年度は下記のとおり活動を行った。

【ねらい】

- 1 来館者に生涯学習の機会と場を提供する。
- 2 美術館の活動を共有し、美術館への関心と関わりを深めることにより、美術館の愛好者を増大する。

【登録人数】(R4年3月現在)

8名

【活動内容】

万代島美術館の活動や展覧会業務に必要な活動への協力。

- ・広報活動（ポスター、チラシ、年間スケジュールの発送作業）への協力
- ・イベント運営の補助
- ・ワークショップ運営の補助

【課題】

より積極的な協力を促すため、各人の興味に応じた働きかけをしていく必要がある。

博物館実習

【趣 旨】

学芸員資格取得を目指す学生のために博物館実習を実施し、3名の実習生を受け入れた。各分野についての講義の他、作品の点検・取扱いの指導も行った。研究課題として所蔵品を使った展覧会企画を一人ずつ発表し、学芸員の仕事について学んだ実習の総まとめとした。

【実習期間】

10月20日(木)～27日(木) ※土・日を除く計6日間

【実習生の所属および受入人数】

新潟大学 2名
名古屋芸術大学 1名 合計3名

【カリキュラム】

月日	曜日	時限	内 容	担 当
10月20日	木	1	開校式／館長挨拶／オリエンテーション／施設案内	館長・松本(課員)
		2	万代島美術館の現状と課題	館長
		3	研究課題(課題説明、テーマ・作品検討)	松本(濱田)
		4	研究課題(テーマ・作品決定)	松本(濱田)
10月21日	金	1	展覧会の企画・運営／総論	館長
		2	作品の点検・取扱い(平面)	澤田
		3	展示室案内・企画展見学	今井
		4	研究課題(資料作成)	松本(濱田)
10月24日	月	1	調査研究／作品収集／保存・修復	澤田
		2	教育普及事業／刊行物／ホームページ／データベース	今井
		3	研究課題(進捗状況確認、資料作成)	松本(濱田)
		4	研究課題(資料作成)	松本(濱田)
10月25日	火	1	受付・監視の仕事	嘱託員
		2	連携・協働(アートリンク)／広報／所蔵品貸出	松本
		3	作品の点検・取扱い(立体・写真)	館長
		4	研究課題(資料作成)	松本(濱田)
10月26日	水	1	友の会・サポートメンバー／作家資料の保管	濱田
		2	総務担当の業務について(予算・人事等)	榎
		3	作品の点検・取扱い(日本画)	飯島
		4	研究課題(スライド作成)	松本(濱田)
10月27日	木	1	研究課題(発表準備・配布資料準備)	松本(濱田)
		2	課題発表／講評／閉校式	館長・学芸
		3	振返り	松本(濱田)

※10:10出勤 実習場所：準備室

- ①10:10～11:30(80分) ②11:50～13:10(80分)
③14:15～15:35(80分) ④15:55～17:15(80分)

担当：松本奈穂子、濱田真由美

新潟県立近代美術館

【調 査】

展覧会関連

宮下東子・飯島沙耶子

橋本龍美作品調査 新潟市内個人宅 5月11日

藤田裕彦・平石昌子

フランス・モダン・ポスター展会場調査

横須賀市美術館 5月12日

宮下東子・飯島沙耶子

橋本龍美作品調査 加茂市等個人宅 7月14日

宮下東子 橋本龍美展作品調査 東京都内個人宅 9月15日

松矢国憲 展覧会調査 長野県立美術館 9月20日

藤田裕彦 堺時雄作品調査 万代島美術館 11月24日

宮下東子 富岡惣一郎作品調査 トミオカホワイト美術館
11月28日

伊澤朋美 ベルギーと日本展調査 国立国会図書館
12月19日

宮下東子・長嶋圭哉

横山操作品調査 長岡市立中央図書館
12月28日

長嶋圭哉 横山操作品調査 ギャラリーみつけ 1月5日

伊澤朋美 ベルギーと日本展資料調査 国立国会図書館、東
京国立近代美術館アートライブラリー 2月3日

長嶋圭哉・飯島沙耶子

横山操作品調査 公益財団法人美術育成財団雪梁
舎 2月21日

平石昌子 モーリス・ドニ展調査 神奈川県内 3月15日

作品・作家調査

松矢国憲・長嶋圭哉

日本画作品調査 柏崎市個人宅 5月12日

松矢国憲 良寛作品調査 新潟市内個人宅及び企業
5月17日

長嶋圭哉 山内倉蔵作品調査 五泉市内個人宅 8月30日

松矢国憲 日下部鳴鶴資料調査 長野市内個人宅
9月20日

長嶋圭哉 栢森義作品調査 加茂市内 1月25日

藤田裕彦 県内工芸作家作品調査 新潟市内 2月6日

平石昌子 井上愛也作品調査 神奈川県内 3月15日

【図録執筆】

伊澤朋美 「光の先へ 歩みだす『キメラ』、『三沢厚彦
ANIMALS IN NAGAOKA』展図録

【研究紀要】

新潟県立近代美術館研究紀要 第21号 2022年3月7日

松矢国憲 「日下部鳴鶴は『書は技芸に非ず』と言って、本
当に帝室技芸員を断ったか。——幾つかの鳴鶴へ
の疑問、覚え書き」

【寄 稿】

長嶋圭哉

読売新聞「平等院鳳凰堂と浄土院 その美と信仰」
3回連載 4月26日～28日

伊澤朋美

新潟日報「展覧会へようこそ 三沢厚彦
ANIMALS IN NAGAOKA」8月30日

藤田裕彦

新潟日報「新潟の一冊「会田誠著『性と美術』一
問題作の「犬」の深淵を語る」」10月2日

藤田裕彦

新潟日報「展覧会へようこそ 堺時雄 ビクトリ
アリズムへの招待」1月25日

宮下東子

新美術新聞4月1日付「望郷の画家 橋本龍美展-
神も、庶民も、バケモノも ふるさとよ-妖怪と、
ユーモアと、共感と、信仰と」3月27日発行

長嶋圭哉

加茂市史だよりNo.46「洋画家・栢森義の初期
作品」3月発行

宮下東子

加茂市史だよりNo.46「日本画家・橋本龍美と
加茂祭」3月発行

当館ホームページ内寄稿記事

「学芸員コラム」

松矢国憲

⑨「あらためて小山正太郎を思う」4月1日

平石昌子

⑩「ボール=エリー・ランソン《収穫する7人の
女性》を見た日」7月4日

遠藤聡

⑪「動物と人間」8月10日

伊澤朋美

⑫「アニマルズがやってきた！ー「三沢厚彦
ANIMALS IN NAGAOKA」ができるまで」
9月4日

長嶋圭哉

⑬「新潟出身の日本画家・小島丹漾の芸術につい
て」10月13日

宮下東子

⑭「雪と素材と抽象と」11月1日

松矢国憲

⑮「雪国は遠くに一風習、風俗と「アート」の狭
間に思う。」12月1日

藤田裕彦

⑯「堺時雄の『芸術』写真を知っていますか。」
1月1日

金澤健志

⑰「『命脈』を子供はどう思う」2月15日

遠藤聡

⑱「春の夜」3月29日

【講演・講義等】

新潟大学人文学部（美術史概説B）非常勤講師

飯島沙耶子 ②「近世」 10月12日

長嶋圭哉 ③「日本画Ⅰ—日本画の誕生」 10月19日

長嶋圭哉 ④「日本画Ⅱ—大正期の日本画」 10月26日

長嶋圭哉 ⑤「日本画Ⅲ—昭和戦前期の日本画」 11月2日

藤田裕彦 ⑧「工芸Ⅰ—輸出工芸の時代」 11月30日

藤田裕彦 ⑨「工芸Ⅱ—近代工芸の誕生」 12月7日

伊澤朋美 ⑩「彫刻」 12月14日

松矢国憲 ⑪「版画」 12月21日

宮下東子 ⑫「日本画Ⅳ—戦後の日本画」 1月11日

松矢国憲 ⑬「戦後美術—書と洋画Ⅰ」 1月18日

松矢国憲 ⑭「戦後美術—書と洋画Ⅱ」 2月8日

※大雪による交通障害のため、実施日を1月25日(水)から変更。

藤田裕彦 ⑮「現代美術—概念を越えて」 2月1日

教員研修会講師

宮下東子 三条市学校教育研究会 当館 8月9日

宮下東子 魚沼市教育振興図工部研修会講師 魚沼市立伊米ケ崎小学校 8月19日

宮下東子 長岡市三島郡美術教育研究会 美術鑑賞研修 当館 11月17日

長嶋圭哉 二葉アーツスクール2022 めだかの学校 Season 5
新潟市芸術創造村・国際青少年センター「日本画家・下村観山と新潟」
1月14日

【研 修】

宮下東子 下越地区美術教育研究会 村上市立村上東中学校
11月11日

【審査等】

藤田裕彦 新潟県伝統工芸品選考会 県工業技術総合研究所
4月25日藤田裕彦 第9回日展 第四科 工芸美術 外部審査員
10月18～21日、11月3日

【会 議】

NIIGATAアートリンク2022連絡会議

藤田裕彦・金澤健志・飯島沙耶子

第1回 近代美術館 5月19日

金澤健志・飯島沙耶子

第2回 万代島美術館 10月17日

藤田裕彦・金澤健志・飯島沙耶子

第3回 新潟市美術館 1月5日

平石昌子・金澤健志・飯島沙耶子

第4回 オンライン開催 3月1日

NIIGATAアートリンク2022教育普及部会

宮下東子・金澤健志・飯島沙耶子

第1回 新潟市美術館 4月12日

宮下東子・金澤健志・飯島沙耶子

第2回 新潟市美術館 5月31日

宮下東子・金澤健志

第3回 新潟市美術館 7月22日

宮下東子・金澤健志・飯島沙耶子

第4回 新潟市新津美術館 11月22日

宮下東子・金澤健志・飯島沙耶子

第5回 近代美術館 2月21日

藤田裕彦

美術館連絡協議会2022年度総会

読売新聞東京本社 よみうり大手町ホール

2月21日

松矢国憲

上越市美術資料収集委員会 小林古径記念美術館

2月24日

【その他】

宮下東子・金澤健志・飯島沙耶子

NIIGATAアートリンク教育普及部会研修会

新潟市美術館 8月1日

新潟県立万代島美術館

【調 査】

展覧会関連

今井有	展覧会視察	世田谷文学館ほか	4月8日
濱田真由美	展覧会視察	テレビアホール	4月29日
濱田真由美	展覧会視察	Bunkamuraザ・ミュージアム	9月16日
澤田佳三	展覧会視察	国立科学博物館ほか	9月28～29日
松本奈穂子	作品調査	北海道立北方民族博物館	11月29～30日
濱田真由美・松本奈穂子	作品調査	亀田繊維工業協同組合、五泉ニット工業協同組合、江南区郷土資料館	12月19日
澤田佳三	展覧会視察	新潟市新津美術館	2月15日
松本奈穂子	作品調査	スロヴァキア大使館	2月21日
澤田佳三	展覧会視察	東京都美術館ほか	2月21～22日

作品・作家調査

濱田真由美	藝嘔作家調査	東京都内個人宅	4月28日
澤田佳三	萬鐵五郎作家調査	新潟県立図書館	11月25日
松本奈穂子	田畑あきら子作品調査	かんらん舎	11月28日
桐原浩	水島爾保布作家調査	新潟県立図書館	11月29～30日
松本奈穂子	田畑あきら子作品調査	かんらん舎	3月13日
濱田真由美	藝嘔作品調査	COCONOアートプレイス、福井県立美術館、福井市内個人宅	3月18～19日

【研究紀要】

新潟県立近代美術館研究紀要 第21号 2023年3月7日

澤田佳三	「萬鐵五郎の「一つの球体」—禅を視点とする解釈」
松本奈穂子	「研究ノート: ヤーコポ・デ・バルバリ 《ヴェネツィア鳥瞰図》第3版をめぐる」

【寄 稿】

澤田佳三	新潟日報「展覧会へようこそ ポストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵—武者たちの物語」 5月14日
松本奈穂子	新潟日報「展覧会へようこそ 和田誠展」 7月22日
今井有	新潟日報「展覧会へようこそ 庵野秀明展」 11月25日
濱田真由美	新潟日報「展覧会へようこそ 原田治展 「かわいい」の発見」 3月15日

当館ホームページ内寄稿記事

「学芸ノートB版」

*今年度より「B-island」から名称変更。当館ホームページ「トビックス欄」で連載。開催展や所蔵品、調査研究の成果などについて執筆。

桐原浩	①「新装開店」 7月1日
桐原浩	②「101年前の水島爾保布の仕事①—落選はしたけれど」 7月8日
桐原浩	③「101年前の水島爾保布の仕事②—「黒白曼陀羅」 8月5日
桐原浩	④「三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKAを見てドイツ表現主義を思う」 8月23日
松本奈穂子	⑤「和田誠展を振り返って」 10月4日
澤田佳三	⑥「2021年度新収蔵 野見山暁治《戻らない刻》～タイトルと絵の関係」 10月31日
澤田佳三	⑦「思い出の一冊 野見山暁治『四百字のデッサン』～歴史の証言者との出会い」 11月14日
今井有	⑧「雲の神様」島倉二千六氏の背景画」 12月1日
桐原浩	⑨「累計200万人！」 12月16日
桐原浩	⑩「水島爾保布の官展初入選(1)『たとへ審査員が誤まつて入選させたものにしろ、……』」 12月28日
桐原浩	⑪「水島爾保布の官展初入選(2)『紛れ当りに等しい怪しげな光栄を担つてゐる私が……』」 1月4日
桐原浩	⑫「水島爾保布の官展初入選(3)『ともすれば嫉妬的偏見に逸走したがるとを憎みながら、……』」 2月6日
桐原浩	⑬「水島爾保布の官展初入選(4)『審査員よりもヨリ以上の評価眼を持つてゐる執達吏に……』」 2月20日
濱田真由美	⑭「相澤コレクションの藝嘔初期作品について」 3月24日

【講演・講義等】（出前講座は除く）

新潟大学人文学部（美術史概説B）非常勤講師

澤田佳三 ①「近代日本美術史概論」 10月5日

澤田佳三 ⑥「近代洋画Ⅰ」 11月9日

澤田佳三 ⑦「近代洋画Ⅱ」 11月16日

【研 修】

今井有 「令和3、4年度新潟県中学校教育研究会指定下越地区美術教育研究発表会」 村上市立村上東中学校 11月11日

【審査等】

濱田真由美 「第38回新潟デザイン専門学校卒業制作・修了制作展 デザイン展」 審査 りゅーとびあ 4階ギャラリー 2月3日

【会議等】

桐原浩・濱田真由美

最新ソリューション紹介 新潟県立自然科学館
4月15日桐原浩 全国博物館長会議 オンライン開催（桐原館長）
7月6日澤田佳三 美術館連絡協議会総会 読売新聞東京本社 よみ
うり大手町ホール 2月21日

NIIGATAアートリンク2022連絡会議

今井有・松本奈穂子

第1回 近代美術館 5月19日

今井有・松本奈穂子

第2回 万代島美術館 10月17日

今井有・松本奈穂子

第3回 新潟市美術館 1月5日

今井有・濱田真由美・松本奈穂子

第4回 オンライン開催 3月1日

NIIGATAアートリンク2022教育普及部会

今井有 第1回 新潟市美術館 4月12日

今井有 第2回 新潟市美術館 5月31日

今井有 第3回 新潟市美術館 7月22日

今井有 第4回 新潟市新津美術館 11月22日

今井有 第5回 近代美術館 2月21日

【その他】

学校団体広報活動

桐原浩 新潟市中学校教頭会（アグリパーク）60人
4月19日今井有 阿賀野市教頭会（阿賀野市笹神支所）15人
5月10日桐原浩 村上市教頭会（村上市教育情報センター）24人
5月19日桐原浩 三条市教頭会（三条市役所栄庁舎）30人
6月8日

桐原浩・今井有・濱田真由美

NIIGATAアートリンク教育普及部会研修会
新潟市美術館 8月1日

美術品の収集

令和4年度の収集作品一覧

分 野	各 領 域 点 数	合計点数
新潟の美術	油彩画他3 水彩画1 素描5 デザイン1	10
日本の美術	資料1	1
世界の美術	素描（分類替え）4	4
総合計	油彩画他3 素描9 水彩1 資料1 デザイン1	15

●各作品データの記載順序は、下記の通り。

作者名（和文・欧文）
生没年（西暦・和暦）
作品名（和文・欧文）
制作年（西暦・和暦）
技法・素材・形状（和文・欧文）
寸法
署名・落款・年紀・その他の記載事項
収蔵の年度・経緯
所蔵品番号

●寸法については、特に但し書きのない限り下記の通りに記載した。

平面作品…画面の縦×横（cm）
（版画の場合はイメージサイズ、屏風の場合は例外を除き一隻の寸法）
立体作品…高さ×幅×奥行（cm）

新潟の美術



油彩画他
井上愛也 INOUE, Aiya
1916～1947（大正5～昭和22）

現実の具体
Real Concreteness
1936年（昭和11）
油彩、キャンバス oil on canvas
額装
80.3×116.7
2022年度（令和4）井上久子氏寄贈
OP0624



油彩画他
田畑あきら子 TAHATA, Akirako
1940～1969（昭和15～昭和44）

コンポジション
Composition
1963年（昭和38）
油彩、キャンバス oil on canvas
額装
134.0×163.0
2022年度（令和4）田畑護人氏寄贈
OP0622



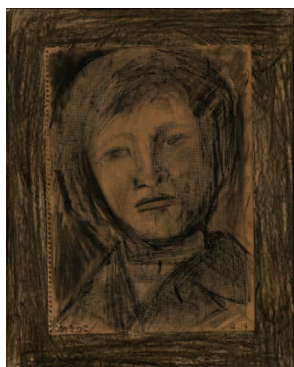
油彩画他
田畑あきら子 TAHATA, Akirako
1940～1969（昭和15～昭和44）

作品
Work
1968年（昭和43）
油彩、キャンバス oil on canvas
額装
145.0×112.0
2022年度（令和4）田畑護人氏寄贈
OP0623



水彩
田中（脇屋）元吉 TANAKA (WAKIYA), Motokichi
1860～1936（万延元～昭和11）

題不詳
Title Unknown
1888年（明治21）
水彩、紙 watercolor, paper
額装
38.7×51.8
（右下）卓峯脇屋本吉 明治廿一稔
2022年度（令和4）荒井東一郎氏寄贈
WC0267



素描
田畑あきら子 TAHATA, Akirako
1940～1969（昭和15～昭和44）

自画像
Selfportrait
1958年（昭和33）頃
木炭、紙 pencil, paper
額装
47.5×39.0
（左下）あきらこ
（右下）2.14
2022年度（令和4）田畑護人氏寄贈
DR0771



素描
田畑あきら子 TAHATA, Akirako
1940～1969（昭和15～昭和44）

題不詳
Title Unknown
1966年（昭和41）頃
水彩、インク、コラージュ、和紙
watercolor, ink, collage, paper
額装
95.0×62.0
2022年度（令和4）田畑護人氏寄贈
DR0772



素描
田畑あきら子 TAHATA, Akirako
1940～1969（昭和15～昭和44）

題不詳
Title Unknown
1966年（昭和41）頃
水彩、パステル、セロハンテープ、和紙
watercolor, pastel, tape, paper
額装
95.0×62.0
2022年度（令和4）田畑護人氏寄贈
DR0773



素描
田畑あきら子 TAHATA, Akirako
1940～1969（昭和15～昭和44）

桃山
Momoyama
1966年（昭和41）頃
水彩、クレヨン、和紙 watercolor,
crayon, paper
軸装
87.8×57.0
2022年度（令和4）田畑護人氏寄贈
DR0774



素描
田畑あきら子 TAHATA, Akirako
1940～1969（昭和15～昭和44）

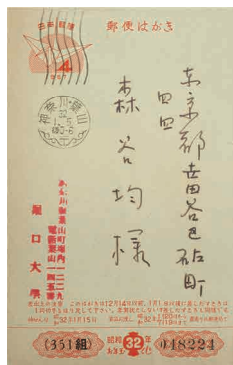
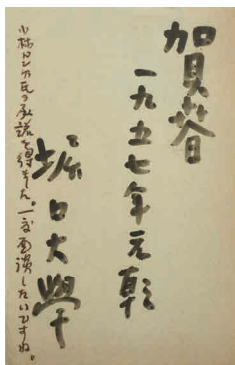
題不詳
Title Unknown
制作年不明
水彩、インク、葉、紐、紙
watercolor, ink, leaf, string, paper
額装
56.5×44.0
2022年度（令和4）田畑護人氏寄贈
DR0775



デザイン
亀倉雄策 KAMEKURA, Yusaku
1915～1997（大正4～平成9）

東京オリンピックシンボルマーク 原稿
*Art work of Symbol Mark
for the 18th Olympic Games*
1960年（昭和35）
水彩、鉛筆、紙 watercolor, pencil, paper
まくり
42.6×27.3
2022年度（令和4）上原昌氏寄贈
GD0939

日本の美術



資料
堀口大學 Horiguchi, Daigaku
1892~1981 (明治25~昭和56)

森谷均宛て年賀状
New Year's Card to Hitoshi Moriya
1957年 (昭和32)
インク、はがき ink, postcard
13.9×8.9
裏面・中央に「一九五七年元朝」、左下に「堀口大學」
宛名面に昭和32年1月5日の消印
2022年度 (令和4) 山本善一郎氏寄贈
MA0388

世界の美術



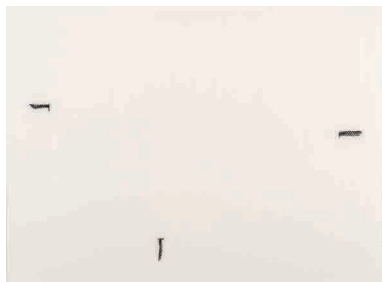
素描
李禹煥 LEE, Ufan
1936~

コレスポンドダンス
Correspondance
1993年 (平成5)
コンテ、紙 conte, paper
額装
113.5×83.0
2022年度 (令和4) 分類替え
DR0776



素描
李禹煥 LEE, Ufan
1936~

コレスポンドダンス
Correspondance
1993年 (平成5)
コンテ、紙 conte, paper
額装
113.5×83.0
2022年度 (令和4) 分類替え
DR0777



素描
李禹煥 LEE, Ufan
1936~

コレスポンドダンス
Correspondance
1993年 (平成5)
コンテ、紙 conte, paper
額装
83.0×113.5
2022年度 (令和4) 分類替え
DR0778



素描
李禹煥 LEE, Ufan
1936~

コレスポンドダンス
Correspondance
1993年 (平成5)
コンテ、紙 conte, paper
額装
83.0×113.5
2022年度 (令和4) 分類替え
DR0779

美術品の修復

令和4年度、作品の修復は行わなかった。

美術品の燻蒸

令和4年度、作品の燻蒸作業は行わなかった。

美術品の貸出

令和4年度 作品貸出（近代美術館所管作品）

展覧会名	貸出先（住所）	会 期	作家名	作 品 名
没後50年 鎗木清方展	京都国立近代美術館	令和4年5月27日～7月10日	鎗木清方	春の夜のうらみ
			鎗木清方	桜姫
開館40周年記念 宇田荻邨展	三重県立美術館	令和4年4月23日～6月19日	宇田荻邨	鷹ヶ峰
師弟の共演 ～石川ゆかりの作家と巨匠たち～	石川県立美術館	令和4年4月24日～5月22日	安井曾太郎	読書
芸術家たちの住むところ	うらわ美術館	令和4年4月23日～8月28日	相馬其一	フランス郊外
憧憬の地 ブルターニュ ーモネ、ゴッガン、黒田清輝らが見た異郷	国立西洋美術館	令和5年3月18日～ 令和5年6月11日	エミール・ベルナール	青い肩かけのブルターニュ婦人
			エミール・ベルナール	サン・ブリアクの収穫
			エミール・ベルナール	レゼビアン・サン・ブリアクの小湾
			エミール・ベルナール	ラヴァン川の大きな赤い帆
			アンリ・リヴィエール	「時の仙境シリーズ」満月
			アンリ・リヴィエール	「時の仙境シリーズ」薄暮



管 理 ・ 運 営



新潟県立近代美術館

コレクション展観覧者数

期 間		第1期	第2期	第3期	第4期	合 計 (年間292日)
		4/1～6/19 (72日間)	6/28～9/25 (78日間)	10/4～1/9 (78日間) ※実質72日間	1/17～3/31 (64日間)	
個 人	一 般	1,280	1,731	1,435	727	5,173
	大学・高校生	81	245	93	106	525
	小 計	1,361	1,976	1,528	833	5,698
団 体	一 般	93	23	69	0	185
	大学・高校生	0	0	0	0	0
	小 計	93	23	69	0	185
招 待		590	1,020	520	56	2,186
無 料		354	1,065	545	175	2,139
免 除		677	542	660	69	1,948
合 計		3,075	4,626	3,322	1,133	12,156

* 1/4～1/9は空調設備故障のため臨時休館。

* 中学生以下は無料に含む。

* 無料には友の会会員を含む。

企画展観覧者数

企画展名 期 間 区 分		平等院鳳凰堂と浄土院展 4/23～6/5 (41日間)	三沢厚彦展 7/16～9/25 (62日間)	ダリ版画展 10/8～12/4 (50日間)	合 計
個 人	一 般	11,435	8,039	8,045	27,519
	大学・高校生	283	604	574	1,461
	小 計	11,718	8,643	8,619	28,980
団 体	一 般	417	39	112	568
	大学・高校生	15	30	261	306
	小 計	432	69	373	874
前 売		2,368	688	2,062	5,118
招 待		1,619	1,936	1,401	4,956
無 料		777	3,681	1,197	5,655
免 除		943	680	860	2,483
合 計		17,857	15,697	14,512	48,066

企 画 展 名	平等院鳳凰堂と浄土院展	三沢厚彦展	ダリ版画展	合 計
図録販売数(冊)	433	531	520	1,484
音声ガイド使用数(台)	2,917			2,917

共催展

展 覧 会 名	会 期	日 数	観覧者数
第76回 新潟県美術展覧会「長岡展」	6/15～6/19	5	3,108
第25回 長岡市中学校美術部作品展	10/8～10/9	2	595
第25回 友の会作品展	11/8～11/13	6	242
第24回亀倉雄策賞受賞記念 大貫卓也展・JAGDA新人賞展2022	12/11～12/18	7	372
第53回 新潟県ジュニア美術展覧会「長岡展」	12/17～12/25	8	1,632
2022年度 長岡造形大学大学院 造形研究科 博士(後期)課程修了作品展	2/9～2/19	10	386
計		38	6,335

総観覧者数

	コレクション展	企 画 展	共 催 展	合 計
観覧者数	12,156	48,066	6,335	66,557

新潟県立万代島美術館

企画展観覧者数

展覧会名		サンリオ展 ～ニッポンのカワイイ文化60年史～	THE HEROES 刀剣×浮世絵 －武者たちの物語	和田誠展	庵野秀明展	原田治展 「かわいい」の発見	合 計
期 間		4/1～4/10 (10日間)	4/23～6/19 (54日間)	7/2～8/28 (54日間)	9/23～1/9 (92日間)	1/28～3/31 (55日間)	
個人	一 般	5,335	10,942	10,498	18,715	8,357	53,847
	大学・高校生	679	650	613	2,226	2,037	6,205
	小 計	6,014	11,592	11,111	20,941	10,394	60,052
団体	一 般	0	29	13	47	6	95
	大学・高校生	10	13	44	384	36	487
	小 計	10	42	57	431	42	582
前売(一般のみ)		967	2,956	4,186	3,325	2,176	13,610
招 待		564	1,674	1,788	1,928	780	6,734
無 料		3,053	1,060	1,482	4,017	1,263	10,875
免 除		384	1,432	1,121	2,219	851	6,007
合 計		10,992	18,756	19,745	32,861	15,506	97,860

*中学生以下は無料に含む。

講堂・ギャラリーの貸出

県民の文化活動の促進に資するため、新潟県立近代美術館講堂及びギャラリー使用要項に則り、講堂は1日につき27,600円、ギャラリーは1日につき18,000円、講座室は1日につき4,300円で貸し出した。

講堂使用状況

使用日	日数	行事名	内容	利用者人数
4/3	1日間	おさらい会	ピアノ発表会	62
4/10	半日間	エリーゼの会・ピアノ発表会	ピアノ発表会	70
5/1	1日間	翼の会 発表会	ピアノ発表会	85
6/19	1日間	ピアノの集い Vol.20	ピアノ発表会	60
7/18	1日間	ピアノ発表会	生徒のピアノ演奏等	45
8/20	半日間	佐々木音楽教室 ヴァイオリン・ピアノ発表会	ヴァイオリン・ピアノ発表会	49
9/17	1日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	80
9/25	半日間	ピアノ発表会	ピアノ ソロ、連弾の発表会	42
10/9	半日間	カワイドルチェの会 ピアノ発表会	ピアノ発表会	80
10/10	半日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	56
10/16	1日間	新潟県競書大会	表彰式	150
10/23	半日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	60
11/6	半日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	70
11/27	半日間	細木音楽教室練習会	練習会	35
12/4	1日間	第54回新潟県写真サロン	表彰式	37
12/18	半日間	クリスマスコンサート	ピアノ発表会	44
1/19	半日間	中山間地域活性化研修会	講話・事例紹介	117
2/11～2/12	1.5日間	(公財)長岡市芸術文化振興財団職員採用試験	筆記試験、面接試験	24
2/26	1日間	新潟県書き初め大会・新潟県硬筆書き初め大会	特別賞受賞者の表彰式	216
3/21	半日間	ムジカ・あんとにあーの発表会	ピアノ発表会	30
3/26	1日間	ピアノ発表会	ピアノ発表会	100

以上 21件 (延べ日数…16日)

合計人数 1,512

ギャラリー使用状況

期間	日数	行事名	内容	利用者人数
5/18～5/22	5日間	桜塘書道教室作品展	作品の展示	415
10/15～10/16	2日間	新潟県競書大会	優秀作品の展示	168
11/29～12/4	6日間	第54回新潟県写真サロン	写真展	428
2/26	1日間	新潟県書き初め大会・新潟県硬筆書き初め大会	特別賞受賞作品の展示	564

以上 4件 (延べ日数…14日)

合計人数 1,575

講座室使用状況

期間	日数	行事名	内容	利用者人数
4/21	半日間	音声ガイドスタッフ面接会	面接と研修	10
5/24	半日間	フラワーサークル	フラワーアレンジ	6
6/7	半日間	フラワーサークル	フラワーアレンジ	11
6/8	1日間	(有)ル・クール 会議	会議	14
6/14	半日間	フラワーサークル	フラワーアレンジ	5
6/28	半日間	フラワーサークル	フラワーアレンジ	6
7/5	1日間	(有)ル・クール 会議	会議	14
7/16	半日間	美術館クイズリハーサル	美術館でのクイズ大会開催のリハーサル	12
10/26	1日間	安全・衛生管理者、推進委員連絡会議	会議	12
2/11～2/12	1.5日間	(公財)長岡市芸術文化振興財団職員採用試験	筆記試験、面接試験	24

以上 10件 (延べ日数…7.5日)

合計人数 114

新潟県立近代美術館

※複数回答が可能な項目を含め、アンケート回収数に対する比率とした。

企画展

展 覧 会 名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
平等院鳳凰堂と浄土院展	4月23日～6月5日	17,857	123	0.69%
三沢厚彦展 ANIMALS IN NAGAOKA	7月16日～9月25日	15,697	65	0.41%
ダリ版画展	10月8日～12月4日	14,512	96	0.66%
合 計		48,066	284	0.59%

I 企画展の感想

展 覧 会 名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答
平等院鳳凰堂と浄土院展	71.6%	20.3%	8.1%	0.0%	0.0%
三沢厚彦展 ANIMALS IN NAGAOKA	89.2%	9.2%	0.0%	0.0%	1.6%
ダリ版画展	72.9%	26.0%	0.0%	0.0%	1.1%
平 均	77.9%	18.5%	2.7%	0.0%	0.9%

II 来館のきっかけ（複数回答可）

展 覧 会 名	新 聞	テレビ	ラジオ	街頭 ポスター	雑 誌	インター ネット	友の会 だより	知 人	その他	無回答
平等院鳳凰堂と浄土院展	17.9%	45.5%	3.3%	41.5%	3.3%	18.7%	2.4%	9.7%	7.3%	4.1%
三沢厚彦展 ANIMALS IN NAGAOKA	3.1%	27.7%	0.0%	41.5%	3.1%	29.2%	0.0%	20.0%	7.7%	1.5%
ダリ版画展	11.5%	42.7%	3.1%	37.5%	1.0%	21.9%	0.0%	8.3%	12.5%	2.1%
平 均	10.8%	38.6%	2.1%	40.2%	2.5%	23.3%	0.8%	12.7%	9.2%	2.6%

III 当館への来館回数

展 覧 会 名	初めて	2回 以上	5回 以上	10回 以上	無回答
平等院鳳凰堂と浄土院展	14.6%	30.1%	24.4%	27.6%	3.3%
三沢厚彦展 ANIMALS IN NAGAOKA	36.9%	27.7%	10.8%	20.0%	4.6%
ダリ版画展	19.8%	33.3%	18.8%	26.0%	2.1%
平 均	23.8%	30.4%	18.0%	24.5%	3.3%

（お住まい）

展 覧 会 名	長岡市	新潟市	県内	県 外	無回答
平等院鳳凰堂と浄土院展	31.7%	39.8%	25.2%	3.3%	0.0%
三沢厚彦展 ANIMALS IN NAGAOKA	32.3%	27.7%	15.4%	23.1%	1.5%
ダリ版画展	30.2%	31.3%	33.3%	3.1%	2.1%
平 均	31.4%	32.9%	24.6%	9.8%	1.2%

（年 代）

展 覧 会 名	小・中 学生	高校・ 大学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才 以上	無回答
平等院鳳凰堂と浄土院展	2.5%	6.5%	0.0%	5.7%	6.5%	12.2%	21.1%	25.2%	12.2%	8.1%
三沢厚彦展 ANIMALS IN NAGAOKA	29.2%	1.5%	1.5%	10.8%	9.3%	16.9%	16.9%	9.3%	1.5%	3.1%
ダリ版画展	7.3%	9.4%	3.1%	14.6%	13.5%	17.7%	11.5%	5.2%	4.2%	13.5%
平 均	13.0%	5.8%	1.5%	10.4%	9.8%	15.6%	16.5%	13.2%	6.0%	8.2%

コレクション展

展覧会名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
第1期	3月29日～6月19日	3,075	26	0.85%
第2期	6月28日～9月25日	4,626	75	1.62%
第3期	10月4日～1月9日	3,322	37	1.11%
第4期	1月17日～4月2日	1,133	21	1.85%
合 計		12,156	159	1.31%

※令和3年度分(3月29日～3月31日)も含めて集計した。

※令和5年度分(4月1日～4月2日)も含めて集計した。

I コレクション展の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答
第1期	53.8%	23.1%	0.0%	7.7%	15.4%
第2期	77.3%	16.0%	4.0%	0.0%	2.7%
第3期	70.3%	24.3%	0.0%	0.0%	5.4%
第4期	90.4%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%
平 均	73.0%	17.1%	2.2%	1.9%	5.9%

II 来館のきっかけ(複数回答可)

展覧会名	新 聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑 誌	HP, インターネット	友の会だより	知 人	その他	無回答
第1期	11.5%	7.7%	0.0%	26.9%	0.0%	23.0%	0.0%	15.4%	50.0%	7.7%
第2期	5.3%	12.0%	0.0%	32.0%	2.7%	21.3%	5.3%	16.0%	18.7%	4.0%
第3期	2.7%	16.2%	0.0%	48.7%	2.7%	32.4%	2.7%	5.4%	21.6%	10.8%
第4期	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	52.3%	0.0%	14.3%	38.1%	4.8%
平 均	4.9%	9.0%	0.0%	29.3%	1.4%	32.3%	2.0%	12.8%	32.1%	6.8%

III 当館への来館回数

展覧会名	初めて	2回以上	5回以上	10回以上	無回答
第1期	34.6%	15.4%	26.9%	19.2%	3.9%
第2期	36.0%	17.4%	13.3%	32.0%	1.3%
第3期	37.9%	29.7%	10.8%	18.9%	2.7%
第4期	52.4%	9.5%	0.0%	38.1%	0.0%
平 均	40.2%	18.0%	12.8%	27.1%	2.0%

(お住まい)

展覧会名	長岡市	新潟市	県 内	県 外	無回答
第1期	23.1%	42.3%	15.4%	15.4%	3.8%
第2期	41.3%	26.6%	14.7%	14.7%	2.7%
第3期	35.2%	24.3%	24.3%	16.2%	0.0%
第4期	9.5%	33.3%	28.6%	28.6%	0.0%
平 均	27.3%	31.6%	20.8%	18.7%	1.6%

(年 代)

展覧会名	小・中学生	高校・大学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答
第1期	11.6%	7.6%	0.0%	3.8%	7.7%	3.8%	15.4%	30.8%	0.0%	19.3%
第2期	16.0%	17.3%	1.3%	5.3%	6.7%	12.0%	10.7%	18.7%	8.0%	4.0%
第3期	21.7%	8.1%	0.0%	8.1%	16.2%	5.4%	13.5%	16.2%	8.1%	2.7%
第4期	0.0%	38.1%	0.0%	4.8%	4.8%	9.5%	19.0%	14.3%	9.5%	0.0%
平 均	12.3%	17.8%	0.3%	5.5%	8.9%	7.7%	14.7%	20.0%	6.4%	6.5%

新潟県立万代島美術館

※複数回答が可能な項目を含め、アンケート回収数に対する比率とした。

展 覧 会 名	会 期	入館者数	アンケート 回収数	アンケート 回収率
サンリオ展 日本のカワイイ文化60年史 永遠の「カワイイ」はここからはじまった	(1月20日)4月1日～4月10日	10,992	92	0.84%
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 一武者たちの物語	4月23日～ 6月19日	18,756	425	2.27%
和田誠展	7月2日～ 8月28日	19,745	362	1.83%
庵野秀明展	9月23日～ 1月9日	32,861	931	2.83%
原田治展「かわいい」の発見	令和5年1月28日～3月31日(5月7日)	15,506	569	3.67%
合 計		97,860	2,379	

※全体会期のうち、
令和4年度の数を出

※全体会期のうち、
令和4年度の数を出

展示会の感想

展 覧 会 名	良かった	まあまあ 良かった	やや不満	不満	無回答
サンリオ展 日本のカワイイ文化60年史 永遠の「カワイイ」はここからはじまった	85.9%	8.7%	0.0%	3.3%	2.2%
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 一武者たちの物語	78.1%	13.6%	4.0%	1.2%	3.1%
和田誠展	88.1%	7.7%	1.4%	0.0%	2.8%
庵野秀明展	90.1%	7.9%	1.1%	0.2%	0.6%
原田治展「かわいい」の発見	87.2%	9.7%	1.6%	0.4%	1.2%
平 均	85.9%	9.5%	1.6%	1.0%	2.0%

作品や作家についての解説

展 覧 会 名	適度な量 である	量が 少ない	量が多い	無回答
サンリオ展 日本のカワイイ文化60年史 永遠の「カワイイ」はここからはじまった	78.3%	4.3%	7.6%	9.8%
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 一武者たちの物語	75.3%	4.7%	11.3%	8.7%
和田誠展	71.8%	2.8%	19.3%	6.1%
庵野秀明展	82.7%	6.6%	6.9%	3.9%
原田治展「かわいい」の発見	84.9%	11.8%	1.4%	1.9%
平 均	78.6%	6.0%	9.3%	6.1%

展 覧 会 名	わかり やすい	難しい	簡単 すぎる	無回答
サンリオ展 日本のカワイイ文化60年史 永遠の「カワイイ」はここからはじまった	82.6%	2.2%	2.2%	13.0%
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 一武者たちの物語	66.4%	13.6%	1.6%	18.4%
和田誠展	82.0%	2.2%	1.1%	14.6%
庵野秀明展	80.3%	5.7%	1.0%	13.0%
原田治展「かわいい」の発見	85.1%	2.5%	0.7%	11.8%
平 均	79.3%	5.2%	1.3%	14.2%

展示会についてどのようにお知りになりましたか（複数回答可）

展 覧 会 名	ポスター・ チラシ	新聞	テレビ	ラジオ	雑誌・ フリーペーパー	知人	友の会 便り	web	その他	無回答
サンリオ展 日本のカワイイ文化60年史 永遠の「カワイイ」はここからはじまった	42.4%	9.8%	35.9%	1.1%	1.1%	13.0%	0.0%	20.7%	4.3%	6.5%
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 一武者たちの物語	47.1%	24.7%	38.1%	2.6%	3.1%	8.5%	0.7%	17.4%	5.4%	5.6%
和田誠展	48.6%	30.7%	23.2%	1.7%	4.4%	15.7%	0.6%	17.4%	6.4%	1.1%
庵野秀明展	43.9%	4.9%	44.1%	2.5%	4.0%	15.8%	0.4%	30.8%	4.1%	1.1%
原田治展「かわいい」の発見	44.8%	3.7%	29.9%	0.7%	2.6%	16.9%	0.9%	26.4%	7.0%	1.1%
平 均	45.4%	14.8%	34.2%	1.7%	3.0%	14.0%	0.5%	22.5%	5.4%	3.1%

お客様ご自身について

(1) 年代

展 覧 会 名	中学生 以下	高校生	大学生	左記以外 の10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	(無回答)
サンリオ展 日本のカワイイ文化60年史 永遠の「カワイイ」はここからはじまった	26.1%	0.0%	5.4%	0.0%	14.1%	10.9%	16.3%	14.1%	4.3%	2.2%	6.5%
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 一武者たちの物語	5.9%	2.6%	2.8%	0.5%	10.1%	12.0%	14.8%	16.0%	11.1%	13.4%	10.8%
和田誠展	9.9%	1.9%	3.0%	0.6%	7.5%	7.2%	11.0%	21.8%	17.4%	11.3%	8.3%
庵野秀明展	9.5%	4.2%	5.7%	2.1%	11.9%	19.1%	19.7%	16.6%	4.1%	0.4%	6.7%
原田治展「かわいい」の発見	7.7%	4.0%	11.1%	0.5%	23.9%	11.4%	10.5%	16.5%	6.9%	1.8%	5.6%
平 均	11.8%	2.6%	5.6%	0.7%	13.5%	12.1%	14.5%	17.0%	8.7%	5.8%	7.6%

(2) お住まい

展 覧 会 名	新潟市内	新潟市以外 の下越地区	佐渡地区	中越地区	上越地区	県外・ 海外	(無回答)
サンリオ展 日本のカワイイ文化60年史 永遠の「カワイイ」はここからはじまった	44.6%	14.1%	0.0%	18.5%	5.4%	6.5%	10.9%
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 一武者たちの物語	41.9%	11.1%	1.6%	15.3%	3.3%	9.9%	16.9%
和田誠展	42.8%	13.8%	0.0%	15.2%	2.8%	13.3%	12.2%
庵野秀明展	35.3%	10.3%	1.1%	19.4%	4.3%	18.0%	11.5%
原田治展「かわいい」の発見	41.1%	9.1%	0.5%	16.0%	1.9%	19.3%	12.0%
平 均	40.3%	11.1%	0.8%	16.5%	3.1%	15.1%	13.1%

(3) 当館へは主としてどんな交通手段でおいでになりますか（複数回答可）

展 覧 会 名	自家用車	徒歩・ 自転車	バス	タクシー	電車	貸切バス	その他	(無回答)
サンリオ展 日本のカワイイ文化60年史 永遠の「カワイイ」はここからはじまった	63.0%	18.5%	7.6%	2.2%	9.8%	0.0%	0.0%	6.5%
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 一武者たちの物語	64.5%	11.8%	16.0%	0.9%	7.3%	0.5%	2.6%	4.2%
和田誠展	66.9%	11.9%	15.7%	2.8%	8.6%	0.0%	1.9%	1.4%
庵野秀明展	70.4%	11.8%	12.0%	1.0%	10.2%	0.2%	2.7%	0.8%
原田治展「かわいい」の発見	68.5%	12.7%	14.4%	1.2%	7.2%	0.5%	2.6%	1.2%
平 均	66.7%	13.3%	13.2%	1.6%	8.6%	0.2%	2.0%	2.8%

(4) 万代島美術館に来たのは何回目ですか

展 覧 会 名	初めて	2～4回目	5回以上	回答なし
サンリオ展 日本のカワイイ文化60年史 永遠の「カワイイ」はここからはじまった	31.5%	35.9%	26.1%	6.5%
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 一武者たちの物語	30.6%	32.2%	33.4%	3.8%
和田誠展	27.1%	29.6%	41.2%	2.2%
庵野秀明展	46.3%	31.4%	21.2%	1.2%
原田治展「かわいい」の発見	38.7%	32.7%	28.1%	0.5%
平 均	34.8%	32.3%	30.0%	2.8%

(5) 当館に限らず年に何回展覧会に来ますか

展 覧 会 名	1回以下	2～4回目	5回以上	回答なし
サンリオ展 日本のカワイイ文化60年史 永遠の「カワイイ」はここからはじまった	38.0%	42.4%	12.0%	7.6%
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 一武者たちの物語	19.1%	50.4%	26.1%	4.5%
和田誠展	15.5%	51.4%	30.9%	2.2%
庵野秀明展	41.2%	43.8%	13.7%	1.2%
原田治展「かわいい」の発見	33.0%	51.8%	14.1%	1.1%
平 均	29.4%	48.0%	19.4%	3.3%

(6) どんなジャンルの展覧会を望みますか（複数回答可）

展 覧 会 名	日本画	洋画	西洋 洋画	彫刻	版画	工芸	書	写真	デザイン	現代 美術	県人 作家	アジア の美術	絵本	アニメーション マンガ	その他	無回答
サンリオ展 日本のカワイイ文化60年史 永遠の「カワイイ」はここからはじまった	17.4%	18.5%	18.5%	10.9%	6.5%	12.0%	4.3%	14.1%	27.2%	12.0%	3.3%	7.6%	32.6%	60.9%	8.7%	8.7%
ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 一武者たちの物語	52.9%	28.2%	40.7%	18.1%	14.4%	21.2%	12.7%	20.5%	16.7%	13.6%	4.0%	7.1%	19.1%	30.1%	18.8%	6.1%
和田誠展	30.9%	30.9%	42.0%	13.3%	15.7%	17.1%	8.3%	34.0%	37.3%	24.0%	4.7%	5.8%	41.2%	30.9%	4.7%	2.8%
庵野秀明展	19.0%	16.6%	22.4%	9.2%	5.2%	9.0%	3.9%	21.6%	23.6%	17.9%	2.8%	4.6%	19.7%	79.6%	6.4%	1.7%
原田治展「かわいい」の発見	17.8%	16.5%	27.8%	7.6%	8.1%	9.8%	4.4%	26.9%	43.8%	20.2%	2.5%	4.6%	39.4%	44.5%	4.6%	1.6%
平 均	27.6%	22.2%	30.3%	11.8%	10.0%	13.8%	6.7%	23.4%	29.7%	17.6%	3.4%	5.9%	30.4%	49.2%	8.6%	4.2%

組織及び業務

新潟県立美術館の業務【令和5年4月現在】

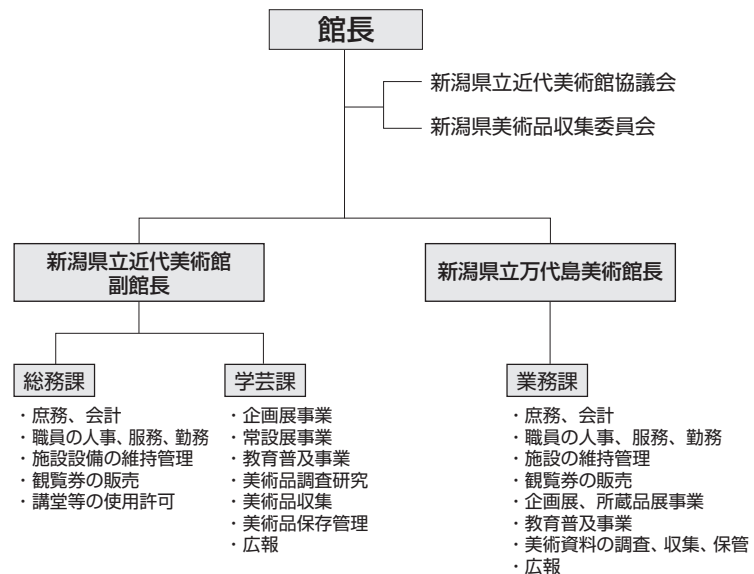
■新潟県立近代美術館条例（平成5年3月31日 新潟県条例第24号）（抜粋）

（設置）第1条 県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、新潟県立近代美術館（以下「美術館」という。）を長岡市千秋3丁目に設置する。

2 前項に規定する美術館には、知事の定めるところにより、分館として新潟県立万代島美術館（以下「万代島美術館」という。）を設置する。

（事業）第2条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品、美術に関する資料等（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術品等の利用に関し必要な説明、助言、指導等に関すること。
- (3) 美術品等の調査及び研究に関すること。
- (4) 美術品等に関する講演会、講習会、映画会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の目的を達成するために必要な事業



職員

新潟県立近代美術館

	館長	遠藤 聡
	副館長	柴田 豊
●総務課	総務課長	中村 広
	主査	五十嵐かな子
	主査	稲田 道子
	会計年度任用職員	藤井 幸子
	会計年度任用職員	太田 昌子
●学芸課	学芸課長	藤田 裕彦
	専門学芸員	松矢 国憲
	専門学芸員	宮下 東子
	専門学芸員	平石 昌子
	副参事	金澤 健志
	主任学芸員	長嶋 圭哉
	主任学芸員	飯島沙耶子
	主任学芸員	伊澤 朋美
	会計年度任用職員	入沢さおり
	会計年度任用職員	小黒 麻理
	会計年度任用職員	南 景子
	会計年度任用職員	磯部 玲子
	会計年度任用職員	丸山 典子
	会計年度任用職員	和田かおる
	会計年度任用職員	山口 裕子

新潟県立万代島美術館

	館長	桐原 浩
●業務課	業務課長	桐原 浩
	課長代理	榎 真司
	専門学芸員	澤田 佳三
	専門学芸員	今井 有
	主査	井川由紀子
	主任学芸員	濱田真由美
	主任学芸員	松本奈穂子
	会計年度任用職員	中嶋 美幸
	会計年度任用職員	吉澤 碧
	会計年度任用職員	堀越安紀子（令和5年1月まで）
	会計年度任用職員	上田 志乃
	会計年度任用職員	国兼 隆子
	会計年度任用職員	田村真珠美（令和4年9月から）

新潟県立近代美術館

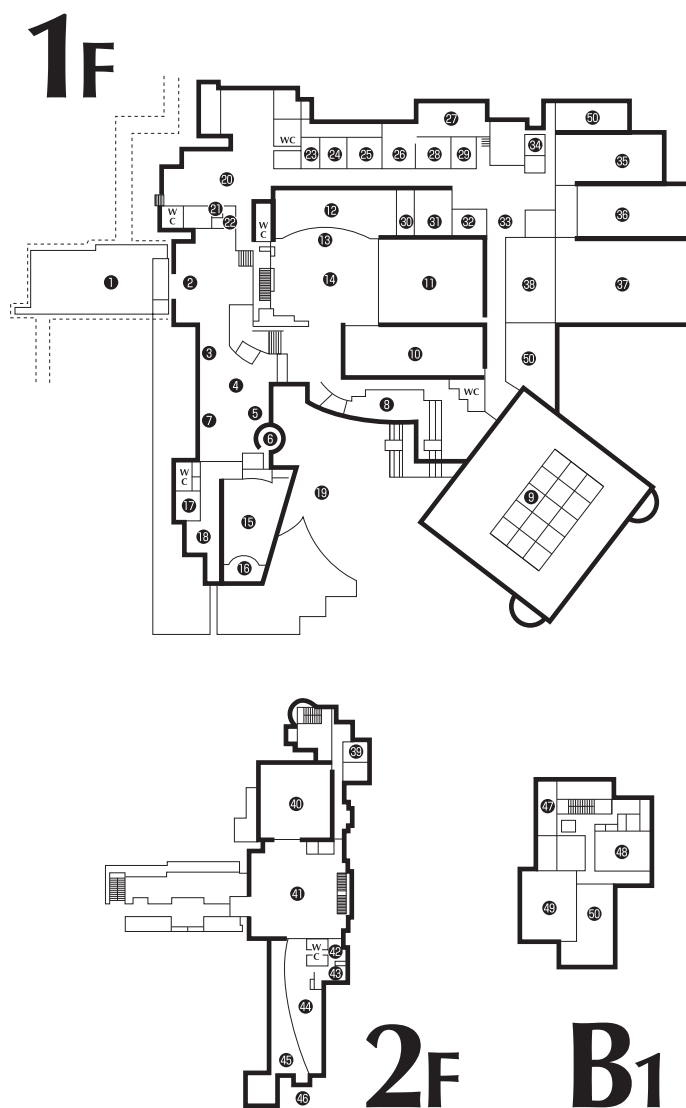
【施設概要】

〈名 称〉新潟県立近代美術館
 〈所 在 地〉新潟県長岡市千秋3丁目278-14
 〈設 計〉(株)日本設計
 造園設計 (株)日本設計・(株)日本造園
 設計期間 1990年9月～1991年2月
 〈監 理〉新潟県土木部都市整備局営繕課
 (株)日本設計
 〈施 工〉大成・吉原・小杉特定共同企業体
 電気工事 六興・大原・長岡特定共同企業体
 空調工事 三建・日立・越後特定共同企業体
 衛生工事 ナカムラ・北陸特定共同企業体
 ガス工事 北陸瓦斯(株)
 昇降機工事 日本オーチスエレベーター
 備品工事 (株)高島屋
 植栽工事 北陸緑化、ニューガーデン、
 長生園、宮川苑、吉茂造園、
 鈴木造園、新潟造園土木、
 長岡ガーデン、川崎農園、
 グリーン産業、松本造園
 工事期間 1991年7月29日～1993年5月31日
 〈総工事費〉 9,859,851千円
 支出内訳
 建築工事費 7,442,809千円
 造園工事費 1,216,187千円
 電気工事費 79,654千円
 展示工事費 1,121,201千円
 〈改修施工〉
 建築工事 (株)大石組
 電気工事 大原電業(株)
 空調工事 (株)長岡総合設備
 〈改修施工工事費〉
 928,909,045千円
 改修期間 2018年7月2日～2019年11月30日
 〈主体構造〉 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、
 プレストレストコンクリート梁
 基礎・地業 PHC杭
 〈規 模〉 地下1階、地上2階、塔屋1階
 軒高 13.0m
 最高高 19.250m
 主なスパン 3.9m
 階高 5.7m
 〈面 積〉 敷地面積 33,800㎡
 建築面積 9,133㎡
 延床面積 10,723㎡
 地下—機械室・電気室 716㎡
 1階—展示室・収蔵庫・講堂・
 事務室・他 8,873㎡
 2階—レストラン・県民ギャラリー
 1,064㎡
 屋階—ELV機械室
 地域地区 市街化調整区域
 〈面積配分〉
 導入部門 1,356㎡
 (エントランスホール636㎡、ロビー 576㎡、ほか)
 展示部門 2,674㎡
 (常設展示室391㎡+472㎡+265㎡、
 企画展示室1,332㎡ ほか)
 教育普及部門 384㎡
 (講堂234㎡、講座室53㎡、ハイビジョン67㎡、ほか)
 収蔵部門 1,746㎡
 (収蔵庫第一292㎡、第二575㎡、
 第三267㎡、作業室49㎡、ほか)
 調査研究部門 272㎡
 (研究室83㎡、資料保管室61㎡、書庫128㎡)
 管理事務部門 416㎡
 (事務室133㎡、会議室70㎡、館長室55㎡、ほか)

設備・機械 1,017㎡
 (熱源機械室、電気室、空調機械室、ほか)
 他共用部門 2,858㎡
 (廊下、階段、ほか)
 〈展示室の環境〉
 室の明るさ 70～150lux+局部照明
 (メンテナンス時：200lux)
 照明方法 全体照明(ダウンライト・間接)
 スポットライトによる局部照明
 光源の種類 LED
 温度・湿度 夏季／23℃・55%
 冬季／22℃・55%
 〈主な設備〉
 空調方法 個別式(単一ダクト方式・FCU方式)
 熱源：ガス・電気
 熱源機器／ガス冷温水発生機2台
 冷房能力／237.5USRT
 暖房能力／52,300kCal/h
 冷却塔／2,810,000kCal/h
 空調機器／全空気方式 空冷ヒート
 ポンプエアコンファン
 給排水衛生 給 水／上水直結
 給 湯／中央式(ガス)、
 個別式(電気)
 給排水 排 水／屋内合流、屋外下水道放流
 BIF床上受水槽(FRP40㎡)
 排水槽／有効0.76㎡
 電 気 受 電／3相3線 50Hz 6.6kV
 660kW
 発電機／3φ3W 50Hz 6.6kV
 375kVA
 非常保安動力／300kVA
 非常保安電灯(スコット)／50kVA
 変圧器／1,400kVA7台
 防 災 消火／屋内消火栓、屋外消火栓、
 ハロゲン化物消失
 排煙／自然排煙
 屋内消火栓 粉末消火器 ハロン
 消火設備 ハロン消火器 連結散
 水設備 屋外消火栓
 昇降機 乗用ELV／750kg積
 (30m／分)1台
 人荷用ELV／3,000kg積
 (30m／分)1台
 駐車場 屋内2台、屋外165台
 〈主な外部仕上〉
 屋 根 アルミクラッド鋼板立ハゼ葺
 外 壁 四丁掛精妬器質タイル(割肌)
 二丁掛精妬器質タイル
 建 具 アルミサッシュ電解二次着色
 ステンレスサッシュH.L.仕上
 外 構 御影石ブロック+陶製ブロック舗装
 〈主な内部仕上〉
 エントランスホール
 天井／コンクリート打放し
 壁／御影石こが出し仕上
 床／御影石ジェットバーナー仕上
 展示室 天井／P.B.E.P
 壁／ガラスクロスE.P
 床／タイルカーペット
 収蔵庫 天井・壁／スプルース
 床／ナラ縁甲板張
 講 堂 天井／
 壁／四丁掛精妬器質タイル+P.B.E.P
 床／カーペット
 研究室・事務室
 天井／岩綿吸音板
 壁／ビニールクロス貼
 床／タイルカーペット

【施設の配置】

- | | |
|---------------|------------|
| ❶ キャンピー | ❷ 研究室 |
| ❷ エントランスホール | ❸ 書庫 |
| ❸ ロビー | ❹ 資料保管室 |
| ❹ ミュージアムショップ | ❺ 倉庫 |
| ❺ データベース室 | ❻ フィルム保管室 |
| ❻ ハイビジョンギャラリー | ❼ 撮影室 |
| ❼ レファレンス | ❽ 作業室 |
| ❽ 企画展示室ロビー | ❾ 荷解室 |
| ❾ 企画展示室 | ❿ 燻蒸室 |
| ❿ 展示室 1 | ⓫ 収蔵室 1 |
| ⓫ 展示室 2 | ⓬ 収蔵室 3 |
| ⓬ 展示室 3 | ⓭ 収蔵室 2 |
| ⓭ 常設展示室ロビー | ⓮ 展示備品倉庫 |
| ⓮ 中庭 | ⓯ ギャラリー控室 |
| ⓯ 講堂 | ⓰ ギャラリー |
| ⓰ ステージ | ⓱ アトリウム上部 |
| ⓱ 講座室 | ⓲ レストラン事務室 |
| ⓲ 講堂ロビー | ⓳ 厨房 |
| ⓳ 屋外展示スペース | ⓴ レストラン |
| ⓴ 事務室 | ⓵ 吹抜 |
| ⓵ 乳児室 | ⓶ テラス |
| ⓶ ロッカー室 | ⓷ ドライエリア |
| ⓷ 応接室 | ⓸ 電気室 |
| ⓸ 館長室 | ⓹ 熱源機械室 |
| ⓹ 会議室 | ⓺ 空調機械室 |



新潟県立万代島美術館

【施設概要】

〈機能別延床面積〉

	内 訳	用途等	面 積
展示室		美術品等の企画展示	1,433.09㎡
収蔵	収蔵庫	美術品等の保管	102.05㎡
130.2㎡	収蔵庫前室	収蔵庫の温室度を安定させる	28.15㎡
専用エレベーター		地下1階より美術品を搬入	27.59㎡
27.59㎡			
管理	事務室	学芸員、一般事務の執務室	72.66㎡
	資材倉庫	文書・書籍カタログ等の収納	32.75㎡
	準備室	展示作業用の作品移動ケース置場等	95.56㎡
	荷解室	美術品の開梱・点検場所	107.58㎡
	休憩室	嘱託員の休憩場所	10.04㎡
	応接室	来賓等の応接	13.99㎡
	トイレ	職員・来館者用	92.58㎡
	空調機械室	美術館専用の空調機械設置	120.15㎡
共通	ポンペ庫	ハロン消火設備用ポンペ庫(予)	28.63㎡
	ロビー	来館者の導入、休憩及びインフォメーション等	279.63㎡
	廊下等	来館者の通路、避難経路など	321.84㎡
	乳児室	乳児のために使用	6.35㎡
B1F	ロッカー・ルーム	来館者の利便のために手荷物を保管	22.62㎡
	専用エレベーター(B1F)	美術品の搬入用	26.23㎡
	専用エレベーター機械室	専用エレベーター用の機械設置	13.42㎡
164.19㎡	専用荷捌スペース	美術品の荷捌スペース	124.54㎡
合計			2,959.45㎡

〈建築概要〉

1. 全体概要

種 別／複合ビル内包型 公立美術館
所 在 地／新潟県新潟市万代島5番1号
工事期間／平成12年10月3日～平成15年3月30日
敷地面積／103,128.93㎡(万代島一団地認定敷地全体)
建築面積／6,017.37㎡
延床面積／52,585.54㎡(うち、美術館2,959.45㎡)
構造種別／鉄骨鉄筋コンクリート造
階 高／美術館フロア6.3m

2. 建築主体

設 計／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
監 理／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
施 工／鹿島・大成・福田・五洋・本間・東亜共同企業体

3. 仕上げ(美術館部分のみ)

屋 根／鉄筋コンクリート下地断熱アスファルト防水押え、
コンクリート鋼製根太組天然スレート敷
外 壁／プレキャストコンクリート下地アルミスパンドレ
ル張り、アルミカーテンウォールふっ素樹脂焼付
塗装、プレキャストコンクリートカーテンウォ
ールふっ素樹脂常乾塗装
内 装／(設備概要を参照のこと)

4. 電気設備

電力引込／3相3線6.6Kv50Hz
2回線受電、地中引込
受 変 電／1階サブ変電所、キュービクル式受変電設備
非常用電源／発電機1台、ディーゼル1000KVA、
蓄電池400AH
電話設備／電話配管(機器、配線は別)
放送設備／非常放送兼用アンプ1160W、130回線、
美術館業務用アンプ80W、5回線

5. 空調設備

熱 源／全体熱源：冷温水発生器(ガス焚)
240RT×2台
収 蔵 庫：空冷ヒートポンプ
空 調 機／コンパクトエアハン7台
単一ダクト
換 気／個別換気
給気ファン1台、排気ファン15台
制御機構／24時間中央温湿度管理システム

6. 昇降機

乗 用／ロープ式 210m/分 定員20名1,350kg
4基(うち、車椅子仕様1基)
荷 物 用／油圧式
15m/分 3,000kg 1基
テーブルリフター／
リフト 0.9m
テーブル 2.0m×2.0m 3,000kg

〈設備概要〉

1. 展示室概要

壁 仕 上／不燃プラスターボード、ガラスクロス表面仕上げ
床 仕 上／フローリング(ダグラスファー)
可 動 壁／不燃プラスターボード、ガラスクロス表面仕上げ
L4.0m×H4.5m：30枚、L2.0m×H4.5m：26
枚、L2.4m×H4.5m：4枚
固定展示ケース／2箇所
(外側)スチール製・高透過ガラススチール製・アクリル焼
付塗装、高透過ガラス・重量キャスター・アジャス
ター付、シリンダー錠付
(内側)低ホルマリン合板、クロス張り、エアタイト、寸法
D18.0m、W1.2m、H4.5m
照 明／全て美術館用UV/IRカットフィルター付
ベース照明：ハロゲンウォールウォッシャー
200W
展示照明：ローボルトハロゲン(12V50W)
ケース内照明：高効率照明器具(32W)及びロー
ボルトハロゲン(12V50W)
設定温湿度／春・夏期：23℃、60%
秋・冬期：20℃、50%
(変動率±3℃、±10%以内)

2. 収蔵庫概要

床 仕 上／フローリング

壁 仕 上／ゼオライトパネル（天井共）

内部寸法／L11.5m、W7.5m、天井H3.5m

入口寸法／H3.0m、W3.0m

収蔵庫内作品固定方法／収蔵棚

収蔵庫扉の構造及び仕様／スチール製

耐火2時間扉

照 明／高効率照明器具（32W）

美術館用UV／IRカットフィルター付

空 調／恒温恒湿パッケージ2台 単一ダクト（VAV）

設定温湿度／春・夏期：20℃、60%

秋・冬期：20℃、60%

（変動率±2℃、±5%以内）

3. 搬入口関連概要

専用搬入口寸法／H3.8m、W5.0m

高位置の接岸ドック／地上からの高さ0.7m

可動接岸ドック／0～0.9mレベルまで

油圧式リフト／最大重量3,000kg

クレート／最大重量3,000kg

搬入可能なクレーンの最大サイズ／

H3.0m、W3.0m、D3.0m

セキュリティ／画像センサー機械警備

荷解室への立入管理／カードリーダー方式電気錠

昇降機内部寸法／L3.0m、W3.0m、

天井H3.0m

4. 防災設備

消火設備／湿式スプリンクラー

展示室、準備室、荷解室及び収蔵庫はハロン消火

感知器の種類／自動煙感知

火災警報への伝達／発信機、非常電話

補助消火栓／搬入場所1基、その他4基

連結送水管／その他2基

消 火 器／搬入場所：粉末ABC

展示室：ハロンガス

その他：粉末ABC及びハロンガス

5. 防犯設備

監視設備／ITVモニター、ITVカメラ15台

（美術館14台、EV1台）

機械警備設備／画像センサー＋スピーカ

警備会社／SECOM株式会社

使用警備機の種類／画像センサー及び

水銀スイッチ

警報入電場所／館内中央監視盤及び

美術館事務室

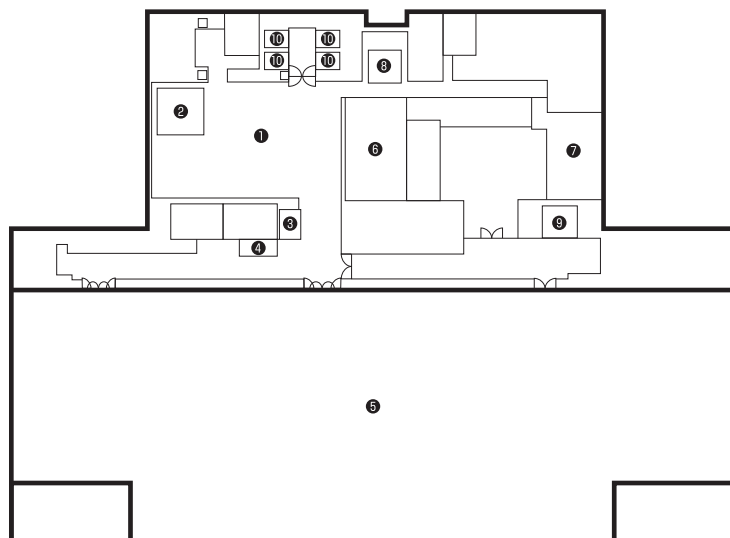
盗難防止ケースの種類／

ガラス・ケース及び壁面固定ケース全てにシ

リンダー錠付

【施設の配置】

- ① エントランスホール
- ② ミュージアムショップ
- ③ 情報コーナー
- ④ 乳児室
- ⑤ 展示室
- ⑥ 収蔵庫
- ⑦ 事務室
- ⑧ ロッカー・自販機
- ⑨ 作品専用エレベーター
- ⑩ エレベーター



新潟県立近代美術館協議会（令和3年度）

【委員】（委嘱当時）

（令和2年8月1日から令和4年7月31日まで）

●学校教育関係者

稲生 一徳（阿賀町立阿賀津川中学校校長／下越美術教育研究会（新潟県美術教育連盟下部組織）理事／新潟県中学校教育研究会美術部会全県部長）
 山下 幸治（新潟県立柏崎総合高等学校教頭／新潟県高等学校文化連盟監事）

●社会教育関係者

小田 智美（村上市教育委員会学校教育課・教育支援センター嘱託指導主事／新潟県生涯学習協会／下越・新潟地区社会主事等会／元村上市立旭中学校長／元新潟県少年自然の家所長）

●家庭教育の向上並びに学術及び文化の発展に資する活動を行う者

○西條和佳子（特定非営利法人ワーキングウイメンズアソシエーション常任理事）

中村 直美（公募）

●学識経験者

大森 慎子（新潟市歴史博物館学芸担当次長）

○丹治 嘉彦（新潟大学教育学部教授）

五十嵐史帆（上越教育大学大学院学校教育研究科教授）

本間 公司（新潟県美術家連盟事務局次長／新潟県彫刻会会長／新潟市美術協会副会長／アトリエ本間主宰）

* ○は会長 ○は副会長

【日程及び内容】

第1回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和3年5月26日（水） 13:30～15:30

会場：新潟県立近代美術館

内容：(1) 「令和2年度新潟県立近代美術館協議会評価」について

(2) 令和3年度事業と評価シートについて

第2回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和3年9月29日（水）（新型コロナウイルス感染拡大による新潟県の特別警報発出により書面承認に変更）

会場：新潟県立近代美術館

内容：(1) 「令和2年度新潟県立近代美術館協議会評価報告書」の承認

(2) 令和3年度事業の中間報告（8/31まで）

第3回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和4年1月24日（月）（新型コロナまん延防止等措置発出により書面報告）

会場：新潟県立近代美術館

内容：(1) 令和3年度事業の中間報告（12/31まで）

(2) 施設管理の見直しおよび令和4年度県組織改正による知事部局への移管について

令和3年度

新潟県立近代美術館協議会評価報告書

〈美術館活動全体の協議会評価〉

令和3年度の新潟県立近代美術館、万代島美術館におけるそれぞれの取り組みについて2点述べたい。まずコロナ禍において対面で行うプログラムにおいて不自由さが生じたことと同時に、新たな気づきが生まれている。

企画展の久保田成子展において、海外からその関係者が来ることが出来ず、オンラインにてのやり取りになったとのこと。通常なら作品等を前にしての意見交換が行われるが、オンラインのためにそのやり取りが時差の関係で深夜になってしまい、最終的な展示に至るには相当な時間を有してしまったようである。しかしこの難局を学芸員の努力によってカバーして、久保田成子展は好評を博した良質な展覧会になったことは言うまでもない。

また、この状況下、鑑賞者から如何にして美術館に来てもらうかが問われた。例えばギャラリートークや鑑賞講座といった従来対面が当たり前とされた事業をオンラインにて実施することにより、今まで美術館に足を運んでももらえなかった人にもその面白さが伝わるというプラスの面も生まれた。今後このような取り組みを積極的に進めて欲しい。

それとともに、新潟県立近代美術館、万代島美術館の両館が取り組んでいる新潟アートリンクは、県内の美術館が連携して新たな美術館像を描く行為として大いに評価できる。今後ともアイデアを出し合いながら、この取り組みが全国の美術館の手本となるよう期待している。

このコロナ禍、新潟県立近代美術館、万代島美術館においては企画展の延期、あるいは鑑賞者の健康管理を心がけることを含め様々な苦労があったと考えられる。その苦労の中でしっかりと光が差し込んだことも事実である。そんな光を未来に届けられるよう美術館を皆で応援したい。

〈分野別に見た自己評価に対する協議会評価〉

【1 展覧会に対する評価】 ◎評価すべき点 ▲検討課題
 (1) 近代美術館

◎事業や展示の目的の明確化、また、他の展示との関連や館の思いなどの明確化により観覧者の意識や満足感を高めることができ、取組を評価する。

◎「久保田成子展」は展示も工夫し楽しめた。世界に知られる県出身作家が、新潟で紹介できた意義はあったと思う。コロナ禍下での来館者数には残念だが、その後もコレクション展で紹介され、良かった。今後も折々に紹介してほしい。

◎「よみがえる正倉院宝物展」に関して、再現模造の技術に価値を見出すことは高尚だと思ったが、来館者が身近に作品を味わう良い機会になり、アンケートの回答の満足度から事業のねらいは達成されたと判断する。また一方、高等学校と連携授業が行われ、高校生が美術館に行くきっかけ作りにも繋

がった。

▲県民は、やはり「本物」を求めていると思うので、予算的な問題もあるが「本物」を展示していくことが、美術館への来館者増や県民の期待に応えることにつながると思う。

◎「高畑勲展」は相当な展示のボリュームだったが、レイアウトを工夫し、大勢の来館でもさほど密にもならず、じっくりと楽しめた。

▲企画展の計画で、国内外、時代や分野も多岐に亘る配慮が伝わってくるが、地元作家や地元の若手作家育成のための企画展が昨今出来ないのは、地域美術館の役割の大切な一部が失われていることを再度確認したい。

◎コレクションの充実が県民として自慢できるものである。企画展とのリンクは見る人も双方に理解を深めることもできて、とても良い取り組みである。

▲コレクション展の入館者を増やす工夫が必要だと思う。企画展の解説文中にコレクション展に関連作品展示があることを入れたり、図書館とのコラボを一層図る一方、企画展とコレクション展を別料金にせず、両方を見られるようにして、コレクション展の鑑賞の機会の増加を図って欲しい。

▲コロナ禍で来場者数への影響は仕方ない。だが、緩和されつつある今後、評価の枠組みの見直しが必要かと思う。いかに県民に有意義で、未来に残せる展覧会を開催できるかが重要だと思う。そのための分かりやすい評価方法を先駆けて取り入れる検討も必要であろう。

（2）万代島美術館

◎目標に照らして、従来の展覧会にとられない取組は、美術館を知ってもらい、足を運んでもらうという意味でもとてもよかったと思う。

◎大地のハンター展は、美術館の境界を越えた試みで、様々な角度で動物等を見ることができ、観覧者にはふれあい動物園との混同もあったようだが、教育普及効果も大きかったと思う。

◎サンリオ展はキャラクター展であったが、その歴史的を当てていたことで、幅広い世代が楽しめる展覧会であった。美術館初心者が多い時、こちら側としても運営の工夫を学ばされる。

◎美術館のアウトリーチとして多様な情報発信の方法を、意欲的に試している点が評価でき、継続していただきたい。観覧者数増にも結び付いている。

◎キャラクターについて、著作権への対応など丁寧にやっている。

◎それぞれターゲットや内容に応じてSNS、CM、YouTube、来館者の口コミなど様々な方法で魅力がアピールできて興味を喚起する効果的な広報ができ、利用者の拡充が図れていた。

【2. 教育普及等関連事業に対する評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

（1）近代美術館

◎コロナ禍しながら、教育プログラムの作成や出前講座の充実、多さは驚きで充実してとてもよい。美術館が近くにならない子供たちの関心へのきっかけになり、また生涯学習としては居住地や年齢等にかかわらず豊かな学びができることが望ましく、元作家の協力も得るなどして無理のない範囲で地味や情報発信の充実も期待したい。

◎建物の特徴を利用した観覧者参加型の交流コーナーは、観覧の満足度をさらにアップさせるものとして、今後も工夫をしながら取り組んでほしい。

◎コレクションのワークシートがあると、子どもたちにも作品のアプローチの指南となるととても良い取り組みだと思う。だんだん増やしていけば、様々な企画にも対応できると思われる、こうした教育普及活動の蓄積は、急な対応を迫られた場合や、継続的な活動の省力化、ステップアップにも利用できる。整理し、活用してほしい。

▲近代美術館の特徴でもある現代美術作品の見方・感じ方（考え方）を児童生徒が学ぶことは、文部科学省の学習指導要領の「深い学び」に迫ることになる。対話型鑑賞法で「主体的な学び」と「対話的な学び」は実現される。しかし、「深い学び」を実現させるためにはもう一つ踏み込まなければならないと思われる、今後の鑑賞指導のプロセスについて再考いただきたい。また、指導要領では、図工科は2学年ごとに目標をまとめており、低、中、高学年の分け方がわかりやすい。2つなら低学年（1～3）、高学年（4～6）としても良い。

（2）万代島美術館

◎人数は限られているが、全員が意識を持ち情報収集している点は今後も続けて欲しい。

▲「美術」ではなく「総合的な学習の時間」の新潟市内巡検のコースに万代島美術館を選択してもらえると、美術への興味関心につながる機会になると考える。したがって公共文化施設であり中学生は無料であることなども含め、年度末と年度初めに「総合学習」での利用促進を集中的にPRをすると活用につながり、リピーター獲得のチャンスだと思う。

▲学校との連携として出前授業の他に、テレビ会議システムを活用してほしい。

◎コロナ禍においても、個々の学芸員が専門を活かしながら、出前講座や市民大学等に取り組んでいる点が評価できる。

▲講座等の実施件数については、次年度以降の具体的な数値目標を検討する必要がある。

【3. 調査・研究、収集・保存、発信に対する評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

（1）近代美術館

◎企画展に向けての調査研究が様々な困難を乗り越えて進められていて、評価できる。県民も期待しているので頑張ってもらいたい。

しい。

◎様々な事業をこなし忙しい中、収蔵品の資料整理は、なかなか時間がとれず、後回しになる傾向があるが、計画的に進めることができている、とても評価できる。今後もこのような収蔵品の基礎的な調査研究を継続してほしい。

▲新潟県関連の作家の展覧会として、令和3年度から開催の「久保田成子展」は評価するが、生前に実現しなかったことによる本人からの解説や考え方について知る機会を逸したことは残念である。新潟県関連の作家について、予算面でも困難と思うが、万代島美術館と共同で、今、生きて活躍している作家や近年逝去した作家の関係者の証言が得られる内に、調査・研究を進めて展覧会を実現してほしい。

▲県関連作家の展覧会については、地元新聞社等ともうまくタッグを組むなど、低予算でも実施できると良いと思う。民間の助成金には、ユニークな切り口のタイトル申請してみるなど、県関連作家展開催の方策が見つけてほしい。

▲専門学術誌での発表のみでなく、HPや新聞等における市民に向けた情報発信に一層努力してほしい。

（2）万代島美術館

◎所蔵作品や作家、県内ゆかりの作家の研究は地道で、展覧会や紀要などの締切りとなる目的がないとなかなかできないが、HPでの発信を計画的に行うことによって進められていることは、他館も真似るべき素晴らしいことと思う。

◎企画展関連、所蔵作品を中心に調査研究活動を地道に行い、従来の方法だけでなく、HP等、SNSでの研究成果の発表、発信もしていて、県民に向けた情報発信を積極的におこなっている点が評価できる。HPのコラムはちょうどよいボリュームで読むことができ、楽しめるとても良い企画である。無理しすぎない範囲で、ずっと続けてほしい。

【4. 環境・施設に対する評価】 ◎評価すべき点 ▲検討課題

（1）近代美術館

◎財政難の折、電話交換設備・端末の更新・多機能化、トイレの洋式化など、来館者への基礎的なサービスや業務の向上を図ることができたのは本当に良かった。今後も毎年少しずつ、老朽化等の改善に予算がつき、快適な美術館を維持できることを願う。

◎ミュージアムショップの展覧会ごとに出店を確保しているところは評価する。常時の出店は昨今なかなか厳しいことと思うが、工夫しながら来館者の美術館体験の満足度向上を目指して引き続き取り組んでほしい。

▲付帯施設（ミュージアムショップ、レストランなど）の充実、展覧会の魅力を広範囲に伝える強力なアイテムの1つだと思うので、是非、充実させる取組を継続してほしい。また、県内企業とのテナント協力で集客を図るアイデアも取組む価値があるのではないか。

（2）万代島美術館

▲財政難で仕方がないが、不具合は都度担当課に認識してもらっておき、少しゆとりができた時に回してもらえるよう手を打っておくしかない。わずかならずでも来館者サービスとして修繕できると良い。

◎コロナ禍で以前にはない苦労ではあるが、工夫して運営し、来館者に混乱もなく、混雑を回避して楽しむことができていた。

▲来館するまでの導線がどうしても過密になるため、コロナ対策は難しいと思うが、今後緩和していく方向を考えてほしい。

◎電子チケットの導入やキャッシュレスに取り組み、来館者の利便性を高める施策を進めている点が評価できる。ぜひとも周知をしっかりと取り組んでほしい。

【5. 協働組織】

◎評価すべき点 ▲検討課題

（1）近代美術館

◎コロナ禍において、できることに工夫を重ねて確実に取り組んだところを評価する。

◎県民が興味関心をもつには、SNSも含めてメディアの発信が大きい。近代美術館の施策や方向性は工夫も見られていいと思うがゆえに、伝え方や内容について検討したり、関係機関の協力を仰いだりすることに力を注いでいくことが大切である。コアな企画や展示を目指していることから、美術館を訪れば深いものを実感できるのは間違いないのだからどう組織を活用して広げていくかが大切である。

◎館の事業を、友の会やボランティアに案内を出すのは、様々な年代の会員募集にも効果があると思うので良い取り組みだと思う。恒常的に行い、友の会やボランティアの特典としてPRすれば、相互にメリットができ、このような活動を増やしても良いかもしれない。

▲草刈りなどこれまでと違った館を支える活動も相談してみるなどボランティアの幅を広げる在り方を検討し、関心のあるより多くの人の参加につなげ、これまで培った外部との繋がりや、学芸員の皆さんの持てる力が存分に発揮されるような取組を期待する。

◎長岡造形大学、新潟大学との協働は、別の可能性も探り、学生が美術館への興味を持ち、好きになり足を運んでくれるようになると思う。

◎「学校×新潟アートリンク」等新たな試みに取り組んでいることが評価できる。また、可能性もあり、様々な切り口によるアートシーンの提示に挑戦して、話題作りをしてほしい。教員との接点を継続しているのは今後の教育普及活動のブラッシュアップのためにも大切にしてほしい。

▲アートリンクについては取組がよく見えないように感じる。また、アートリンク、大学との連携など、多くの連携事業が、下越・中越地域に大きく偏っているため、県内の遠方地域との連携のための問題点、特に美術館鑑賞のための輸送バスの補助金の充実や人員不足など、全県を隈無く対象とするため

の施策を検討する必要がある。

◎教頭会での広報活動など、学校教育現場への広報を熱心に行なっている点が評価できる。

▲教頭会での広報活動について、学校現場の反応や、広報を行ったことによる成果について報告し、今後の方針を検討する材料にしてほしい。

（2）万代島美術館

◎新潟アートリンクは様々な可能性があると思う。4館という少ないからこそその機動力が可能性を広げている。様々な切り口によるアートシーンの提示に挑戦して、話題作りをしていてほしい。

◎小中学生の美術館の利用拡大のためにも教員向け研修会は今後も続けると良いのではないかな。

◎友の会、ボランティアや、朱鷺メッセ内や佐渡汽船、万代・古町、みなとびあなど立地条件を生かすなど、近隣施設との協働は、可能性を探りながら工夫して、地域における存在感もさらにアップさせてほしい。

▲4館共通の年間割引チケットを考えてほしい。

▲これまで培った外部との繋がりや、学芸員の皆さんの持てる力が存分に発揮され、協働により、アートが人生の楽しみや豊かさに繋がる都会的な美術館を演出してほしい。

新潟県立近代美術館協議会（令和4年度）

【委員】（委嘱当時）

（令和4年8月1日から令和6年7月31日まで）

●学校教育関係者

稲生 一徳（阿賀町立阿賀津川中学校校長*／下越美術教育研究会（新潟県美術教育連盟下部組織）理事／新潟県中学校教育研究会美術部会全県部長）

* 令和5年4月1日より（五泉市立村松桜中学校校長）

五傳木浩樹（新潟市立高志中等教育学校・教諭／新潟県高等学校文化連盟／元文化行政課文化係主任調査員）

●社会教育関係者

小田 智美（村上市教育委員会学校教育課・教育支援センター嘱託指導主事／新潟県生涯学習協会／下越・新潟地区社会主事等会／元村上市立旭中学校校長／元新潟県少年自然の家所長）

●家庭教育の向上並びに学術及び文化の発展に資する活動を行う者

中村 文香（株式会社 新潟博報堂 マーケットデザイン部 みらいの事業開発部 部長）

榎本 茂（公募）

●学識経験者

大森 慎子（新潟市歴史博物館学芸担当次長）

○丹治 嘉彦（新潟大学教育学部教授）

五十嵐史帆（上越教育大学大学院学校医養育研究科教授）

小林 花子（長岡造形大学准教授／大学院兼任教員）

○は会長

【日程及び内容】

第1回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和4年5月26日（木） 13:30～15:30

会場：新潟県立近代美術館

内容：(1) 「令和3年度新潟県立近代美術館協議会評価」について

(2) 令和4年度事業と協議会の一部変更について

第2回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和5年1月19日（木） 10:00～12:00

会場：新潟県立近代美術館

内容：(1) 令和3年度評価報告書の確認

(2) 令和4年度事業の中間報告（11/30まで）

令和4年度

新潟県立近代美術館協議会評価報告書*

* 協議会の評価方法及び形式を簡素化する方向で見直しを行った。令和4年度報告書からそれを適用する。

〈美術館活動全体の協議会評価〉

近年、美術館における諸問題は多岐に渡っている。施設設備、収蔵資料、地域や他の機関との連携、そして運営のための資金問題等、地方における美術館がこれらの問題解決のため日々奮

闘している姿がメディア等を通して伝わってくる。新潟県立近代美術館、万代島美術館においても例外ではない。特に今までの美術館の役割に加え、社会包摂や多様な価値観を活かす取り組みの推進、そして交流人口の広がりなど、美術館への期待は増すばかりである。

そのような中、それぞれ工夫を凝らした展示を展開していることは評価に値するだろう。例えば、「和田誠展」においては亀倉雄策との繋がりを紹介し、巡回展ではあるが、館の独自性を演出したこと等はこれに値する。また、研究等を通しての活動は、橋本龍美など新潟県出身の作家やゆかりの作家について地道な調査を繰り返し、地元の媒体への原稿執筆等を通してその成果を上げている。このような取り組みは直ぐに成果には表れないだろう。しかしながら、これこそとても重要な行為であることは間違いない。つまり、地域の隅々まで地域の財産となる作品等を調べ上げることにより、地域の暮らしや営みを含む大きな物語をも把握することに繋がるのである。

これらに加え、評価が直ぐには定まらないアートへの関わりや支援はこれから美術館が担うべき重要な事柄ではないだろうか。例えば、オープンアトリエのような場を設定して作家との対話、あるいは障害者が表現する作品への支援等を新たな文化として県民に提供してもらいたい。そうした事業は美術館単体で行うにはハードルが高くなってきている。他者とのように協働するか等を検討しながら、ともに次代の美術館像を描いて欲しい。

〈新潟県立美術館の社会的使命及び運営方針〉

【社会的使命】 平成20年4月策定

広く新潟県民と新潟を訪れた人のために、固有の文化の価値を見直し、併せて未来に継承すべきコレクションの充実と研究、活用、普及を通じて、多様な美術館活動を開発、提供し、創造力溢れる人材の育成に取り組み、地域の人々と協働しながら、県民の誇りとなる新潟県の文化を発信する。

【運営方針】 令和4年9月改定

- 1 県民の利用者拡充を図り、新潟県民の文化レベル向上に資する
- 2 心の憩いと学びの場を提供し、利用者に愛される美術館となる
- 3 新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場となる
- 4 美術に関心ある人材の育成に寄与する
- 5 地域や各種教育機関との連携を深める

【評価の視点】 令和4年9月改定

評価分野	評価の視点
展覧会	①県民の利用者拡充を図り、新潟県民の文化レベル向上に資する展覧会を開催しているか。 ②多様な展覧会の開催によって、芸術文化をベースにした心の憩いと学びの場を提供しているか。 ③多様な展覧会の開催によって、美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。 ④郷土の作家や作品の展覧会を開催し、新潟県の芸術文化の発掘・発信の場となっているか。
教育普及等	①県民の利用者拡充を図り、教育普及活動を行っているか。 ②展覧会活動とは別に、心の憩いと学びの場を提供しているか。 ③地域や各種教育機関と連携して、教育普及活動を行っているか。 ④美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。
調査研究・発信	①学芸員の調査研究・発信によって学びの場を提供しているか。 ②地域や各種教育機関と連携して、調査研究活動を行っているか。 ③新潟県の芸術文化の発掘・保存・発信の場となっているか。 ④学芸員の調査研究・発信によって、美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。
施設・環境	①作品の保存・展示に適した環境を、維持・整備しているかどうか。 ②利用者が快適に利用できる環境を、維持・整備しているかどうか。
協働組織	①県民の利用者拡充を図り、協働を実施しているか。 ②地域や各種教育機関など、外部との協働によって、連携を深めているか。 ③多様な組織との協働によって、美術に関心ある人材の育成に寄与しているか。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seisaku/sougoukeikakukaitei.html>

「新潟県文化振興ビジョン」 期間：平成29～令和6年度
＊平成29年策定／令和4年4月改定

第1章 【性格】文化芸術振興基本法第4条の規定に沿い、県政の文化面での振興を図るために策定

第2章 【現状及び課題】

第3章

【基本目標】 文化で創る、心豊かな「ひと」、魅力ある「地域」……そして未来へ

【目指す姿】 ◆文化振興により、県民が地域文化を知り、地域に誇りと愛着を持つこと
◆文化活動への参画・参加及び創造により、県民が心豊かな生活を送ること
◆文化を通じた観光振興・交流拡大で、地域の内外の好循環が生まれること
⇒文化の力で新潟を活性化

【施策の5本柱】

- 柱(1) 大規模イベント等の機会を捉えた更なる文化振興
 - イベント等を契機とした県民参加の拡大と文化の創造及び発信
 - 文化分野におけるボランティア活動の活発化
- 柱(3) 文化活動への県民参加の拡大
 - 優れた文化の鑑賞・参加機会の提供
 - 子どもの文化活動の促進
 - 文化に親しむ場となる環境の整備
- 柱(5) 文化の保存、記録、継承及び活用
 - 文化財の保護・継承・活用
- ＊柱(2) 地域文化の温故知新
- ＊柱(4) 文化を通じた交流・発信の拡大

【ビジョンの評価】

(1) 成果指標

- ④県立文化施設[近美・万美・歴博・自然科学館]への来館者数
＊H23 72.5万人／H27 56.8万人／目標値（H36）増加させる
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bunka/1356867129897..html>

参考 【県の上位方針】

「新潟県総合計画」 ＊平成31年4月策定／令和4年4月改定

第3章 【新潟県のめざす姿】

《基本理念》「住んでよし、訪れてよしの新潟県」

県民の皆様が、新潟の魅力・新潟らしさ「新潟ブランド」を意識し、新潟に住んでいることを誇りに思い、これからも住み続けたいと思う新潟県、そして、国内外の方々が新潟の魅力を感じ、訪ねてきていただける新潟県を目指します。

第4章

《将来像》Ⅱ 地域経済が元気で活力のある新潟

1 多様な人や文化が交わる賑わいのある新潟

1－(1) 多様な地域資源を活かした交流人口の拡大

③スポーツと文化を活かした地域づくりによる交流拡大

「県内各地の地域文化や美術館、博物館等の観光資源、優れた芸術家等との交流を積極的に活用し、交流人口の拡大や地域の活性化を目指す

《将来像》Ⅲ 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟

1－(2) 地域の産業・社会を支える人づくり

①未来の新潟に必要な人材の育成・確保

②生涯学び活躍できる環境づくり

1－(3) スポーツと文化の振興

②文化を通じた豊かな生活の実現

（近代美術館）

重点取組1

企画展から派生させて、様々な教育普及及び地域協働活動を実践し、当館をアピールするとともに、美術を基本として憩いと学びの機会を提供する。

【自己評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎新型コロナウイルス感染防止対策の緩和に従い、教育普及事業でも徐々に活動を復活して実施し、学びの場の提供を進められたと考える。

◎長岡造形大学の教員によるワークショップを実施するなど、新たな外部協働事業を展開することができた。

▲コレクション展の解説会では、参加者が少なく（0人の時もあり）、実施日や回数、広報手段の検討が必要と思われる。

▲新型コロナ感染防止対策が緩和されているが、終息したわけではないため、事業実施にあたり、どこまでの対策を取るかの検討が要される。

【協議会評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎企画展では、各展示がターゲットとする観覧者が被ることなく、様々な美術を紹介できていた。近代美術館としてふさわしく、県民の文化向上に繋がる学びの機会を提供できた。

◎教育普及活動においては、新型コロナウイルス禍下でも、状況を的確に捉えながら効果的な方法を工夫し、美術鑑賞講座など多様な内容で積極的に実施できた。また館外活動においても、感染症対策のために活動の空洞が出来てしまったにも関わらず、長岡市内および市外への出前授業の数を充実させたことは評価できる。

◎協働活動については、図書館、大学、マスコミ、新潟アートリンク普及部会主催研修会の企画、参加等の連携を図り、学びの場及び機会の提供をすることができた点で、館の意欲や姿勢を評価できる。5年度以降の展開につながる学びの場の創造となった。特に、長岡造形大学教員によるワークショップは、貴重な体験を市民に提供できる企画であり、近隣の専門家と積極的に連携している点で評価できる。

▲企画展は、巡回展の場合でも、近代美術館で開催する独自性をより一層追求すべきではないか。展覧会によっては、展示動線の工夫が乏しく、観覧者にとって疲労を感じさせるものがみられた。作品の力に依存するのはもっともだが、会場作りのきめ細かさには配慮することは課題であろう。

⇒企画展と連動してコレクション展を通して独自性を出すよう工夫している。

⇒館の独自性の主張・工夫を、学芸一同で今後も継続・追求していきたい。

▲教育普及活動のなかでも、特にコレクション展の作品解説会、美術鑑賞講座等の参加者の絶対数が少なく、学芸員の手腕が十分に生かされていない。実施日や回数の整理だけでなく、

実施手段と具体的な広報手段の検討が必要と思われる。

▲SNSを活用した情報発信手法を早急に構築すべきであろう。単にイベント情報を掲載するだけでなく、「〇〇の体験ができる。〇〇を知ることができる」など、提供価値を具体的に記載するなどして興味関心を引き寄せることで、参加者を増やす工夫は可能だと思われる。

▲諸権利関係の問題処理もあろうが、実施したギャラリートークや講演会等の動画をインターネット上で配信することで、県民のニーズを把握し、美術館と県民の距離を縮める努力も必要であろう。

⇒著作権処理、業務量の増加に十分留意しながら、より一層の情報発信に努めていく。

▲地域の特色を生かした、地域とともに歩む美術館づくりの推進こそ、県立美術館が目指す“地域協働”である。現在は一方の視点でしか評価していないと思われる。県民（地域や来館者）とのWin-Winの関係をどう育んでいくかが課題であろう。

⇒一方通行に陥らないように配慮しながら、今後も一層進めていきたい。

重点取組2

当館のコレクションの価値を県民に広くアピールするため、新たなテーマ設定や企画展とのリンク、及び館内外との連携を含めた教育普及活動を実施していく。

【自己評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎三沢展開催時、コレクション展のテーマを「動物」とし、三沢氏の作品を同展示室等でも展示したことにより、相乗効果を生み、観覧者数の増加につながり、コレクションの認知が高められたと思われる。

◎加茂市広報誌に、出身作家の栢森義や橋本龍美について寄稿し、所蔵作家の調査結果を地元県民に還元できた。また、協働の幅を広げることができた。

◎コレクション展観覧者数が昨年度比124.7%（R4度12、156人、R3度9、752人）となり、コレクションのアピールに繋がった。

▲加茂市など、新たな協力関係が出来た所と継続的に関係を保ち、広く館をアピールできる方策に検討の余地がある。

【協議会評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎コレクション展は、企画展と同等に近い労力を要する業務だが、魅力的なテーマ設定によりコレクションに新たな光を当てることができていた。特に企画展に関連したテーマの時には、違った視点から企画展の内容を深め、発見を与える効果を上げていた。

◎三沢厚彦展では、コレクション展のテーマ設定を企画展と密接に関連づけて、所蔵品と三沢作品を連動した展示へと具体的に展開させていた。それによって、コレクション展観覧者が増加し、教育普及効果の向上につながる効果的な手段とて

きていたことは評価できる。

◎調査研究については、本県出身作家についての研究を図り、展覧会企画へと繋げ、コレクションの価値を県民にアピールすることができていた。作家の地元へ働きかけて協力関係に発展させたことで、これまで見えなかった作家の一面の発見にもつながった。作家ゆかりの地域の方々の関心を喚起し、地元の媒体への原稿執筆の機会が得られ、展覧会に足を運んでいただくことができた。双方にメリットをもたらしている点からも、高く評価できる。

◎調査研究の一環として、ホームページなどで、コレクションの面白さ、重要性、価値を紹介したことは、美術館の本分ともいえる大切な活動であり、未来に向けての種まきと考えられ、評価に値する。

▲新型コロナウイルス禍を経て社会状況が変化し、ホームページやSNS等の活用が、広報手段として一層重要性を増している。しかし現状のような美術館の自助努力によるアピール、仕掛け、発信だけでは限界があり、“第三者（インフルエンサー）”を介しての発信を方策の一つとして検討してはどうか。
⇒第三者を介して情報発信するリスクには十分留意しながら、今後検討していく。

▲調査研究の対象として、地域に根差すことは重要であり、一層の全県的な広がりを持つことが県立美術館の使命であろう。また、企画展・コレクション展に関連する学芸員の調査研究の発表の新しい手段・場を検討工夫することで、鑑賞者の増加も期待できるのではないかと。
⇒新しい発表の手段・場の工夫について、引き続き考えていきたい。

通常取組

〈特記事項・最終〉 ☒ 取組終了 ☐ 取組継続中
□新型コロナ感染防止対策が緩和されていく中、速やかに情報を入手し、緩和した中での事業実施の方策について対応してきた。
□〈環境・施設〉キャッシュレス機器を導入し、令和5年度から運用を開始できるよう、職員の研修をすみやかに行なった。
□〈環境・施設〉トイレの自動照明の点滅のセンサー化、および、身障者トイレ手洗いの自動水栓化。

【自己評価】 ◎評価すべき点 ▲検討課題
◎コロナ禍下の対策緩和の情報を積極的に入手し、速やかに来館のための情報を発信したことは、美術館利用者が安心して利用することに繋がったと思われる。
◎教育普及活動の参加者がR3度より5.3%増加（5,813→6,123）したことは、美術館に関心が変わりなく向けられていることと思われる。

【協議会評価】 ◎評価すべき点 ▲検討課題
◎コロナ禍下において、対策緩和の情報を積極的に入手し、速やかに来館のための情報を発信したことが、美術館利用者の安心に繋がりが、教育普及活動の参加者増へと繋がった。

◎コロナ禍の状況を、キャッシュレスやトイレの照明などの来館者の利便性、安全性を高める方向に改善できたのは、客足が戻る中でも効果を発揮することとして、評価できる。

◎環境・施設面の対応として、来館者への配慮がなされ、展覧会はもちろん、様々な場面で安心感やゆとりを持って美術や美術館の空間に親しみ、楽しむことができる文化が育まれている。

▲新型コロナウイルス感染症対策緩和に伴い、より活発な調査研究と展覧会の運営、教育普及と地域協働事業の実施が求められるが、職員の負荷と業務のバランスにも注視しながら、より前向きで地域に開かれた事業を展開させることを期待したい。

⇒人員不足の中であるが、業務の選択と集中を意識しながら、活動を進めていきたい。

▲キャッシュレス機器が導入されたが、さらにアンケート配信、割引クーポン等、評価や次回の企画展へのリピーターへと繋げるような新たな方策をすることも、必要となると思われる。
⇒文化課と検討していく。

▲ミュージアムショップにおけるオリジナルグッズは、来館者が美術館での体験を持ち帰るツールとしても、広報物としても重要である。閉店したショップやレストランの新たな誘致等、実際に美術館に足を運ぶための「魅力的」な環境づくりへの対策が課題である。

▲美術館をアピールするための普及活動は、美術館を拠点としたコミュニティを作り、イベントを開催するなど、コミュニティとしての「アピール」が重要であり、今後の課題である。
⇒難しい問題だが、解決方法を探っていきたい。

〈自由意見〉

■県民の声（アンケートの記述等）を集約し、それを根拠に「『来館者アンケートで〇割の人が回答している』から、〇〇展を企画したい」と予算要望を講じてみてはいかがだろうか。県民（来館者）のニーズを把握し、実現していくことこそが、本県の文化振興、美術館への関心や期待の高まりにつながる。

■展覧会の告知として、デジタル広告はターゲティング（エリア／興味関心／年代など）ができることと、配信結果が数字でわかることが強みである。現状のSNSフォロワーは情報発信ツールとして少ないが、デジタル広告によって、フォロワー増につなげることが可能である。

■美術は解釈が重要であり、その内容に触れて、観覧者は納得したり考えさせられたりする。美術館におけるキャプションは、作品を紹介し説明する無人ギャラリートークであり、観覧者への問いかけである。

（万代島美術館）

重点取組1

企画展の開催に加え、様々な美術館活動を通じて、利用者の学びの場を提供する。

【自己評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎来館者に幅広い分野の展覧会を紹介できただけでなく「THE HEROES展」では当館初となる刀剣をより見やすく、かつ展示環境基準を満たす照明計画を実現した。

▲ボストン美術館のような海外では照度、紫外線量等の基準が厳しく、照明の老朽化著しい当館では、LED化を中心とする設備改修が早急に求められる。

◎「庵野秀明展」の出前講座や館の主要作品である大光コレクションや亀倉雄策に関わる出前講座を実施した。

▲コレクション展が開催困難な状況であり、講座と展示との有機的な連携が困難となっている。

◎「和田誠展」は巡回展だが、その1エリアに独自のスペースを設け、和田誠と亀倉雄策との繋がりを紹介し、また、関連作品も紹介することで、より深い理解に繋げることができた。

▲巡回展が中心のため、当館独自の学びの場の提供が限られる傾向にある。

◎本年度は全ての展覧会で連携事業を展開できた。「庵野展」では新潟市の「にいがた2km」とリンクさせた街巡りイベントの実施、「サンリオ展」「THE HEROES展」「庵野展」「原田展」でのコラボカフェ、和田展では県内図書館4か所で連携展示を実施し、県立図書館作成のブックリストを配架、HP紹介など相互連携を実施。市内クロスパルにてシネ・ウインド主催により、和田誠監督作品「快盗ルビイ」上映を行った。

【協議会評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎展覧会では、幅広いジャンルや一般の方々から親しまれる内容の企画展のラインナップとなっており、観覧者の期待に充分応えていることが動員数からもわかる。また、展覧会のテーマや解説も分かり易く、展示の意図を明確に伝えていたことは評価できる。

◎教育普及の観点では、異なるジャンルの展覧会によって多様な世代に学びの場を提供することができた。また、巡回展に合わせて所蔵品を活かした独自の展示を行うなど、和田誠展と所蔵品展示の相乗効果が期待できる取り組みも評価できる。近代美術館のような体験や講座など別会場が必要な学びの場の提供は難しいが、展示室内を中心に地道な普及活動を行っており、今後に繋がる成果を上げている。

◎地域のメリットを生かした多様な連携事業による協働は、地域の活性化や若者を動かす動機となり、美術館の活動枠を超えた新たな効果を期待できる。これらは館の目指す方向性でもあり、地域性や実行委員会を強みとして活かしていることが評価できる。

▲企画展は、県立美術館としては内容的に奥深さに物足りなさも感じる部分もある。所蔵品を使った特別展示の設置などの工夫

で、利用者の学びの場の提供をより充実させることが課題である。また、集客が見込まれる企画展では写真撮影可などを期待する鑑賞者が多く、マナーへの考え方や理解度も一様ではないため、美術館として対策を検討する必要があるだろう。⇒企画展によっては内容の改変が認められないものもあるが、館として可能なかぎり対策を検討していきたい。

▲教育普及の中で、講演会の実施回数が少ない点が懸念される。コロナ禍においては、「美術鑑賞講座」や「作品解説」を行うことが困難だったが、今後は、教育普及活動について一層の工夫と努力が必要である。

⇒講座の実施に関しては施設的に難しいが、解説会は今後とも行う考えである。

重点取組2

利用者の利便性向上や、作品の展示環境の改善に向けた取り組みを行う。

【自己評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎「THE HEROES展」や「和田誠展」では当館の老朽化した照明設備を用いつつも追加照明等で対応した。特に「THE HEROES展」では、ボストン美術館の厳しいリクエストに応えるため、美術照明業者との時間をかけた検討により、基準に対応した作品の魅力を伝える展示照明を実現した。

▲照明の老朽化による不具合は、展示室に限らず、廊下、トイレ、エレベーターホール等、館全施設に及んでおり、必要最低限LED化は行ったものの、早急な対策が必要である。

◎新潟県の令和5年4月からのキャッシュレス決済導入計画については、多方面に渡る調整より何とか次年度から使用できる道筋がついた。

▲キャッシュレス決済導入に関わる実際の機器等、直前にならないとわからないものも多く、また導入時期に年度をまたぐ展覧会を実施していたこともあり、実際にキャッシュレス決済が可能となるのは5月20日から始まる展覧会からとなる。

【協議会評価】

◎評価すべき点 ▲検討課題

◎展示環境では、借用先の厳しいリクエストに妥協せず真摯に対応したことによって、作品の魅力を十二分に来館者に届けることができた。このような対応が美術館としての信頼を生み、次の展覧会等につながっていくと評価できる。

◎施設の利便性では、遅まきながらも、キャッシュレス決済を令和5年度から導入することを評価したい。

▲展示環境では、より質の高い展覧会の提供や来館者の利便性向上のためにも、施設の改善計画を今後も提案し続け、実現する必要がある。特に、照明器具は古くなると火災などのトラブルにもつながり、人や建物への危険にプラスして、文化財や作品への多大な影響が考えられるため、早急な改善(LED化)が望まれる。

⇒文化課とも話し合い、早急に改修できるよう進めていきたい。

▲施設の利便性において、キャッシュレス決済とともに電子アンケート、次回企画展への割引クーポン等やスマホ利用による美術館の新たな鑑賞方法等の利用方法を考え、観客者増へと繋げるような新たな取り組みを企画することが課題である。
⇒電子アンケートなど、すぐには動けないが、ある程度オーソドックスな方法・システムを見出すことができれば将来的には考えていきたい。

通常取組

【特記事項・最終】 ■取組終了 □取組継続中
〈ミュージアムショップ〉

■ミュージアムショップの撤退を受けて、常設のミュージアムショップが無い状況が続いていたが、各展覧会の実行委員会の構成メンバーとの検討、協力の結果、展覧会全てでショップを出店することができた。

■各実行委員会メンバーと各展覧会で新潟展独自のオリジナルグッズを作成し、「和田誠展」「庵野秀明展」では売り切れる商品も発生するなど好評だった。

〈ホームページ〉

■年1回発行の館だより『B-island』をR3年度にHP掲載に移行し、本年度より名称を「学芸ノートB版」として、企画展紹介に限らず、各学芸員の担当分野や研究分野等、様々な美術関連情報をHP上で随時紹介する方向とした。その結果情報発信回数を維持しつつも、本年度はより深い専門的内容についても寄稿することができた。

〈収集〉

■「和田誠展」の開催により和田誠事務所より数十点の作品寄贈の申し出があった。

【自己評価】 ◎評価すべき点 ▲検討課題
〈ミュージアムショップ〉

◎本年度開催した各企画展において、それぞれの運営業者は異なるが、継続してミュージアムショップを設置し、利用者の要望に応えることができた。次年度は誘致計画も実り、通年のショップ運営の道筋ができていく。

◎各企画展では実行委員会メンバー及び出店業者と検討し、新潟展のオリジナルグッズを制作販売（その一部は完売）することができたことは、巡回展であっても当館の存在感をアピールすることができたと思う。

▲ショップの常設化が安定すれば、オリジナルグッズだけではなく、通常設置する商品についても、万代島美術館のショップであることがアピールできる方向について詳細な検討が必要となる。

〈ホームページ〉

◎HP上に美術関連情報や専門知識等を随時掲載できるようにな

り、研究紀要や図録、展覧会紹介で掲載する内容に限らず、様々な角度から「美術」を紹介することも可能になった。本年度は名称を『B-island』から『学芸ノートB版』への変更し、美術に対するより広範な知識を紹介するだけでなく、エッセイをシリーズ化するなど、より深い内容も展開できるようになり、学芸員の専門的特性を紹介できる場としても機能している。

〈収集〉

◎和田誠作品については次年度以降の収集を目途として現在、内容を精査中である。

【協議会評価】 ◎評価すべき点 ▲検討課題

◎ホームページは県内美術館の中でも充実しており、幅広い年代に向けて美術に対する広報および知識を提供することができた。発信を活発化し、情報に触れる機会が増えることは、来館機会の創出にもつながる。また、キャリア教育につながる良さもあり、未来に向けての種まきとして評価できる。

◎ミュージアムショップを各企画展で設置して次年度の誘致計画に繋げ、通年のショップ運営の道筋ができたことは、美術館来場者数の増加や来館者満足度の向上に寄与するものであり評価できる。新潟独自のグッズも、地元企業との共同開発などによって品数を増やすことが可能と思われ、動員目的に繋がるアイテムとして重要である。

◎収集というかたちで、企画展の開催が優れたコレクションにつながるの意義深い。学芸員が苦労して素晴らしい展覧会を開催した賜物として評価できる。

▲ホームページは、現行のサイトの質をより高めるかたちで、作品画像等の掲載や万代島美術館オリジナルグッズの企画販売など、美術館のアピールに繋がるような活用方法を考えることが課題である。また、学芸員の調査研究成果の発表の新しい手段や場として活用することで、その話題性による鑑賞者の増加が期待できると思われるが、現状では求めない等確認できないホームページであるため、SNSとの紐づけ等、発信の仕方をさらに検討する必要がある。

⇒現在、所蔵品データベース公開に向けて努力している。ホームページについても今後設計を見直していきたい。

▲ミュージアムショップなど、美術館をより魅力的にし、足を運んでもらうための「魅力的」な環境づくりへの対策を早急に検討する必要がある。

⇒ショップ側の努力もあり、魅力は増している。来年度以降も継続したい。

〈自由意見〉

■新型コロナウイルス感染症への対応もあり困難であったことは理解できるが、地域に関連がある展示や現代美術（現代において活動している作家）の紹介ができる企画展の計画を期待したい。

新潟県美術品収集委員会

【委 員】

松本 透（長野県立美術館長）欠席

◎郷 晃（新潟大学名誉教授）

山梨絵美子（千葉市美術館長／東京文化財研究所 客員研究員）

古田 亮（東京藝術大学 大学美術館教授）

岡塚 章子（東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室長）

◎は委員長代理

【日程及び内容】

令和4年度「新潟県美術品収集委員会」

日程：令和5年2月15日（水） 14:00～16:00

内容：（1）報告 令和3年度美術品収集について

（2）令和4年度美術品収集について

①収集候補の全体説明

②収集候補の内覧

③収集候補作品の協議

（3）その他

新潟県立美術館友の会

新潟県立美術館友の会は、新潟県立近代美術館開館の翌年、平成6年4月8日に「新潟県立近代美術館友の会」として発足。平成15年、新潟県立万代島美術館の開館にともない二館共通の友の会組織となり、「新潟県立美術館友の会」と改称した。

広く美術を愛する人達を中心として、美術館の活動及び運営に協力するとともに、美術を通じて教養を豊かにし、会員相互の親睦を深め、芸術文化の普及、向上を図ることを目的として活動している。

【会費・会員の種類】

一般会員	一般	2,000円	231人
	学生他	1,000円	1,100人
ファミリー会員		4,000円	62人
特別会員	個人	30,000円	0人
	法人		22人
計			1,415人

【会員の特典】

- ・会員証による近代美術館コレクション展無料観覧
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展を観覧できるモニター券の配布（モニター券1枚で一回観覧可）
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展の優待観覧（団体料金）
- ・万代島ビル内の飲食店の割引
- ・友の会だより、美術館パンフレット等の配布
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展内覧会への参加

【役員体制】

会 長	丸山 結香	
副 会 長	上松 和義	山本 正明
	宮澤奈緒子	
理 事	大塚清一郎	
監 事	渡辺 雅美	
代 議 員	阿部美恵子	大平 剛
	恩田 里士	星野 佳人
	高橋 信雄	佐藤 浩一
	羽賀 享	原 和彦
	樋口 栄治	保坂 太
	丸山 智	舩岡 武雄
	久島 芳尚	中川 アイ
	金子かおる	金子 明子
顧 問	平山 征夫	馬場 省吾
相 談 役	徳永 健一	

事 務 局 佐藤 夏代

【事業内容】

友の会独自事業および美術館との共催事業

- ◇4月23日 「ボストン美術館所蔵THE HEROES」講演会
（万代島美術館・友の会共催事業）
- ◇4月23日 「平等院鳳凰堂と浄土院」講演会①
（近代美術館・友の会共催事業）
- ◇5月28日 「平等院鳳凰堂と浄土院」講演会②
- ◇6月7日 代議員会（書面決議）
- ◇7月2日 大地の芸術祭2022説明会
（友の会独自事業）
- ◇7月31日 「三沢厚彦ANIMALS IN NAGAOKA」
クロストーク
（近代美術館・友の会共催事業）
- ◇8月20日 「三沢厚彦ANIMALS IN NAGAOKA」
ゆうがたギャラリートーク
（近代美術館・友の会共催事業）
- ◇8月21日 「三沢厚彦ANIMALS IN NAGAOKA」
ワークショップ（近代美術館・友の会共催事業）
- ◇10月8日 万美直行バス（友の会独自事業）
- ◇10月16日 ワークショップ
「シュールな絵を描こう」
（近代美術館・友の会共催事業）
- ◇11月8日～13日 作品展（独自事業）
作品数：57点 来場者：242名
- ◇11月20日 ワークショップ
「ペインティングナイフで描いてみよう」
（近代美術館・友の会共催事業）
- ◇11月20日 版画ワークショップ
「ドライポイントでダリの蝶を刷ろう！」
（近代美術館・友の会共催事業、協力：長岡造形大学）
- ◇2月11日 第11回アートカフェ in造形大
「なにをを考えてつくっているの？」
（友の会独自事業）
- ◇友の会だより(速報版) 5回発行
- ◇webでの情報発信（メルマガ等）

沿革

《新潟県立近代美術館》

昭和63年度予算で美術館建設調査費計上

昭和63年12月

「新潟県美術品収集基金条例」公布

平成元年10月

新潟県美術館建設基本構想を策定

平成2年3月

新潟県美術館建設基本計画を策定

平成2年3月

建設の設計者選考方式を指名設計競技（コンペ）に決定

平成2年3月

指名設計競技の参加設計事務所5社を決定

平成2年7月

建設指名設計競技審査会開催

（株）日本設計の作品が入選

平成2年8月

設計業務の委託を（株）日本設計と契約

平成3年2月

建設の実施設計策定

平成3年5月

建設工事入札

大成・吉原・小杉特定共同企業体等が落札

平成3年7月

県議会で建設工事の契約承認

平成3年7月

建設着工

平成4年12月

建設本体工事完了・引き渡し

平成5年3月

「新潟県立近代美術館条例」公布

平成5年4月

発足

平成5年7月

開館

平成30年2月

改修工事設計業務の委託を（株）日本設計と契約

平成30年6月

改修工事の実施設計策定

平成30年9月

改修工事入札

株式会社大石組・大原電業株式会社・株式会社社長岡総合設備

（株式会社社長岡総合設備のみ11月契約）

平成30年9月

改修工事着工

令和元年9月

改修工事一部終了・再開館

令和元年11月

改修工事完了・引き渡し

令和2年3月

「新潟県美術品収集基金条例」廃止

《新潟県立近代美術館万代島美術館》

平成12年8月

新潟県新美術館基本構想を発表

平成13年2月

新潟県新美術館基本計画を策定

平成14年4月

新潟県新美術館開設準備室発足

平成14年8月

新美術館の名称を一般公募により「新潟県立万代島美術館」と決定

平成15年3月

朱鷺メッセ万代島ビル竣工

平成15年4月

発足

平成15年7月

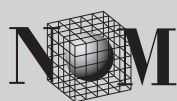
開館

令和4年度
新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館 年報

編集 新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館

製作 株式会社滝沢印刷

発行 令和6年3月1日



THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum